

医師国家試験出題基準

平成25年版

厚生労働省医政局医事課

目 次

医師国家試験出題基準改定部会委員名簿（平成 24 年 3 月現在）	
平成 25 年版医師国家試験出題基準・ブループリントの趣旨	i
医師国家試験出題基準の利用法	ii
ブループリント（医師国家試験設計表）	iv
主な検査項目の表記	viii
必修の基本的事項	1
医学総論	
I 保健医療論	18
II 予防と健康管理・増進	22
III 人体の正常構造と機能	26
IV 生殖、発生、成長・発達、加齢	32
V 病因、病態生理	35
VI 症候	39
VII 診察	46
VIII 検査	48
IX 治療	56
医学各論	
I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常	68
II 精神・心身医学的疾患	71
III 皮膚・頭頸部疾患	73
IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患	79
V 心臓・脈管疾患	82
VI 消化器・腹壁・腹膜疾患	85
VII 血液・造血器疾患	89
VIII 腎・泌尿器・生殖器疾患	92
IX 神経・運動器疾患	97
X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患	103
XI アレルギー性疾患、膠原病、免疫病	106
XII 感染性疾患	108
XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患	111
索引	
欧文索引	114
邦文索引	119
参考	
医師国家試験改善検討部会報告書	161

医師国家試験出題基準改定部会委員名簿（平成 24 年 3 月現在）

		氏 名	
部 会	長	澤	充
参 与	与	赤 木	美智男
		井 廻	道 夫
		兼 松	隆 之
		坂 井	建 雄
		高 杉	敬 久
		奈 良	信 雄
		福 田	康一郎
第 106 回国家試験			
委 員 長		公 一	
副委員長		茂 樹	
委 員	員	青 木	昭 子
		青 木	大 輔
		秋 下	雅 弘
		荒 木	信 夫
		飯 笹	俊 彦
		生 坂	政 臣
		石 田	均
		石 本	士 雄
		伊 藤	泰 玄
		井 上	俊 也
		内 田	直 人
		遠 藤	弘 良
		遠 藤	郁 郎
		小 川	二 承
		奥 村	一 豊
		尾 崎	淳 一
		加賀谷	俊 弘
		門 田	牧 陽
		川 本	琢 子
		菊 地	敬 太
		木 下	真 一
		木 村	
		桐 戸	
		久 保	

委

員

氏

名

桑興小佐澤島城新鈴鈴関高竹武田玉内内中中中成西西丹橋東前前正松丸三簀安山吉米渡	野 梶松野 津 保木木根橋内田妻井藤藤井川島澤澤村生本口田野田橋山橋田田中田田辺	和征則 芳 卓卓倫康孝 義多 和善俊章正康 恭健正高隆哲良正一善清誠克素	善典夫輝樹章志郎保之司悟博一進哉哉夫人法雄寛理昌一良志浩博介和男比古次史郎文博毅
---	---	---	--

平成 25 年版医師国家試験出題基準・ブループリントの趣旨

1 医師国家試験出題基準とは

(1) 定義

医師国家試験出題基準(ガイドライン)は、医師国家試験の「妥当な範囲」と「適切なレベル」とを項目によって整理したもので、試験委員が出題に際して準拠する基準である。

(2) 基本的考え方

- ①全体を通じて、臨床実習での学習成果を中心とした臨床研修開始前の到達度を確認することに主眼を置く。
- ②「必修の基本的事項」では、医師としての基本的姿勢を含めた基本的診療能力を主題として出題する。
- ③「医学総論」、「医学各論」では、原則、我が国のどの医療機関であっても対応できるような内容に限定する。

(3) 卒前教育との関係

大学医学部・医科大学における医学教育は、大学の自主性に基づいて実施されているが、大学医学部・医科大学卒業後、医師国家試験に合格し、医籍に登録されると医師となるのであるから、医師の任務を果たすのに必要な内容は一連の医学教育に含まれるべきものである。一方、試験委員が準拠する医師国家試験出題基準は、医師が医療現場の第一歩を踏み出す際に少なくとも具有すべき基本的知識・技能を各項目に分類し、具体的に示したものである。これは、卒前教育の全てを網羅するものではなく、また、卒前教育のあり方および内容を拘束するものではないが、医師の任務を果たすのに必要な事項を示すものである。

2 ブループリントとは

ブループリント(医師国家試験設計表)は、医師国家試験出題基準の各項目(章、大項目等)の出題割合を示したものである。これに基づき、医療に対するニーズが拡大している近年の状況を踏まえ、社会的に要請の高い分野を含めた幅広い領域から出題するほか、頻度や緊急性の高い疾患についても優先的に出題することになる。

医師国家試験出題基準の利用法

はじめに

医師国家試験は、医師法第 9 条に基づき「臨床上必要な医学及び公衆衛生に関して、医師として具有すべき知識及び技能」について行われる。また、医師法の一部改正により、平成 16 年 4 月 1 日から臨床研修が必修化され、同法第 16 条の 2 において、診療に従事しようとする医師は、2 年以上、臨床研修を受けなければならないとされていることから、第 9 条にいう「知識と技能」とは、医療に第一歩を踏み出し、指導医の下でその任務を果たすのに必要な基本的知識及び技能であると考えられる。

その内容を具体的な項目によって示したのが、医師国家試験出題基準である。医師試験委員会は、医師国家試験の妥当な内容、範囲及び適切なレベル等を確保するため、この基準に拠って出題する。

従って、医師国家試験出題基準は大学医学部・医科大学の卒前教育で扱われている内容の全てを網羅するのではなく、また、これらの教育のあり方を拘束するものではない。

利用方法

利用者は以下の各項に従う。

なお、各項目は、医師国家試験問題の出題範囲という観点から配列されているため、必ずしも学問的な分類体系と一致しない点があるほか、各項目間で内容が重複することがある。

1. 大・中・小項目、備考

(1) 大項目は、中項目を束ねる見出しである。

(2) 中項目には、医師国家試験の出題範囲となる事項名・疾病名・障害名を包括する疾患概念や分類名を記載している。

(3) 小項目には、中項目の内容に属する事項名・疾病名・障害名を具体的に記載し、可能な限り出題範囲を明確化している。

(4) 備考には、小項目に関する内容のうち、基本的臨床能力の観点から特に重要な事項を記載している。ただし、原語表記を明確化しておく必要がある場合はこの限りでない。

2. ブループリント(医師国家試験設計表)について

項目・評価領域ごとに出題割合を規定したものである。

利用者は、以下の各項に従う。

(1) 「必修の基本的事項」

「必修の基本的事項」では、各大項目に出題割合を記載している。

これは、「必修の基本的事項」における問題全体のうち、当該大項目に関する問題の出題割合を示したものである。

(2) 「医学総論」及び「医学各論」

「医学総論」及び「医学各論」では、各章と各大項目に出題割合を記載している。各章に記載されている出題割合は、当該章に関する問題の医学総論(又は医学各論)全体に対する割合を示しており、また、大項目に記載されている出題割合は、当該大項目のその章全体に対する割合を示している。

なお、「医学総論」においては「必修の基本的事項」の出題項目を、「医学各論」においては「必修の基本的事項」と「医学総論」の出題項目についても、それぞれ出題することができる。

【例】 医学総論 I 保健医療論 約10%

6 地域保健、地域医療 約15%

※ 「医学総論」において、「I 保健医療論」に関する問題を全問題の約10%出題し、さらに「I 保健医療論」の問題のうち、「6 地域保健、地域医療」に関する問題を約15% (「医学総論」全体からみると約1.5%) 出題することを意味する。

3. その他

(1) 同一事象に対し異なる表現がある場合には、括弧書き等によってどちらも使用可能とした。

また、括弧は以下のルールに基づいて使用した。試験委員会の判断で、括弧内・外の語を適宜使用できる。

() : 直前の語の説明又は限定。

【例】 外耳 (耳介、外耳道、鼓膜)

< > : 直前の語と同義。

【例】 世界保健機関<WHO>

[] : () や< >の中に () や< >がある場合の大きな括り

{ } : 省略しても意味または分類の変わらない語

【例】 蛋白 {質}

(2) 疾病名・障害名等は、一部で各論の章に重複して記載されている。重複していない項目についても、章または大項目の標題である臓器・病態に限定されず出題することができる。また、年齢・性による違いに注目して出題することができる。

(3) 必修の基本的事項の「12 主要疾患・症候群」の「A 基本的疾患・症候群」に挙げられている疾患等については、その疾患等についての基本的事項および主要徴候と基本的診療能力を問う内容に限定した問題を出題する。

(4) 医学総論の「Ⅲ 人体の正常構造と機能」に関しては、臨床的事項を理解するのに必要な内容に限って出題する。

ブループリント（医師国家試験設計表）

〔出題割合は概数なので、必ずしも合計が 100%にならない場合もある。〕

【必修の基本的事項】

1	医師のプロフェッショナリズム	約 4%
2	社会と医療	約 6%
3	診療情報と諸証明書	約 2%
4	医療の質と安全の確保	約 4%
5	人体の構造と機能	約 3%
6	医療面接	約 6%
7	主要症候	約 15%
8	一般的な身体診察	約 13%
9	検査の基本	約 5%
10	臨床判断の基本	約 4%
11	初期救急	約 9%
12	主要疾患・症候群	約 10%
13	治療の基本	約 4%
14	基本的手技	約 4%
15	死と終末期ケア	約 2%
16	チーム医療	約 2%
17	生活習慣とリスク	約 5%
18	一般教養的事項	約 2%

【医学総論】

I 保健医療論 約 10%

1	健康・疾病・障害の概念と社会環境	約 20%
2	社会保障制度と医療経済	約 10%
3	保健・医療・福祉・介護の仕組み	約 15%
4	保健・医療・福祉・介護の資源	約 15%
5	保健・医療・福祉・介護関係法規	約 15%
6	地域保健、地域医療	約 15%
7	国際保健	約 10%

II 予防と健康管理・増進 約 13%

1	予防医学と健康保持増進	約 12%
2	人口統計と保健統計	約 8%
3	疫学とその応用	約 8%
4	母子保健	約 12%
5	成人保健	約 4%
6	高齢者保健	約 4%
7	精神保健福祉	約 8%
8	感染症対策	約 16%
9	国民栄養と食品保健	約 4%
10	学校保健	約 4%
11	産業保健	約 8%
12	環境保健	約 12%

III 人体の正常構造と機能 約 10%

1	個体の構造	約 10%
2	皮膚、頭頸部、感覚器、発声器	約 10%
3	呼吸器、胸郭、胸壁	約 10%
4	心臓、脈管	約 10%
5	消化器、腹壁、腹膜	約 10%
6	血液、造血器	約 10%
7	腎、泌尿器、生殖器	約 10%
8	心理、精神、神経、運動器	約 10%
9	内分泌、代謝、栄養	約 10%
10	免疫	約 10%

IV 生殖、発生、成長・発達、加齢 約 10%

1	妊娠	約 15%
2	分娩	約 15%
3	産褥	約 10%
4	胎児	約 10%
5	新生児	約 15%
6	小児期	約 15%
7	思春期、青年期	約 10%
8	加齢、老化	約 10%

V 病因、病態生理 約 13%

1	疾病と影響因子	約 8%
2	先天異常	約 8%
3	損傷、炎症	約 8%
4	感染	約 8%
5	アレルギー、免疫異常	約 8%
6	腫瘍	約 8%
7	循環障害、臓器不全	約 8%
8	内分泌・代謝・栄養の異常	約 8%
9	中毒、放射線障害	約 8%
10	医原病	約 8%
11	死	約 20%

VI 症候 約 13%

1	全身症候	約 16%
2	皮膚、外表	約 8%
3	頭頸部、感覚器	約 12%
4	呼吸器、心臓、血管	約 12%
5	消化器	約 8%
6	血液、造血器、免疫	約 12%
7	腎、泌尿器、生殖器	約 8%
8	心理、精神機能	約 8%
9	神経、運動器	約 8%
10	内分泌、代謝、栄養	約 8%

VII 診察 約 8%

1	2次・3次救急患者の診察	約 27%
2	高齢者の診察と評価	約 27%
3	小児の診察	約 20%
4	胎児・新生児の診察と評価	約 13%
5	妊・産・褥婦と胎児の診察	約 13%

VIII 検査 約 10%

1	検体検査	約 25%
2	生体機能検査	約 15%
3	皮膚・感覚器・発声機能検査	約 10%
4	心理・精神機能検査	約 10%
5	妊娠・分娩・胎児・新生児の検査	約 10%
6	画像検査	約 23%
7	内視鏡検査	約 7%

IX 治療 約 15%

1	食事・栄養療法	約 10%
2	薬物療法	約 10%
3	輸液、輸血、血液浄化	約 10%
4	手術、周術期の管理、麻酔	約 10%
5	臓器・組織移植、人工臓器、再生医療	約 7%
6	放射線治療	約 7%
7	インターベンショナルラジオロジー	約 7%
8	内視鏡治療	約 7%
9	リハビリテーション	約 10%
10	2次・3次救急患者の治療	約 13%
11	緩和医療	約 6%
12	その他の治療法	約 4%

【医学各論】

I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常 約 5%

1	妊娠の異常
2	分娩・産褥の異常
3	胎児・新生児の異常
4	性分化・染色体異常、先天異常および成長・発達の障害

II 精神・心身医学的疾患 約 5%

1	器質性精神障害、精神作用物質関連障害
2	気分障害、統合失調症と類縁疾患
3	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害
4	生理的障害、身体的要因に関連した障害
5	小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害

III 皮膚・頭頸部疾患 約 11%

1	炎症性皮膚疾患
2	腫瘍・母斑性皮膚疾患
3	その他の皮膚疾患
4	視機能異常・視神経疾患
5	眼窩・外眼部・前眼部・眼球の疾患
6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患
7	外耳・中耳疾患
8	内耳・神経疾患
9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患
10	咽頭・口腔・唾液腺疾患
11	損傷、奇形

IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患 約 7%

1	感染性呼吸器疾患
2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷
3	免疫学的機序が考えられる肺疾患
4	実質性・間質性肺障害
5	肺循環異常
6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍
7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態・機能異常、外傷
8	呼吸調節異常

V 心臓・脈管疾患 約 10%

1	不整脈
2	心不全
3	先天性心疾患
4	弁膜症
5	虚血性心疾患
6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷
7	血圧異常
8	脈管疾患

VI 消化器・腹壁・腹膜疾患 約 13%

1	食道疾患
2	胃・十二指腸疾患
3	小腸・結腸疾患
4	直腸・肛門疾患
5	消化管共通疾患
6	肝疾患
7	胆道疾患
8	膵疾患
9	横隔膜・腹膜・腹壁疾患
10	急性腹症
11	損傷、異物
12	その他の重要な小児領域の疾患

Ⅶ 血液・造血器疾患 約 5%

1	赤血球系疾患
2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患
3	リンパ系疾患
4	出血性疾患と血栓傾向
5	その他の重要な小児領域の疾患

Ⅷ 腎・泌尿器・生殖器疾患 約 12%

1	糸球体病変
2	血管・尿細管・間質病変
3	腎機能の障害による異常
4	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患
5	腎・尿路・生殖器の炎症
6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍
7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍
8	月経異常、不妊、不育
9	更年期・閉経後障害
10	その他の尿路・生殖器異常

Ⅸ 神経・運動器疾患 約 9%

1	脳血管障害
2	脳腫瘍
3	神経・運動器の感染・炎症性疾患
4	神経変性疾患、代謝性疾患、脱髄疾患、中毒
5	末梢神経疾患、神経筋接合部疾患、筋疾患
6	発作性疾患、機能性疾患、自律神経系疾患
7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患
8	上肢・下肢の運動器疾患、非感染性骨・関節・四肢軟部疾患
9	骨・軟部腫瘍と類似疾患
10	神経・運動器の外傷、脳・脊髄の奇形、神経・皮膚症候群、その他
11	その他の重要な小児領域の疾患

Ⅹ 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患 約 8%

1	間脳・下垂体疾患
2	甲状腺疾患
3	副甲状腺〈上皮小体〉疾患とカルシウム代謝異常
4	副腎皮質・髄質疾患
5	その他の内分泌疾患
6	糖〔質〕代謝異常
7	脂質代謝異常
8	蛋白・アミノ酸代謝異常
9	その他の代謝異常
10	その他の重要な小児領域の疾患
11	乳腺・乳房疾患

Ⅺ アレルギー性疾患、膠原病、免疫病 約 5%

1	アレルギー性疾患
2	膠原病と類縁疾患
3	原発性免疫不全症
4	続発性免疫不全症
5	その他の重要な小児領域の疾患

Ⅻ 感染性疾患 約 8%

1	ウイルス
2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア
3	細菌〔抗酸菌〈マイコバクテリア〉を除く〕
4	抗酸菌〈マイコバクテリア〉
5	真菌・寄生虫・その他の病原体

Ⅻ 生活環境因子・職業性因子による疾患 約 5%

1	食中毒、病害動物による疾患
2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒
3	喫煙による影響
4	産業中毒とその他の職業性疾患
5	物理的原因・生活環境因子による障害

主な検査項目の表記

出題に際して、主な検査項目の表記については以下に準拠する。ただし、以下に掲載していない検査も出題され得る。なお、「2 血液学検査」、「3 生化学検査」、「4 免疫血清学検査」及び「7 生体機能検査」の※印のある項目は、出題に際して基準範囲を記載しなくてもよい。

1 一般臨床検査

分類	項目
尿検査	肉眼的所見
	尿量
	比重
	浸透圧
	pH
	尿蛋白
	尿糖
	ウロビリノゲン
	ケトン体
	ビリルビン
	アミラーゼ
	尿潜血
	尿沈渣所見
	細菌検査
	尿細胞診
	白血球反応
	妊娠反応
	【例】尿所見：蛋白 1 +、糖(－)、沈渣に赤血球 10～20/1 視野、白血球多数/1 視野、赤血球円柱＋。
糞便検査	肉眼的所見
	顕微鏡検査（虫卵など）
	便潜血反応
	便細菌検査
喀痰検査	肉眼的所見
	細胞診
	細菌検査
脳脊髄液検査	圧（Queckenstedt 現象）
	肉眼的所見
	初圧
	細胞数(種類)
	蛋白定量
	糖定量
	IgG%
	ミエリン塩基性蛋白
	クロール定量
	細菌検査
	細胞診
	オリゴクローナルバンド

分類	項目
穿刺液検査	肉眼的所見
	比重
	蛋白定量
	細胞数（種類）
	細胞診
	細菌検査

2 血液学検査

分類	項目
赤沈	赤沈 ※
血球検査	赤血球 ※
	ヘモグロビン<Hb> ※
	ヘマトクリット<Ht> ※
	平均赤血球容積<MCV> ※
	平均赤血球ヘモグロビン<MCH> ※
	平均赤血球ヘモグロビン濃度<MCHC> ※
	網赤血球 ※
	白血球 ※
	白血球分画 ※
	血小板 ※
	末梢血・骨髓血塗抹
	【例】血液所見：赤血球 396 万、Hb 12.9 g/dl、Ht 38 %、網赤血球 1.2 %、白血球 7,800 (桿状核好中球 12 %、分葉核好中球 51 %、好酸球 2 %、好塩基球 1 %、単球 6 %、リンパ球 28 %)、血小板 20 万。
凝固・線溶・血小板機能検査	出血時間
	PT<プロトロンビン時間>
	APTT<活性化部分トロンボプラスチン時間>
	血漿アンチトロンビン
	トロンビン・アンチトロンビン複合体<TAT>
	血漿フィブリノゲン
	血清 FDP
	D ダイマー
	プラスミン・プラスミンインヒビター複合体<PIC>
	血小板凝集能

分類	項目	
溶血に関する検査	赤血球浸透圧抵抗試験	
	Ham 試験	
輸血に関連検査	血液型	
	交差適合試験<クロスマッチ>	

3 生化学検査

分類	項目	
蛋白・蛋白分画	総蛋白<TP>	※
	蛋白分画	※
	アルブミン<Alb>	※
	$\alpha_1 \cdot \beta_2$ -マイクログロブリン	
	IgG、IgA、IgM、IgE	
	フェリチン	
	心筋トロポニンT	
	心筋トロポニン I	
生色体素	総ビリルビン	※
	直接ビリルビン	※
酵素、アイソザイム	AST	※
	ALT	※
	LD<LDH>	
	ALP	
	γ -GTP< γ GT>	
	コリンエステラーゼ<ChE>	
	アミラーゼ	
	リパーゼ	
	CK	
	CK-MB	
	アンジオテンシン変換酵素<ACE>	
含窒素成分	尿素窒素<BUN>	※
	クレアチニン<Cr>	※
	尿酸<UA>	※
	アンモニア	
糖代謝関連	{随時}血糖	※
	空腹時血糖<FBS>	※
	ブドウ糖負荷試験<OGTT>	
	HbA1c	
脂質代謝関連	総コレステロール<TC>	※
	トリグリセリド<TG>	※
	HDL コレステロール	※
	LDL コレステロール	※

分類		項目		
電解質、 酸塩基平衡		Na	※	
		K	※	
		Cl	※	
		Ca	※	
		P	※	
		Mg		
		浸透圧		
微量元素、 重金属		Cu		
		Fe	※	
		TIBC<総鉄結合能>		
		UIBC<不飽和鉄結合能>		
ビタミン		ビタミン B ₁		
		ビタミン B ₁₂		
		葉酸		
ホルモン	下垂体		TSH<甲状腺刺激ホルモン>	
			GH<成長ホルモン>	
			LH<黄体化ホルモン>	
			ACTH<副腎皮質刺激ホルモン>	
			FSH<卵胞刺激ホルモン>	
			PRL<プロラクチン>	
			ADH<抗利尿ホルモン、バソプレシン>	
	甲状腺		FT ₃ <遊離トリヨードサイロニン>	
			FT ₄ <遊離サイロキシニン>	
			甲状腺 ¹²³ I 摂取率	
			サイログロブリン	
			カルシトニン	
	副甲状腺 <small>（上皮小体）</small>		PTH<副甲状腺ホルモン>	
	副腎		コルチゾール	
			アルドステロン	
			17α-ヒドロキシprogテストロン	
			アドレナリン	
			ノルアドレナリン	
	消化管		ガストリン	
	膵島		インスリン	
			グルカゴン	
			C ペプチド<CPR>	
	腎臓		血漿レニン活性<PRA>	
			アンジオテンシン	
			エリスロポエチン	
	性腺・胎盤		エストラジオール<E ₂ >	
			エストリオール<E ₃ >	
			progテストロン	
			テストステロン	
			絨毛性ゴナドトロピン<hCG>	

分類		項目	
ホルモン	心臓	心房性ナトリウム利尿ペプチド<H. ANP>	
		脳性ナトリウム利尿ペプチド<BNP>	
	尿中ホルモン	5-ヒドロキシインドール酢酸<5-HIAA>	
		遊離コルチゾール	
		カテコラミン	
		バニリルマンデル酸<VMA>	
腫瘍マーカー		α -フエトプロテイン<AFP>	
		CEA	
		CA19-9	
		CA125	
		PSA	
線維化マーカー		KL-6	

4 免疫血清学検査

分類		項目	
炎症マーカー		C 反応性蛋白<CRP>	※
感染の抗原・抗体		梅毒血清反応	
		Weil-Felix 反応	
		ASO	
		トキソプラズマ抗体	
		寒冷凝集反応	
		マイコプラズマ抗体	
		ウイルス血清反応	
		β -D-グルカン	
		HTLV- I 抗体	
		HIV 抗体	
		HBs 抗原・HBs 抗体	
自己抗体		HCV 抗体	
		リウマトイド因子<RF>	
		抗 CCP 抗体	
		抗好中球細胞質抗体<ANCA>	
		LE 細胞	
		抗核抗体	
		抗 DNA 抗体	
		抗 ssDNA 抗体	
		抗 dsDNA 抗体	
		抗 RNP 抗体	
		抗 Sm 抗体	
		抗 SS-A 抗体	

分類		項目	
自己抗体		抗 SS-B 抗体	
		抗 Jo-1 抗体	
		抗 Scl-70 抗体	
		抗ミトコンドリア抗体	
		抗平滑筋抗体	
		抗サイログロブリン抗体	
		抗甲状腺ペルオキシダーゼ<TPO>抗体	
		抗 TSH 受容体抗体	
		直接・間接 Coombs 試験	
		抗アセチルコリン受容体抗体	
免疫蛋白		免疫電気泳動	
		Bence Jones 蛋白	
アレルギーに関する検査		アレルギー検査	
		IgE、特異的 IgE	
		皮膚反応（貼布試験、皮内反応）	
		誘発試験	
補体		血清補体価（CH ₅₀ ）、C3、C4	
		免疫複合体	
細胞免疫・食菌能検査		リンパ球表面抗原検査	
		CD4/8 比	
		好中球機能検査	
		リンパ球刺激試験	
		ツベルクリン反応	
移植免疫		組織適合検査 【例】HLA-B27	

5 微生物学検査

分類		項目	
病原体検査		細菌検査（塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験）	
		結核・抗酸菌検査（塗抹、Gaffky 号数、培養、感受性試験、核酸検査）	
		スピロヘータ	
		リケッチア	
		クラミジア	
		マイコプラズマ	
		ウイルス	
		真菌	
		原虫	
		寄生虫	
		核酸検査	

注）細菌の学名はイタリック体で、ウイルスはローマン体で表記。

【例】 *Staphylococcus aureus*
poliovirus

6 病理組織学検査、細胞診

分類	項目
光顕・電顕標本	
染色法	Hematoxylin-eosin 染色<H-E 染色> 【例】生検組織の H-E 染色標本
	PAS 染色 【例】腎生検の PAS 染色標本
	PAM 染色
	SudanⅢ染色
	Congo-Red 染色
	Gram 染色 【例】喀痰の Gram 染色標本
	Ziehl-Neelsen 染色
	Grocott 染色
	May-Giemsa 染色 【例】骨髓血塗抹 May-Giemsa 染色
	Papanicolaou 染色
	免疫組織化学
	酵素組織化学

7 生体機能検査

分類	項目
動脈血ガス分析	pH ※
	PaCO ₂ ※
	PaO ₂ ※
	HCO ₃ ⁻ ※
	【例】動脈血ガス分析(自発呼吸、room air) : pH 7.41、PaCO ₂ 41 Torr、PaO ₂ 83 Torr、HCO ₃ ⁻ 25 mEq/L。
呼吸能	%VC
	FEV ₁ %
心機能	{12誘導}心電図
	Holter 心電図
	運動負荷心電図
	心臓カテーテル検査
消化器系	唾液分泌検査
	胃液検査
	消化管内圧検査
	色素排泄試験
	BT-PABA 排泄試験
内分泌・代謝機能	インスリン負荷試験
	グルカゴン負荷試験
	ブドウ糖負荷試験
	絶食試験
	TRH 試験
	CRH 試験

分類	項目
内分泌・代謝機能	GHRH 試験
	LHRH 試験
	デキサメタゾン抑制試験
	水制限試験
	高張食塩水負荷試験
	ACTH 試験
	フロセミド負荷試験
	PTH 負荷試験<Ellsworth-Howard 試験>
	プロゲステロン負荷試験
腎機能	エストロゲン・プロゲステロン負荷試験
	ゴナドトロピン負荷試験
	クレアチニークリアランス
	濃縮試験<Fishberg 試験>
神経	糸球体濾過値<GFR>
	レノグラム
	脳波
	筋電図

8 内視鏡検査

分類	検査名	画像名
内視鏡検査	上部消化管内視鏡検査	～像
	下部消化管内視鏡検査	
	気管支内視鏡検査	
	喉頭内視鏡検査	
	色素内視鏡検査	

9 画像検査

分類	検査名	画像名
超音波検査	腹部超音波検査	～像
	心エコー検査	～図
	カラードプラ心エコー検査	
	前立腺経直腸超音波検査	～像
	経膈超音波検査	
エックス線撮影	内視鏡的超音波検査	
	胸部エックス線撮影	～写真
	頭部エックス線撮影	
	軟エックス線撮影	
	マンモグラフィ	マンモグラム
	脊椎エックス線撮影	～写真
	四肢エックス線撮影	
	産科的骨盤エックス線撮影	

分類	検査名	画像名
エックス線造影撮影	上部消化管造影	～像
	小腸造影	
	注腸造影	
	内視鏡的逆行性胆管膵管造影<ERCP>	
	静脈性尿路造影	
	逆行性尿路造影	
	子宮卵管造影<HSG>	
	血管造影	
	選択的動脈造影	
	デジタルサブトラクション血管造影<DSA>	
CT	単純／造影 CT	単純／造影 CT 【例】腹部造影 CT
	3D-CT	3D-CT
MR	単純／造影 MRI	単純／造影 MRI 【例】頭部単純 MRI の T2 強調矢状断像
	MRA	MRA
	磁気共鳴胆管膵管撮影<MRCP>	～像<MRCP>
核医学検査	ポジトロンエミッション断層撮影<PET>	～像<PET>
	シングルフォトンエミッション CT <SPECT>	シングルフォトンエミッション CT <SPECT>
	シンチグラフィ	シンチグラム 【例】 $^{99m}\text{TcO}_4^-$ 甲状腺シンチグラム

注) 検査名に下線がある場合は、下線部分を省いて
画像名の欄の語を続ける。

【例】検査名… 腹部超音波撮影

画像名… 腹部超音波像

必修の基本的事項

大 項 目	中 項 目	小 項 目
1 医師のプロフェッショナリズム 約4%	A 医の倫理	1 医師の職業倫理指針
		2 医師憲章
	B 患者の権利と義務	1 患者の権利と義務
		2 自己決定権
		3 インフォームド・コンセント
		4 セカンドオピニオン
		5 情報開示
		6 個人情報の保護
	C 患者医師関係	1 リスボン宣言
		2 患者の意向の尊重(患者中心型医療)
		3 患者・家族の医療への参加(相互参加型医療)
		4 社会生活機能を重視した医療
2 社会と医療 約6%	A 医療制度、医療経済	1 医師法
		2 医療法
		3 医療保険制度
		4 介護保険制度
		5 国民医療費
	B 患者・障害者のもつ心理・社会的問題	1 疾病・障害の概念と構造
		2 QOL<生活の質、quality of life>
		3 リハビリテーションの理念
		4 ノーマライゼーション
		5 患者・障害者の心理と態度
		6 心理教育<psychoeducation>
		7 患者・障害者の社会活動、社会参加
		8 家族機能
		9 行動変容、要因分析
	C 保健・医療・福祉・介護・教育の制度と連携	1 職種と社会資源
		2 職種連携
	D 医学研究と倫理	1 ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針
		2 臨床研究に関する倫理指針
		3 疫学研究に関する倫理指針
		4 遺伝子治療臨床研究に関する指針
	E 臨床試験・治験と倫理性	1 ヘルシンキ宣言
		2 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験
		3 GCP<医薬品の臨床試験実施の基準>
		4 治験審査委員会・倫理審査委員会<IRB>
3 診療情報と諸証明書 約2%	A 診療録、医療記録	1 診療録・医療記録の管理と保存(電子カルテを含む)
		2 診療録の内容
		3 診療情報の開示
		4 プライバシー保護、セキュリティ
		5 問題志向型医療記録<POMR>
		6 SOAP(主観的所見、客観的所見、評価、計画)
	B 診療に関する諸記録	1 処方箋
		2 手術記録

大 項 目	中 項 目	小 項 目
		3 検査所見記録
		4 入院診療計画書
		5 画像記録
		6 退院時要約
	C 診断書、検案書、証明書	1 診断書
		2 出生証明書
		3 死産証書
		4 死胎検案書
		5 死亡診断書
		6 死体検案書
4 医療の質と安全の確保 約4%	A 医療の質の確保	1 病院機能評価、国際標準化機構<ISO>
		2 臨床機能評価指標<クリニカルインディケーター>
		3 患者満足度
		4 説明同意書、患者説明文書
		5 クリニカルパス
	B 医療事故の防止	1 医療過誤と医療事故
		2 医療事故の発生要因
		3 医療安全管理(誤薬、誤認、出血、外傷、感染、電撃、転倒、被曝、褥瘡、自殺企図、無断離院)
		4 インシデント<ヒヤリハット>、アクシデント
		5 インシデントレポート、医療事故報告書
		6 医薬品管理マニュアル(麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理)
		7 医療廃棄物処理
		8 医療安全支援センター
	C 院内感染対策	1 院内感染対策委員会
		2 院内感染サーベイランス
		3 院内感染対策チーム<ICT>
		4 標準予防策<standard precautions>
		5 感染経路別予防策
		6 抗菌薬の適正使用
		7 薬剤耐性菌
		8 針刺し事故
	D 医療裁判	1 医事紛争、賠償
		2 医療訴訟(刑事裁判、民事裁判)
	E 医薬品・医療機器の副作用・不具合	1 有害事象と副作用
		2 副作用への対応(報告義務、治療、補償)
	F 血液・血液製剤の安全性	1 使用記録保管義務
5 人体の構造と機能 約3%	A 周産期	1 遺伝子、染色体
		2 妊娠
		3 分娩
		4 産褥
	B 胎児・新生児期	1 循環、呼吸
		2 胎児の発育

大 項 目	中 項 目	小 項 目
	C 小児期	1 精神運動発達
		2 栄養
		3 免疫
		4 小児の行動
	D 思春期、青年期	1 思春期発現
		2 生殖機能
		3 思春期の健康問題
	E 壮年期	1 身体正常値
		2 育児
		3 生活習慣と疾病
	F 更年期	1 内分泌、閉経
		2 社会環境
	G 老年期	1 加齢による身体・心理・精神機能の変化
		2 高齢者総合機能評価<CGA>
6 医療面接 約6%	A 医療面接の意義	1 患者医師関係の構築
		2 医療情報の収集
		3 病状説明
		4 教育、調整、動機付け
	B マナー、オープニング	1 身だしなみ
		2 椅子の配置、座り方
		3 礼儀、振舞い
		4 挨拶、自己紹介
		5 患者本人であることの確認
		6 プライバシー・体調・環境への配慮
	C 良好なコミュニケーション	1 言語的コミュニケーション
		2 準言語的コミュニケーション
		3 非言語的コミュニケーション
		4 傾聴の仕方
		5 質問法
		6 面接者の態度(共感的態度、理解的態度、支持的態度、問題解決への援助的態度、評価的態度、解釈的態度、調査的態度、逃避的態度)
		7 感情面への対応(共感、支持、反映、肯定、尊重、支援、探索)
	D 病歴情報	1 主訴
		2 現病歴
		3 常用薬、アレルギー歴
		4 既往歴
		5 家族歴、家系図
		6 嗜好
		7 生活習慣
		8 社会歴
		9 生活環境、家庭環境
		10 海外渡航歴
		11 システムレビュー<review of systems>

大 項 目	中 項 目	小 項 目
	E 心理・社会的情報	12 プロブレムリスト
		1 解釈モデル
		2 心理・社会的状況
		3 検査や治療に対する希望・好み
		4 受療行動、対処行動、他医受診、処方内容
	F 話の伝え方	1 理解の確認、質問の有無の確認
		2 悪い知らせの伝え方(SPIKESモデル)
	G 治療への動機付け	1 患者の満足度
		2 コンプライアンス、アドヒアランス
		3 意識啓発とその継続
7 主要症候 約15%	A 全身症候	1 発熱
		2 全身倦怠感
		3 食思<欲>不振
		4 体重減少・増加
		5 ショック
		6 意識障害
		7 けいれん
		8 めまい
		9 脱水
		10 浮腫
	B 皮膚、粘膜	1 皮疹、粘膜疹
		2 掻痒
	C 頭頸部、感覚器	1 視力障害
		2 視野異常
		3 複視
		4 眼球運動障害
		5 結膜の発赤(出血、充血)
		6 聴力障害(難聴)
		7 耳鳴
		8 鼻出血
		9 咽頭痛
		10 嘔声
	D 呼吸器、心臓、血管	1 咳嗽
		2 喀痰
		3 血痰、喀血
		4 喘鳴
		5 呼吸困難、息切れ
		6 チアノーゼ
		7 胸痛、胸部圧迫感
		8 失神
		9 動悸
		10 頻脈、徐脈
		11 不整脈
		12 高血圧
	E 消化器	1 嚥下障害、誤嚥

大 項 目	中 項 目	小 項 目
		2 腹痛
		3 胸やけ
		4 悪心、嘔吐
		5 吐血、下血
		6 便秘
		7 下痢、(粘)血便
		8 黄疸
		9 腹部膨隆・膨満
	F 血液、造血器、免疫	1 貧血
		2 リンパ節腫脹
		3 出血傾向
	G 腎、泌尿器、生殖器	1 乏尿、無尿
		2 多尿
		3 排尿障害
		4 血尿、蛋白尿
		5 月経異常、無月経
		6 性器出血
	H 心理、精神機能	1 記憶障害
		2 思考障害(妄想、強迫)
		3 幻覚
		4 抑うつ、躁状態
		5 不安、恐怖
		6 睡眠障害
	I 神経、運動器	1 構音障害
		2 頭痛、頭重感
		3 運動麻痺、筋力低下
		4 運動失調
		5 不随意運動
		6 歩行障害
		7 感覚障害
		8 腰背部痛
		9 筋肉痛
		10 関節痛
		11 関節腫脹、関節変形
	J 内分泌、代謝、栄養、 乳腺疾患	1 肥満、やせ
		2 乳房のしこり・左右差、皮膚の陥凹
	K 周産期の異常を示す 症状	1 妊娠の異常
		2 分娩の異常
		3 産褥の異常
		4 胎児・新生児の異常
	L 小児特有の全身症状	1 哺乳力低下
		2 体重増加不良
		3 活動性低下
		4 啼泣異常
		5 発達の遅れ

大 項 目	中 項 目	小 項 目
		6 性発達の異常
8 一般的な身体診察 約13%	A 診察のあり方	1 診察前後の標準予防策<standard precautions>
		2 安全への配慮
		3 患者への配慮(プライバシー・羞恥心・苦痛への配慮)
		4 患者への声かけと例示
	B 診察の基本手技	1 視診
		2 聴診
		3 触診
		4 打診
	C 診察時の患者の体位	1 立位
		2 坐位、半坐位
		3 臥位(仰臥位、腹臥位、側臥位)
		4 砕石位
	D 全身の診察	1 意識状態、精神状態の評価
		2 体格の評価(身長、体重)
		3 バイタルサイン(体温、呼吸、脈拍、血圧)
		4 全身の外観(体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声)
		5 リンパ節の触診
	E 頭頸部の診察	1 頭部
		2 眼、眼底鏡検査
		3 耳、耳鏡検査、鼻
		4 口唇、口腔、咽頭、扁桃
		5 甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺
		6 聴覚検査
	F 胸部の診察	1 胸郭
		2 呼吸音(気管)、副雑音
		3 心音、心雑音
		4 背部の叩打痛
		5 乳房
	G 腹部の診察	1 形
		2 肝、脾、腎
		3 筋性防御、圧痛、反跳痛<Blumberg徴候>
		4 腹水
		5 腸雑音、血管雑音
	H 肛門と直腸の診察	
	I 生殖器の診察	1 男性
		2 女性
		3 妊婦
	J 筋骨格系の診察	1 四肢、脊柱(弯曲、疼痛)
		2 関節(可動域、腫脹、疼痛、変形)
		3 徒手筋力テスト
	K 神経系の診察	1 脳神経系
		2 髄膜刺激症候(項部硬直、Kernig徴候)
		3 運動系

大 項 目	中 項 目	小 項 目
		4 腱反射、病的反射
		5 感覚(痛覚、温度覚、触覚、深部感覚)
		6 小脳機能
	L 四肢の診察	1 浮腫
		2 動脈、静脈
9 検査の基本 約5%	A 意義と目標	1 診断
		2 治療効果判定
		3 スクリーニング、健康診断
	B 検査の倫理と安全	1 実施の説明
		2 患者確認と検体の確認
		3 検査の合併症
	C 検体の採取	1 採血
		2 採尿、採便
		3 採痰
		4 穿刺
		5 生検
		6 擦過
	D 検体の保存	1 保存方法
		2 保存期間
	E 結果の解釈	1 基準値、カットオフ値
		2 誤差、生理的変動
		3 パニック値と緊急対応
	F 一般臨床検査	1 尿検査
		2 糞便検査
		3 胸水・腹水の検査
		4 脳脊髄液検査
	G 血液学検査	1 血球検査
		2 凝固・線溶検査
		3 血液型、輸血関連検査
	H 生化学検査	1 一般的な生化学検査
		2 蛋白分画、免疫電気泳動
	I 免疫血清学検査	1 炎症反応
		2 自己抗体
		3 感染症の血清学的診断
	J 遺伝子関連検査	1 病原体遺伝子<核酸>検査
		2 ヒト遺伝学的検査
	K 微生物学検査	1 採取法
		2 染色法
		3 培養検査
		4 薬剤感受性試験
		5 病原体抗原の迅速検査
	L 病理組織学検査、細胞診	1 細胞診
		2 組織診、生検
	M 動脈血ガス分析	1 適応と採血法
		2 結果の解釈

大 項 目	中 項 目	小 項 目
	N 生体機能検査	1 呼吸機能検査
		2 心電図
		3 脈波
		4 内分泌・代謝機能検査
		5 脳波
		6 筋電図、神経伝導速度
	O 画像・内視鏡検査	1 エックス線検査(胸部、腹部、骨)
		2 CT(単純、造影)
		3 超音波検査
		4 磁気共鳴画像<MRI>
		5 核医学検査 (PETを含む)
		6 内視鏡検査
10 臨床判断の基本 約4%	A 根拠に基づいた医療 <EBM>	1 患者の問題の定式化
		2 情報収集法
		3 批判的吟味
		4 患者への適用
		5 研究デザイン
		6 メタ分析<メタアナリシス>
		7 診療ガイドライン
		8 エビデンスレベル
	B 臨床疫学的指標	1 内的妥当性、外的妥当性
		2 バイアス、交絡因子
		3 アウトカム
		4 信頼区間
		5 相対危険度<relative risk> (リスク比)、寄与危険度 <attributable risk> (リスク差)、オッズ比<odds ratio>
		6 検査前確率<事前確率>
		7 感度、特異度
		8 検査後確率<事後確率>
		9 尤度比
		10 ROC曲線
	C 誤差と精度	1 正確度
		2 精密度、再現性
	D 基準値	1 基準範囲の概念
		2 生理的変動
		3 性差、年齢差
		4 異常値と原因
	E 有効性と効率性	1 費用対効果
	F 医療情報	1 一次情報、二次情報
		2 検索方法
11 初期救急 約9%	A 救急患者の診察	1 バイタルサインの把握
		2 トリアージ(致死的な病態・疾患・外傷の鑑別)
		3 重要臓器機能の障害を招く病態・疾患
		4 外傷患者初期診療

大 項 目	中 項 目	小 項 目
		5 緊急治療の要否の判断
		6 部位別治療優先順位の判断
		7 来院時<院外>心肺{機能}停止<CPA>
	B 基本的な救急処置	1 一次救命処置<BLS>
		2 二次救命処置<ALS>
		3 気道確保
		4 人工呼吸
		5 除細動
		6 静脈路確保
		7 酸素療法
		8 基本的救急医薬品
		9 止血法
		10 輸液療法
		11 輸血
		12 骨折の固定法
	C 症状・傷病別の初期対応	1 心肺{機能}停止
		2 失神、意識障害
		3 ショック
		4 けいれん、けいれん重積状態
		5 頭痛
		6 高体温、低体温
		7 運動麻痺、感覚障害
		8 めまい
		9 呼吸困難、喘鳴
		10 胸痛、背部痛
		11 腹痛、腰痛
		12 急性消化管出血
		13 誤飲、誤嚥
		14 尿閉
		15 睾丸痛
		16 創傷、熱傷
		17 薬物中毒
		18 重症感染症
		19 精神科救急
	D 災害医療	1 大規模災害(地震、津波、事故)
		2 トリアージ
12 主要疾患・症候群 約10%	A 妊娠、周産期の異常	1 正常妊娠、妊娠悪阻
		2 異所性妊娠<子宮外妊娠>
	B 精神・心身医学的疾患	1 うつ病、双極性障害<躁うつ病>
		2 統合失調症
		3 不安障害(パニック障害、社交不安障害)
		4 身体表現性障害(疼痛性障害、心気症)、心身症、ストレス関連障害(外傷後ストレス障害<PTSD>、急性ストレス障害)
	C 皮膚・頭頸部疾患	1 湿疹、皮膚炎(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎)

大 項 目	中 項 目	小 項 目
		2 蕁麻疹
		3 薬疹
		4 ウイルス性発疹症(麻疹、風疹、水痘、ヘルペス)
		5 皮膚潰瘍、褥瘡
		6 結膜炎、角膜炎
		7 白内障
		8 緑内障
		9 糖尿病・高血圧・動脈硬化による眼底変化
		10 急性中耳炎
		11 良性発作性頭位眩暈症
		12 アレルギー性鼻炎
		13 急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎
	D 呼吸器・胸壁・縦隔疾患	1 上気道炎、扁桃炎、急性気管支炎、急性細気管支炎
		2 気管支喘息(小児喘息を含む)
		3 肺炎、胸膜炎
		4 慢性閉塞性肺疾患<COPD>
		5 肺結核
		6 肺癌
		7 自然気胸、緊張性気胸
		8 気道閉塞
		9 急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>
		10 睡眠時無呼吸症候群
		11 肺血栓塞栓症
	E 心臓・脈管疾患	1 不整脈
		2 先天性心疾患
		3 弁膜症(僧帽弁膜症、大動脈弁膜症)
		4 急性心筋梗塞、急性冠症候群、狭心症
		5 心筋症
		6 高血圧症
		7 動脈硬化症
		8 急性大動脈解離、大動脈瘤破裂
		9 末梢性動脈疾患
		10 深部静脈血栓症、下肢静脈瘤
		11 肺水腫、うっ血性心不全
	F 消化器・腹壁・腹膜疾患	1 胃食道逆流症<GERD>
		2 胃静脈瘤、食道静脈瘤
		3 食道癌
		4 胃潰瘍、十二指腸潰瘍<消化性潰瘍>
		5 胃癌
		6 急性胃腸炎
		7 便秘症
		8 乳児下痢症
		9 急性虫垂炎
		10 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、Crohn病)

大 項 目	中 項 目	小 項 目
		11 機能性消化管障害(機能性ディスぺプシア<FD>、過敏性腸症候群)
		12 大腸癌
		13 痔瘻、痔核
		14 急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝
		15 肝硬変、肝不全、肝性脳症
		16 肝癌
		17 胆石症、胆嚢炎、胆管炎
		18 急性膵炎、慢性膵炎
		19 膵癌
		20 鼠径ヘルニア
		21 腸閉塞
		22 腸重積症
		23 汎発性腹膜炎
	G 血液・造血器疾患	1 鉄欠乏性貧血、二次性貧血
		2 急性白血病、慢性白血病
		3 播種性血管内凝固<DIC>
		4 悪性リンパ腫
	H 腎・泌尿器・生殖器疾患	1 急性糸球体腎炎症候群、慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群
		2 急性腎盂腎炎、尿路感染症
		3 糖尿病腎症
		4 急性腎不全、慢性腎不全
		5 腎癌、膀胱癌
		6 尿路結石
		7 前立腺肥大症、前立腺癌
		8 更年期障害
		9 子宮内膜症、月経困難症
		10 子宮筋腫
		11 子宮頸癌
		12 子宮体癌
		13 卵巣癌
	I 神経・運動器疾患	1 認知症
		2 緊張型頭痛、片頭痛
		3 脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫
		4 脳梗塞
		5 Parkinson病
		6 髄膜炎、脳炎、脳症
		7 熱性けいれん
		8 てんかん
		9 脳性麻痺
		10 頭部外傷、脊髄損傷
		11 変形性脊椎症、脊柱管狭窄症
		12 椎間板ヘルニア
		13 肩関節周囲炎

大 項 目	中 項 目	小 項 目
	J 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患 K アレルギー性疾患、膠原病、免疫病 L 感染性疾患 M 生活環境因子・職業性因子による疾患	14 変形性関節症
		15 骨折
		1 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症
		2 糖尿病
		3 脂質異常症、メタボリックシンドローム
		4 高尿酸血症、痛風
		5 骨粗鬆症
		6 乳癌
		1 アナフィラキシー
		2 関節リウマチ
		1 敗血症
		2 食中毒
		1 アルコール依存症、薬物依存症
		2 熱中症、寒冷による障害
13 治療の基本 約4%	A リハビリテーション	1 日常生活動作<ADL>の評価
		2 種類と適応、リハビリテーション処方
	B 在宅医療と介護	1 環境整備
		2 患者・家族の心理
		3 医療・福祉と介護の連携
		4 在宅酸素療法、在宅栄養療法
		5 在宅での看取り
	C 医用機器と人工臓器	1 種類と適応
		2 原理
	D 輸血	1 種類
		2 適応と合併症
	E 移植	1 種類
		2 適応と合併症
		3 免疫抑制薬と拒絶反応
	F 放射線治療	1 種類
		2 適応と合併症
	G 輸液療法	1 種類
		2 適応と合併症
	H 栄養療法	1 経口栄養
		2 経静脈栄養
		3 経管栄養(経腸栄養、胃瘻<PEG>)
	I 薬物療法	1 処方箋の書き方
		2 服薬アドヒアランス
		3 副作用と薬物相互作用
		4 薬物アレルギー
		5 基本的な治療薬
	J 褥瘡の処置・治療	1 チーム医療
		2 予防、評価、治療
14 基本的手技 約4%	A 一般的手技	1 静脈採血
		2 末梢静脈の血管確保
		3 動脈採血

大 項 目	中 項 目	小 項 目
		4 穿刺
		5 胃管の挿入
		6 尿道ドレーンの挿入
		7 気道確保
	B 注射	1 皮内
		2 皮下
		3 筋肉
		4 静脈
	C 外科手技	1 清潔操作
		2 縫合
		3 創の消毒
		4 創の被覆
		5 手術介助
15 死と終末期ケア 約2%	A 死の判定と診断	1 心臓死、脳死、脳死判定基準
		2 異状死
		3 死亡診断、死体検案
	B 緩和ケア	1 緩和ケアの概念
		2 全人的苦痛〈トータルペイン〉
		3 身体的苦痛の緩和
		4 精神的苦痛の緩和
		5 WHO方式3段階除痛ラダー
		6 ホスピス、緩和ケア病棟〈PCU〉
		7 緩和ケアチーム
		8 家族ケアとチームアプローチ
	C 終末期ケア	1 死に至る心の過程
		2 終末期患者とのコミュニケーション
		3 終末期における意志決定の支援
		4 尊厳死、リビングウィル
		5 DNAR〈do not attempt resuscitation〉
		6 終末期における水分・栄養管理
		7 延命治療の中止の決定
		8 安楽死
		9 家族のケア、グリーフケア
		10 小児の特殊性
16 チーム医療 約2%	A 医療機関でのチームワーク	1 医師間の連携
		2 医師以外の医療専門職の役割
		3 医師を含む医療専門職の連携
	B 地域医療でのチームワーク	1 病診連携、病病連携
		2 保健・医療・福祉・介護・教育の連携
		3 家族との連携
		4 クリニカルパス
	C コンサルテーション	1 自己責任と自分の限界
	D 社会生活	1 社会復帰
		2 社会保障制度(所得、介護、障害)
		3 人的支援

大 項 目	中 項 目	小 項 目
		4 物的支援(福祉用具)
		5 自立
17 生活習慣とリスク 約5%	A 基本概念	1 国民健康づくり運動 2 生活習慣病のリスクファクター 3 健康寿命の延伸とQOL<生活の質、quality of life>の向上 4 行動変容 5 健康づくり支援のための環境整備
	B 栄養、食生活	1 食事摂取基準 2 栄養マネジメント<栄養管理> 3 食行動
	C 身体活動、運動	1 身体活動とエネルギー消費 2 運動の効用
	D 休養・心の健康	1 睡眠の質、不眠 2 ストレス対策 3 過労予防対策 4 自殺の予防
	E 喫煙	1 喫煙状況 2 喫煙の有害性 3 受動喫煙 4 禁煙支援
	F 飲酒	1 飲酒状況 2 飲酒の有害性 3 アルコール依存への支援
	G 生涯設計	1 環境レベル 2 知識レベル 3 行動レベルと行動変容
18 一般教養的事項 約2%	A 医学史	
	B 医学・医療に関する 人文・社会科学・自 然科学・芸術など に関連する一般教養 的知識や考え方	
	C 診療に必要な一般 的な医学英語	

医学総論

I 保健医療論 [約 10%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 健康・疾病・障害の概念と社会環境 約20%	A 健康の概念	1 健康の定義	
		2 健康の概念の歴史的変遷	
	B 環境と健康	1 宿主	
		2 病因	リスクファクター
		3 環境	
		4 行動	
	C 社会環境の変動と国民の健康	1 人口構造	
		2 疾病構造	
		3 生活様式	
		4 家族構成	
		5 地域社会構造	
		6 産業構造	
	D 疾病・障害の概念と社会	1 機能障害<impairment>、活動制限<activity limitations>、参加制約<participation restrictions>	
		2 QOL<生活の質、quality of life>	
		3 ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン	
2 社会保障制度と医療経済 約10%	A 社会保障の概念と制度	1 公的扶助	
		2 社会保険	
		3 公衆衛生と医療	
		4 社会福祉	
	B 医療保険、介護保険、公費医療	1 医療保険の種類と対象	
		2 介護保険	
		3 公費医療の種類と対象	
		4 保険医、保険医療機関	保険医療機関及び保険医療養担当規則
	C 医療経済	1 国民医療費	
		2 医療費負担と給付	
3 保健・医療・福祉・介護の仕組み 約15%	A 保健・医療・福祉・介護の組織と連携	1 国と地方公共団体	
		2 保健所	
		3 地方衛生研究所	
		4 市町村保健センター	
		5 社会福祉関係施設	
		6 児童相談所、福祉施設	
	B 少子化社会・障害児<者>への対応	1 健やか親子21	
		2 次世代育成支援対策推進法	
		3 障害者基本計画	
	C 在宅ケア	1 在宅医療	訪問診療、往診
		2 訪問看護	
		3 在宅介護	訪問介護、通所介護<デイサービス>
		4 在宅リハビリテーション	訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション<デイケア>
		5 地域保健福祉活動	

大項目	中項目	小項目	備考
4 保健・医療・福祉・介護の資源 約15%	A 保健・医療・福祉・介護の施設と機能	1 病院	
		2 診療所	
		3 地域医療支援病院	
		4 特定機能病院	
		5 療養病床	
		6 保険薬局	医薬分業
		7 介護保険施設(介護老人福祉施設<特別養護老人ホーム>、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)	
		8 居宅サービス	ショートステイ、グループホーム
		9 訪問看護ステーション	
		10 居宅介護支援事業所	介護支援専門員<ケアマネジャー>
		11 要介護認定	介護保険主治医意見書、介護サービスプラン<ケアプラン>
		12 地域包括支援センター	
		13 医療安全支援センター	
5 保健・医療・福祉・介護関係法規 約15%	B 保健・医療・福祉・介護従事者	1 保健・医療・福祉介護従事者の現状と役割	
		2 連携とチーム医療	
		3 医行為と診療補助行為	
	A 医事	1 医師法	
		2 医療法	
		3 刑法	秘密の漏示、文書偽造、過失傷害、堕胎
		4 民法	説明義務、注意義務、過失(予見性、回避義務)
		5 死産の届出に関する規定	
		6 死体解剖保存法	
		7 臓器の移植に関する法律	
		8 医学及び歯学の教育のための献体に関する法律	
		9 個人情報保護法	
	B 薬事	1 薬事法	医薬品医療機器総合機構
		2 毒物及び劇物取締法	
		3 麻薬及び向精神薬取締法	
		4 覚せい剤取締法	
	C 地域保健	1 地域保健法	
		2 健康増進法	
	D 母子保健	1 母子保健法	
		2 母体保護法	
		3 児童虐待の防止等に関する法律	
	E 成人・高齢者保健	1 高齢者の医療の確保に関する法律<高齢者医療確保法>	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		2 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律<DV法>	
		3 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律	
	F 精神保健	1 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>	
		2 自殺対策基本法	
		3 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律<医療観察法>	
		4 民法(成年後見制度)	
	G 感染症対策	1 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律<感染症法>	
		2 検疫法	
		3 予防接種法	
	H がん対策	1 がん対策基本法	
	I 食品保健	1 食品衛生法	
	J 学校保健	1 学校保健安全法	
	K 産業保健	1 労働基準法	
		2 労働安全衛生法	
		3 労働者災害補償保険法	
		4 じん肺法	
	L 環境保健	1 環境基本法	
		2 公害健康被害の補償等に関する法律	
		3 水道法	
		4 下水道法	
		5 廃棄物の処理及び清掃に関する法律<廃棄物処理法>	
		6 建築物における衛生的環境の確保に関する法律<建築物衛生法>	
	M 医療保険	1 健康保険法	
		2 国民健康保険法	
	N 社会福祉・介護	1 老人福祉法	
		2 生活保護法	
		3 児童福祉法	
		4 障害者基本法	
		5 身体障害者福祉法	
		6 知的障害者福祉法	
		7 介護保険法	
6 地域保健、地域医療 約15%	A 地域保健・地域医療と医師の役割	1 医師会	
		2 医療連携	
		3 自治体との連携	
	B 医療計画	1 医療圏	
		2 基準病床数	
		3 地域医療支援病院の整備	
		4 病院・診療所・薬局の連携	

大項目	中項目	小項目	備考
		5 へき地医療・救急医療の確保	
		6 医療従事者の確保	
		7 地域連携クリニカルパス	
	C プライマリヘルスケア	1 概念と活動内容	
		2 アルマ・アタ<Alma Ata>宣言	
	D 健康増進とヘルスプロモーション	1 健康増進の概念	
		2 ヘルスプロモーションの概念、オタワ憲章、バンコク憲章	
	E 救急医療	1 救急医療体制	
		2 初期・2次・3次救急医療	
		3 救急医療機関	救命救急センター、救急指定病院、休日夜間急患センター、在宅当番医
		4 救急医療情報	
		5 救急搬送方法	救急医療用ヘリコプター<ドクターヘリ>、ドクターカー、救急車
		6 応急処置<病院前救護>	救急救命士、特定行為
		7 応急手当	
	F 災害医療	1 災害時保健医療	
		2 医療救護班	災害派遣医療チーム<DMAT、disaster medical assistance team>
		3 災害拠点病院	
		4 トリアージ	SCU<staging care unit>
		5 広域災害医療	
	G 離島・へき地医療	1 へき地医療拠点病院	
		2 へき地診療所	
		3 無医地区	遠隔医療
		4 へき地保健医療計画	
		5 へき地医療支援機構	
7 国際保健 約10%	A 世界の保健・医療問題	1 国連ミレニアム開発目標<MDG>	
		2 母子の健康状況	
		3 感染症	
		4 非感染性疾患<NCD>	
	B 国際保健・医療協力	1 国際連合<UN>	
		2 世界保健機関<WHO>	
		3 国際労働機関<ILO>	
		4 国連児童基金<UNICEF>	
		5 国連食糧農業機関<FAO>	
		6 国連合同エイズ計画<UNAIDS>	
		7 国際協力機構<JICA>	
		8 政府開発援助<ODA>	二国間協力、多国間協力
		9 非政府機関<NGO>	

Ⅱ 予防と健康管理・増進 [約 13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 予防医学と健康保持増進 約12%	A 地域社会と公衆衛生	1 コミュニティヘルス	
		2 公衆衛生の概念と機能	
	B 予防医学	1 予防医学の概念	
		2 一次予防、二次予防、三次予防	
	C 健康保持・増進	1 健康教育・学習、保健指導、健康相談	
		2 健康保持・増進の概念	
	D 健康診断・診査と健康管理	1 健康管理の概念・方法	
		2 健康診断・診査と事後指導	
2 人口統計と保健統計 約 8 %	A 人口静態統計	1 日本の人口	
		2 国勢調査	
		3 世界の人口	
	B 人口動態統計	1 出生と死亡	
		2 結婚と離婚	
		3 死産	
		4 再生産率、合計特殊出生率	
		5 生命関数表	平均余命、平均寿命
	C 疾病・障害の分類・統計	1 国際疾病分類<ICD>	
		2 国際生活機能分類<ICF>	
		3 国民生活基礎調査	
		4 患者調査	
		5 身体障害児実態調査、身体障害者実態調査	
3 疫学とその応用 約 8 %	A 疫学の概念	1 宿主、病因、環境	リスクファクター
		2 疾病の自然史	
		3 頻度と分布	
		4 標本の抽出	
		5 疫学的因果関係	母集団と標本、妥当性、バイアス、交絡因子、偶然性
	B 疫学指標	1 罹患率、有病率	死亡率
		2 年齢調整率、標準化死亡比<SMR>	
		3 相対危険度<relative risk> (リスク比)、寄与危険度<attributable risk>、オッズ比<odds ratio>	
	C 統計解析	1 代表値とばらつき	代表値、標準偏差、標準誤差
		2 有意差検定と推定	点推定と区間推定、有意確率<P値>、95%信頼区間
		3 生存分析	
	D 観察研究	1 記述疫学	
		2 横断研究	
		3 症例対照研究	
		4 コホート研究	
	E 介入研究	1 臨床試験	
		2 ランダム化比較試験<無作為比較対照試験、RCT>	割付け重視の分析<ITT>、ブラセボ、二重盲検法

大項目	中項目	小項目	備考
4 母子保健 約12%	A 現状と動向	1 出生	
		2 妊産婦死亡	
		3 死産	
		4 周産期死亡	
		5 新生児・乳児死亡	
		6 人工妊娠中絶	
	B 母性保健、周産期の保護	1 家族計画、不妊	
		2 母子健康手帳	
		3 妊産婦健康診査	
		4 産休制度、育児休業制度	
		5 環境因子と胎児障害	飲酒、喫煙、感染症、薬物、環境汚染、放射線
	C 小児の保健・福祉	1 乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査	
		2 育児指導	
		3 養育医療	
		4 自立支援医療	
		5 新生児マススクリーニング	
		6 児童虐待の予防	
5 成人保健 約4%	A 現状と動向	1 生活習慣病の罹患と死亡	
	B 生活習慣病と保健対策	1 生活習慣病のリスクファクター	メタボリックシンドローム
		2 予防対策とその評価	
		3 特定健康診査、特定保健指導	
6 高齢者保健 約4%	A 現状と動向	1 高齢者の人口・死因・受療率・有訴率	
		2 要介護の原因	
	B 高齢者の健康保持・増進	1 加齢と健康状態	
		2 日常生活動作<ADL>	
		3 QOL<生活の質、quality of life>	
		4 閉じこもり、廃用症候群	
		5 介護予防	
7 精神保健福祉 約8%	A 現状と動向	1 精神障害者	
		2 こころの健康づくり	自殺対策
		3 精神保健福祉センター	
		4 精神障害者社会復帰施設	
	B 精神的健康の保持・増進	1 精神保健福祉相談	学校精神保健、産業精神保健
		2 地域精神保健福祉活動	
8 感染症対策 約16%	A 感染症の疫学	1 主な感染症の疫学と流行状況	
		2 感染症発生動向調査<サーベイランス>	
		3 母子感染	
		4 院内感染	
	B 医師と自治体の対応	1 健康診断、入院、届出	
		2 就業制限	学校における出席停止

大項目	中項目	小項目	備考
	C 予防接種と検疫	1 集団予防と個人予防	
		2 予防接種	
		3 生ワクチンと不活化ワクチン	
		4 検疫	
		5 人獣共通感染症対策	
		6 バイオテロ対策	
9 国民栄養と食品保健 約4%	A 国民栄養の現状と対策	1 食事調査	
		2 国民健康・栄養調査	
		3 食事摂取基準	
		4 食生活指針	食事バランスガイド
		5 栄養教育・指導	
	B 食品の安全性と機能性	1 食品添加物	ADI<1日の摂取許容量>
		2 食品中の汚染物質	HACCP<ハサップ手法>
		3 遺伝子組換え食品	
		4 保健機能食品、特別用途食品、健康食品	
10 学校保健 約4%	A 学校保健の現状と動向	1 学齢期好発疾患と予防	
		2 体格、体力	
	B 学校医と保健管理	1 学校医の職務	
		2 養護教諭	
		3 健康診断	
		4 児童の慢性疾患と保健管理	
		5 学校における感染症の予防	
		6 学校精神保健	
		7 児童の事故と対策（学校安全教育・安全管理）	
11 産業保健 約8%	A 産業保健の仕組み	1 労働者の医療保険	
		2 労働者の健康増進	
		3 労働災害の補償	
	B 現状と動向	1 業務上疾病の発生状況	
		2 労働力の動向	正規雇用、非正規雇用、高齢者労働
	C 産業医と労働安全衛生管理	1 労働衛生管理体制	
		2 産業医の資格と職務	
		3 健康管理、作業環境管理、作業管理	
		4 許容濃度、管理濃度	
		5 生物学的モニタリング	
		6 労働災害	
		7 健康保持増進対策	トータルヘルスプロモーションプラン<THP>
		8 労働安全衛生マネジメントシステム	
		9 過重労働対策	
		10 メンタルヘルス対策	

大項目	中項目	小項目	備考
		11 都道府県労働局、労働基準監督署、地域産業保健センター、都道府県産業保健推進センター	
		12 健康診断・診査と事後指導	
12 環境保健 約12%	A 環境と適応	1 環境の概念	
		2 生態系と生物濃縮	
		3 有害物質の吸収・排泄	
	B 地球環境の変化と健康影響	1 地球温暖化	
		2 オゾン層破壊	
		3 酸性雨	
		4 砂漠化	
	C 環境汚染の発生要因と健康影響	1 環境汚染の概念（エピソード）	環境保全
		2 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染	汚染の指標
		3 内分泌かく乱化学物質、ダイオキシン類	
		4 農薬、重金属類	
		5 石綿	
	D 上水道と下水道	1 水質基準	
		2 浄水法と消毒	
		3 水系感染症	
		4 汚染処理	
	E 公害の健康被害と対策	1 公害の概念	
		2 主な公害のエピソード	
		3 公害健康被害補償制度	
	F 環境汚染の評価と対策	1 環境基準、排出規制	
		2 環境モニタリング	
		3 環境影響評価<アセスメント>	
	G 廃棄物処理	1 一般廃棄物	
		2 産業廃棄物	
		3 感染性廃棄物	
		4 リサイクル	
	H 騒音・振動の健康影響と対策	1 騒音の聴器・聴覚への影響、騒音性難聴	
		2 騒音の生理的・心理的影響	
		3 全身振動	
		4 局所振動	
		5 低周波空気振動	
		6 評価と対策	
	I 放射線の健康影響と管理	1 非電離放射線の健康影響	
		2 電離放射線の健康影響	
		3 放射線管理	
		4 放射性廃棄物	
	J 居住・衣服環境と健康	1 屋内環境の管理	換気、採光、照明、冷暖房
		2 建築物衛生	
		3 衣服の機能と健康	

Ⅲ 人体の正常構造と機能 [約 10%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 個体の構造 約10%	A 細胞、組織		
	B 局所解剖	1 正常画像	周囲臓器との位置関係
2 皮膚、頭頸部、 感覚器、発声器 約10%	A 皮膚の構造・機能	1 表皮、真皮、付属器、脈管、神経、皮下組織	
		2 角化、メラニン生成、免疫機能、Langerhans細胞、細胞間接着、基底膜	
		3 細胞間脂質	
		4 結合組織の代謝	
		5 発汗	
		6 皮脂	
		7 毛周期	
		8 経皮吸収	
	B 頭蓋・頭蓋腔の構造		
	C 顔面の構造	1 眼窩、{眼}瞼裂、外鼻孔、鼻根、人中、口唇、口角、三叉神経、顔面神経	
	D 頸部の構造	1 頸筋膜、頸筋群、頸動脈、頸静脈、迷走神経、反回神経、副神経、舌下神経、舌神経、腕神経叢、横隔神経、交感神経幹、星状神経節	
	E 頭頸部の生理的間隙	1 咽後間隙、副咽頭間隙	
	F 視覚系の構造・機能	1 眼球[角膜、強膜、ぶどう膜(虹彩、毛様体、脈絡膜)、網膜、硝子体、水晶体、眼房、隅角]と眼球付属器(眼瞼、涙器、結膜、外眼筋、眼窩)	
		2 視神経、視{神経}交叉、視索、外側膝状体、視放線、視中枢	
		3 視機能[視力、視野、色覚、光覚(暗順応)、屈折、調節、両眼視、瞳孔、眼圧、眼位、眼球運動、輻湊、開散、開瞼、閉瞼]	
	G 聴覚系の構造・機能	1 聴器[外耳(耳介、外耳道、鼓膜)、中耳(耳小骨、蝸牛窓、前庭窓、乳突洞)、内耳(蝸牛、ラセン器、有毛細胞)]	
		2 聴覚生理、聴力(伝音機構、感音機構、聴覚の電気現象)	
	H 前庭平衡系の構造・機能	1 末梢前庭器官(球形嚢、卵形嚢、三半規管)	
		2 前庭反射	
	I 嗅覚系・味覚系の構造・機能	1 嗅上皮	
		2 味蕾	

大項目	中項目	小項目	備考
	J 発声器の構造・機能	1 声帯、内喉頭筋、粘膜波動、上喉頭神経、反回神経（下喉頭神経）	
	K 体性感覚系の構造・機能	1 痛覚	
		2 温度覚	
		3 触覚	
3 呼吸器、胸郭、胸壁 約10%	A 胸郭の構造・機能	4 深部感覚	
		1 胸膜、胸壁、横隔膜	横隔神経、肋間神経、迷走神経、反回神経、交感神経幹
		2 乳房（乳腺、Montgomery腺）	
		3 縦隔	上縦隔、前縦隔、中縦隔、後縦隔
	B 上気道・下気道の構造・機能	4 胸腺	
		1 鼻、鼻腔、副鼻腔、喉頭、声帯、気管、気管支	
		2 吸気の加温・加湿	
		3 保護・防御機能	
	C 肺の構造・機能	4 呼吸機能	
		1 気管、気管支、肺胞	
		2 肺血管系	
		3 肺のリンパ管とリンパ節	
		4 肺表面活性物質	
		5 肺気量分画	
		6 換気、死腔	換気力学（胸腔内圧、肺コンプライアンス、抵抗、closing volume）
		7 換気・血流比	
		8 拡散	
		9 肺泡気-動脈血酸素分圧較差 <A-aDO ₂ >	換気分布
		10 呼吸の調節（換気量）	
		11 血液中のガス運搬	
		12 酸塩基平衡	
		13 代謝	
		14 防御機能	
	D 呼吸運動	1 呼吸筋	
		2 呼吸調節、末梢受容体、呼吸中枢、無呼吸反射	
4 心臓、脈管 約10%	A 心臓・血管の構造・機能	1 心臓、大血管、冠血管、末梢血管	
		2 心臓の興奮と伝導	洞結節、房室結節
		3 心周期と時相	
		4 心機能、心筋収縮性・拡張性	
		5 心拍出量	
		6 血圧	
		7 循環血液量	
		8 体循環	冠循環

大項目	中項目	小項目	備考
		9 肺循環	
		10 循環動態の調節	
		11 容量血管と抵抗血管	
		12 末梢血管抵抗	
		13 静脈還流	
	B リンパ管の構造と機能	1 リンパ管とリンパ節	
		2 胸管	
5 消化器、腹壁、腹膜 約10%	A 口腔・咽頭の構造・機能	1 歯、舌、唾液腺、口蓋、扁桃、耳管、上・中・下咽頭	
		2 咬合、咀嚼、消化、食塊形成、唾液	摂食機能、口腔環境
		3 嚥下	嚥下機能
	B 消化管の構造・機能	1 消化管壁の構造	
		2 脈管系	門脈系、上腸間膜血管
		3 神経系	
		4 消化管運動	食道内圧、胃腸反射
		5 消化管の消化・吸収	
		6 胃液の分泌	
		7 消化管生理活性物質	消化管ホルモン、増殖因子
		8 消化管の免疫	腸内細菌叢
		9 排便機能	直腸肛門反射
	C 肝・胆道・膵の構造・機能	1 肝・胆道・膵の構造	
		2 肝臓の機能	
		3 胆汁および胆汁分泌	胆嚢収縮の調整
		4 腸肝循環	胆汁酸
		5 膵内外分泌	
	D 腹壁・腹膜の構造・機能	1 腹壁の筋肉・筋膜	
		2 神経系	
		3 腹腔内臓器、腹膜	後腹膜臓器
6 血液、造血器 約10%	A 血液・造血器の構造・機能	1 骨髄、リンパ組織、脾	
		2 血球の産生・崩壊とその調節	造血幹細胞
		3 赤血球の形態・機能	
		4 白血球の形態・機能	
		5 髄外造血	
		6 鉄・造血ビタミンの代謝	ヘプシジン、葉酸、ビタミンB ₁₂
		7 止血機能と血管壁、血小板、凝固・線溶系	
		8 血漿とその成分	蛋白分画
		9 造血因子、サイトカイン	エリスロポエチン、G-CSF、トロンボポエチン
7 腎、泌尿器、生殖器 約10%	A 腎の構造・機能	1 腎（糸球体、尿細管、間質、血管系）	
		2 体液の量と組成	
		3 尿の生成	尿の濃縮と希釈

大項目	中項目	小項目	備考
		4 水・電解質の代謝	ホメオスタシス
		5 酸塩基平衡	
		6 腎の内分泌機能	エリスロポエチン、ビタミンD、レニン
		7 血圧の調整	
	B 尿路の構造・機能	1 腎杯、腎盂、尿管、膀胱、前立腺、尿道	
		2 蓄尿、排尿	
	C 男性生殖器の構造・機能	1 精巣、精巣上体、精管、精嚢、前立腺、陰茎	
		2 造精機能	
		3 勃起	
		4 射精	
		5 脈管系	
		6 神経系	
		7 視床下部・下垂体・精巣系	
	D 女性生殖器の構造・機能	1 外陰、会陰、膣、子宮、子宮支持組織、卵巣、卵管、骨盤骨、骨盤底、Douglas窩、Bartholin腺、Skene腺	
		2 脈管系	
		3 神経系	
		4 視床下部・下垂体・卵巣系	
		5 性周期(排卵、子宮内膜の周期性変化、月経、性器外周期、基礎体温)	
8 心理、精神、神経、運動器 約10%	A 心理・精神機能	1 意識	
		2 知覚	
		3 記憶	
		4 見当識	
		5 知能	
		6 思考	
		7 感情、気分	
		8 意欲と行動	
		9 自我	
		10 気質、性格、パーソナリティ<人格>	
	B 精神機能と身体	1 睡眠	レム<REM>睡眠、ノンレム睡眠
		2 日内<概日>リズム<サーカディアンリズム>	
		3 神経伝達物質	
	C 中枢神経・末梢神経の構造・機能	1 頭蓋、脳、脊柱、脊椎、脊髄、神経根	
		2 脳室、脳槽、髄膜	髄液の分泌・循環・吸収
		3 大脳皮質と機能局在	高次脳機能
		4 大脳基底核とその連絡路	
		5 視床	

大項目	中項目	小項目	備考
		6 視床下部、下垂体	
		7 海馬、扁桃体、辺縁系	
		8 脳幹	
		9 小脳とその連絡路	
		10 脳神経	
		11 嗅覚路	
		12 視覚路	
		13 聴覚・前庭路	
		14 脊髄の機能局在と主な伝導路	
		15 末梢神経	
		16 自律神経系	
		17 運動系伝導路	
		18 感覚系伝導路	デルマトーム
		19 反射	求心路、中枢、遠心路
	D 脳・脊髄血管系とその支配領域	1 頸動脈領域	
		2 椎骨・脳底動脈領域	
		3 Willis動脈輪	
		4 脳静脈系	静脈洞
		5 脊髄動脈系	
	E 運動器の構造・機能	1 骨、軟骨、筋肉、腱、靱帯、末梢神経	
		2 骨格(頭蓋、脊柱、胸郭、骨盤、四肢)	
		3 関節(関節軟骨、滑膜、関節包、半月板、椎間板)	
		4 骨の成長と骨形成・吸収	成長軟骨
		5 神経支配	
		6 運動生理	
9 内分泌、代謝、栄養 約10%	A 内分泌器官の構造・機能	1 内分泌器官	視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺<上皮小体>、副腎皮質・髓質、膵島、腎、性腺
		2 ホルモンの種類	
		3 ホルモンの合成・分泌とその調節	
		4 ホルモンの作用機序	
		5 内分泌系と免疫系・精神神経系	ホメオスタシス
	B 代謝と栄養	1 代謝と内分泌	
		2 代謝経路	
		3 代謝調節	
		4 食事摂取基準	
		5 栄養素の役割とバランス	
10 免疫 約10%	A 免疫系臓器	1 中枢性免疫系臓器(骨髄、胸腺)	
		2 末梢性免疫系臓器(リンパ節、脾、扁桃、粘膜関連リンパ組織<MALT>)	
	B 自然免疫	1 好中球、好酸球、単球、NK細胞	TLR<toll-like receptor>

大項目	中項目	小項目	備考
	C 獲得免疫	1 Tリンパ球<T細胞>	ヘルパーT細胞（Th1、Th2、Th17）、細胞傷害性T細胞<CTL>、制御性T細胞<Treg>
		2 Bリンパ球<B細胞>、形質細胞	
		3 抗原提示細胞（マクロファージ、樹状細胞）、リンパ濾胞	
	D 免疫系の調節	1 免疫グロブリン	
		2 補体	
		3 サイトカイン、ケモカイン	
		4 免疫応答とその調節	
		5 組織適合{性}抗原<HLA>	
		6 免疫寛容	

IV 生殖、発生、成長・発達、加齢 [約 10%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 妊娠 約15%	A 妊娠の成立・維持	1 受精	
		2 受精卵の分割と輸送	
		3 着床	
		4 妊娠維持の機構	
		5 妊娠持続期間	
	B 胎児付属物	1 胎盤	
		2 卵膜	
		3 臍帯	
		4 羊水	
	C 胎児・胎盤系	1 胎児・胎盤循環	動脈管、静脈管
		2 内分泌機能	
		3 ガス・物質交換と代謝	
	D 妊娠による母体変化	1 妊娠徴候	
		2 性器の変化	
		3 全身の変化（性器以外）	
	E 妊婦の栄養		
2 分娩 約15%	A 分娩の3要素	1 産道（骨産道、軟産道）	
		2 娩出物（胎児、胎児付属物）	胎向、胎位、胎勢
		3 娩出力（陣痛、腹圧）	
	B 分娩の経過	1 前徴	産徴、前陣痛<前駆陣痛>
		2 分娩の開始	
		3 分娩時期（第1期<開口期>、第2期<娩出期>、第3期<後産期>）	
		4 破水	
		5 児頭の浮動・下降・進入・固定・嵌入	
		6 回旋（第1～4回旋）	
		7 児頭の変形	応形機能、骨重積、産瘤
		8 児の娩出	排臨、発露
		9 胎盤の娩出	
3 産褥 約10%	A 産褥の経過	1 後陣痛	
		2 子宮復古	
		3 悪露	
		4 産褥無月経、授乳性無月経	
		5 全身の復古	
	B 乳汁分泌	1 乳汁分泌の機序	
		2 初乳	
		3 成熟乳<成乳>	
4 胎児 約10%	A 胎児の発育	1 妊卵<胚>、胎芽、胎児	
		2 器官形成期	
		3 成長の評価	
		4 妊娠期間、胎児の形態	
	B 器官形成と臓器の成熟	1 皮膚	
		2 感覚器	
		3 呼吸器	

大項目	中項目	小項目	備考
		4 循環器	
		5 消化器	
		6 血液、造血器	
		7 腎、泌尿器、生殖器	Wolff管、Müller管
		8 神経、運動器	
		9 内分泌、代謝	
		10 免疫	
5 新生児 約15%	A 成熟徴候	1 在胎週数	
		2 出生時の身長・体重	
		3 身体的特徴	
		4 頭囲、胸囲	
		5 大泉門	
	B 新生児の生理	1 呼吸	
		2 循環	臍帯脱落
		3 体温	
		4 腎臓、体液	
		5 肝臓、ビリルビン代謝	生理的黄疸
		6 消化	胎便、移行便、生理的体重減少
		7 血液、免疫	IgG、IgA、IgM、胎児ヘモグロビン
6 小児期 約15%	A 小児の成長	1 発育区分	乳児期、幼児期、学童期
		2 身体発育	成長速度曲線、身長・体重・頭囲・胸囲、プロポーシヨン
		3 生歯	
		4 骨年齢	
		5 成長の評価	成長曲線、成長速度曲線、発育指数(Kaup指数、Rohrer指数、肥満度)
	B 小児の発達	1 反射(原始反射と姿勢反射)	Moro反射、背反射、緊張<強直>性頸反射、交叉伸展反射、探索反射、吸啜反射、把握反射、Babinski反射、立ち直り反射、Landau反射、パラシュート反射
		2 運動	
		3 精神	
		4 言語発達	
		5 生活習慣	
		6 社会性	
		7 視力、聴力	
		8 評価	スクリーニング法、発達指数、知能指数
	C 小児栄養	1 栄養所要量	
		2 母乳栄養	

大項目	中項目	小項目	備考
		3 人工栄養	
		4 離乳	
		5 幼児・学童の栄養	
		6 栄養状態の評価	
		7 過剰と欠乏	
7 思春期、青年期 約10%	A 身体の成長・発達	1 成長スパート<growth spurt>	
		2 二次性徴	
		3 思春期の発来機序	
	B 精神発達	1 発達区分	
		2 発達理論	
		3 思春期危機	
		4 自我<自己>同一性形成	性役割、職業役割
		5 学習と社会経験	
8 加齢、老化 約10%	A 細胞・組織の加齢現象	1 細胞数の減少、組織の萎縮	
		2 細胞の老化	
		3 組織の機能低下	
	B 加齢による臓器・機能の変化、疾患の特徴	1 皮膚	
		2 感覚器	
		3 呼吸器	
		4 消化器	
		5 心臓、脈管	
		6 腎、泌尿器、生殖器	
		7 中枢神経、末梢神経	
		8 運動器	
		9 血液、造血	
		10 内分泌、代謝	
		11 免疫	
	C 高齢者の生理的特徴	1 予備力・適応能力の低下	
		2 検査値の加齢変化	
	D 高齢者の心理的特徴	1 認知機能の低下	
		2 感情・意欲・性格の変化	
		3 行動の変化	
	E 高齢者の疾患の特徴と頻度の変化	1 非定型的症状	
		2 多疾患合併	
		3 老年症候群	誤嚥、転倒、失禁、褥瘡
		4 日常生活障害	
	F 寿命	1 余命への配慮	

V 病因、病態生理 [約 13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 疾病と影響因子 約 8 %	A 疾病の自然経過	1 発生病理	
		2 病期（前臨床期、臨床期）	
		3 病型	
	B 内因と外因	1 疾患関連遺伝子	
		2 遺伝子異常と環境因子	
	C 生活・職業・社会環境と疾病	1 生活習慣<ライフスタイル>	
		2 環境因子	
		3 労働適応	
		4 妊娠・出産・育児と労働	
		5 技術革新と健康障害	
	D ストレス	1 心理・社会的要因	
		2 自律神経・内分泌機能の変化	
		3 感情と行動の変化	
		4 ストレス関連疾患の誘発と症状増悪	
		5 災害、移民	
2 先天異常 約 8 %	A 原因と分類	1 単一遺伝子病	
		2 多因子遺伝	
		3 細胞質遺伝<ミトコンドリア遺伝病>	
		4 染色体異常	
		5 環境因子による奇形	
	B 遺伝形式	1 Mendel遺伝様式	
		2 非Mendel遺伝様式	
	C 染色体異常の種類	1 染色体異常の原因	
		2 数的異常	trisomy、monosomy
		3 構造異常	欠失、転座、iso染色体
		4 mosaic	
		5 隣接遺伝子症候群	
	D 遺伝相談	1 遺伝カウンセリング	
		2 出生前診断	
3 損傷、炎症 約 8 %	A 創傷の種類	1 開放性損傷、非開放性損傷	
		2 鋭的外力による損傷	
		3 鈍的外力による損傷	
		4 銃器による損傷	
	B 創傷の治癒過程	1 一次治癒、二次治癒	
		2 肉芽組織、瘢痕組織、肥厚性瘢痕、ケロイド	
	C 創傷治癒に影響する因子		
	D 外傷の病態		
	E 化学的損傷	1 アルカリによる損傷	
		2 酸による損傷	
	F 物理的損傷	1 熱傷	
		2 凍傷	

大項目	中項目	小項目	備考
		3 電撃傷	
		4 光線損傷	
		5 放射線障害	
		6 褥瘡	
	G 炎症の局所的変化	1 組織反応	
		2 症候	
	H 炎症の全身的变化	1 血液の変化	
		2 代謝性反応	
4 感染 約8%	A 概念	3 全身性炎症{性}反応症候群 〈SIRS〉	
		1 病原体	
		2 感染防御機構	易感染性宿主 〈compromised host〉
		3 感染と発症	キャリア（保菌者）
	B 病態	4 感染様式と経路	
		1 市中感染症	
		2 院内〈病院〉感染症	
		3 菌交代現象、菌交代症	
		4 薬剤耐性菌	
		5 日和見感染症〈opportunistic infection〉	
		6 二次感染、複数菌感染、敗血症	
		7 性感染症〈STD、STI〉	
		8 垂直感染	母子感染（子宮、産道、母乳）
		9 輸入感染症	
		10 新興・再興感染症	
		11 人獣共通感染症	
		12 バイオテロに関連する伝染性疾患	
5 アレルギー、 免疫異常 約8%	A 免疫異常疾患	1 免疫不全	
		2 自己免疫疾患	
	B アレルギー	1 Coombs分類	アナフィラキシー
6 腫瘍 約8%	A 腫瘍の疫学	1 罹患〈発生〉率	
		2 生存率	
		3 死亡率	
		4 予防	
	B 腫瘍の病因	1 発癌因子	
		2 癌と遺伝的要因・外的要因	
		3 癌遺伝子、癌抑制遺伝子	
	C 悪性腫瘍と免疫		後天性免疫不全症候群 〈AIDS〉
	D 腫瘍の病理・病態	1 腫瘍の定義	
		2 良性、悪性	
		3 上皮性、非上皮性	

大項目	中項目	小項目	備考
		4 腫瘍細胞の異型性と多形性	異形成
		5 潜在癌、偶発癌、上皮内癌、表在癌	
		6 早期癌、進行癌、転移癌、重複癌	
		7 局所浸潤	
		8 転移	リンパ行性転移、血行性転移
		9 播種	
		10 悪液質	
		11 臨床病期分類	TNM分類
		12 再発	
7 循環障害、臓器不全 約8%	A 血行障害	1 阻血、虚血	
		2 充血	
		3 うっ血	
		4 出血	
	B 梗塞	1 血栓	
		2 塞栓	
	C リンパ流障害	1 水腫	
		2 リンパ漏	
	D ショック	1 血流分布異常性ショック	アナフィラキシー、感染性<敗血症性>、神経原性
		2 循環血液量減少性ショック	出血性、体液喪失
		3 心原性ショック	心筋性、機械性、不整脈
		4 閉塞性ショック	心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸
	E 血圧異常	1 高血圧	
		2 低血圧	起立性低血圧、起立性調節障害
	F 臓器不全	1 臓器不全	
		2 多臓器不全(MOF)、多臓器機能障害(MODF)	
8 内分泌・代謝・栄養の異常 約8%	A ホルモンの合成・分泌の異常	1 欠乏と過剰	
		2 機能異常	
	B エネルギー及び栄養素の欠乏と過剰	1 低栄養、肥満	
		2 糖{質}・脂質・蛋白{質}代謝(核酸代謝を含む)の異常	
		3 ビタミン、無機質<ミネラル>、必須<微量>元素、必須<微量>栄養素	
9 中毒、放射線障害 約8%	A 中毒の発生要因		
	B 中毒の病態生理	1 毒物の吸収・分布・代謝・排泄	
		2 中毒量、致死量、LD ₅₀	用量反応曲線
		3 急性中毒、慢性中毒	
		4 発癌性	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		5 生殖毒性	
		6 依存	
	C 放射線の身体的影響	1 急性反応<障害>	放射線防護
		2 晩期反応<障害>	
		3 妊娠時期と放射線感受性	
	D 放射線の確率的影響 ・ 確定的影響	1 閾<しきい>線量	
		2 放射線による発がん	
		3 遺伝的影響	生殖腺線量、遺伝的有意線量、LNT仮説
10 医原病 約 8 %	A 診断に伴う医原病	1 医師の対応による医原病	
		2 診断操作による医原病	
	B 治療に伴う医原病		
11 死 約20%	A 死因の究明	1 内因性急死、突然死	
		2 乳幼児突然死症候群<SIDS>	
		3 診療関連死	
		4 監察医制度	
		5 司法解剖、行政解剖、承諾解剖	
		6 病理解剖	臨床病理検討会 〈CPC〉
	B 死後変化	1 早期死体現象	
		2 晩期死体現象	
		3 死後経過時間の推定	

VI 症候 [約 13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 全身症候 約16%	A 発熱		
	B 全身倦怠感		
	C 体重減少・増加		
	D ショック		
	E 意識障害		
	F けいれん		
	G めまい		
	H 脱水		皮膚の緊張度<ツルゴール>
	I 浮腫		
	J 顔貌の異常		
2 皮膚、外表 約 8 %	A 皮疹	1 紅斑	
		2 紫斑、出血斑	
		3 色素異常	
		4 丘疹	
		5 結節	
		6 腫瘍	
		7 水疱	
		8 膿疱	
		9 囊腫	
		10 膨疹、蕁麻疹	
		11 びらん	
		12 潰瘍	
		13 毛細血管拡張<telangiectasia>	
		14 硬化、萎縮	
		15 鱗屑、痂皮、落屑	
		16 壊疽	
	B 粘膜疹		アフタ
	C 爪・毛髪異常		匙状爪
	D 掻痒		
	E 皮膚分泌異常	1 発汗	
		2 皮脂	
	F デルマドローム		
	G 黄疸		
	H 手掌紅斑		
	I 脈管異常	1 血管・リンパ管奇形と腫瘍	くも状血管腫 <vascular spider>
	J 母斑		
	K 小奇形		
	L リンパ節腫脹		Virchow結節
	M 褥瘡		
	N 角化異常		
	O 光線過敏		
	P 痛み		
3 頭頸部、感覚器 約12%	A 頸部の異常	1 頸部腫瘍	
		2 甲状腺腫	

大項目	中項目	小項目	備考
	B 視機能障害	3 頸部腫脹	
		1 視力障害	
		2 視野異常	視野狭窄、半盲、暗点
		3 色覚異常	
		4 夜盲、昼盲	
		5 眼位異常（斜視）	
		6 異常眼球運動、眼振	
	C 眼症状	1 眼精疲労	
		2 眼痛	
		3 眼の充血	
		4 眼脂	
		5 流涙	
		6 眼の乾燥感	
		7 羞明	
		8 飛蚊症、光視症	
		9 変視症	
		10 複視	
	D 眼組織の異常	1 角膜混濁	
		2 房水セル、房水フレア	
		3 虹彩ルベオーシス	
		4 水晶体混濁	
		5 白色瞳孔	
		6 眼底出血	
	E 外眼部の異常	1 眼瞼下垂	
		2 {眼}瞼裂狭小	
	F 眼球の異常	1 眼球突出	
		2 眼球陥凹	
	G 耳の異常	1 難聴	伝音難聴、感音難聴、混合性難聴
		2 耳鳴	
		3 耳閉感	
		4 耳漏	
		5 耳痛	
	H 鼻の異常	1 鼻閉	
		2 鼻漏	
		3 鼻出血	Kiesselbach部位
		4 嗅覚障害	
	I 味覚障害		
4 呼吸器、心臓、血管 約12%	A 咽頭・喉頭の異常	1 いびき	
		2 咽頭痛	
		3 嘔声	
		4 咽頭喉頭異常感	
	B 気管・気管支の異常	1 咳嗽	
		2 喀痰	
		3 血痰、喀血	

大項目	中項目	小項目	備考
	C 呼吸の異常	4 喘鳴	
		1 呼吸困難、息切れ	低酸素<O ₂ >血症、高二酸化炭素<CO ₂ >血症、低二酸化炭素<CO ₂ >血症
		2 チアノーゼ	
		3 ばち指	
	D 呼吸リズムの異常	1 Kussmaul呼吸	
		2 Cheyne-Stokes呼吸	
		3 Biot呼吸	
		4 呼気延長	
	E 呼吸音の変化	1 呼吸音の増強	
		2 呼吸音の減弱、呼吸音の消失	
		3 気管支呼吸音	
		4 気管支肺泡呼吸音	
	F 副雑音	1 coarse crackles	
		2 fine crackles	
		3 rhonchi	
		4 wheezes	
		5 胸膜摩擦音	
		6 声音振盪	増強、減弱
	G 胸痛		
	H 失神		Adams-Stokes症候群
	I 胸水		
	J 異常心音	1 III音	
		2 IV音	
		3 opening snap	
		4 収縮中期クリック	
		5 奔馬調律	
		6 心膜ノック音	
	K 心雑音	1 無害性雑音	
		2 収縮期駆出性<収縮中期性>雑音	
		3 汎<全>収縮期雑音	
		4 拡張期輪転様雑音<拡張期ランブル>	
		5 拡張期灌水様<拡張早期性>雑音	
		6 連続性雑音	
		7 心膜摩擦音	
	L 不整脈	1 脈拍の欠損、絶対的不整脈	期外収縮、心房細動
	M 脈拍異常	1 速脈、遅脈	
		2 大脈、小脈	
		3 奇脈	
	N 血管雑音		
	O 血圧異常	1 高血圧	
		2 低血圧	
	P 間欠性跛行		

大項目	中項目	小項目	備考
5 消化器 約8%	A 食欲異常	1 食欲不振	
		2 過食	
	B 口および口腔内の異常	1 舌の異常	運動異常、味覚異常、疼痛、舌苔、イチゴ舌、巨大舌、潰瘍、硬結
		2 口腔粘膜の異常	アフタ
		3 唾液分泌異常	
		4 口腔内感染	口腔内カンジダ症
		5 歯、歯肉の異常	う歯
		6 口臭	肝性口臭
		7 開口障害、咀嚼障害	
	C 嚥下障害	1 嚥下痛	
		2 通過障害	
		3 誤嚥	廃用症候群、脳血管障害
	D 上部消化管逆流症状	1 胸やけ、呑酸	
		2 悪心、嘔吐	
	E 腹痛	1 内臓痛	
		2 体性痛	
		3 関連痛	
	F 腹膜刺激症状	1 筋性防御	
		2 反跳痛	Blumberg徴候
	G 消化管出血	1 吐血	
		2 下血	黒色便、血便
	H 便通異常	1 下痢	
		2 便秘	
	I 皮膚の異常	1 黄疸	{灰}白色便
		2 腹壁血管怒張	
	J 腹部膨隆、腹部腫瘍	1 鼓腸	
		2 腹水	
		3 腹部腫瘍	
	K 臓器腫大	1 肝腫大	
		2 脾腫	
6 血液、造血器、免疫 約12%	A 貧血		
	B リンパ節腫脹	1 反応性	
		2 腫瘍性	
	C 脾腫	1 反応性	
		2 腫瘍性	
	D 出血傾向	1 紫斑	
		2 点状出血	
		3 関節内出血、筋肉内出血	
	E 血栓傾向	1 動脈血栓	
		2 静脈血栓	
7 腎、泌尿器、生殖器 約8%	A 尿の量と回数の異常	1 無尿	
		2 乏尿	
		3 多尿	

大項目	中項目	小項目	備考
		4 夜間多尿	
		5 頻尿	
		6 夜間頻尿	
	B 排尿の異常	1 排尿痛	
		2 残尿感	
		3 排尿困難	
		4 尿閉	
		5 尿意切迫感	
		6 尿失禁	
		7 遺尿<夜尿>	
		8 尿瘻	
	C 尿の性状の異常	1 蛋白尿	
		2 糖尿	
		3 ビリルビン尿	
		4 血尿	
		5 膿尿	無菌性膿尿
		6 血色素<ヘモグロビン>尿	
		7 ミオグロビン尿	
		8 色素尿	
		9 乳び尿	
	D 精液の性状	1 血精液症	
	E 男性性機能の異常	1 勃起障害	
		2 射精障害	
	F 女性生殖器の異常	1 外生殖器<外陰部>の異常	
		2 女性性器・膀胱の下垂・脱出	
		3 帯下	
		4 月経異常（月経痛、中間痛<排卵痛>、月経周期と量の異常）	
		5 性器出血	
		6 不妊、不育	
	G 妊娠時の異常	1 妊娠悪阻	
		2 性器出血	
		3 下腹痛	
		4 破水	
8 心理、精神機能 約8%	A 知能障害	1 認知症	
		2 偽認知症	
	B 記憶障害	1 Korsakoff症候群	
		2 健忘	
	C 精神発達障害	1 知的障害<精神遅滞>	
		2 言語発達遅滞	
	D 失見当識		
	E 知覚障害	1 錯覚	
		2 幻覚	
	F 思考障害	1 思路障害	
		2 妄想	

大項目	中項目	小項目	備考
		3 強迫観念	
	G 感情障害	1 不安、パニック発作	
		2 恐怖	
		3 うつ状態	
		4 躁状態	
		5 両価性	
	H 自我障害	1 離人症、転換、解離	
		2 させられ<作為>体験	
	I 意欲と行動の障害	1 食欲異常	
		2 性欲異常	
		3 精神運動興奮	
		4 緊張病症状候群	
		5 注意欠陥・多動	
		6 無為、自閉	
	J 睡眠障害	1 不眠	
		2 過眠	
	K 不定愁訴	1 心気症	
	L 病識欠如		
	M 疎通性障害		
	N 高次脳機能障害	1 失語	Broca失語、Wernicke失語、Gerstmann症候群
		2 失行	
		3 失認	
		4 注意障害	
		5 遂行機能障害	
	O 脳局所症状、神経心理学的症状		
	P 広範な脳機能障害	1 植物状態	
		2 失外套症候群	
		3 無動無言症	
		4 閉じ込め症候群 <locked-in syndrome>	
		5 脳器質精神症候群	
	Q 意識障害	1 意識混濁	
		2 もうろう状態	
		3 せん妄	
9 神経、運動器 約8%	A 頭痛、頭重感	1 一次性頭痛、二次性頭痛	
	B 瞳孔異常	1 Horner症候群	
	C 脳神経障害		Bell麻痺
	D 言語障害	1 構音障害	
		2 言語発達障害	
		3 失語	
	E 髄膜刺激症候		Kernig徴候、Brudzinski徴候、髄膜炎、くも膜下出血
	F 頭囲の異常	1 大頭	

大項目	中項目	小項目	備考
		2 小頭	
		3 狭頭	
	G 筋の障害	1 筋萎縮	
		2 筋緊張異常	
		3 筋力低下	
		4 筋肉痛	
	H 反射異常		Babinski徴候<Babinski反射>、Chaddock反射
	I 運動系の異常	1 運動麻痺	
		2 不随意運動	振戦、強剛、ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア、アステレキシス、チック
		3 運動失調	
		4 錐体路症候	
		5 錐体外路症候	
		6 起立・歩行障害	
	J 平衡・感覚・自律神経系の障害	1 感覚鈍麻	
		2 異常感覚	
		3 平衡障害	
		4 自律神経障害	
	K 頭蓋内圧亢進		
	L 脊髄・神経根障害	1 脊髄障害	横断性脊髄症、Brown-Séquard症候群
		2 神経根障害	脊椎症性神経根症
		3 末梢神経障害	
	M 脊柱の異常	1 姿勢の異常	
		2 脊柱変形	側弯、後弯、前弯、円背、平背
		3 脊椎運動制限	
	N 関節の障害	1 関節拘縮	良肢位（機能肢位）
		2 関節強直	
		3 関節弛緩	
		4 関節動揺性	
		5 関節不安定性	
		6 関節痛	
		7 関節腫脹	
	O その他	1 肩凝り	
		2 腰背部痛	
		3 腰部痛	
10 内分泌、代謝、栄養 約8%	A 肥満、やせ		
	B 身長異常	1 高身長、低身長	
	C 体毛異常	1 多毛、脱毛、男性化徴候	
	D 乳腺異常	1 女性化乳房、乳汁漏出	
	E 糖尿		

Ⅶ 診察 [約8%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 2次・3次救急患者の診察 約27%	A 初診時の評価	1 バイタルサイン	
		2 意識レベル	JCS<Japan coma scale>、 GCS<Glasgow coma scale>
		3 来院時<院外>心肺{機能}停止 ＜CPA＞	心肺蘇生法<CPR>
		4 臓器障害の状態把握	
		5 運動機能障害の判定	
		6 緊急治療の要否・部位別優先順位の判断	
		7 重症度と緊急度	
	B 病態に応じた診察	1 血液ガス分析	ガス交換障害・酸塩基平衡異常の評価
		2 ショック	
		3 意識障害	
		4 脳血管障害	
		5 急性呼吸不全	
		6 急性心不全	
		7 急性冠症候群	
		8 急性腹症	
		9 急性消化管出血	
		10 肝不全	
		11 急性腎不全、尿毒症	
		12 内分泌・代謝疾患	糖尿病性昏睡、低血糖昏睡、 肝性昏睡、甲状腺クリーゼ、 副腎不全
		13 精神科救急	自傷他害、精神運動興奮
		14 重症感染症	
		15 外傷	
		16 急性中毒	
		17 熱傷	
		18 バイオテロ	
		19 急性放射線障害	
2 高齢者の診察と評価 約27%	A 高齢者の診察	1 診察時の注意	
		2 既往歴・合併症の評価	
	B 高齢者総合機能評価<CGA>	1 日常生活動作<ADL>	
		2 認知機能	
		3 気分・意欲	
		4 運動機能	
		5 嚥下障害	
		6 排尿機能	
		7 生活環境	
		8 介護の必要度	
3 小児の診察 約20%	A 乳幼児の診察	1 一般的診察	
		2 成長・発達の評価	
		3 育児環境の評価	

大項目	中項目	小項目	備考
	B 学童期の児の診察	4 乳幼児の救急時の状態把握	
		1 一般的診察	
		2 成長・発達の評価	
		3 生活環境の評価	
		4 心理的評価	
	C 思春期の児の診察	1 一般的診察	
		2 二次性徴の評価	
		3 心理的評価	
4 胎児・新生児の診察と評価 約13%	A 胎児の診察	1 胎児の位置の診断	胎位、胎向、胎勢
		2 胎動	
		3 胎児心拍数の測定	
		4 発育・成熟の診断	
		5 出生前診断	
	B 胎児付属物の診察	1 胎盤・臍帯・羊水の診断	羊水量、羊水の性状、胎盤の位置、臍帯動脈血pH
	C 新生児の診察	1 一般的診察、Apgarスコア	
		2 神経学的診察	フロッピーインファント
		3 診察時の注意	
		4 外表奇形	
5 妊・産・褥婦と胎児の診察 約13%	A 妊婦の診察	1 妊娠の診断	
		2 妊娠時期の診断	
		3 妊婦健康診査	
		4 胎位・胎向の診断	Leopold診察法
		5 頸管成熟度	Bishopスコア
	B 産婦の診察	1 分娩時期の診断	
		2 胎児下降度の診断・表現法	
		3 児頭回旋の診断・表現法	
		4 頸管開大度	
		5 陣痛の観察	胎児心拍数陣痛図<CTG>
		6 パルトグラム	
		7 胎盤剥離徴候	
	C 褥婦の診察	1 性器の復古	
		2 全身の復古	
		3 乳汁分泌	

VIII 検査 [約 10%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 検体検査 約25%	A 検体の採取と保存	1 採血（種類、部位）	静脈血、動脈血、毛細血管血
		2 採尿	
		3 採便	
		4 喀痰	
		5 穿刺	胸水、腹水、脳脊髄液、骨髄、Douglas窩、関節液、嚢胞貯留液、膿、羊水
		6 生検、細胞診	
		7 新生児・乳幼児の採血と穿刺法	
		8 法医学的試料の採取	
		9 抗凝固剤、血清・血漿分離法、検体保存法	
		10 保存期間	
	B 一般臨床検査	1 尿	定性、定量、沈渣
		2 糞便	潜血、虫卵
		3 喀痰	
		4 脳脊髄液	
		5 穿刺液	
		6 関節液	
		7 精液	
		8 子宮頸管粘液	
		9 膣分泌物	
	C 血液学検査	1 赤沈	
		2 血球（網赤血球、赤血球形態、白血球形態、血小板形態を含む）	May-Giemsa染色、Wright染色、ペルオキシダーゼ染色、PAS染色、エステラーゼ染色、鉄染色
		3 凝固・線溶・血小板機能検査	
		4 骨髄検査	骨髄穿刺、骨髄生検
		5 溶血に関する検査	
		6 血液型、交差適合試験<クロスマッチ>、輸血関連検査	
	D 生化学検査	1 蛋白・蛋白分画	
		2 生体色素	ビリルビン
		3 酵素、アイソザイム	
		4 含窒素成分	
		5 糖質および糖代謝関連物質	
		6 脂質および脂質代謝関連物質	
		7 水・電解質、酸塩基平衡	
		8 重金属、微量元素	
		9 ビタミン	
		10 ホルモン	
		11 血中薬物・毒物と代謝産物	
		12 腫瘍マーカー	
	E 免疫血清学検査	1 炎症反応	CRP
		2 感染の抗原・抗体	

大項目	中項目	小項目	備考
		3 自己抗体	
		4 免疫グロブリン	クラス・サブクラス
		5 IgE、特異的IgE検査	
		6 補体	
		7 細胞性免疫	ツベルクリン反応
		8 食菌能	
		9 移植免疫	組織適合{性}抗原<HLA>
		10 細胞表面抗原	
		11 抗体検査法[補体結合反応<CF>、赤血球凝集抑制試験<HI>、中和試験<NT>]	イムノアッセイ
	F 微生物学検査	1 病原微生物の同定・検鏡	単染色、Gram染色、Ziehl-Neelsen染色、墨汁染色<墨汁法>、PAS染色、Grocott染色、Giemsa染色
		2 病原微生物の培養・分離・同定	
		3 免疫学的検査による迅速診断	結核菌特異的全血インターフェロン γ 遊離測定法<IGRA>、尿中抗原
		4 薬剤感受性試験	
		5 病原体別検査	細菌、抗酸菌、梅毒トレポネーマ、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ、レプトスピラ、ウイルス、真菌、原虫、寄生虫
		6 ウレアーゼ試験、尿素呼吸試験	<i>Helicobacter pylori</i>
		7 PCR法、RT-PCR法、pulsed field gel electrophoresis	
	G 病理組織学検査、細胞診	1 生検検体採取法、内視鏡的鉗子生検、ポリープ切除、内視鏡的粘膜切除、経皮的生検	
		2 生検・手術切除検体取扱法	固定法、包埋法
		3 標本作製法（凍結切片を含む）	
		4 迅速診断の適応、標本の取扱法、診断限界	
		5 細胞診（検体の採取、取扱法、染色法、報告様式）	Papanicolaou染色
		6 病理学的組織検体の染色法	H-E染色、PAS染色、PAM染色、SudanⅢ染色、Congo-Red染色、Gram染色、Ziehl-Neelsen染色、Grocott染色、May-Giemsa染色、免疫組織化学染色、酵素組織染色、FISH法
		7 電子顕微鏡による病理検査	
	H 染色体検査・体細胞遺伝子検査	1 分染法	
		2 常染色体	

大項目	中項目	小項目	備考
2 生体機能検査 約15%	A 呼吸機能検査	3 性染色体	
		4 悪性腫瘍細胞の遺伝子検査	
		1 スパイロメトリー	
		2 肺気量分画	
		3 肺拡散能力	
		4 flow-volume曲線	
		5 動脈血ガス分析	
		6 パルスオキシメトリ	
		7 睡眠時無呼吸症候群検査	ポリソムノグラフィ
		8 ピークフロー	
	B 心機能検査	1 心電図	Holter心電図
		2 心エコー	ドプラ<Doppler>法、カラードプラ法
		3 心筋シンチグラフィ	
		4 心血管CT、MRI	
		5 心臓カテーテル検査	Swan-Ganzカテーテル検査
		6 心臓電気生理学的検査<EPS>	
	C 消化管機能検査	1 唾液分泌検査	
		2 消化管運動機能検査	食道内圧検査
		3 pHモニタリング	
		4 蛋白漏出試験	α_1 -アンチトリプシン法
	D 肝・胆道機能検査	1 色素排泄試験	indocyanine green<ICG>試験
	E 膵機能検査	1 外分泌機能検査	BT-PABA試験<PFD試験>
		2 内分泌機能検査	経口グルコース負荷試験<75g OGTT試験>
	F 内分泌・代謝機能検査	1 血中ホルモン測定	
		2 内分泌機能検査、負荷試験	
		3 代謝機能検査	
	G 腎機能検査	1 クレアチニンクリアランス	eGFR
		2 尿低分子蛋白・酵素	微量アルブミン、 β_2 -ミクログロブリン、NAG
	H 排尿機能検査	1 尿流量測定	
		2 膀胱内圧測定	
		3 残尿量測定	
	I 脳波検査	1 波形診断	発作性異常波
		2 異常脳波賦活法	
		3 聴性脳幹反応<ABR>	
	J 筋電図、神経伝導検査	1 筋電図	表面筋電図、針筋電図
		2 誘発筋電図	神経伝導速度
3 皮膚・感覚器・発声機能検査 約10%	A 皮膚検査	1 プリックテスト、皮内テスト	
		2 針反応	
		3 パッチテスト、光パッチテスト	
		4 光線テスト	
		5 皮膚感作試験	

大項目	中項目	小項目	備考
		6 皮膚温測定法、サーモグラフィ検査	
		7 Tzanck試験	
		8 Nikolsky現象	
		9 ダーモスコピー試験	
		10 苛性カリ<KOH>直接鏡検法	
		11 皮膚描記法	Darier徴候
		12 硝子圧法	
		13 皮脂測定法	
	B 視器一般検査	1 徹照法	
		2 細隙灯顕微鏡検査	
		3 眼圧検査	
		4 眼底検査、蛍光眼底造影	
		5 隅角検査	
		6 涙液分泌検査	
		7 フレアセルフオートメトリ	
		8 スペキュラーマイクロスコープ	
		9 角膜知覚検査	
		10 角膜曲率測定	
		11 眼軸長検査	
		12 光干渉断層計<OCT>	
	C 視機能検査	1 視力検査、Landolt環	
		2 視野検査	
		3 暗点検査	
		4 色覚検査	
		5 光覚<暗順応>検査	
		6 屈折検査	
		7 調節検査	
		8 眼位検査	
		9 眼球運動検査	
		10 両眼視機能検査	
		11 網膜電図<ERG>	
		12 視覚誘発電位<VEP>	
	D 聴覚・平衡機能検査	1 純音聴力検査<気導・骨導閾値検査>	
		2 自記オーディオメトリ	
		3 語音聴力検査	
		4 音叉検査	
		5 聴性脳幹反応<ABR>	
		6 幼児聴力検査	遊戯聴力検査
		7 インピーダンスオーディオメトリ	あぶみ骨筋反射
		8 平衡機能検査	
		9 眼球運動・眼振の検査	自発眼振、頭位・頭位変換眼振、温度眼振、回転眼振
	E 嗅覚・味覚検査	1 オルファクトメトリ	

大項目	中項目	小項目	備考
	F 発声・発語検査	2 電気味覚検査	
		3 濾紙ディスク検査	
		1 発声機能検査	
		2 構音検査	
4 心理・精神機能検査 約10%	A 心理学的検査	1 Minnesota多面人格検査<MMPI>	
		2 Rorschachテスト	
		3 簡易精神症状評価尺度[Brief Psychiatric Rating Scale<BPRS>]	
		4 Hamiltonうつ病評価尺度<Hamilton Rating Scale for Depression>	
		5 ベック<Beck>のうつ病自己評価尺度	
		6 状態特性不安検査<STAI>	
	B 知能検査	1 Wechsler成人知能検査<WAIS-III>	
		2 Wechsler児童用知能検査<WISC-R-III>	
		3 田中・Binet式知能検査	
		4 Mini-Mental State Examination<MMSE>	
		5 改訂長谷川式簡易知能評価スケール	
		6 Wechsler記憶検査<WMS-R>	
	C 神経心理学的検査	1 標準型失語症検査<SLTA>	
		2 リバーミード行動記憶検査<RBMT>	
		3 Wechsler記憶スケール<WMS>	
		4 ウィスコンシンカードソーティングテスト<WCST>	
	D 発達テスト	1 津守・稲毛式発達検査	
		2 スクリーニング法(日本版Denver式、遠城寺式を含む)	
5 妊娠・分娩・胎児・新生児の検査 約10%	A 妊娠の検査	1 妊娠反応	
		2 超音波検査	
	B 妊娠中の検査	1 血液検査	血液一般検査、血液型、不規則抗体、感染症検査
		2 超音波検査	子宮頸管長
		3 分泌物検査	
	C 分娩の検査	1 超音波検査	
		2 陣痛曲線	
		3 胎児心拍数陣痛図<CTG>	
	D 胎児発育・成熟の検査	1 超音波検査	頭殿長<CRL>、大横径<BPD>、大腿骨長<FL>、腹囲<AC>、推定胎児体重<EFBW>

大項目	中項目	小項目	備考
	E 胎児の健全性 〈健全性、fetal well-being〉の検査	2 胎児成熟度検査	肺サーファクタント
		1 胎児心拍数陣痛図〈CTG〉	
		2 ノンストレステスト〈NST〉	
		3 コントラクションストレステスト〈CST〉	
		4 BPS〈biophysical profile score〉	
		5 超音波ドプラ法	パルスドプラ法
		6 羊水量	
		7 胎動	
		8 血液ガス分析	臍帯動脈血pH
	F 胎盤、臍帯、羊水の検査	1 超音波検査	羊水ポケット、羊水指数〈AFI〉、胎盤・臍帯の性状
	G 先天異常の検査	1 羊水検査	
		2 絨毛検査	
		3 胎児血液検査	
		4 超音波検査	
	H 新生児の検査	1 新生児マススクリーニング	
		2 PIVKA-II	
		3 マイクロバブルテスト	
6 画像検査 約23%	A 超音波検査	1 原理と検査技術	
		2 ドプラ〈Doppler〉法、カラードプラ法、パワードプラ法	造影超音波診断法
		3 超音波所見	高・低エコー域、音響陰影、音響増強
		4 エコー下穿刺生検	
		5 血流測定	
		6 管腔内超音波検査（血管、胆管、膵管、気管支）	
	B 電離放射線	1 種類と性質	
		2 発生装置	
		3 線質	
		4 放射性同位元素	
		5 放射能	
	C 放射線の単位と測定	1 単位（吸収線量Gy、線量当量Sv、放射能Bq）	
		2 測定	
	D 放射線等検査用機器・器材	1 エックス線撮影、透視装置	フィルム、蛍光増倍管、イメージングプレート、平面検出器
		2 血管撮影装置、DSA〈digital subtraction angiography〉装置	
		3 CT装置	
		4 核医学検査装置	ガンマカメラ、PETカメラ
		5 磁気共鳴画像〈MRI〉装置	
	E 医療放射線被曝の軽減	1 正当化	
		2 最適化	

大項目	中項目	小項目	備考
		3 線量限度	
		4 被ばく低減3原則	時間、距離、遮蔽
	F 画像検査における医療情報	1 画像情報システム	
		2 画像診断支援システム<CAD>	
	G エックス線単純撮影	1 種類と適応	DR<デジタルラジオグラフィ>、CR<コンピューテッドラジオグラフィ>
		2 コントラスト	
		3 鮮鋭度	
	H 血管造影	1 種類、適応、禁忌	
		2 造影剤	
		3 合併症	
	I 消化管造影	1 種類、適応、禁忌	
		2 造影剤	
	J 尿路造影	1 種類、適応、禁忌	
		2 造影剤	
		3 合併症	
	K その他の造影検査	1 唾液腺造影	
		2 咽頭造影	
		3 胆道<胆嚢・胆管>造影	
		4 経皮経肝胆道造影<PTC>	
		5 内視鏡的逆行性胆管膵管造影<ERCP>	
		6 子宮卵管造影<HSG>	
		7 関節造影	
		8 脊髓腔造影<ミエログラフィ>	
		9 椎間板造影	
	L CT検査	1 原理、CT値	window幅、windowレベル
		2 ヘリカルCT	
		3 MDCT<multidetector-row CT>	
		4 三次元再構成画像（冠状断、矢状断）	三次元CT血管撮影<3D-CTA>
		5 適応	
	M 造影CT	1 適応と禁忌	
		2 造影剤	
		3 造影効果	
		4 副作用	ヨードアレルギー、造影剤腎症
		5 ダイナミックCT	動脈優位相、門脈相、平衡相
	N 磁気共鳴画像<MRI>検査の原理と技術	1 原理、MR信号	
		2 安全管理	絶対禁忌と相対禁忌
		3 撮像法	T1強調像、T2強調像、プロトン密度強調像、T2*強調像、FLAIR像、拡散強調像、脂肪抑制像
		4 磁気共鳴胆管膵管撮影<MRCP>	

大項目	中項目	小項目	備考
	O 造影磁気共鳴画像<造影MRI>	5 磁気共鳴血管撮影<MRA>	
		6 MRS<MRスペクトロスコピー>	
		1 種類、適応、禁忌	
		2 造影剤と副作用	
		3 造影効果	
		4 ダイナミックMRI	
	P 核医学検査の原理と技術	1 放射性医薬品	
		2 ポジトロン核種	FDG
		3 トレーサー原理	
	Q シンチグラフィ	1 種類と適応	
		2 撮影法	早期相、遅延相、動態検査
		3 シングルフォトンエミッションCT<SPECT>	
		4 ポジトロンエミッション断層撮影<PET>	PET/CT
7 内視鏡検査 約7%	A 内視鏡の種類と原理	1 硬性鏡	
		2 ファイバースコープ	
		3 電子スコープ	強調画像観察
		4 拡大内視鏡	
		5 カプセル内視鏡	
		6 超音波内視鏡	
	B 内視鏡検査の適用部位	1 外耳、中耳	
		2 鼻腔、副鼻腔	
		3 咽頭、喉頭	
		4 気管、気管支	気管支肺胞洗浄<BAL>
		5 胸腔、縦隔	
		6 食道、胃、十二指腸	
		7 小腸	ダブルバルーン内視鏡
		8 結腸、直腸、肛門	
		9 胆道、膵管	
		10 腹腔	
		11 泌尿器（尿管、膀胱、尿道）	
		12 女性性器	コルポスコピー、ヒステロスコピー
		13 関節腔	
		14 血管	
	C 内視鏡検査の基本手技と合併症	1 適応と禁忌	検査前全身状態の評価
		2 前処置とその合併症	咽頭麻酔・局所麻酔、鎮痛薬、消化管運動抑制薬、腸管洗浄
		3 基本手技	挿入、生検、擦過、散布
		4 合併症	穿孔、出血

IX 治療 [約 15%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 食事・栄養療法 約10%	A 食事・栄養療法の基本	1 栄養アセスメント	
		2 栄養サポートチーム<NST>	
		3 食事摂取基準量	
		4 栄養療法	食事療法
		5 妊・産婦の栄養マネジメント<栄養管理>	
		6 乳幼児の栄養マネジメント<栄養管理>	
		7 高齢者の栄養マネジメント<栄養管理>	
	B 栄養摂取の方法	1 経口栄養	
		2 経管・経腸栄養	
		3 経静脈栄養	末梢静脈栄養、中心静脈栄養
	C 適応	1 過栄養	
		2 栄養不良	
		3 ビタミンの欠乏症	
		4 微量元素欠乏	
	D 合併症	1 機械的合併症	
		2 代謝性合併症	
2 薬物療法 約10%	A 薬物の選択	1 病態	
		2 薬物動態	
		3 身体的素因	
	B 薬物動態	1 吸収、分布、代謝、排泄	
		2 一回投与、反復投与	
		3 治療薬物モニタリング<TDM>	
		4 遺伝子多型	
		5 民族的要因	
	C 薬効	1 薬効を左右する因子	
		2 薬物の相互作用（相乗、拮抗、酵素誘導、酵素阻害）	併用禁忌
		3 食物・嗜好品との相互作用	
		4 薬効の評価、プラセボ効果	
		5 適応と禁忌	
	D 用法・用量	1 投与経路と種類の特徴（経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻）	
		2 剤型	
		3 服薬計画	併用薬
		4 服薬指導	
		5 コンプライアンス、アドヒアランス	
		6 新生児、小児、妊婦、高齢者	
		7 肝障害、腎機能障害	
	E 副作用	1 種類	
		2 機序	
		3 対策	
	F 疾患に応じた薬物治療	1 中枢神経作用薬	
		2 自律神経作用薬	

大項目	中項目	小項目	備考
		3 循環器作用薬	
		4 呼吸器作用薬	
		5 消化器作用薬	
		6 利尿薬	
		7 副腎皮質ステロイド及び非ステロイド性抗炎症薬<NSAIDs>	
		8 抗菌薬	感受性テスト、抗菌スペクトル
		9 抗腫瘍薬	
		10 麻薬性鎮痛薬・鎮静薬	
3 輸液、輸血、血液浄化 約10%	A 輸液	1 適応と一般的注意	
		2 輸液の種類と用法	
	B 輸血	1 適応と一般的注意	
		2 適正使用	
		3 血液型、交差適合試験<クロスマッチ>	
		4 同種輸血と自己輸血	
		5 成分輸血（赤血球濃厚液、洗浄赤血球、濃厚血小板、新鮮凍結血漿、血漿分画製剤）	アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤、血液凝固因子製剤
		6 交換輸血	
		7 輸血時の副作用	アナフィラキシー
		8 輸血後GVHD	
		9 輸血関連急性肺障害	
		10 輸血による感染症	
	C 血液浄化	1 血液透析	
		2 腹膜透析	
		3 血漿交換	
		4 血液濾過	
		5 血液吸着	
4 手術、周術期の管理、麻酔 約10%	A 手術	1 手術適応	
		2 手術時期	
		3 消毒と滅菌	
		4 出血	
		5 止血	
		6 凝固・線溶異常	
		7 外科的侵襲に対する反応	
	B 基本的な手術手技	1 切開法	
		2 止血法	
		3 結紮・縫合法	
		4 植皮術	
		5 ドレナージ	
		6 減圧法	
		7 包帯法	
	C 術後合併症	1 腎不全	
		2 肝機能障害	

大項目	中項目	小項目	備考
		3 急性肺損傷<ALI>	
		4 急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>	
		5 心不全	
		6 ショック	
		7 呼吸器合併症	
		8 多臓器不全<MOF>	
		9 多臓器機能障害症候群<MODS>	
	D 術前麻酔管理	1 術前評価	
		2 術前処置	
		3 麻酔前投薬	
	E 全身麻酔	1 吸入麻酔	
		2 静脈麻酔	
		3 筋弛緩薬とその拮抗薬	
		4 覚醒	
	F 麻酔導入	1 気道確保	
		2 気管挿管	
		3 ラリンジアルマスク	
		4 急速導入・緩徐導入	
	G 術中麻酔管理	1 麻酔の維持	
		2 輸液	細胞外液補充液、膠質液
		3 輸血	
		4 酸塩基平衡	
		5 呼気終末二酸化炭素濃度<ETCO ₂ >	
		6 P/F<PaO ₂ /FI0 ₂ >比	
		7 人工呼吸	
		8 悪性高熱症	
		9 体温	
		10 モニタリング	
		11 麻酔事故	
		12 麻酔合併症	
		13 年齢に応じた麻酔法	小児・高齢者麻酔
		14 産科麻酔	
		15 特殊疾患の麻酔	心臓疾患・内分泌代謝疾患・肺疾患・頭蓋内疾患の麻酔
		16 緊急手術	
		17 低体温法	
	H 術後管理と集中治療	1 体位	
		2 術後鎮痛	
		3 呼吸循環管理	
		4 脳圧管理	
		5 輸液管理	
		6 栄養管理	
		7 感染予防	
		8 手術創の処置	

大項目	中項目	小項目	備考
	I 局所麻酔	9 離床	
		1 脊髄くも膜下麻酔	
		2 硬膜外麻酔	
		3 伝達麻酔法	
		4 浸潤麻酔・表面麻酔	
		5 適応・禁忌	
		6 局所麻酔薬中毒	
	J 疼痛の管理	1 ペインクリニック	
		2 神経障害性疼痛	
		3 アロディニア	
		4 術後創部痛	
		5 神経ブロック	末梢神経、神経叢、星状神経節
5 臓器・組織移植、人工臓器、再生医療 約7%	A 移植の種類と適応		
	B 提供者<ドナー>と被移植者<レシピエント>	1 自家・同種・異種移植	
		2 ドナーの種類	脳死体、脳死以外の死体、生体
		3 移植ネットワーク	日本臓器移植ネットワーク、アイバンク、組織バンク、骨髄バンク
		4 同意の条件	意思表示カード
		5 倫理的・文化的配慮	
	C 移植と免疫		
	D 人工臓器の種類と適応	1 人工腎臓	
		2 人工血管、人工弁（機械弁、生体弁、同種生体弁）	
		3 人工心肺、体外循環	脳分離体外循環、心筋保護液
		4 機械的補助循環（IABP、LVAS、PCPS）	
		5 ペースメーカ、植込み型除細動器	
		6 人工関節・骨・腱・靱帯	
		7 眼内レンズ	
		8 人工内耳	
6 放射線治療 約7%	A 放射線感受性	1 正常組織の放射線感受性	
		2 腫瘍の放射線感受性	
		3 放射線治療可能比 <正常組織耐容線量／腫瘍致死線量>	
	B 放射線効果の修飾	1 酸素効果	
		2 化学療法の併用	
		3 温熱効果	
		4 細胞周期	
		5 線エネルギー付与<LET>	
		6 線量率効果	
	C 空間的線量分布	1 深部線量百分率	

大項目	中項目	小項目	備考
		2 線量分布図	
		3 治療計画	
		4 標的体積、リスク臓器	
	D 時間的線量配分	1 通常分割照射	
		2 多〈過〉分割照射	
		3 少〈寡〉分割照射	
		4 回復・再増殖・再酸素化・再分布〈4R〉	
	E 外照射	1 多門照射	直線加速器
		2 定位放射線照射	
		3 強度変調放射線治療〈IMRT〉	
		4 画像誘導放射線治療〈IGRT〉	
		5 粒子線治療	ブラッグピーク
	F 小線源治療	1 密封小線源治療	腔内照射、組織内照射
		2 放射性同位元素〈RI〉内用療法〈内{部}照射療法〉	
	G 放射線治療の適応	1 根治的照射	
		2 予防的照射	
		3 緩和的照射	
	H 集学的治療	1 術前・術中・術後〈周術期〉照射	
		2 化学放射線療法	
	I 照射の合併症	1 急性反応〈障害〉	
		2 晩期反応〈障害〉	
7 インターベンショナルラジオロジー 約7%	A 血管系治療	1 適応	
		2 動脈塞栓術〈TAE〉	肝動脈化学塞栓療法〈TACE〉
		3 バルーン閉塞下経静脈的静脈瘤閉塞〈BRT0〉	胃静脈瘤
		4 経皮血管形成術〈PTA〉、ステント留置術	冠動脈、頸動脈、腎動脈、末梢動脈
		5 ステントグラフト内挿術	
		6 血栓溶解療法	
		7 カテーテルアブレーション	
		8 異物除去術	
		9 動注化学療法	動注リザーバーポート
		10 下大静脈フィルター留置術	
		11 硬化療法	静脈瘤、血管奇形
		12 経皮的中心静脈〈CV〉ポート留置術	
	B 非血管系治療	1 適応	
		2 方法（エックス線透視下、超音波下治療、CT{ガイド}下治療）	
		3 経皮的ドレナージ	胆道、尿路、膿瘍
		4 嚢胞穿刺	
		5 除石術	胆石、腎結石
		6 拡張術、ステント留置	気道、食道、胆道、消化管
		7 経皮的胃瘻造設	

大項目	中項目	小項目	備考
		8 神経ブロック	
		9 経皮的局所療法（ラジオ波焼灼、エタノール注入、マイクロ波凝固、硬化剤注入）	肝腫瘍、肺腫瘍
		10 経皮的生検	CTガイド下生検
8 内視鏡治療 約7%	A 種類と適応	1 止血、凝固、結紮、クリッピング	
		2 硬化療法	
		3 切開、切除	
		4 拡張、ステント留置	
		5 照射、レーザー	
		6 異物除去術	
		7 内視鏡下手術	
9 リハビリテーション 約10%	A リハビリテーションの概念	1 理念	
		2 急性期リハビリテーション	
		3 回復期リハビリテーション	
		4 維持期リハビリテーション	
		5 地域リハビリテーション	
		6 小児リハビリテーション	
		7 リハビリテーション・チーム	
		8 自立生活支援	
		9 社会参加	
	B リハビリテーションの技術	1 理学療法	筋力増強訓練、関節可動域訓練、基本動作訓練、歩行訓練、促通訓練
		2 作業療法	
		3 言語聴覚療法	失語症訓練、構音障害訓練、摂食・嚥下訓練
		4 日常生活動作<ADL>訓練	
		5 認知リハビリテーション	
		6 物理療法	
		7 リハビリテーション工学	
		8 職業リハビリテーション	
		9 福祉用具	義肢・装具、移動機器（杖、歩行器、車椅子、リフト）、自助具
		10 住宅改修	
	C 身体障害のリハビリテーション	1 脳血管障害	
		2 頭部外傷	
		3 脊髄損傷	
		4 脳性麻痺	
		5 神経・筋疾患	
		6 骨・関節疾患	
		7 切断	
		8 視覚障害<ロービジョン>	
		9 音声・言語・咀嚼機能障害	

大項目	中項目	小項目	備考
	D 精神・知的・発達障害のリハビリテーション	10 内部障害	心臓、呼吸器、腎臓、膀胱・直腸、小腸
		11 廃用症候群	
		1 生活指導・療育	
		2 作業療法	
		3 レクリエーション療法	
		4 生活技能訓練[social skills training<SST>]	
		5 デイケア・ナイトケア、ナイトホスピタル	
		6 作業所、授産所	
		7 地域生活支援センター	グループホーム、福祉ホーム、福祉工場、援護寮
		8 患者会、患者クラブ	
10 2次・3次救急患者の治療 約13%	A 心肺蘇生	1 気道確保	気管挿管、輪状甲状靱帯切開<輪状甲状軟骨間膜切開>、気管切開
		2 人工呼吸	
		3 胸骨圧迫	
		4 除細動	
		5 自動体外式除細動器<AED>	
		6 致死的不整脈の治療	緊急ペーシング
		7 静脈路確保	
		8 血液浄化法	
		9 機械的循環補助（IABP、PCPS）	
	B 2次・3次救急に必要な処置	1 心嚢穿刺・ドレナージ	
		2 胸腔穿刺・ドレナージ	
		3 腹腔穿刺・ドレナージ	
		4 膀胱穿刺・ドレナージ	
		5 輸液、輸血	
		6 内視鏡的止血術	
		7 インターベンショナルラジオロジー [interventional radiology<IVR>]	{カテーテル} 塞栓術
		8 消化管内圧減圧治療	イレウス管
	C ショックの治療	1 循環血液量減少性ショック	出血、体液喪失
		2 心原性ショック	心筋梗塞、不整脈
		3 血流分布異常性ショック	アナフィラキシー、感染性<敗血症性>、神経原性
		4 閉塞性ショック	心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸
	D 重症救急病態	1 急性呼吸不全、急性肺損傷<ALI>、急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>	
		2 急性心不全	
		3 急性腎不全	

大項目	中項目	小項目	備考
		4 急性肝不全	
		5 播種性血管内凝固<DIC>	
		6 多臓器不全<MOF>	
	E 外傷の治療・処置	1 創傷の治療・処置	洗浄、デブリドマン、止血、縫合、創閉鎖、皮膚欠損の処置、破傷風とガス壊疽の予防
		2 骨折・捻挫・脱臼の治療・処置	
		3 頭部外傷	
		4 顔面・頸部外傷	眼外傷
		5 胸部外傷	
		6 腹部外傷	
		7 骨盤・四肢外傷	
		8 脊椎・脊髄外傷	
		9 泌尿器・生殖器外傷	
		10 挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>	
		11 高エネルギー外傷	
		12 多発外傷、爆傷	部位別治療優先順位の判断
	F 急性中毒の治療・処置	1 胃洗浄	
		2 強制利尿	
		3 血液浄化法	
		4 解毒・拮抗薬	
		5 高濃度酸素療法	
	G 熱傷の治療・処置	1 全身療法	輸液の公式、感染防止
		2 重症度判定	
		3 局所療法	減張切開、デブリドマン、局所療法剤、早期焼痂切除、植皮
		4 気道熱傷の治療	
		5 合併症	急性腎不全、Curling潰瘍、敗血症、栄養障害
	H 環境異常の治療	1 熱中症	
		2 偶発性低体温{症}	
		3 凍傷	
		4 減圧症、酸素欠乏症、高山病	
		5 急性放射線障害	
	I 異物・溺水・刺咬症の治療・処置	1 異物	
		2 窒息、溺水	
		3 刺咬症	
	J 産科的救急治療・処置	1 母体・新生児搬送	
		2 急速遂娩	帝王切開、鉗子、吸引分娩
		3 産科ショック	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		4 胎児機能不全[non-reassuring fetal status<NRFS>]	
	K 新生児の救急治療・処置	1 新生児蘇生法 2 新生児集中治療室	
	L 乳児の救急治療・処置		
11 緩和医療 約6%	A 全人的苦痛の緩和	1 全人的苦痛<トータルペイン>の種類と原因	身体的苦痛、精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペイン
		2 精神的苦痛の緩和	サイコオンコロジー
		3 傾聴とチームアプローチ	
		4 癒し環境の整備	
	B 身体的苦痛の緩和	1 がん性疼痛の種類と原因	
		2 疼痛のアセスメント	
		3 疼痛緩和の薬物療法	
		4 がん疼痛治療法<WHO方式>	WHO方式によるがん疼痛治療の目標、鎮痛薬使用法の5原則
		5 悪液質の概念と病状把握	
		6 全身倦怠感・食欲不振・呼吸困難の治療とケア	
		7 胸水・腹水・全身浮腫の治療とケア	
		8 緩和的外科治療	
		9 緩和的放射線治療	
		10 インターベンショナルラジオロジー [interventional radiology<IVR>]	
		11 鎮静<セデーション>	
	C オピオイド (医療用麻薬)	1 オピオイドの種類と効果	弱オピオイド、強オピオイド
		2 タイトラレーション	
		3 レスキュードーズ	
		4 オピオイドローテーション	
		5 鎮痛補助薬	
		6 オピオイドの副作用と対策	
	D ホスピス・緩和ケア	1 ホスピスケアの基準	
		2 QOL<生活の質、quality of life>の改善・維持	
		3 緩和ケア病棟<PCU>	
		4 緩和ケアチーム	
		5 在宅ホスピス・緩和ケア	
		6 レスパイトケア	
		7 悲嘆のケア<グリーフケア>	
		8 遺族ケア	
12 その他の治療法 約4%	A 酸素療法(急性期、慢性期)	1 適応	
		2 合併症	CO ₂ ナルコーシス
		3 在宅酸素療法	

大項目	中項目	小項目	備考
	B 高圧酸素療法	1 適応	
		2 合併症	
	C 人工換気	1 適応	
		2 補助呼吸	
		3 持続的気道陽圧法<CPAP>	
		4 間欠的陽圧換気<IPPV>	
		5 持続的陽圧換気<CPPV>	
		6 間欠的強制換気<IMV>	
		7 高頻度換気<HFV>	
		8 非侵襲的人工換気<NIPPV>	
	D 呼吸理学療法	1 排痰法	
		2 呼吸訓練	
	E 物理療法	1 凍結療法	
		2 温熱療法	
		3 電気治療	
	F 光線療法	1 新生児黄疸に対する治療	
		2 PUVA療法	
	G レーザー療法		
	H 体外衝撃波結石 破砕術<ESWL>		
	I 電気けいれん療法		
	J 免疫療法	1 減感作療法	
		2 抗体療法	生物学的製剤
	K 生殖補助技術 <ART>	1 体外受精-胚移植<IVF-ET>、顕微授精 <ICSI>	
	L 精神療法	1 精神分析療法	
		2 自律訓練法	
		3 森田療法	
		4 行動療法	
		5 認知行動療法	
		6 心理教育<psychoeducation>	
		7 芸術療法	
		8 遊戯療法	
		9 家族療法	
		10 集団療法	
		11 カウンセリング	
	M リエゾン精神医学<精神科コンサルテーション>		

医学各論

I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常 [約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 妊娠の異常	A 妊娠初期の異常	妊娠悪阻	
		異所性妊娠	
		流産	
		胎状奇胎	
		頸管無力症	
		不育症、習慣性流産	
	B 妊娠中・後期の異常	ハイリスク妊娠	
		妊娠高血圧症候群、子癇、HELLP症候群	
		多胎妊娠	
		早産、切迫早産、前期破水	
		過期妊娠	
		血液型不適合妊娠	
		羊水過多症、羊水過少症	羊水指数<AFI>、羊水ポケット、Potter症候群
		絨毛膜羊膜炎・頸管炎	細菌性膣症
		常位胎盤早期剥離、前置胎盤、癒着胎盤	
		臍帯卵膜付着、前置血管	
		臍帯過捻転	
		胎盤機能不全	
	C 合併症妊娠	妊娠貧血、鉄欠乏性貧血	
		耐糖能異常、妊娠糖尿病、糖尿病	
		甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症	
		特発性血小板減少性紫斑病<ITP>	
		その他の偶発合併症妊娠	
	D 母子感染	B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、HIV、HTLV-I、TORCH症候群、パルボウイルスB19(伝染性紅斑)	
2 分娩・産褥の異常	A 前期破水	前期破水、早期破水	
	B 陣痛の異常	微弱陣痛、過強陣痛	
	C 産道の異常	児頭骨盤不均衡<CPD>、狭骨盤、頸部子宮筋腫	
	D 胎位の異常	骨盤位、横位、斜位	
	E 回旋進入の異常	後方後頭位、低在横定位、高在縦定位、不正軸侵入	
	F 胎盤の異常	癒着胎盤、胎盤嵌頓、胎盤形態異常	
	G 臍帯の異常	臍帯巻絡、臍帯下垂、臍帯脱出、臍帯結節	
	H その他の難産	遷延分娩、分娩停止、多胎分娩、肩甲難産	
	I 分娩時裂傷	子宮破裂、頸管裂傷、膣・会陰裂傷	帝王切開後分娩
	J 出血と産科ショック	弛緩出血、子宮内反症、羊水塞栓症、血栓性塞栓症、仰臥位低血圧症候群	産科DIC
		播種性血管内凝固<DIC>	
	K 産褥の異常	子宮復古不全、産褥熱、恥骨結合離開	
		乳腺炎、乳汁分泌不全	
		産褥血栓症・肺塞栓	
		産褥期精神障害	

大項目	中項目	小項目	備考
3 胎児・新生児の異常	A 胎児異常	胎児機能不全 [non-reassuring fetal status<NRFS>]	ノンストレステスト <NST>、胎児心拍数陣痛図 <CTG>、BPS<biophysical profile score>
		多胎、双胎間輸血症候群	一児胎内死亡
		胎児発育不全 [fetal growth restriction<FGR>]	
		溶血性疾患、血液型不適合妊娠	
		胎児形態異常	
		胎児水腫	
		子宮内胎児死亡	
		胎児水頭症	
		胎児肺低形成、先天性横隔膜ヘルニア	
		胎児貧血	胎児母体間輸血症候群
	B 新生児仮死	新生児仮死	Apgarスコア、臍帯動脈血液ガス
	C 新生児の分類と異常	低出生体重児、早期産児	
		過期産児	
		巨大児	
	D 新生児の呼吸障害	呼吸窮迫症候群<RDS>	
		胎便吸引症候群<MAS>	
		一過性多呼吸	
		未熟児無呼吸発作	
		新生児慢性肺疾患	Wilson-Mikity症候群
	E 新生児黄疸	高ビリルビン血症	
		新生児溶血性疾患	
	F 新生児のけいれん	低血糖、低カルシウム血症	
	G 新生児の感染症	敗血症、髄膜炎	B群連鎖球菌
	H その他の新生児疾患	低体温	
		新生児クレチン症	
		未熟児貧血	
		ビタミンK欠乏症	メレナ
		頭蓋内出血	
		帽状腱膜下出血	
		頭血腫	
		未熟{児}網膜症	
		分娩外傷	
		壊死性腸炎	
		髄膜瘤	
4 性分化・染色体異常、先天異常および成長・発達の障害	A 染色体・遺伝子異常	Down症候群	
		Turner症候群	
		Klinefelter症候群	
		その他の染色体異常	猫鳴き症候群<5p-症候群>、13 trisomy、18 trisomy

大項目	中項目	小項目	備考
	B 性分化・性器の異常	膣欠損症、Mayer-Rokitansky-Küster-Hauser症候群<MRK症候群>	
		真性・仮性半陰陽	
	C 内分泌の異常	男性ホルモン不応症<精巣性女性化症候群>	
		先天性副腎皮質過形成	
		先天性男性ホルモン生成障害	
	D 成長・発達の障害		

Ⅱ 精神・心身医学的疾患 [約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 器質性精神障害、精神作用物質関連障害	A 認知症	Alzheimer型認知症	
		脳血管性認知症	
		Lewy小体型認知症	
		前頭側頭型認知症	
		Pick病	
	B 器質性精神病		
	C 症状性精神病		
	D せん妄		
	E 精神作用物質使用による精神および行動の障害	アルコール依存症	
		中毒精神病(アルコール精神病、覚醒剤精神病、大麻精神病)	急性中毒、乱用、依存、離脱症状
2 気分障害、統合失調症と類縁疾患	A 気分〈感情〉障害	うつ病	
		双極性障害〈躁うつ病〉	
	B 統合失調症	妄想型統合失調症	
		解体型統合失調症	
		緊張型統合失調症	
	C 妄想性障害		
	D 急性一過性精神病性障害〈非定型精神病〉		
	E 統合失調感情障害		
3 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	A 不安障害	パニック障害	
		全般性不安障害	
		社交不安障害	
	B 強迫性障害		
	C 重度ストレス反応および適応障害	急性ストレス障害	
		外傷後ストレス障害〈PTSD〉	
		適応障害	
	D 解離性〈転換性〉障害		
	E 身体表現性障害	身体化障害	
		心気障害	
		身体表現性自律神経機能不全	
		持続性身体表現性疼痛障害	線維筋痛症
4 生理的障害、身体的要因に関連した障害	A 摂食障害	神経性食思〈欲〉不振症〈拒食症〉	
		神経性大食症〈過食症〉	
	B 睡眠障害	不眠症	
		過眠症(ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群)	
		睡眠覚醒スケジュール障害	
		夢中遊行症	
		むずむず脚症候群	
		周期性四肢麻痺	
		レム〈REM〉睡眠行動障害	
	C 性機能不全		

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	D 心身症		
5 小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害	A 知的障害<精神遅滞>		
	B 特異的発達障害	学習障害	
	C 広汎性発達障害	自閉症	
		Asperger症候群	
	D 多動性障害	注意欠陥多動性障害<ADHD>	
	E 素行障害		
	F 選択緘黙		
	G 不登校		
	H 非行		
	I チック障害	Tourette症候群	
	J 吃音{症}		
	K 被虐待児症候群		
	L パーソナリティ障害	境界性パーソナリティ障害	
	M 習慣および衝動の障害	病的賭博、病的放火、病的窃盗	
		抜毛症	
	N 性同一性障害		
	O 性嗜好障害		

Ⅲ 皮膚・頭頸部疾患 [約11%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 炎症性皮膚疾患	A 湿疹、皮膚炎	アトピー性皮膚炎	Kaposi水痘様発疹症
		接触皮膚炎	
		脂漏性皮膚炎	
		貨幣状湿疹	
		自家感作性皮膚炎	
		うつ滞性皮膚炎	
		皮脂欠乏性湿疹	
	B 蕁麻疹		血管性浮腫
	C 痒疹、紅皮症		
	D 皮膚瘙癢症		
	E 薬疹、中毒疹	固定薬疹	
		Stevens-Johnson症候群	
		中毒性表皮壊死症<toxic epidermal necrolysis>	
		薬剤性過敏症症候群<drug-induced hypersensitivity syndrome>	
	F 紅斑症	多形滲出性紅斑	
		結節性紅斑	
		硬結性紅斑	
		環状紅斑	
	G 移植片対宿主病<GVHD>		
	H 好中球性皮膚症	Sweet病	
		壊疽性膿皮症	
	I 皮膚血流障害	網状皮斑	リベド
		血栓性静脈炎	
2 腫瘍・母斑性皮膚疾患	A 母斑	脂腺母斑、表皮母斑、色素性母斑、太田母斑	
	B 母斑症	神経線維腫症1型<von Recklinghausen病>	café au lait斑
		結節性硬化症	
	C 血管腫	単純性血管腫	
		イチゴ<苺>状血管腫	
		Kasabach-Merritt症候群	
		海綿状血管腫	
	D リンパ管腫		
	E 皮膚良性腫瘍	脂漏性角化症	Leser-Trélat徴候
		粉瘤	
		ケラトアカントーマ	
		皮膚線維腫	
		ケロイド	
		毛細血管拡張性肉芽腫	
		グロムス腫瘍	
		色素性蕁麻疹	Darier徴候
	F 皮膚悪性腫瘍	光線角化症<老人性角化症>	

大項目	中項目	小項目	備考
		乳房外Paget病	
		Bowen病	
		有棘細胞癌	
		基底細胞癌	
		血管肉腫	
		悪性黒色腫	
		Kaposi肉腫	
	G 皮膚悪性リンパ腫	菌状息肉症	
		Sézary症候群	
3 その他の皮膚疾患	A 遺伝性水疱症	先天性表皮水疱症	
	B 後天性水疱症	天疱瘡	Nikolsky現象
		水疱性類天疱瘡	
		疱疹状皮膚炎	
	C 遺伝性角化症	魚鱗癬	
		掌蹠角化症	
		Darier病	
		汗孔角化症	
	D 炎症性角化症	乾癬	Auspitz現象、Köbner現象
		類乾癬	
		扁平苔癬	
		Gibertばら色秕糠疹	
	E 膿疱症	膿疱性乾癬	
		掌蹠膿疱症	
	F 光線過敏症	慢性光線性皮膚炎	ペラグラ
	G 色素異常症	白斑、Sutton白斑	
	H 遺伝性皮膚疾患	Werner症候群	
		色素性乾皮症	
	I 発汗異常症	汗疹、多汗症	
	J 細菌感染症	癰、癰	
		蜂巣炎<蜂窩織炎>	
		癰疽	
		丹毒	
		伝染性膿痂疹	
		ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群	
		壊死性筋膜炎	劇症型A群β溶連菌感染症、 <i>Vibrio vulnificus</i>
		ガス壊疽	
	K 皮膚結核	尋常性狼瘡	
		皮膚腺病	
		硬結性紅斑	
	L 皮膚真菌症	白癬	Celsus禿瘡
		癬風	
		スポロトリコーシス	
	M 動物性皮膚疾患	疥癬	
	N 瘡瘡	尋常性瘡瘡、酒皷様皮膚炎	

大項目	中項目	小項目	備考
	O 脱毛症	円形脱毛症、男性型脱毛症	抜毛症
	P 肉芽腫症	環状肉芽腫	
	Q ムチン沈着症	脛骨前粘液水腫	
		糖尿病性浮腫性硬化症	
4 視機能異常・視神経疾患	A 視機能異常	弱視	
		色覚異常	
		屈折異常	
		調節異常	
	B 視神経疾患	視神経炎・症	
		視神経萎縮	
		うっ血乳頭	
	C 眼位・眼球運動障害	斜視	
		眼筋麻痺	
		動眼神経麻痺	
		滑車神経麻痺	
		外転神経麻痺	
5 眼窩・外眼部・前眼部・眼球の疾患	A 眼窩の異常	眼窩腫瘍	
		眼球突出	
	B 眼瞼の異常	眼瞼内反	
		眼瞼外反	
		兔眼	
		麦粒腫	
		霰粒腫	
		眼瞼炎	
		眼瞼腫瘍	
	C 眼表面・涙器の異常	涙道狭窄・閉塞	
		涙嚢炎	
		涙液分泌障害	
		翼状片	
		結膜炎	
		春季カタル	
		結膜下出血	
		角膜感染症	
		角膜ジストロフィー・変性症	
		角膜炎	
		角膜潰瘍	
		角膜の色素沈着	Kayser-Fleischer輪
		強膜炎	
	D 眼組織の異常	白内障	眼内レンズ挿入術
		水晶体偏位・脱臼	
		緑内障	
6 ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	A ぶどう膜炎	前部ぶどう膜炎<虹彩炎、虹彩毛様体炎>	
		後部ぶどう膜炎<脈絡膜炎、網脈絡膜炎>	

大項目	中項目	小項目	備考
		Vogt-小柳-原田病	
		Behçet病	
		サルコイドーシス	
	B 汎ぶどう膜炎	眼内炎	
		全眼球炎	
	C 網膜の異常	網膜静脈閉塞症	
		網膜動脈閉塞症	
		糖尿病網膜症	
		網膜色素変性	
		中心性漿液性脈絡網膜症	
		加齢黄斑変性	
		網膜剥離	
		未熟{児}網膜症	
		黄斑円孔	
		網膜上膜<網膜前膜>	
	D 硝子体の異常	硝子体混濁	
		硝子体出血	
	E 眼内腫瘍	脈絡膜腫瘍	
		網膜芽細胞腫	
7 外耳・中耳疾患	A 外耳道の異常	急性化膿性限局性外耳炎<耳癰>	
		外耳道異物	
		外耳湿疹	
		耳性帯状疱疹<Ramsay Hunt症候群>	
		外耳腫瘍	
		悪性外耳道炎	
	B 鼓膜の異常	鼓膜炎	
	C 中耳の異常	急性中耳炎	
		滲出性中耳炎	
		慢性穿孔性<化膿性>中耳炎	鼓室形成術
		癒着性中耳炎	
		真珠腫性中耳炎	乳突洞削開術
		耳硬化症	
		先天性真珠腫	
8 内耳・神経疾患	A 内耳の異常	内耳炎	
		音響外傷	
		騒音性難聴	
		中毒性難聴	
		老人性難聴	
		乳幼児の難聴	人工内耳埋込み術
		ウイルス性難聴	
		突発性難聴	
		遺伝性難聴	
		外リンパ瘻	
		機能性難聴	
	B 前庭の異常	Ménière病	

大項目	中項目	小項目	備考
	C その他の神経の異常	良性発作性頭位眩暈症	
		前庭神経炎	
		中毒性平衡障害	
		動揺病	
		顔面神経麻痺	Bell麻痺
		軟口蓋麻痺	
		舌下神経麻痺	
		三叉神経痛	
		小脳橋角部腫瘍	聴神経腫瘍
		舌咽神経麻痺、舌咽神経痛	
		反回神経麻痺	
		頸静脈孔症候群	
		顔面けいれん、眼瞼けいれん	
		Horner症候群	
9 鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	A 鼻・副鼻腔の異常	鼻瘤	
		鼻炎	
		副鼻腔炎	
		歯性上顎洞炎	
		副鼻腔真菌症	
		術後性上顎嚢胞	
		上顎洞癌、副鼻腔癌	
	B 喉頭の異常	感冒くかぜ症候群	
		クループ症候群	
		急性喉頭蓋炎	
		急性喉頭炎	
		急性声門下喉頭炎	
		慢性喉頭炎	
		声帯ポリープ、声帯結節	
		喉頭癌	
		喉頭乳頭腫	
10 咽頭・口腔・唾液腺疾患	A 口腔の異常	口角炎、舌炎	
		アフタ性口内炎	
		急性ヘルペス性口内炎	
		ヘルパンギーナ	
		鵝口瘡	
		白斑<板>症	
		口腔・口唇の癌、舌癌	
	B 顎骨の異常	顎骨腫瘍	
		顎関節症	
	C 咽頭の異常	咽頭炎	
		咽後膿瘍	
		口蓋扁桃肥大症、咽頭扁桃<アデノイド>増殖症	
		急性扁桃炎	
		扁桃周囲炎・膿瘍	

大項目	中項目	小項目	備考
		慢性扁桃炎	
		若年性血管線維腫	
		悪性リンパ腫	
		上咽頭癌	
		中咽頭癌	
		下咽頭癌	
	D 唾液腺の異常	唾液腺炎	
		唾石症	
		唾液腺良性腫瘍	多形腺腫
		唾液腺癌	
	E 頸部の異常	頸部リンパ節炎	頸部リンパ節結核
		頸部膿瘍	
		先天性頸嚢胞・瘻	正中頸嚢胞、側頸嚢胞、下咽頭梨状陥凹瘻
		リンパ管腫	
		リンパ節転移	
11 損傷、奇形	A 物理・化学的外傷	熱傷	
		凍傷	
		電撃傷	
		褥瘡	
		角・結膜腐蝕〈化学損傷〉	
		光線性眼障害	紫外線、赤外線、電離放射線、レーザー光線、可視光線
	B 眼の外傷	鈍的眼外傷	
		穿孔性眼外傷	
		眼異物	
	C 耳の損傷	耳介血腫	
		鼓膜損傷	
	D 顔面の骨折	側頭骨骨折	
		鼻骨骨折	
		顔面骨折	Le Fort型骨折、下顎骨骨折、頬骨骨折、上顎骨骨折
		前頭骨骨折	
		吹き抜け骨折	
		視神経損傷、視神経管骨折	
	E 喉頭損傷		
	F 耳の先天異常	耳介奇形	
		先天性耳瘻孔	
		外耳道閉鎖症	Treacher Collins症候群
		中耳奇形	
		内耳奇形	
	G 唇・口蓋の先天異常	唇裂、口蓋裂	

IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患 [約7%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 感染性呼吸器疾患	A 気道感染症	感冒<かぜ症候群>	
		急性気管支炎	
		急性細気管支炎	
	B 肺実質感染症	細菌性肺炎、非定型肺炎	市中肺炎、院内肺炎
		ウイルス肺炎	インフルエンザウイルス、サイトメガロウイルス
		嚥下性肺炎	
		肺化膿症	
	C 肺真菌症	アスペルギルス症、クリプトコックス症、カンジダ症、ニューモシスチス肺炎	
	D 抗酸菌症	肺結核症	
		非結核性<非定型>抗酸菌症	<i>M. avium</i> <i>M. intracellulare</i> <i>M. kansasii</i>
	E 寄生虫感染症	肺吸虫症	
	F 胸膜・縦隔の感染症	胸膜炎	細菌性、結核性
膿胸			
急性縦隔炎		降下性縦隔炎	
2 気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	A 気管・気管支の異常	気管支拡張症	Kartagener症候群
		びまん性汎細気管支炎	
		閉塞性細気管支炎	
		気管・気管支の狭窄・閉塞	
		気道異物	
	B 肺の異常	気腫性嚢胞<ブラ、ブレブ>	
		無気肺	
		肺形成不全	
		肺分画症	
	C 気管支・肺の異常	慢性閉塞性肺疾患<COPD>	慢性気管支炎、肺気腫
	D 外傷	気管・気管支損傷	
		肺損傷	
3 免疫学的機序が考えられる肺疾患	A アレルギー性疾患	気管支喘息	
		アレルギー性気管支肺アスペルギルス症	
		好酸球性肺疾患	
		過敏性肺炎	
	B 血管炎関連疾患	アレルギー性肉芽腫性血管炎<Churg-Strauss症候群>	ANCA関連血管炎
		Wegener肉芽腫症	ANCA関連血管炎、granulomatosis with polyangiitis<GPA>
	C その他	サルコイドーシス	
		肺胞蛋白症	
4 実質性・間質性肺障害	A 特発性間質性肺炎<IIPs>	特発性肺線維症<IPF>	
		非特異性間質性肺炎<NSIP>	
		急性間質性肺炎<AIP>	

大項目	中項目	小項目	備考
		特発性器質化肺炎<COP>	
		剥離性間質性肺炎<DIP>	
		呼吸細気管支炎を伴う間質性肺疾患<RB-ILD>	
		リンパ球性間質性肺炎<LIP>	
	B IIPs以外の原因不明疾患	肺リンパ脈管筋腫症<LAM>	
	C 膠原病に伴う間質性肺炎		
	D 医原性肺疾患	薬剤性肺炎	
		放射線肺炎	
	E 急性呼吸不全	急性肺損傷<ALI>	
		急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>	
	F じん肺症	無機粉じんによるじん肺(珪肺症、石綿症)	
		有機塵肺	
5 肺循環異常	A 肺水腫	心原性肺水腫	
		透過性亢進型肺水腫	急性肺損傷<ALI>、急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>
		神経原性肺水腫	
		再膨張性肺水腫	
		高地肺水腫	
	B 肺血栓塞栓症	肺血栓塞栓症	
		慢性肺血栓塞栓症	
	C 肺高血圧症	肺動脈性高血圧症	特発性、家族性、続発性
		左心系疾患に伴う肺高血圧症	
		肺疾患あるいは低酸素血症に続発する肺高血圧症	
	D 肺性心		
	E 肺動静脈瘻		
6 気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	A 肺悪性腫瘍	肺癌	小細胞癌、非小細胞癌(腺癌、扁平上皮癌、大細胞癌)、カルチノイド
		転移性肺腫瘍	
	B 他の気管支・肺腫瘍	良性肺腫瘍	過誤腫、硬化性血管腫
		気管・気管支腫瘍	
	C 縦隔腫瘍	胸腺腫瘍	重症筋無力症
		神経原性腫瘍	
		胚細胞腫瘍	
		悪性リンパ腫	
		嚢胞性腫瘍	
	D 胸膜腫瘍	胸膜中皮腫	胸膜ブランク
	E 癌性胸膜炎		
	F 癌性リンパ管症		

大項目	中項目	小項目	備考
7 胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態・機能異常、外傷	A 胸膜	気胸、緊張性気胸	
		血胸	
		乳び胸	
	B 縦隔	縦隔気腫、皮下気腫	
		気管食道瘻、食道気管瘻	
		上大静脈症候群	
		反回神経麻痺	嗝声
	C 胸壁・横隔膜	肋骨骨折	flail chest
		胸郭変形	漏斗胸
		横隔神経麻痺	
		横隔膜ヘルニア	
		横隔膜弛緩症	
8 呼吸調節異常	A 異常呼吸	睡眠時無呼吸症候群	中枢性、閉塞性
		過換気症候群	
		肺泡低換気症候群	原発性、肥満

V 心臓・脈管疾患 [約10%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 不整脈	A 上室{性}頻脈性不整脈	上室期外収縮	
		発作性上室頻拍	カテーテルアブレーション
		WPW症候群	
		心房粗動	
		心房細動	カテーテルアブレーション Maze手術
	B 心室{性}頻脈性不整脈	心室期外収縮	
		心室頻拍	植込み型除細動器
		心室細動	
	C 徐脈性不整脈	洞不全症候群	ペースメーカー
		房室ブロック	
	D 心臓{性}突然死をきたす症候群	QT延長症候群	torsades de pointes
		Brugada症候群	
2 心不全	A 左心不全		
	B 右心不全		
	C 急性心不全		慢性心不全の急性増悪
	D 慢性心不全		
	E 心原性ショック		
	F 肺高血圧		
3 先天性心疾患	A 左右短絡疾患	心房中隔欠損症	
		心室中隔欠損症	
		心内膜床欠損症<房室中隔欠損>	
		動脈管開存症	
	B 右左短絡疾患	肺動脈閉鎖症	純型肺動脈閉鎖
		Fallot四徴症	Blalock-Taussig短絡手術
		三尖弁閉鎖症	Fontan手術
	C その他の複雑心奇形	Ebstein奇形	
		完全大血管転位症	Rastelli手術、Jatene手術
		修正大血管転位症	
		兩大血管右室起始症	
		大動脈縮窄症、大動脈離断症	
		総肺静脈還流異常症	
		部分肺静脈還流異常症	Scimitar症候群
		単心房、単心室	内臓心房錯位、無脾、多脾、Fontan手術
		総動脈幹症	
4 弁膜症	A 僧帽弁疾患	僧帽弁狭窄症	
		僧帽弁閉鎖不全症	
		僧帽弁逸脱症候群	
	B 大動脈弁疾患	大動脈弁狭窄症	
		大動脈弁閉鎖不全症	
	C その他	三尖弁閉鎖不全症	
		連合弁膜症	
		感染性心内膜炎	
		リウマチ性心炎	

大項目	中項目	小項目	備考
5 虚血性心疾患	A 狭心症	労作性狭心症	冠動脈バイパス術、経皮的冠動脈インターベンション
		冠攣縮性狭心症	
	B 急性冠症候群	急性心筋梗塞、不安定狭心症	心筋梗塞後合併症、経皮的冠動脈インターベンション、冠動脈バイパス術
		心臓{性}突然死	
	C 陳旧性心筋梗塞		心室瘤
	D 無痛性虚血性心疾患		
6 心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	E 川崎病		冠動脈瘤
	A 心筋炎	ウイルス性心筋炎	
	B 特発性心筋症	肥大型心筋症	心臓{性}突然死
		拡張型心筋症	心臓移植
		拘束型心筋症	
	C 二次性心筋疾患	心アミロイドーシス	
		心サルコイドーシス	
		アルコール性心筋症	
		虚血性心筋症	
		筋ジストロフィー	
	D 心膜疾患	急性心膜炎	
		Dressler症候群	
		心嚢液貯留	
		収縮性心膜炎	
	E 心タンポナーデ		
	F 心臓腫瘍	粘液腫	
		転移性腫瘍	
	G 外傷	心臓外傷	
		血管外傷	
7 血圧異常	A 本態性高血圧		
	B 二次性高血圧	腎実質性高血圧症	
		腎血管性高血圧症	
		内分泌性高血圧症	アルドステロン過剰症、Cushing症候群、褐色細胞腫、先端巨大症、甲状腺機能亢進症
		睡眠時無呼吸症候群	
	C 高血圧緊急症		
8 脈管疾患	A 大動脈疾患	胸部大動脈瘤	
		腹部大動脈瘤	Leriche症候群
		胸腹部大動脈瘤	
		大動脈解離	DeBakey分類、Stanford分類
		高安動脈炎<大動脈炎症候群>	
		Marfan症候群	大動脈弁輪拡張症、Bentall手術

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	B 末梢動脈疾患	閉塞性動脈硬化症	
		Buerger病	
		Raynaud症候群	
		急性動脈閉塞症	挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>
	C 静脈疾患	深部静脈血栓症 [DVT<deep vein thrombosis>]	肺血栓塞栓症
		Budd-Chiari症候群	
	D リンパ管疾患	リンパ浮腫	

VI 消化器・腹壁・腹膜疾患 [約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 食道疾患	A 機能異常	食道アカシア	
		胃食道逆流症<GERD> 食道炎、食道潰瘍	Barrett上皮
	C 腫瘍	食道癌	
	D 血管病変	食道静脈瘤	胃静脈瘤
	E 損傷・外傷	Mallory-Weiss症候群	
		食道穿孔・破裂	Boerrhaave症候群
2 胃・十二指腸疾患	A 形態異常	胃巨大皺襞症	Ménétrier症候群
		胃・十二指腸憩室	
		上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症<上腸間膜動脈症候群>	
	B 機能異常	機能性ディスぺプシア<FD>	
		胃切除後症候群	ダンピング症候群
	C 炎症・感染症	急性胃炎、急性胃粘膜病変	
		慢性胃炎	萎縮性胃炎
		消化性潰瘍<胃潰瘍・十二指腸潰瘍>	
		ヘリコバクター・ピロリ感染症	
		胃アニサキス症	
	D 腫瘍	胃ポリープ	
		胃腺腫	
		胃癌	
		十二指腸乳頭部腫瘍	
3 小腸・結腸疾患	A 形態異常	大腸憩室性疾患	憩室炎、憩室出血
		Meckel憩室	
	B 機能異常	吸収不良症候群	
		腸リンパ管拡張症	
		過敏性腸症候群	
	C 炎症・感染症	感染性腸炎	感染性胃腸炎、感染性大腸炎
		虫垂炎	McBurney圧痛点、Lanz圧痛点
		薬物性腸炎	偽膜性腸炎、出血性腸炎
		放射線性腸炎	
		Crohn病	
		潰瘍性大腸炎	
		腸結核	
	D 腫瘍	小腸癌	
		大腸ポリープ、大腸腺腫	
		結腸癌	
	E 血管病変	虚血性大腸炎	
		血管形成異常<angiodysplasia>	
4 直腸・肛門疾患	A 形態異常	直腸粘膜脱症候群、直腸脱	
	B 炎症・感染症	肛門周囲膿瘍、痔瘻	
	C 腫瘍	直腸癌	
		肛門癌、肛門管癌	
	D 血管病変	痔核	
	E 損傷・外傷	裂肛	

大項目	中項目	小項目	備考
5 消化管共通疾患	A 炎症・感染症	非ステロイド性抗炎症薬<NSAIDs>による粘膜障害	
		消化管アレルギー、好酸球性胃腸炎	
		消化管Behçet	
	B 腫瘍	消化管神経内分泌腫瘍	消化管カルチノイド
		悪性リンパ腫	粘膜関連リンパ組織<MALT>リンパ腫
		GIST<gastrointestinal stromal tumor>	
		消化管ポリポース	家族性腺腫性ポリポース<FAP>、Turcot症候群、Peutz-Jeghers症候群、Gardner症候群
	C 代謝性疾患	消化管アミロイドーシス	
6 肝疾患	A 形態異常	肝嚢胞	
	B 炎症・感染症	急性肝炎	A型肝炎、B型肝炎、C型肝炎、E型肝炎、伝染性単核{球}症
		劇症肝炎	
		慢性肝炎	B型肝炎、C型肝炎
		肝硬変	特発性細菌性腹膜炎
		原発性胆汁性肝硬変	肝内胆汁うっ滞
		自己免疫性肝炎	
		薬物性肝障害	細胞障害型、胆汁うっ滞型
		肝膿瘍	細菌性肝膿瘍、アメーバ性肝膿瘍
		寄生虫性肝疾患	肝包虫症、日本住血吸虫症
	C 腫瘍	肝血管腫	
		肝細胞癌	
		肝内胆管癌	
		転移性肝癌	
	D 血管病変	門脈圧亢進症	特発性門脈圧亢進症、肝外門脈閉塞症
		Budd-Chiari症候群	
	E 代謝性疾患	ビリルビン代謝異常	Gilbert症候群、Dubin-Johnson症候群、Rotor症候群
		脂肪肝	非アルコール性脂肪性肝疾患<NAFLD>、非アルコール性脂肪性肝炎<NASH>
		アルコール性肝障害	アルコール性肝炎
		ヘモクロマトーシス	
		Wilson病	
	7 胆道疾患	A 形態異常	先天性胆道拡張症
			膵・胆管合流異常症
		B 炎症・感染症	胆嚢炎

大項目	中項目	小項目	備考
	C 腫瘍	胆管炎	Charcot 3 徴、Reynolds 5 徴、急性閉塞性化膿性胆管炎
		原発性硬化性胆管炎	
		胆嚢ポリープ	
		胆嚢腺筋腫症	
		胆嚢癌、胆管癌	
	D 代謝性疾患	胆石症	
8 膵疾患	A 炎症・感染症	急性膵炎	重症急性膵炎、仮性嚢胞
		慢性膵炎・膵石症	
		自己免疫性膵炎	
	B 腫瘍	膵嚢胞性腫瘍	膵管内乳頭粘液性腫瘍〈IPMN〉、粘液性嚢胞腫瘍〈MCN〉
		膵神経内分泌腫瘍	インスリノーマ、グルカゴノーマ、ガストリノーマ〈Zollinger-Ellison症候群〉、WDHA症候群
		膵癌	
9 横隔膜・腹膜・腹壁疾患	A 形態異常	食道裂孔ヘルニア	
		鼠径ヘルニア	
		大腿ヘルニア	
		閉鎖孔ヘルニア	
		腹壁癒痕ヘルニア	
	B 炎症・感染症	細菌性腹膜炎	
		横隔膜下・Douglas窩膿瘍	
	C 腫瘍	癌性腹膜炎	
		腹膜中皮腫	
		腹膜偽粘液腫	
		後腹膜腫瘍	
10 急性腹症	A 形態異常	単純性イレウス	
		腸管軸捻転症	
	B 機能異常	麻痺性イレウス	
	C 炎症・感染症	急性腹膜炎	
	D 血管病変	腸間膜動脈閉塞症	
		腸間膜静脈血栓症	
		嵌頓ヘルニア	
		絞扼性イレウス	
	E 損傷・外傷	消化管穿孔	
11 損傷、異物	A 外傷	腹部外傷	
	B 損傷	消化管損傷	
		肝損傷	
		胆道損傷	
		膵損傷	
		脾損傷	
		横隔膜損傷	
	C 異物	消化管異物	食道異物

大項目	中項目	小項目	備考
12 その他の重要な小児領域の疾患	A 食道の異常	先天性食道閉鎖症	Gross分類
		肥厚性幽門狭窄症	Ramstedt手術
	B 胃・十二指腸の異常	新生児胃穿孔・破裂	
		先天性十二指腸閉鎖・狭窄症	
		先天性小腸狭窄・閉鎖症	
	C 小腸・結腸の異常	胎便性腹膜炎	
		腸回転異常症	中腸軸捻転
		Hirschsprung病<先天性巨大結腸症、腸管無神経節症>	
		乳児下痢症	
		新生児壊死性腸炎	
		腸重積症	
		鎖肛	
	E 肝の異常	新生児肝炎	
		体質性黄疸	Crigler-Najjar症候群
		肝芽腫	α -フェトプロテイン<AFP>
	F 胆道の異常	胆道閉鎖症	肝門部空腸吻合術
	G 横隔膜・腹壁疾患	尿管管遺残	
		臍帯ヘルニア	
		腹壁破裂	
		横隔膜弛緩症	
		横隔膜ヘルニア	Bochdalekヘルニア
		臍ヘルニア	
		鼠径ヘルニア	
		精巣水腫	

Ⅶ 血液・造血器疾患 [約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 赤血球系疾患	A 鉄代謝障害	鉄欠乏性貧血	
		鉄過剰症	ヘモクロマトーシス、ヘモジデローシス
	B 巨赤芽球性貧血	ビタミンB ₁₂ 欠乏性貧血	悪性貧血
		葉酸欠乏性貧血	
	C 溶血性貧血	温式自己免疫性溶血性貧血	
		冷式抗体による溶血性貧血	寒冷凝集素症、発作性寒冷血色素尿症
		遺伝性球状赤血球症	
		赤血球破碎症候群	
		薬剤性溶血性貧血	
	D 造血不全症	発作性夜間ヘモグロビン尿症	GPIアンカー蛋白
		再生不良性貧血	Fanconi貧血
		赤芽球癆	Diamond-Blackfan症候群
		骨髄異形成症候群<MDS>	後天性鉄芽球性貧血
	E 二次性貧血	慢性疾患に伴う貧血<ACD>	
		腎性貧血、内分泌異常による貧血	
	F 出血性貧血		
	G メトヘモグロビン血症		
	H 二次性赤血球増加症		エリスロポエチン産生過剰
2 白血球系疾患 とその他の骨髄性疾患	A 無顆粒球症	薬剤性無顆粒球症	
	B 好中球機能異常症	慢性肉芽腫症	
		Chédiak-Higashi症候群	
	C 骨髄系腫瘍	急性骨髄性白血病	二次性白血病<治療関連白血病>
		慢性骨髄性白血病	Philadelphia染色体
		原発性骨髄線維症	
		本態性血小板血症	
		真性赤血球増加症	
		慢性好酸球性白血病	好酸球増多症候群<HES>
	D 類白血病反応		
3 リンパ系疾患	A 急性リンパ性白血病		
	B Hodgkinリンパ腫		Hodgkin細胞、Reed-Sternberg細胞
	C 成熟B細胞性腫瘍	慢性リンパ性白血病	
		濾胞性リンパ腫	
		びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	
		Burkittリンパ腫	
		粘膜関連リンパ組織<MALT>リンパ腫	
		hairy cell leukemia	
		多発性骨髄腫	M蛋白、Bence Jones蛋白、続発性アミロイドーシス

大項目	中項目	小項目	備考
		マクログロブリン血症	Waldenstrom、過粘稠度症候群<hyperviscosity症候群>
		monoclonal gammopathy of undetermined significance<MGUS>	
	D 成熟T細胞・NK細胞腫瘍	成人T細胞白血病	
		末梢T細胞性リンパ腫	
		菌状息肉症	
		Sézary症候群	
	E Langerhans細胞性組織球症		Histiocytosis, X
	F 血球貪食症候群<hemophagocytic syndrome>		
	G 伝染性単核{球}症		EB<Epstein-Barr>ウイルス感染症
4 出血性疾患と血栓傾向	A 血小板の異常	特発性血小板減少性紫斑病<ITP>	ヘリコバクター・ピロリ感染症
		二次性血小板減少症	脾機能亢進症、薬剤性
		血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>	ADAMTS-13
		溶血性尿毒症症候群<HUS>	Vero毒素
		後天性血小板機能異常症	
	B 凝固因子の異常	血友病	
		von Willebrand病	
		循環抗凝固因子による出血傾向(後天性血友病、後天性von Willebrand病)	
		播種性血管内凝固<DIC>	
		ビタミンK欠乏症	
	C 血管の異常による出血傾向	Schönlein-Henoch紫斑病<アナフィラクトイド紫斑病>	
		単純性紫斑	
		老人性紫斑	
		遺伝性出血性末梢血管拡張症<Osler病>	
	D 血栓性疾患	先天性血栓傾向	プロテインC欠乏症、プロテインS欠乏症、アンチトロンビン欠乏症
		後天性血栓傾向	抗リン脂質抗体症候群、血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>、溶血性尿毒症症候群<HUS>
5 その他の重要な小児領域の疾患	A 小児血液疾患	異常ヘモグロビン症	
		サラセミア	
		遺伝性球状赤血球症	
		赤血球酵素異常症	

大項目	中項目	小項目	備考
		先天性血小板機能異常症	Glanzmann病、 Bernard-Soulier症候群
		ビタミンK欠乏症	
		新生児出血性疾患	
	B 小児造血器腫瘍	白血病	
		悪性リンパ腫	

Ⅷ 腎・泌尿器・生殖器疾患 [約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 糸球体病変	A 糸球体腎炎	急性糸球体腎炎	
		急速進行性糸球体腎炎症候群	Goodpasture症候群、ANCA関連血管炎
		慢性糸球体腎炎	IgA腎症
	B 原発性ネフローゼ症候群	微小変化群	先天性ネフローゼ症候群
		巣状分節性糸球体硬化症	
		膜性腎症	
		膜性増殖性糸球体腎炎	
	C 全身疾患に伴う腎疾患	糖尿病腎症	
		アミロイド腎症	
		二次性膜性腎症	
		紫斑病性腎炎	
	D 膠原病に伴う腎病変	全身性エリテマトーデス<SLE>	
		全身性硬化症<強皮症>	
		関節リウマチ	
		結節性多発動脈炎	
		顕微鏡的多発血管炎	
		Wegener肉芽腫症	ANCA関連血管炎、granulomatosis with polyangiitis<GPA>
	E 無症候性血尿・蛋白尿症候群	無症候性血尿	
		無症候性蛋白尿	
	F 遺伝性腎炎	Alport症候群	
		基底膜菲薄化症候群<良性家族性血尿>	
2 血管・尿細管・間質病変	A 腎血管疾患	良性腎硬化症	
		腎血管性高血圧症	
		悪性腎硬化症、悪性高血圧症	
		腎梗塞	
		腎静脈血栓症	
		腎皮質壊死	
		コレステロール塞栓症	
	B 尿細管間質疾患	急性尿細管壊死	
		骨髄腫腎	
		尿酸腎症<痛風腎>	
		急性間質性腎炎	薬剤性
		慢性間質性腎炎	
		Sjögren症候群	
		中毒性腎障害	
	C 尿細管機能異常	腎性尿崩症	
		Fanconi症候群	
		尿細管性アシドーシス	
		シスチン尿症	
		家族性低リン血症性くる病	
		Bartter症候群	
		Gitelman症候群	
		Liddle症候群	

大項目	中項目	小項目	備考
		特発性尿管性蛋白尿<Dent病>	
3 腎機能の障害による異常	A 急性腎不全	腎前性腎不全	
		急性尿管壊死	
		横紋筋融解症	
		溶血性尿毒症症候群<HUS>	
	B 慢性腎臓病<CKD>		心腎相関
	C 慢性腎不全	腎性貧血	
		ミネラル骨代謝異常<CKD-MBD>	腎性骨異常栄養症<ROD>
	D 長期透析患者の合併症	透析アミロイドーシス	
	E 水・電解質の異常	脱水と浮腫	
		ナトリウム代謝異常	
		カリウム代謝異常	
		カルシウム代謝異常	
		リン代謝異常	
		マグネシウム代謝異常	
	F 酸塩基平衡の異常	アシドーシス	
		アルカローシス	
4 腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	A 結石症	上部尿路結石	サンゴ状結石、X線陰性結石
		下部尿路結石	
		その他の結石症	
	B 尿路閉塞性疾患	上部尿路閉塞性疾患	水腎症
		下部尿路閉塞性疾患	
	C その他の異常	神経因性膀胱	
		膀胱尿管逆流症	
5 腎・尿路・生殖器の炎症	A 腎・尿路の炎症	急性腎盂腎炎	
		慢性腎盂腎炎	
		腎膿瘍	
		腎乳頭壊死	
		膀胱炎	間質性膀胱炎
		尿道炎	
	B 男性生殖器の炎症	前立腺炎	
		精巣上体炎	
		精巣炎	
		亀頭包皮灸	
	C 女性生殖器の炎症	外陰炎	
		Bartholin腺嚢腫、Bartholin腺炎	Bartholin腺膿瘍
		膣炎	細菌性膣症、外陰膣カンジダ症、トリコモナス膣炎
		骨盤内炎症性疾患<PID>	
		子宮頸管炎	
		子宮内膜炎・筋層炎	
		卵管留膿症・腫	
		子宮留膿症・腫	

大項目	中項目	小項目	備考
	D 性感染症<STD、STI>	淋菌性尿道炎	
		非淋菌性尿道炎	クラミジア性尿道炎
		性器ヘルペス	
		尖圭コンジローマ	
6 腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	A 腎・上部尿路腫瘍	腎細胞癌	
		Wilms腫瘍	
		腎盂・尿管癌	
	B 下部尿路腫瘍	膀胱癌	上皮内癌
		尿膜管癌	
		尿道癌	
		尿道カルンクル	
	C 男性生殖器腫瘍	前立腺肥大症	
		前立腺癌	
		セミノーマ<精上皮腫>	
		非セミノーマ	
		陰茎癌	
7 女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	A 外陰の腫瘍	Bowen病	
		外陰Paget病	
		外陰癌	
	B 子宮頸部の類腫瘍・腫瘍	子宮頸管ポリープ	
		異形成<子宮頸部上皮内腫瘍>	
		子宮頸癌	
	C 子宮体部の類腫瘍・腫瘍	子宮内膜ポリープ	
		子宮内膜増殖症	
		子宮内膜異型増殖症	
		子宮体癌<子宮内膜癌>	
		子宮筋腫	
		子宮肉腫	
	D 卵巣腫瘍	機能性卵巣嚢胞	
		表層上皮性・間質性腫瘍	
		性索間質性腫瘍	
		胚細胞腫瘍	
		二次性<転移性>腫瘍	
		茎捻転	
	E 子宮内膜症、子宮腺筋症	子宮内膜症	子宮内膜症性嚢胞<卵巣チョコレート嚢胞>
		子宮腺筋症	
	F 絨毛性疾患	胞状奇胎	
		存続絨毛症	
		絨毛癌	
	G その他の婦人科腫瘍	腔癌	
		卵管癌	
		腹膜偽粘液腫	
8 月経異常、不妊、不育	A 無月経	視床下部性無月経	神経性食思<欲>不振症<拒食症>

大項目	中項目	小項目	備考
		下垂体性無月経	
		卵巣性無月経	
		子宮性無月経	
	B 月経周期と量の異常	希発月経	
		過多月経	
		過少月経	
	C 月経困難症	機能性月経困難症	
		器質性月経困難症	
	D その他の月経異常	無排卵	黄体化未破裂卵胞
		黄体機能不全	
		高プロラクチン血症、乳汁漏出症	
		多嚢胞性卵巣症候群<PCOS>	
		月経前症候群	
		早発閉経	
		機能性子宮出血	
	E 不妊、不育	不妊症	生殖補助技術<ART>、卵巣過剰刺激症候群
		男性不妊症	精液検査
		不育症	抗リン脂質抗体症候群
	F 避妊		経口避妊薬
9 更年期・閉経後障害	A 更年期障害		ホルモン補充療法
	B 閉経後障害	萎縮性膣炎	
		骨粗鬆症	
		脂質異常症	
		動脈硬化	
10 その他の尿路・生殖器異常	A 腎・尿路の形態異常	単純性腎嚢胞	
		嚢胞腎	
		海綿腎	
		馬蹄腎	
		重複腎盂尿管	
		巨大尿管	
		異所開口尿管	
		尿管瘤	
		膀胱憩室	
		膀胱瘤	
	B 男性生殖器の形態異常	尿道下裂	
		包茎	
		停留精巣	
		精巣・精索水腫	
		精索静脈瘤	
		精巣捻転症	
	C 女性生殖器の形態異常	子宮の奇形	
		子宮の位置異常	
		膣脱、子宮脱	直腸瘤

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	D 尿路・生殖器の機能異常	夜尿症〈夜間遺尿症〉	
		過活動膀胱	
		腹圧性尿失禁	
		勃起障害	
		持続勃起症	
	E 尿路・生殖器の損傷	腎・尿路損傷	
		陰茎折症	
		精巣損傷	
		尿路・性器異物	
		女性性器損傷	
		尿管腔瘻	
		膀胱腔瘻	
		直腸腔瘻、膀胱腸瘻	
		月経瘻	
		子宮腔癒着{症}〈Asherman症候群〉	

IX 神経・運動器疾患 [約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 脳血管障害	A 脳出血	高血圧性脳出血	
		アミロイドアンギオパチー	
	B くも膜下出血	脳動脈瘤、解離性脳動脈瘤	脳血管攣縮、正常圧水頭症
	C 脳梗塞	心原性脳塞栓症	無症候性脳梗塞、Wallenberg症候群、Weber症候群、t-PA<tissue plasminogen activator>
		アテローム血栓性脳梗塞	
		ラクナ梗塞	
		一過性脳虚血発作	
		脳動脈狭窄・閉塞	
	D その他の血管性障害	脳動静脈奇形	
		静脈洞血栓症	
		脳動脈解離	
		硬膜動静脈瘻	内頸動脈海綿静脈洞瘻
		もやもや病	
	E 脳卒中後遺症	仮性球麻痺	脳卒中後の急性期・回復期・維持期リハビリテーション
		誤嚥性肺炎	
		廃用性萎縮	
		深部静脈血栓症	
2 脳腫瘍	A 脳実質内腫瘍	神経膠腫	
		胚細胞腫瘍	胚(細胞)腫
		悪性リンパ腫	
		血管芽腫	
	B 脳実質外腫瘍	髄膜腫	
		下垂体腺腫	
		神経鞘腫	
		頭蓋咽頭腫	
	C 転移性脳腫瘍	転移性脳腫瘍	
		髄膜癌腫症<癌性髄膜炎>	
	D 頭蓋骨腫瘍	頭蓋骨転移	
3 神経・運動器の感染・炎症性疾患	A ウイルス感染症	脳炎	単純ヘルペス脳炎
		髄膜炎	
		亜急性硬化性全脳炎<SSPE>	
		HIV脳症	
		HTLV-I 関連ミエロパチー<HAM>	
	B プリオン病	Creutzfeldt-Jakob病	
	C 静脈洞感染症		
	D 髄膜炎	細菌性髄膜炎	
		真菌性髄膜炎	
		結核性髄膜炎	
	E 脳膿瘍		
	F 骨・関節感染症	化膿性脊椎炎	椎間板炎、椎体炎
		結核性骨関節炎	結核性脊椎炎<脊椎カリエス>、結核性関節炎
		化膿性骨髄炎	Brodie骨膿瘍
		化膿性関節炎	乳児化膿性股関節炎

大項目	中項目	小項目	備考
4 神経変性疾患、代謝性疾患、脱髄疾患、中毒	A 認知症	Alzheimer型認知症	
		Lewy小体型認知症	
		Pick病	
		前頭側頭型認知症	
	B Parkinson病と類縁疾患	Parkinson病	
		続発性パーキンソニズム	
		進行性核上性麻痺	
		大脳皮質基底核変性症	
		本態性振戦	
	C Huntington舞蹈病と類縁疾患	Huntington舞蹈病	舞蹈運動、アテトーゼ、ジストニア
		小舞蹈病	
		捻転ジストニア	
		痙性斜頸	
		書痙	
	D 代謝性疾患	Wilson病	
		Wernicke脳症	
		ミトコンドリア脳筋症	MELAS、MERRF、Kearns-Sayre症候群、Leigh脳症
	E 白質変性症	副腎白質ジストロフィー	
		異染性白質ジストロフィー	
	F 脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、痙性対麻痺	Machado-Joseph病	
		Shy-Drager症候群	
		オリーブ橋小脳萎縮症	
		線条体黒質変性症	
	G 運動神経変性疾患、脱髄疾患	筋萎縮性側索硬化症<ALS>	
		脊髄性筋萎縮症	Werdnig-Hoffmann病、Kugelberg-Welander病、球脊髄性筋萎縮症<Kennedy-Alter-Sung症候群>
		多発性硬化症	視神経脊髄炎
		急性散在性脳脊髄炎	
	H 中毒性疾患	一酸化炭素中毒<CO中毒>	
		低酸素脳症	
5 末梢神経疾患、神経筋接合部疾患、筋疾患	A 末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患	Guillain-Barré症候群、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	
		多発{性}ニューロパチー<多発神経炎>	
		遺伝性運動感覚性ニューロパチー	Charcot-Marie-Tooth病
		アミロイドニューロパチー	
		癌性ニューロパチー	
		単ニューロパチー<単神経炎>	Bell麻痺
		多発単ニューロパチー<多発単神経炎>	
	B 末梢神経の絞扼性疾患	手根管症候群	Tinel徴候
		肘部管症候群	

大項目	中項目	小項目	備考
	C 神経痛	三叉神経痛	
		肋間神経痛	
		坐骨神経痛	
	D 神経筋接合部、筋疾患	重症筋無力症	
		Lambert-Eaton症候群	
		進行性筋ジストロフィー	Duchenne型、Becker型
		筋強直性ジストロフィー	
		内分泌・代謝性ミオパチー	
		多発{性}筋炎	
		周期性四肢麻痺	
		悪性高熱症	
6 発作性疾患、機能性疾患、自律神経系疾患	A 全般てんかん	強直間代発作	
	B 局在関連性<焦点性、部分性>てんかん	単純部分発作	側頭葉てんかん、前頭葉てんかん
		複雑部分発作	
	C 慢性頭痛	片頭痛	
		緊張型頭痛	
		群発頭痛	
	D その他	ナルコレプシー	
		周期性過眠症	
		けいれん重積状態	
		汎自律神経失調症<pandysautonomia>	
7 脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A 脊椎・脊髄疾患	斜頸	
		Klippel-Feil症候群	
		側弯症	
		後弯症<円背>	
		平背	
		椎間板ヘルニア	
		変形性脊椎症	
		脊髄症、神経根症	
		脊柱靱帯骨化症	後縦靱帯骨化症、黄色靱帯骨化症
		脊柱管狭窄症	
		脊椎分離症	
		脊椎すべり症	
		腰痛症	
		強直性脊椎炎	
		脊椎腫瘍	
		脊髄腫瘍	
		脊髄血管障害	
	B 骨系統疾患	軟骨無形成症	
		骨形成不全症	
		脊椎骨端異形成症	
		大理石骨病	
		先天性多発性関節拘縮症	

大項目	中項目	小項目	備考
	C 代謝性骨疾患	骨粗鬆症	
		くる病、骨軟化症	
		骨Paget病	
8 上肢・下肢の運動器疾患、非感染性骨・関節・四肢軟部疾患	A 肩関節の疾患	先天性肩甲骨高位症<Sprengel病>	
		胸郭出口症候群	
		肩関節周囲炎	
		腱板断裂	
	B 肘関節の疾患	肘内障	
		上腕骨外側上顆炎	
		外反肘、内反肘	
	C 手の疾患	強剛母指	
		多指症、合指症	
		Heberden結節	
		Dupuytren拘縮	
	D 股関節の疾患	発育性股関節形成不全<先天性股関節脱臼>	
		大腿骨頭すべり症	
		Perthes病	
		特発性大腿骨頭壊死症	
		変形性股関節症	Trendelenburg徴候
	E 膝関節の疾患	Osgood-Schlatter病	
		半月板障害	
		膝蓋軟骨軟化症	
		変形性膝関節症	
		外反膝、内反膝、反張膝	
	F 下腿・足の疾患	先天性下腿偽関節	
		内反足	
		外反母趾	
	G 骨壊死		
	H 滑膜炎、関節炎	関節リウマチ	
		痛風、偽痛風	
		滑液包炎、腱鞘炎	de Quervain病、ばね指
	I 関節症	神経病性関節症	Charcot関節
		血友病性関節症	
		変形性関節症	
	J 四肢軟部病変	腱付着部炎	
		異所性骨化	
		ガングリオン	
9 骨・軟部腫瘍と類似疾患	A 原発性良性骨腫瘍	骨軟骨腫	多発性軟骨性外骨腫
		内軟骨腫	
		類骨骨腫	
		骨巨細胞腫	
	B 原発性悪性骨腫瘍	骨肉腫	
		軟骨肉腫	
		Ewing肉腫	

大項目	中項目	小項目	備考
		骨悪性線維性組織球腫	
		脊索腫	
	C 転移性骨腫瘍		
	D 骨腫瘍類似疾患	単発性骨嚢腫	
		動脈瘤様骨嚢腫	
		線維性骨異形成	
		骨組織球症	
	E 良性軟部腫瘍	脂肪腫	
		血管腫	
		グロムス腫瘍	
		神経鞘腫	
	F 悪性軟部腫瘍	類腱腫	
		脂肪肉腫	
		悪性線維性組織球腫	
		滑膜肉腫	
		悪性末梢神経鞘腫	
		平滑筋肉腫	
10 神経・運動器の外傷、脳・脊髄の奇形、神経・皮膚症候群、その他	A 頭部外傷	脳挫傷	外傷性てんかん、高次脳機能障害
		脳振盪	
		びまん性軸索損傷	
		急性硬膜外血腫	
		急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫	
		脳内血腫	
		頭蓋骨骨折	
		髄液漏	
	B 脊髄損傷	頸髄損傷	脊椎脱臼骨折
		胸髄損傷	
		腰髄損傷	
	C 骨折	脊椎骨折	
		骨盤骨折	
		四肢骨折	大腿骨近位部骨折
		開放骨折	Golden period
	D 関節の外傷	関節捻挫	
		靱帯損傷	
		脱臼、亜脱臼	
	E 四肢軟部損傷	末梢神経損傷	
		四肢血管損傷	
		筋断裂、腱断裂	
		区画〈コンパートメント〉症候群	Volkmann拘縮
		挫滅〈圧挫〉症候群〈crush syndrome〉	
	F 四肢切断		
	G スポーツ外傷	肩関節脱臼	
		離断性骨軟骨炎	
		突き指	槌指変形
		肉離れ	

大項目	中項目	小項目	備考
		膝靱帯損傷	
		半月板損傷	
		足関節捻挫	
		アキレス腱断裂	
	H 外傷の合併症	偽関節	
		変形治癒	
		関節拘縮	
		骨壊死	
		脂肪塞栓症	
		複合性局所疼痛症候群<CRPS>	
	I 水頭症	閉塞性水頭症	
		交通性水頭症	
		特発性正常圧水頭症	
	J 先天奇形	頭蓋骨早期癒合症	Crouzon病、くも膜嚢胞
		頭蓋破裂<脳瘤>	
		二分脊椎、髄膜瘤	
		Chiari 奇形	
		脊髄空洞症	
	K 神経皮膚症候群、母斑症	神経線維腫症	神経線維腫症 1 型 <von Recklinghausen病>
		結節性硬化症	
		Sturge-Weber症候群	
		von Hippel-Lindau病	
	L その他	急性脳症	インフルエンザ脳症
		脳性麻痺	
11 その他の重要な 小児領域の疾患	A 神経変性疾患	脊髄性筋萎縮症	Werdnig-Hoffmann病
	B 先天性筋疾患	進行性筋ジストロフィー	Duchenne型、Becker型
		先天性筋強直性ジストロフィー	
	C けいれん性疾患、てんかん	熱性けいれん	
		憤怒けいれん<泣き入りひきつけ>	
		West症候群<点頭てんかん>	
		Lennox-Gastaut症候群	
		小児欠神てんかん	
		中心・側頭部に棘波をもつ良性小児てんかん	
	D 脳・脊髄の奇形	頭蓋骨早期癒合症	
		小頭症	
	E その他	Reye症候群	
		急性小脳失調症	
		急性小児片麻痺	

X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患 [約8%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 間脳・下垂体疾患	A 視床下部機能障害	中枢性早熟症	
		低ゴナドトロピン性性腺機能低下症	Kallmann症候群、Prader-Willi症候群
		中枢性摂食異常症	神経性食思<欲>不振症<拒食症>
		視床下部腫瘍	頭蓋咽頭腫、胚{細胞}腫
	B 下垂体機能障害	先端巨大症	
		Cushing病	Nelson症候群
		高プロラクチン血症	プロラクチノーマ
		下垂体前葉機能低下症	Sheehan症候群
		自己免疫性視床下部下垂体炎<リンパ球性下垂体炎>	
		中枢性尿崩症	
		ADH不適合分泌症候群<SIADH>	
		下垂体腫瘍	
2 甲状腺疾患	A 甲状腺機能障害	甲状腺機能亢進症	Basedow病<Graves病>、Plummer病
		甲状腺機能低下症	
	B 甲状腺の炎症	慢性甲状腺炎<橋本病>	
		無痛性甲状腺炎	
		亜急性甲状腺炎	
	C 甲状腺の腫瘍	単純性甲状腺腫	
		腺腫様甲状腺腫	
		甲状腺良性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍	
3 副甲状腺<上皮小体>疾患とカルシウム代謝異常	A 副甲状腺<上皮小体>機能障害	副甲状腺<上皮小体>機能亢進症	
		副甲状腺<上皮小体>機能低下症	
	B カルシウム代謝異常	骨粗鬆症	骨密度測定<DXA>
		くる病、骨軟化症 悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症	
4 副腎皮質・髄質疾患	A 副腎皮質機能障害	Cushing症候群	
		アルドステロン過剰症、原発性アルドステロン症	
		慢性副腎不全<Addison病>	Schmidt症候群
		急性副腎不全	
		副腎偶発腫	
		副腎{皮質}癌	
	B 副腎髄質機能障害	褐色細胞腫	
		神経芽腫	
5 その他の内分泌疾患	A 性腺機能障害	原発性性腺機能低下症	Klinefelter症候群、Turner症候群
		多嚢胞性卵巣症候群<PCOS>	
	B 内分泌腫瘍	多発性内分泌腫瘍症	MEN I 型、MEN II 型
		消化管ホルモン産生腫瘍(消化管神経内分泌腫瘍)	

大項目	中項目	小項目	備考
		膵神経内分泌腫瘍	
		異所性ホルモン産生腫瘍	
	C その他の機能障害	ホルモン受容体異常症	
6 糖{質}代謝異常	A 糖尿病	1型糖尿病	
		2型糖尿病	
		その他の糖尿病	二次性糖尿病、遺伝子異常による糖尿病
		妊娠糖尿病	
	B 糖尿病の高血糖緊急症(急性合併症)	糖尿病ケトアシドーシス(DKA)	
		高血糖高浸透圧症候群	
		乳酸アシドーシス	
	C 糖尿病の慢性合併症	糖尿病網膜症	
		糖尿病腎症	
		糖尿病神経障害	
		糖尿病足病変	
		大血管障害	
	D 低血糖症	インスリノーマ	
		薬剤による低血糖	
		内分泌異常による低血糖	
		膵外腫瘍	
		反応性低血糖	
	E 糖代謝異常	乳糖分解酵素障害症<乳糖不耐症>	
7 脂質代謝異常	A 脂質異常症	原発性高脂血症	家族性高コレステロール血症(FH)
		二次性高脂血症	
	B 肥満症	単純性肥満	
		症候性肥満	
8 蛋白・アミノ酸代謝異常	A 血清蛋白の異常	低蛋白血症	
	B アミロイドーシス	全身性アミロイドーシス	原発性、続発性
9 その他の代謝異常	A ビタミン類の代謝異常	ビタミンの欠乏症	ビタミンB ₁ 欠乏症(Wernicke脳症)、ナイアシン<ニコチン酸>欠乏(ペラグラ)
		ビタミンの過剰症	
	B プリン(尿酸)代謝の異常	痛風	
		高尿酸血症	Lesch-Nyhan症候群
	C ポルフィリン代謝の異常	ポルフィリン症	
	D ビリルビン代謝の異常	体質性黄疸	
	E 金属代謝の異常	ヘモクロマトーシス	
		Wilson病	Kayser-Fleischer輪
		Menkes病	
		亜鉛欠乏症候群<腸性肢端皮膚炎>	

大項目	中項目	小項目	備考
10 その他の重要な小児領域の疾患	F コラーゲン代謝の異常	Marfan症候群	
		Ehlers-Danlos症候群	
	G エラスチン代謝の異常	弾性線維性偽性黄色腫	
	A 間脳・下垂体、甲状腺、副腎その他の疾患	成長ホルモン分泌不全性低身長	
		クレチン症	
		先天性副腎皮質過形成	
		性早熟症<思春期早発症>	McCune-Albright症候群
	B 糖{質}代謝異常	アセトン血性嘔吐症<周期性嘔吐症>	
		新生児低血糖症	
		ケトン性低血糖症	
	C 先天代謝異常	糖原病	von Gierke病、Pompe病
		ガラクトース血症	
		リピドーシス	Tay-Sachs病、Gaucher病、Niemann-Pick病、Fabry病
		ムコ多糖症	Hurler症候群、Hunter症候群
		先天性アミノ酸代謝異常症	フェニルケトン尿症<高フェニルアラニン血症>、ホモシスチン尿症、メープルシロップ尿症
		尿素サイクル異常症	
		有機酸代謝異常症	
11 乳腺・乳房疾患	A 炎症・感染症	乳腺炎	
	B 腫瘍	乳腺管内乳頭腫	
		乳腺葉状腫瘍	
		乳癌	乳房Paget病
	C 変性疾患	乳腺症	
		乳腺線維腺腫	

XI アレルギー性疾患、膠原病、免疫病 [約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 アレルギー性疾患	A 全身性	アナフィラキシー	
		薬物アレルギー	
		食物アレルギー	食物依存性運動誘発アナフィラキシー
		血清病	
		昆虫アレルギー	
		職業性アレルギー	
	B 皮膚・粘膜	アレルギー性結膜炎	
		鼻アレルギー〈アレルギー性鼻炎〉	
		花粉症	
		蕁麻疹	
		アトピー性皮膚炎	
		アレルギー性接触皮膚炎	
		血管性浮腫	C1インヒビター欠損症
	C 呼吸器	気管支喘息	
		好酸球性肺疾患	
		アレルギー性気管支肺アスペルギルス症	
		過敏性肺炎	
2 膠原病と類縁疾患	A 膠原病	全身性エリテマトーデス〈SLE〉	
		全身性硬化症〈強皮症〉	
		皮膚筋炎、多発性筋炎	
		結節性多発動脈炎	
		関節リウマチ	
	B 血管炎を主とする類縁疾患	巨細胞性動脈炎〈側頭動脈炎〉	
		高安動脈炎〈大動脈炎症候群〉	
		顕微鏡的多発血管炎	ANCA関連血管炎
		アレルギー性肉芽腫性血管炎〈Churg-Strauss症候群〉	
		Wegener肉芽腫症	ANCA関連血管炎、granulomatosis with polyangiitis〈GPA〉
		過敏性血管炎	
		Schönlein-Henoch紫斑病〈アナフィラクトイド紫斑病〉	
		クリオグロブリン血症	
		Goodpasture症候群	
	C 関節炎を主とする類縁疾患	リウマチ熱	心弁膜症
		悪性関節リウマチ	
		成人Still病	
		強直性脊椎炎	
		反応性関節炎	Reiter症候群
		Felty症候群	
		乾癬性関節炎	
		掌蹠膿疱症性関節炎	
		痛風	結晶誘発性関節炎

大項目	中項目	小項目	備考
	D その他の類縁疾患	偽痛風	
		混合性結合組織病<MCTD>	
		Sjögren症候群	
		抗リン脂質抗体症候群	
		リウマチ性多発筋痛症	
		サルコイドーシス	
		Behçet病	
		Weber-Christian病	
		再発性多発軟骨炎	
		アミロイドーシス	
		IgG4関連疾患	
		線維筋痛症	
		慢性疲労症候群	
3 原発性免疫不全症	A 複合型免疫不全症	重症複合免疫不全症	
	B 抗体産生不全を主とする免疫不全症	無ガンマグロブリン血症	
		選択的IgA欠乏症	
	C 他のよく定義された免疫不全症	Wiskott-Aldrich症候群	
		毛細血管拡張性失調症 <ataxia telangiectasia>	
		胸腺低形成<DiGeorge症候群>	
	D 免疫調節不全症	Chédiak-Higashi症候群	
4 続発性免疫不全症	E 食細胞機能不全症	慢性肉芽腫症	
	F 補体欠損症		C1インヒビター欠損症
	A 感染による免疫不全症	後天性免疫不全症候群<AIDS>	
	B 悪性腫瘍による免疫不全症		
5 その他の重要な小児領域の疾患	A 膠原病と類縁疾患	若年性特発性関節炎<JIA>	
		川崎病	

XII 感染性疾患 [約 8 %]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 ウイルス	A ウイルスによる感染症	インフルエンザ	
		アデノウイルス感染症	
		RSウイルス感染症	
		流行性耳下腺炎<ムンプス>	
		麻疹	
		風疹	
		突発性発疹	
		急性灰白髄炎<ポリオ>	
		コクサッキーウイルス感染症、エコー<ECHO>ウイルス感染症	ヘルパンギーナ、手足口病、急性出血性結膜炎
		流行性角結膜炎	
		咽頭結膜熱	
		ウイルス性下痢症	
		単純ヘルペスウイルス感染症	
		水痘、帯状疱疹	
		EB<Epstein-Barr>ウイルス感染症	
		伝染性紅斑	
		サイトメガロウイルス感染症	
		デング熱	
		ヒトパピローマウイルス<HPV>感染症	尖圭コンジローマ、尋常性疣贅、結膜乳頭腫、子宮頸癌
		伝染性軟属腫	
		ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症、後天性免疫不全症候群<AIDS>	
		ヒトT細胞白血病ウイルス<HTLV-I>感染症	
		ウイルス性肝炎	
		ウイルス性髄膜炎	
		日本脳炎	
		ノロウイルス感染症	
		ロタウイルス感染症	
2 クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	A クラミジア、マイコプラズマ、リケッチアによる感染症	オウム病	
		クラミジア肺炎	
		トラコーマ	
		性器クラミジア感染症	
		マイコプラズマ肺炎	
		つつが虫病	
		Q熱	
		猫ひっかき病	
3 細菌〔抗酸菌<マイコバクテリア>を除く〕	A 細菌〔抗酸菌<マイコバクテリア>を除く〕による感染症	連鎖球菌感染症	
		腸球菌感染症	
		肺炎球菌感染症	
		黄色ブドウ球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌<MRSA>感染症	

大項目	中項目	小項目	備考
		淋菌感染症	
		髄膜炎菌感染症	Waterhouse-Friderichsen 症候群
		リステリア感染症	
		ジフテリア	
		ヘモフィルス感染症	インフルエンザ{桿}菌感染症、軟性下痢
		モラキセラ・カタラリス感染症	
		細菌性赤痢	
		サルモネラ感染症	腸チフス、パラチフス、非チフス性サルモネラ症
		百日咳	
		大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌感染症
		クレブシエラ感染症	
		セラチア感染症	
		腸炎ビブリオ感染症	
		コレラ	
		レジオネラ症	
		緑膿菌感染症	
		破傷風	
		ガス壊疽	壊死性筋膜炎
		ボツリヌス症	バイオテロ
		クロストリジウム・ディフィシル腸炎	
		バクテロイデス感染症	
		梅毒	
4 抗酸菌<マイコバクテリア>	A 抗酸菌<マイコバクテリア>による感染症	結核	
		非結核性<非定型>抗酸菌症	
		Hansen病	
5 真菌・寄生虫・その他の病原体	A 真菌・寄生虫・その他の病原体による感染症	カンジダ症	
		クリプトコックス症	
		アスペルギルス症	
		白癬	
		癬風	
		スポロトリコーシス	
		ニューモシスチス肺炎	
		アメーバ赤痢	輸入感染症
		マラリア	輸入感染症
		回虫症	
		アニサキス症	
		吸虫症	
		トキソプラズマ症	
		クリプトスポリジウム症	人獣共通感染症
		トリコモナス症	
		ランブル鞭毛虫症	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		プリオン病	Creutzfeldt-Jakob病、ウシ海綿状脳症<BSE、狂牛病>

XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患 [約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 食中毒、病害動物による疾患	A 食中毒	細菌性食中毒	
		ウイルス性食中毒	
		化学性食中毒	
		自然毒食中毒	フグ、キノコ
	B 病害動物および鼠族・昆虫による疾患	毒ヘビによる咬傷	
		節足動物による疾患	ダニ
	C 旅行者疾患	旅行者下痢症	
2 アルコールによる障害、薬物依存・中毒	A アルコールによる障害	急性アルコール中毒	
		アルコール依存症	
		アルコール精神病	Korsakoff精神病、Wernicke脳症
		慢性アルコール性臓器障害	
		妊婦・胎児への影響、胎児性アルコール症候群	
	B 薬物依存・中毒	睡眠薬依存・中毒	
		向精神薬依存・中毒	
		解熱鎮痛薬依存・中毒	
		麻薬依存・中毒	
		覚醒剤依存・中毒	
		有機溶剤依存・中毒	
	C 毒劇物中毒		
3 喫煙による障害	A たばこ煙	たばこ煙中の有害物質、未成年者の喫煙、受動喫煙	主流煙、副流煙、ニコチン
	B 喫煙による健康障害	ニコチン依存症	ニコチン代替療法
		呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患<COPD>)、がん、循環器疾患	Brinkman指数
		妊婦・胎児への影響	
4 産業中毒とその他の職業性疾患	A 産業中毒	金属中毒	
		ガス中毒	
		有機溶剤中毒	
		化学物質中毒	
		農薬中毒	有機リン剤、有機塩素剤
	B 作業態様による障害	職業性腰痛	
		頸肩腕障害	
		VDT作業による障害	
	C 過重労働による障害	脳血管疾患	
		虚血性心疾患	
		自殺	
	D 職業性ストレスによる障害	適応障害	
		心身症	
		うつ病	
	E 職業性アレルギー	職業性喘息	
		過敏性肺炎	
		鼻アレルギー<アレルギー性鼻炎>	

大項目	中項目	小項目	備考
	F その他の職業性疾患	アレルギー性接触皮膚炎	
		職業癌	
		じん肺	
		酸素欠乏症	
5 物理的原因・生活環境因子による障害	A 低温・高温環境による疾患	熱中症	
		偶発性低体温{症}	
		凍傷	
	B 騒音障害	騒音性難聴	
	C 振動障害	動揺病	
	D 気圧による障害	減圧症	
		高山病	
	E 電離放射線障害	急性放射線障害	
		放射線による発がん	
	F 非電離放射線障害		レーザー、紫外線、赤外線
	G 家庭用品による障害	誤飲	
		誤嚥	
		創傷	
		熱傷	
		急性中毒	
	H 家庭におけるアレルギー・過敏症	化学物質過敏症	
		シックハウス症候群<シックビル症候群>	
	I 事故による障害	交通事故	
		家庭内事故	
		自然災害	

索引

索引

1

13 trisomy..... 69
18 trisomy..... 69
1 型糖尿病..... 104
1 歳 6 か月児健康診査..... 23
1 日の摂取許容量..... 24

2

2 型糖尿病..... 104
2 次・3 次救急患者の診察.... 46
2 次・3 次救急患者の治療.... 62
2 次・3 次救急に必要処置.. 62

3

3D-CTA..... 54
3 歳児健康診査..... 23

Ⅲ

Ⅲ音..... 41

4

4R..... 60

Ⅳ

Ⅳ音..... 41

5

5p-症候群..... 69

7

75g OGTT試験..... 50

9

95%信頼区間..... 22

A

α -フェトプロテイン<AFP> 88
 α_1 -アンチトリプシン法..... 50
A-aDO₂..... 27
ABR..... 50, 51
AC..... 52
ACD..... 89
activity limitations 18
Adams-Stokes症候群 41
ADAMTS-13..... 90
Addison病 103
ADHD..... 72
ADH不適合分泌症候群<SIADH>
..... 103
ADI..... 24
ADL..... 13, 23, 46, 61
AED..... 62
AFI..... 53, 68
AFP..... 88
AIDS..... 36, 107, 108
AIP..... 79
ALI..... 58, 62, 80
Alma Ata宣言 21
Alport症候群 92
ALS..... 10, 98
Alzheimer型認知症 71, 98
ANCA関連血管炎 79, 92, 106
angiodysplasia 85
Apgarスコア 47, 69
ARDS..... 11, 58, 62, 80
ART..... 65, 95
Asherman症候群 96
Asperger症候群 72
ataxia telangiectasia 107
attributable risk 9, 22
Auspitz現象 74
A型肝炎 86

B

β_2 -ミクログロブリン..... 50
Babinski徴候..... 45
Babinski反射..... 33, 45
BAL..... 55
Barrett上皮..... 85
Bartholin腺..... 29
Bartholin腺炎..... 93
Bartholin腺膿瘍..... 93
Bartholin腺嚢腫..... 93
Bartter症候群..... 92
Basedow病..... 103
Becker型..... 99, 102
Beckのうつ病自己評価尺度.... 52
Behçet病..... 76, 107
Bell麻痺..... 44, 77, 98
Bence Jones蛋白..... 89
Bentall手術..... 83
Bernard-Soulier症候群..... 91
biophysical profile score.....
..... 53, 69
Biot呼吸..... 41
Bishopスコア..... 47
Blalock-Taussig短絡手術..... 82
BLS..... 10
Blumberg徴候..... 7, 42
Bochdalekヘルニア..... 88
Boerrhaave症候群..... 85
Bowen病..... 74, 94
BPD..... 52
BPRS..... 52
BPS..... 53, 69
Bq..... 53
Brief Psychiatric Rating Scale
<BPRS>..... 52
Brinkman指数..... 111
Broca失語..... 44
Brodie骨膿瘍..... 97
Brown-Séquard症候群..... 45
BRT0..... 60
Brudzinski徴候..... 44
Brugada症候群..... 82

BSE..... 110
 BT-PABA試験<PFD試験>..... 50
 Budd-Chiari症候群..... 84, 86
 Buerger病..... 84
 Burkittリンパ腫..... 89
 B型肝炎..... 86
 B型肝炎ウイルス..... 68
 B群連鎖球菌..... 69
 B細胞..... 31
 Bリンパ球<B細胞>..... 31

C

C1インヒビター欠損症.. 106, 107
 CAD..... 54
 café au lait斑..... 73
 Celsus禿瘡..... 74
 CF..... 49
 CGA..... 4, 46
 Chaddock反射..... 45
 Charcot 3 徴..... 87
 Charcot-Marie-Tooth病..... 98
 Charcot関節..... 100
 Chédiak-Higashi症候群.. 89, 107
 Cheyne-Stokes呼吸..... 41
 Chiari 奇形..... 102
 Churg-Strauss症候群.... 79, 106
 CKD..... 93
 CKD-MBD..... 93
 closing volume..... 27
 CO₂ナルコーシス..... 64
 coarse crackles..... 41
 compromised host..... 36
 Congo-Red染色..... 49
 Coombs分類..... 36
 COP..... 80
 COPD..... 11, 79, 111
 CO中毒..... 98
 CPA..... 10, 46
 CPAP..... 65
 CPD..... 68
 CPPV..... 65
 CPR..... 46
 CR..... 54
 Creutzfeldt-Jakob病.... 97, 110
 Crigler-Najjar症候群..... 88
 CRL..... 52
 Crohn病..... 11, 85

Crouzon病..... 102
 CRP..... 48
 CRPS..... 102
 crush syndrome..... 63, 84, 101
 CST..... 53
 CT..... 9
 CT{ガイド}下治療..... 60
 CTG..... 47, 52, 53, 69
 CTL..... 31
 CTガイド下生検..... 61
 CT検査..... 54
 CT装置..... 53
 CT値..... 54
 Curling潰瘍..... 63
 Cushing症候群..... 83, 103
 Cushing病..... 103
 CV..... 60
 C型肝炎..... 86
 C型肝炎ウイルス..... 68

D

Darier徴候..... 51, 73
 Darier病..... 74
 de Quervain病..... 100
 DeBakey分類..... 83
 deep vein thrombosis..... 84
 Dent病..... 93
 Diamond-Blackfan症候群..... 89
 DIC..... 12, 63, 68, 90
 DiGeorge症候群..... 107
 DIP..... 80
 disaster medical assistance team..... 21
 DKA..... 104
 DMAT..... 21
 DNAR..... 14
 do not attempt resuscitation .. 14
 Doppler法..... 50, 53
 Douglas窩..... 29, 48
 Down症候群..... 69
 DR..... 54
 Dressler症候群..... 83
 drug-induced hypersensitivity syndrome..... 73
 DSA<digital subtraction angiography>装置..... 53

Dubin-Johnson症候群..... 86
 Duchenne型..... 99, 102
 Dupuytren拘縮..... 100
 DVT<deep vein thrombosis>... 84
 DV法..... 20
 DXA..... 103

E

EB<Epstein-Barr>ウイルス感染症..... 90, 108
 EBM..... 9
 Ebstein奇形..... 82
 ECHOウイルス感染症..... 108
 EFBW..... 52
 eGFR..... 50
 Ehlers-Danlos症候群..... 105
 EPS..... 50
 ERCP..... 54
 ERG..... 51
 ESWL..... 65
 ETCO₂..... 58
 Ewing肉腫..... 100
 E型肝炎..... 86

F

Fabry病..... 105
 Fallot四徴症..... 82
 Fanconi症候群..... 92
 Fanconi貧血..... 89
 FAO..... 21
 FAP..... 86
 FD..... 12, 85
 FDG..... 55
 Felty症候群..... 106
 fetal growth restriction.... 69
 FGR..... 69
 FH..... 104
 fine crackles..... 41
 FISH法..... 49
 FL..... 52
 flail chest..... 81
 FLAIR像..... 54
 flow-volume曲線..... 50
 Fontan手術..... 82

G

Gardner症候群.....	86
gastrointestinal stromal tumor	86
Gaucher病.....	105
GCP.....	2
GCS<Glasgow coma scale>.....	46
G-CSF.....	28
GERD.....	11, 85
Gerstmann症候群.....	44
Gibertばら色秕糠疹.....	74
Giemsa染色.....	49
Gilbert症候群.....	86
GIST.....	86
Gitelman症候群.....	92
Glanzmann病.....	91
Glasgow coma scale.....	46
Golden period.....	101
Goodpasture症候群.....	92, 106
GPA.....	79, 92, 106
GPIアンカー蛋白.....	89
Gram染色.....	49
granulomatosis with polyangiitis<GPA>.....	79, 92, 106
Graves病.....	103
Grocott染色.....	49
Gross分類.....	88
growth spurt.....	34
Guillain-Barré症候群.....	98
GVHD.....	73
Gy.....	53

H

HACCP.....	24
hairy cell leukemia.....	89
HAM.....	97
Hamilton Rating Scale for Depression.....	52
Hamiltonうつ病評価尺度.....	52
Hansen病.....	109
Heberden結節.....	100
<i>Helicobacter pylori</i>	49
HELLP症候群.....	68
hemophagocytic syndrome.....	90

HES.....	89
H-E染色.....	49
HFV.....	65
HI.....	49
Hirschsprung病.....	88
Histiocytosis, X.....	90
HIV.....	68
HIV感染症.....	108
HIV脳症.....	97
HLA.....	31, 49
Hodgkinリンパ腫.....	89
Hodgkin細胞.....	89
Holter心電図.....	50
Horner症候群.....	44, 77
HPV.....	108
HSG.....	54
HTLV-I.....	68, 108
HTLV-I 関連ミエロパチー<HAM>	97
Hunter症候群.....	105
Huntington舞蹈病.....	98
Huntington舞蹈病と類縁疾患 ..	98
Hurler症候群.....	105
HUS.....	90, 93
hyperviscosity症候群.....	90

I

IABP.....	59, 62
ICD.....	22
ICF.....	22
ICG試験.....	50
ICSI.....	65
ICT.....	3
IgA.....	33
IgA腎症.....	92
IgE.....	49
IgG.....	33
IgG4関連疾患.....	107
IgM.....	33
IGRA.....	49
IGRT.....	60
IIPs.....	79
IIPs以外の原因不明疾患 ..	80
ILO.....	21
impairment.....	18
IMRT.....	60
IMV.....	65

indocyanine green<ICG>試験..	50
interventional radiology<IVR>..	62, 64
IPF.....	79
IPMN.....	87
IPPV.....	65
IRB.....	2
ISO.....	3
iso染色体.....	35
ITP.....	68, 90
ITT.....	22
IVF-ET.....	65
IVR.....	62, 64

J

Japan coma scale.....	46
Jatene手術.....	82
JCS<Japan coma scale>.....	46
JIA.....	107
JICA.....	21

K

Kallmann症候群.....	103
Kaposi水痘様発疹症.....	73
Kaposi肉腫.....	74
Kartagener症候群.....	79
Kasabach-Merritt症候群.....	73
Kaup指数.....	33
Kayser-Fleischer輪.....	75, 104
Kearns-Sayre症候群.....	98
Kennedy-Alter-Sung症候群....	98
Kernig徴候.....	7, 44
Kiesselbach部位.....	40
Klinefelter症候群.....	69, 103
Klippel-Feil症候群.....	99
Köbner現象.....	74
KOH直接鏡検法.....	51
Korsakoff症候群.....	43
Korsakoff精神病.....	111
Kugelberg-Welander病.....	98
Kussmaul呼吸.....	41

L

LAM.....	80
----------	----

Lambert-Eaton症候群..... 99
Landau反射..... 33
Landolt環..... 51
Langerhans細胞..... 26
Langerhans細胞性組織球症.... 90
Lanz圧痛点..... 85
LD₅₀ 37
Le Fort型骨折..... 78
Leigh脳症..... 98
Lennox-Gastaut症候群..... 102
Leopold診察法..... 47
Leriche症候群..... 83
Lesch-Nyhan症候群..... 104
Leser-Trélat徴候..... 73
LET..... 59
Lewy小体型認知症..... 71, 98
Liddle症候群..... 92
LIP..... 80
LNT仮説..... 38
locked-in syndrome..... 44
LVAS..... 59

M

M. avium..... 79
M. intracellulare..... 79
M. kansasii..... 79
Machado-Joseph病..... 98
Mallory-Weiss症候群..... 85
MALT..... 30, 86, 89
Marfan症候群..... 83, 105
MAS..... 69
Mayer-Rokitansky-Küster-Hauser症候群<MRK症候群>... 70
May-Giemsa染色..... 48, 49
Maze手術..... 82
McBurney圧痛点..... 85
McCune-Albright症候群..... 105
MCN..... 87
MCTD..... 107
MDCT..... 54
MDG..... 21
MDS..... 89
Meckel憩室..... 85
MELAS..... 98
MEN I 型..... 103
MEN II 型..... 103
Mendel遺伝様式..... 35

Ménétrier症候群..... 85
Ménière病..... 76
Menkes病..... 104
MERRF..... 98
MGUS..... 90
Mini-Mental State Examination<MMSE> 52
Minnesota多面人格検査<MMPI> 52
MMPI..... 52
MMSE..... 52
MODF..... 37
MODS..... 58
MOF..... 37, 58, 63
monoclonal gammopathy of undetermined significance 90
monosomy..... 35
Montgomery腺..... 27
Moro反射..... 33
mosaic..... 35
MRA..... 55
MRCP..... 54
MRI..... 9, 50, 53, 54
MRK症候群..... 70
MRS..... 55
MRSA感染症..... 108
MRスペクトロスコーピー..... 55
MR信号..... 54
Müller管..... 33
multidetector-row CT..... 54
M蛋白..... 89

N

NAFLD..... 86
NAG..... 50
NASH..... 86
NCD..... 21
Nelson症候群..... 103
NGO..... 21
Niemann-Pick病..... 105
Nikolsky現象..... 51, 74
NIPPV..... 65
NK細胞..... 30
non-reassuring fetal status <NRFS> 64, 69
NRFS..... 64, 69

NSAIDs..... 57, 86
NSIP..... 79
NST..... 53, 56, 69
NT..... 49

O

OCT..... 51
ODA..... 21
odds ratio..... 9, 22
opening snap..... 41
opportunistic infection..... 36
Osgood-Schlatter病..... 100
Osler病..... 90

P

P/F<PaO₂/FIO₂>比..... 58
PAM染色..... 49
pandysautonomia..... 99
PaO₂/FIO₂..... 58
Papanicolaou染色..... 49
Parkinson病..... 12, 98
Parkinson病と類縁疾患..... 98
participation restrictions.. 18
PAS染色..... 48, 49
PCOS..... 95, 103
PCPS..... 59, 62
PCR法..... 49
PCU..... 14, 64
PEG..... 13
Perthes病..... 100
PET..... 9, 55
PET/CT..... 55
PETカメラ..... 53
Peutz-Jeghers症候群..... 86
PFD試験..... 50
Philadelphia染色体..... 89
pHモニタリング..... 50
Pick病..... 71, 98
PID..... 93
PIVKA-II..... 53
Plummer病..... 103
Pompe病..... 105
POMR..... 2
Potter症候群..... 68
Prader-Willi症候群..... 103
psychoeducation..... 2, 65

PTA..... 60
 PTC..... 54
 PTSD..... 10, 71
 pulsed field gel
 electrophoresis..... 49
 PUVA療法..... 65
 P値..... 22

Q

QOL..... 23
 QOL<生活の質、quality of life>
 2, 18
 QOL<生活の質、quality of life>
 の改善・維持..... 64
 QT延長症候群..... 82
 quality of life.....
 2, 15, 18, 23, 64
 Q熱..... 108

R

Ramsay Hunt症候群..... 76
 Ramstedt手術..... 88
 Rastelli手術..... 82
 Raynaud症候群..... 84
 RB-ILD..... 80
 RBMT..... 52
 RCT..... 22
 RDS..... 69
 Reed-Sternberg細胞..... 89
 Reiter症候群..... 106
 relative risk..... 9, 22
 REM..... 29
 review of systems..... 4
 Reye症候群..... 102
 Reynolds 5 徴..... 87
 rhonchi..... 41
 ROC曲線..... 9
 ROD..... 93
 Rohrer指数..... 33
 Rorschachテスト..... 52
 Rotor症候群..... 86
 RSウイルス感染症..... 108
 RT-PCR法..... 49

S

Schmidt症候群..... 103
 Schönlein-Henoch紫斑病.....
 90, 106
 Scimitar症候群..... 82
 SCU..... 21
 Sézary症候群..... 74, 90
 Sheehan症候群..... 103
 Shy-Drager症候群..... 83, 98
 SIADH..... 103
 SIDS..... 38
 SIRS..... 36
 Sjögren症候群..... 92, 107
 Skene腺..... 29
 SLE..... 92, 106
 SLTA..... 52
 SMR..... 22
 SOAP(主観的所見、客観的所見、
 評価、計画)..... 2
 social skills training<SST>...
 62
 SPECT..... 55
 SPIKESモデル..... 5
 Sprengel病..... 100
 SSPE..... 97
 SST..... 62
 staging care unit..... 21
 STAI..... 52
 standard precautions..... 3, 7
 Stanford分類..... 83
 STD..... 36, 94
 Stevens-Johnson症候群..... 73
 STI..... 36, 94
 Sturge-Weber症候群..... 102
 SudanⅢ染色..... 49
 Sutton白斑..... 74
 Sv..... 53
 Swan-Ganzカテーテル検査..... 50
 Sweet病..... 73

T

T reg..... 31
 T1強調像..... 54
 T2強調像..... 54
 T2*強調像..... 54

TACE..... 60
 TAE..... 60
 Tay-Sachs病..... 105
 TDM..... 56
 telangiectasia..... 39
 Th1..... 31
 Th2..... 31
 Th17..... 31
 THP..... 24
 Tinel徴候..... 98
 tissue plasminogen activator..
 97
 TLR..... 30
 TNM分類..... 37
 toll-like receptor..... 30
 TORCH症候群..... 68
 torsades de pointes..... 82
 Tourette症候群..... 72
 toxic epidermal necrolysis.. 73
 t-PA..... 97
 Treacher Collins症候群..... 78
 Trendelenburg徴候..... 100
 trisomy..... 35
 TTP..... 90
 Turcot症候群..... 86
 Turner症候群..... 69, 103
 Tzanck試験..... 51
 Tリンパ球<T細胞>..... 31
 T細胞..... 31

U

UN..... 21
 UNAIDS..... 21
 UNICEF..... 21

V

vascular spider..... 39
 VDT作業による障害..... 111
 VEP..... 51
 Vero毒素..... 90
Vibrio vulnificus..... 74
 Virchow結節..... 39
 Vogt-小柳-原田病..... 76
 Volkmann拘縮..... 101
 von Gierke病..... 105
 von Hippel-Lindau病..... 102

von Recklinghausen病... 73, 102
von Willebrand病..... 90

W

WAIS-III..... 52
Waldenstrom..... 90
Wallenberg症候群..... 97
Waterhouse-Friderichsen症候群.....
..... 109
WCST..... 52
WDHA症候群..... 87
Weber-Christian病..... 107
Weber症候群..... 97
Wechsler記憶スケール<WMS>... 52
Wechsler記憶検査<WMS-R>... 52
Wechsler児童用知能検査
 <WISC-R-III>..... 52
Wechsler成人知能検査
 <WAIS-III>..... 52
Wegener肉芽腫症... 79, 92, 106
Werdnig-Hoffmann病..... 98, 102
Werner症候群..... 74
Wernicke失語..... 44
Wernicke脳症..... 98, 104, 111
West症候群..... 102
wheezes..... 41
WHO..... 21
WHO方式3段階除痛ラダー..... 14
WHO方式によるがん疼痛治療の
 目標..... 64
Willis動脈輪..... 30
Wilms腫瘍..... 94
Wilson-Mikity症候群..... 69
Wilson病..... 86, 98, 104
windowレベル..... 54
window幅..... 54
WISC-R-III..... 52
Wiskott-Aldrich症候群..... 107
WMS..... 52
WMS-R..... 52
Wolff管..... 33
WPW症候群..... 82
Wright染色..... 48

X

X線陰性結石..... 93

Z

Ziehl-Neelsen染色..... 49
Zollinger-Ellison症候群..... 87

あ

挨拶..... 4
アイソザイム..... 48
アイバンク..... 59
アウトカム..... 9
亜鉛欠乏症候群..... 104
亜急性硬化性全脳炎<SSPE>... 97
亜急性甲状腺炎..... 103
アキレス腱断裂..... 102
悪液質..... 37
悪液質の概念と病状把握..... 64
アクシデント..... 3
悪性外耳道炎..... 76
悪性関節リウマチ..... 106
悪性高血圧症..... 92
悪性高熱症..... 58, 99
悪性黒色腫..... 74
悪性腫瘍細胞の遺伝子検査..... 50
悪性腫瘍と免疫..... 36
悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症
..... 103
悪性腫瘍による免疫不全症... 107
悪性腎硬化症..... 92
悪性線維性組織球腫..... 101
悪性軟部腫瘍..... 101
悪性貧血..... 89
悪性末梢神経鞘腫..... 101
悪性リンパ腫.....
..... 12, 78, 80, 86, 91, 97
アシドーシス..... 93
アステレキシス..... 45
アスペルギルス症..... 79, 109
アセスメント..... 25
アセトン血性嘔吐症..... 105
亜脱臼..... 101
圧痛..... 7
アテトーゼ..... 98
アデノイド増殖症..... 77
アデノウイルス感染症..... 108
アテローム血栓性脳梗塞..... 97
アドヒアランス..... 5, 56

アトピー性皮膚炎... 10, 73, 106
アナフィラキシー.....
..... 13, 36, 37, 57, 62, 106
アナフィラクトイド紫斑病.....
..... 90, 106
アニサキス症..... 109
アフタ..... 39, 42
アフタ性口内炎..... 77
あぶみ骨筋反射..... 51
アミロイドアンギオパチー... 97
アミロイドーシス..... 104, 107
アミロイド腎症..... 92
アミロイドニューロパチー... 98
アメーバ性肝膿瘍..... 86
アメーバ赤痢..... 109
アルカリによる損傷..... 35
アルカローシス..... 93
アルコール依存症... 13, 71, 111
アルコール依存への支援..... 15
アルコール性肝炎..... 86
アルコール性肝障害..... 86
アルコール性心筋症..... 83
アルコール精神病..... 71, 111
アルコールによる障害..... 111
アルドステロン過剰症... 83, 103
アルブミン製剤..... 57
アルマ・アタ<Alma Ata>宣言.. 21
アレルギー..... 36
アレルギー性気管支肺アスペル
 ギルス症..... 79, 106
アレルギー性結膜炎..... 106
アレルギー性疾患... 13, 79, 106
アレルギー性接触皮膚炎.....
..... 106, 112
アレルギー性肉芽腫性血管炎...
..... 79, 106
アレルギー性鼻炎.. 11, 106, 111
アレルギー歴..... 4
アロディニア..... 59
暗順応..... 26
安全管理..... 54
安全への配慮..... 7
アンチトロンビン欠乏症..... 90
暗点..... 40
暗点検査..... 51
安楽死..... 14

い

胃	55
胃・十二指腸憩室	85
胃・十二指腸疾患	85
胃・十二指腸の異常	88
胃アニサキス症	85
胃液の分泌	28
胃潰瘍・十二指腸潰瘍	11, 85
医学・医療に関する人文・社会 科学・自然科学・芸術などに 関連する一般教養的知識や 考え方	15
医学及び歯学の教育のための 献体に関する法律	19
医学研究と倫理	2
医学史	15
胃癌	11, 85
易感染性宿主	36
胃管の挿入	14
息切れ	5, 41
意義と目標	8
胃巨大皺襞症	85
育児	4
育児環境の評価	46
育児休業制度	23
育児指導	23
異形成	37, 94
医原性肺疾患	80
医原性免疫不全症	107
医原病	38
医行為と診療補助行為	19
移行便	33
医事	19
医師以外の医療専門職の役割	14
医師会	20
医師間の連携	14
意識	29
意識啓発とその継続	5
意識混濁	44
意識障害	5, 10, 39, 44, 46
意識状態	7
維持期リハビリテーション	61
意識レベル	46
医師憲章	2
医師と自治体の対応	23
医師の職業倫理指針	2
医師の対応による医原病	38

医師のプロフェッショナルリズム	2
意思表示カード	59
医事紛争	3
医師法	2, 19
萎縮	39
萎縮性胃炎	85
萎縮性膣炎	95
異常感覚	45
異常眼球運動	40
異常呼吸	81
異状死	14
異常心音	41
異常値と原因	9
異常脳波賦活法	50
異常ヘモグロビン症	90
胃静脈瘤	11, 60, 85
異所開口尿管	95
移植	13
胃食道逆流症<GERD>	11, 85
移植と免疫	59
移植ネットワーク	59
移植の種類と適応	59
移植片対宿主病<GVHD>	73
移植免疫	49
異所性妊娠	10, 68
異所性ホルモン産生腫瘍	104
石綿	25
石綿症	80
医師を含む医療専門職の連携	14
椅子の配置	4
胃切除後症候群	85
胃腺腫	85
胃洗浄	63
異染色性白質ジストロフィー	98
遺族ケア	64
依存	38, 71
痛み	39
イチゴ<莓>状血管腫	73
イチゴ舌	42
一次救命処置<BLS>	10
一次情報	9
一次性頭痛	44
一児胎内死亡	69
一次治癒	35
一次予防	22
胃腸反射	28
一回投与	56

一過性多呼吸	69
一過性脳虚血発作	97
一酸化炭素中毒<CO中毒>	98
一般教養的事項	15
一般の手技	13
一般的診察	46, 47
一般的な身体診察	7
一般的な生化学検査	8
一般廃棄物	25
一般臨床検査	8, 48
遺伝カウンセリング	35
遺伝形式	35
遺伝子	3
遺伝子異常と環境因子	35
遺伝子異常による糖尿病	104
遺伝子関連検査	8
遺伝子組換え食品	24
遺伝子多型	56
遺伝子治療臨床研究に関する 指針	2
遺伝性運動感覚性ニューロパチー	98
遺伝性角化症	74
遺伝性球状赤血球症	89, 90
遺伝性出血性末梢血管拡張症	90
遺伝性腎炎	92
遺伝性水疱症	74
遺伝性難聴	76
遺伝性皮膚疾患	74
遺伝相談	35
遺伝的影響	38
遺伝的有意線量	38
移動機器	61
遺尿	43
医の倫理	2
いびき	40
衣服の機能と健康	25
異物	63, 87
異物・溺水・刺咬症の治療・ 処置	63
異物除去術	60, 61
胃ポリープ	85
移民	35
イムノアッセイ	49
イメージングプレート	53
医薬品・医療機器の副作用・不具合	3
医薬品医療機器総合機構	19

医薬品管理マニュアル	3
医薬品の臨床試験実施の基準	2
医薬分業	19
癒し環境の整備	64
医用機器と人工臓器	13
意欲と行動	29
意欲と行動の障害	44
医療・福祉と介護の連携	13
医療安全管理	3
医療安全支援センター	3, 19
医療過誤と医療事故	3
医療観察法	20
医療機関でのチームワーク	14
医療救護班	21
医療記録	2
医療計画	20
医療経済	2, 18
医療圏	20
医療裁判	3
医療事故の発生要因	3
医療事故の防止	3
医療事故報告書	3
医療従事者の確保	21
医療情報	9
医療情報の収集	4
医療制度	2
医療訴訟	3
医療の質と安全の確保	3
医療の質の確保	3
医療廃棄物処理	3
医療費負担と給付	18
医療法	2, 19
医療放射線被曝の軽減	53
医療保険	18, 20
医療保険制度	2
医療保険の種類と対象	18
医療面接	4
医療面接の意義	4
医療用麻薬	64
医療連携	20
イレウス管	62
胃瘻(PEG)	13
陰茎	29
陰茎癌	94
陰茎折症	96
咽後間隙	26
咽後膿瘍	77
インシデント	3

インシデントレポート	3
飲酒	15, 23
飲酒状況	15
飲酒の有害性	15
インスリノーマ	87, 104
インターベンショナルラジオロジー	60, 62, 64
咽頭	7, 55
咽頭・口腔・唾液腺疾患	77
咽頭・喉頭の異常	40
咽頭炎	77
咽頭結膜熱	108
咽頭喉頭異常感	40
咽頭造影	54
咽頭痛	5, 40
咽頭の異常	77
咽頭扁桃(アデノイド)増殖症	77
咽頭麻酔・局所麻酔	55
院内感染	23
院内感染サーベイランス	3
院内感染対策	3
院内感染対策委員会	3
院内感染対策チーム(ICT)	3
院内肺炎	79
院内(病院)感染症	36
インピーダンスオージオメトリ	51
インフォームド・コンセント	2
インフルエンザ	108
インフルエンザウイルス	79
インフルエンザ(桿)菌感染症	109
インフルエンザ脳症	102

う

ウィスコンシンカードソーティング テスト(WCST)	52
ウイルス	49, 108
ウイルス感染症	97
ウイルス性肝炎	108
ウイルス性下痢症	108
ウイルス性食中毒	111
ウイルス性心筋炎	83
ウイルス性髄膜炎	108
ウイルス性難聴	76
ウイルス性発疹症	11
ウイルスによる感染症	108

ウイルス肺炎	79
植込み型除細動器	59, 82
う歯	42
ウシ海綿状脳症(BSE、狂牛病)	110
右心不全	82
うつ血	37
うつ血性心不全	11
うつ血乳頭	75
うつ状態	44
うつ滞性皮膚炎	73
うつ病	10, 71, 111
ウレアーゼ試験	49
運動	15, 33
運動異常	42
運動器	6, 29, 33, 34, 44
運動機能	46
運動機能障害の判定	46
運動器の構造・機能	30
運動系	7
運動系伝導路	30
運動系の異常	45
運動失調	6, 45
運動神経変性疾患	98
運動生理	30
運動の効用	15
運動麻痺	6, 10, 45

え

鋭的外力による損傷	35
栄養	4, 6, 7, 15, 30, 45
栄養アセスメント	56
栄養管理	15, 56, 58
栄養教育・指導	24
栄養サポートチーム(NST)	56
栄養障害	63
栄養状態の評価	34
栄養所要量	33
栄養摂取の方法	56
栄養素の役割とバランス	30
栄養不良	56
栄養マネジメント	15
栄養療法	13, 56
会陰	29
疫学研究に関する倫理指針	2
疫学指標	22
疫学的因果関係	22

疫学とその応用	22
疫学の概念	22
エコー<ECHO>ウイルス感染症	108
エコー下穿刺生検	53
壊死性筋膜炎	74, 109
壊死性腸炎	69
エステラーゼ染色	48
壊疽	39
壊疽性膿皮症	73
エタノール注入	61
エックス線検査	9
エックス線撮影	53
エックス線単純撮影	54
エックス線透視下	60
エネルギー及び栄養素の欠乏と過剰	37
エピソード	25
エビデンスレベル	9
エラスチン代謝の異常	105
エリスロポエチン	28, 29
エリスロポエチン産生過剰	89
遠隔医療	21
嚥下	28
円形脱毛症	75
嚥下機能	28
嚥下障害	5, 42, 46
嚥下性肺炎	79
嚥下痛	42
援護寮	62
炎症	35
炎症・感染症	85, 86, 87, 105
遠城寺式	52
炎症性角化症	74
炎症性腸疾患	11
炎症性皮膚疾患	73
炎症の局所的变化	36
炎症の全身的变化	36
炎症反応	8, 48
遠心路	30
円背	45, 99
延命治療の中止の決定	14

お

横位	68
横隔神経	26, 27
横隔神経麻痺	81
横隔膜	27

横隔膜・腹壁疾患	88
横隔膜・腹膜・腹壁疾患	87
横隔膜下・Douglas窩膿瘍	87
横隔膜弛緩症	81, 88
横隔膜損傷	87
横隔膜ヘルニア	81, 88
応急処置	21
応急手当	21
応形機能	32
黄色靱帯骨化症	99
黄色ブドウ球菌感染症	108
往診	18
黄体化未破裂卵胞	95
黄体機能不全	95
黄疸	6, 39, 42
横断研究	22
横断性脊髄症	45
嘔吐	6, 42
黄斑円孔	76
オウム病	108
横紋筋融解症	93
太田母斑	73
オープニング	4
屋内環境の管理	25
悪心	6, 42
汚染処理	25
汚染の指標	25
オゾン層破壊	25
オタワ憲章	21
オッズ比<odds ratio>	9, 22
オピオイド	64
オピオイドの種類と効果	64
オピオイドの副作用と対策	64
オピオイドローテーション	64
主な感染症の疫学と流行状況	23
主な公害のエピソード	25
オリブ橋小脳萎縮症	98
オルファクトメトリ	51
悪露	32
音響陰影	53
音響外傷	76
音響増強	53
音叉検査	51
温式自己免疫性溶血性貧血	89
音声・言語・咀嚼機能障害	61
温度覚	8, 27
温度眼振	51

温熱効果	59
温熱療法	65

か

臥位	7
外陰	29
外陰Paget病	94
外陰炎	93
外陰癌	94
外陰腔カンジダ症	93
外陰の腫瘍	94
海外渡航歴	4
外眼筋	26
外眼部の異常	40
開瞼	26
介護	14
開口期	32
開口障害	42
介護サービスプラン	19
介護支援専門員	19
介護の必要度	46
介護保険	18
介護保険施設	19
介護保険主治医意見書	19
介護保険制度	2
介護保険法	20
介護予防	23
介護療養型医療施設	19
介護老人福祉施設	19
介護老人保健施設	19
外耳	26, 55
外耳・中耳疾患	76
外耳湿疹	76
外耳腫瘍	76
外耳道	26
外耳道異物	76
外耳道の異常	76
外耳道閉鎖症	78
解釈的態度	4
解釈モデル	5
外傷	3, 46, 79, 81, 83, 87
外傷患者初期診療	9
外傷後ストレス障害<PTSD>	10, 71
外照射	60
外傷性てんかん	101
外傷の合併症	102

外傷の治療・処置.....	63	化学的損傷.....	35	角膜知覚検査.....	51
外傷の病態.....	35	化学物質過敏症.....	112	角膜の色素沈着.....	75
外生殖器〈外陰部〉の異常.....	43	化学物質中毒.....	111	学齢期好発疾患と予防.....	24
回旋.....	32	化学放射線療法.....	60	家系図.....	4
疥癬.....	74	化学療法の併用.....	59	鵞口瘡.....	77
回旋進入の異常.....	68	過活動膀胱.....	96	下喉頭神経.....	27
咳嗽.....	5, 40	過換気症候群.....	81	過誤腫.....	80
外側膝状体.....	26	過期産児.....	69	可視光線.....	78
解体型統合失調症.....	71	過期妊娠.....	68	下肢静脈瘤.....	11
回虫症.....	109	蝸牛.....	26	過失.....	19
改訂長谷川式簡易知能評価スケール.....	52	蝸牛窓.....	26	過失傷害.....	19
外的妥当性.....	9	過強陣痛.....	68	過重労働対策.....	24
回転眼振.....	51	角・結膜腐蝕.....	78	過重労働による障害.....	111
外転神経麻痺.....	75	核医学検査.....	9	過少月経.....	95
介入研究.....	22	核医学検査装置.....	53	過食.....	42
概念.....	36	核医学検査の原理と技術.....	55	過食症.....	71
概念と活動内容.....	21	角化.....	26	ガス・物質交換と代謝.....	32
海馬.....	30	角化異常.....	39	下垂体.....	30
{灰} 白色便.....	42	顎関節症.....	77	下垂体機能障害.....	103
外反膝.....	100	顎骨腫瘍.....	77	下垂体腫瘍.....	103
外反肘.....	100	顎骨の異常.....	77	下垂体性無月経.....	95
外反母趾.....	100	拡散.....	27	下垂体腺腫.....	97
回避義務.....	19	拡散強調像.....	54	下垂体前葉機能低下症.....	103
外鼻孔.....	26	学習障害.....	72	ガス壊疽.....	74, 109
外表.....	39	学習と社会経験.....	34	ガス交換障害・酸塩基平衡異常の 評価.....	46
外表奇形.....	47	覚醒.....	58	ガス中毒.....	111
回復・再増殖・再酸素化・再分布	60	覚醒剤依存・中毒.....	111	ガストリノーマ.....	87
回復期リハビリテーション.....	61	覚醒剤精神病.....	71	苛性カリ〈KOH〉直接鏡検法.....	51
外分泌機能検査.....	50	覚せい剤取締法.....	19	仮性球麻痺.....	97
開放骨折.....	101	拡大内視鏡.....	55	仮性嚢胞.....	87
開放性損傷.....	35	喀痰.....	5, 40, 48	かぜ症候群.....	77, 79
海綿状血管腫.....	73	拡張.....	61	画像・内視鏡検査.....	9
海綿腎.....	95	拡張型心筋症.....	83	画像記録.....	3
潰瘍.....	39, 42	拡張期灌水様〈拡張早期性〉雑音	41	画像検査.....	53
潰瘍性大腸炎.....	11, 85	拡張期ランブル.....	41	画像検査における医療情報.....	54
解離.....	44	拡張期輪転様雑音.....	41	画像情報システム.....	54
解離性〈転換性〉障害.....	71	拡張術.....	60	画像診断支援システム〈CAD〉...	54
解離性脳動脈瘤.....	97	学童期.....	33	画像誘導放射線治療〈IGRT〉...	60
外リンパ瘻.....	76	学童期の兄の診察.....	47	家族機能.....	2
下咽頭癌.....	78	獲得免疫.....	31	家族ケアとチームアプローチ..	14
下咽頭梨状陥凹瘻.....	78	角膜.....	26	家族計画.....	23
カウンセリング.....	65	角膜炎.....	11, 75	家族構成.....	18
過栄養.....	56	角膜潰瘍.....	75	家族性.....	80
下顎骨骨折.....	78	角膜感染症.....	75	家族性高コレステロール血症〈FH〉	104
化学性食中毒.....	111	角膜曲率測定.....	51	家族性腺腫性ポリポーシス〈FAP〉..	86
化学損傷.....	78	角膜混濁.....	40		
		角膜ジストロフィー・変性症	75		

家族性低リン血症性くる病	92
家族との連携	14
家族のケア	14
家族療法	65
家族歴	4
下腿・足の疾患	100
下大静脈フィルター留置術	60
肩関節周囲炎	12, 100
肩関節脱臼	101
肩関節の疾患	100
過多月経	95
肩凝り	45
形	7
滑液包炎	100
咯血	5, 40
学校安全教育・安全管理	24
学校医と保健管理	24
学校医の職務	24
学校精神保健	23, 24
学校における感染症の予防	24
学校における出席停止	23
学校保健	20, 24
学校保健安全法	20
学校保健の現状と動向	24
滑車神経麻痺	75
褐色細胞腫	83, 103
活動制限	18
活動性低下	6
カットオフ値	8
合併症	54, 55, 56, 63, 64, 65
合併症妊娠	68
滑膜	30
滑膜炎	100
滑膜肉腫	101
家庭環境	4
家庭内事故	112
家庭におけるアレルギー・過敏症	112
家庭用品による障害	112
カテーテルアブレーション	60, 82
{カテーテル}塞栓術	62
可動域	7
過粘稠度症候群	90
化膿性関節炎	97
化膿性骨髓炎	97
化膿性脊椎炎	97
痂皮	39
過敏性血管炎	106

過敏性腸症候群	12, 85
過敏性肺炎	79, 106, 111
下腹痛	43
カプセル内視鏡	55
下部尿路結石	93
下部尿路腫瘍	94
下部尿路閉塞性疾患	93
花粉症	106
貨幣状湿疹	73
過眠	44
過眠症	71
カラードプラ法	50, 53
ガラクトース血症	105
カリウム代謝異常	93
カルシウム代謝異常	93, 103
カルチノイド	80
加齢	34
加齢黄斑変性	76
加齢と健康状態	23
加齢による身体・心理・精神機能 の変化	4
加齢による臓器・機能の変化	34
過労予防対策	15
川崎病	83, 107
肝	7
がん	111
肝・胆道・膵の構造	28
肝・胆道・膵の構造・機能	28
肝・胆道機能検査	50
眼圧	26
眼圧検査	51
眼位	26
眼位・眼球運動障害	75
眼位異常	40
眼位検査	51
簡易精神症状評価尺度	52
癌遺伝子	36
眼異物	78
感音機構	26
感音難聴	40
眼窩	26
眼窩・外眼部・前眼部・眼球の疾患	75
眼外傷	63
肝外門脈閉塞症	86
感覚	8
感覚器	5, 26, 32, 34, 39
感覚系伝導路	30

感覚障害	6, 10
感覚鈍麻	45
肝芽腫	88
眼窩腫瘍	75
眼窩の異常	75
肝癌	12
換気	25, 27
換気・血流比	27
肝機能障害	57
換気分布	27
眼球	26
眼球運動	26
眼球運動・眼振の検査	51
眼球運動検査	51
眼球運動障害	5
眼球陥凹	40
眼球突出	40, 75
眼球的異常	40
眼球付属器	26
環境	18, 22
環境異常の治療	63
環境因子	35
環境因子と胎児障害	23
環境因子による奇形	35
環境影響評価	25
環境汚染	23
環境汚染の概念	25
環境汚染の発生要因と健康影響	25
環境汚染の評価と対策	25
環境基準	25
環境基本法	20
環境整備	13
環境と健康	18
環境と適応	25
環境の概念	25
環境保健	20, 25
環境保全	25
環境モニタリング	25
環境レベル	15
換気力学	27
換気量	27
眼筋麻痺	75
管腔内超音波検査	53
ガングリオン	100
冠血管	27
肝血管腫	86
間欠性跛行	41

間欠的強制換気<IMV>.....	65	肝腫大.....	42	乾癬.....	74
間欠的陽圧換気<IPPV>.....	65	肝腫瘍.....	61	感染.....	3, 36
眼瞼.....	26	冠循環.....	27	感染経路別予防策.....	3
眼瞼炎.....	75	感情.....	29	感染症.....	21, 23
眼瞼外反.....	75	感情・意欲・性格の変化.....	34	感染症検査.....	52
眼瞼下垂.....	40	肝障害.....	56	感染症対策.....	20, 23
眼瞼けいれん.....	77	環状紅斑.....	73	感染症の疫学.....	23
眼瞼腫瘍.....	75	眼症状.....	40	感染症の血清学的診断.....	8
眼瞼内反.....	75	感情障害.....	44	感染症の予防及び感染症の患者 に対する医療に関する法律 〈感染症法〉.....	20
眼瞼の異常.....	75	冠状断.....	54	感染症発生動向調査.....	23
{眼} 瞼裂.....	26	感情と行動の変化.....	35	感染症法.....	20
{眼} 瞼裂狭小.....	40	環状肉芽腫.....	75	感染性.....	37, 62
汗孔角化症.....	74	感情面への対応.....	4	感染性胃腸炎.....	85
肝硬変.....	12, 86	汗疹.....	74	乾癬性関節炎.....	106
肝細胞癌.....	86	眼振.....	40	感染性呼吸器疾患.....	79
監察医制度.....	38	癌性胸膜炎.....	80	感染性疾患.....	13
観察研究.....	22	肝性口臭.....	42	感染性心内膜炎.....	82
鉗子.....	63	肝性昏睡.....	46	感染性大腸炎.....	85
眼脂.....	40	癌性髄膜炎.....	97	感染性腸炎.....	85
眼軸長検査.....	51	がん性疼痛の種類と原因.....	64	感染性廃棄物.....	25
カンジダ症.....	79, 109	癌性ニューロパチー.....	98	完全大血管転位症.....	82
間質.....	28	肝性脳症.....	12	感染と発症.....	36
肝疾患.....	86	眼精疲労.....	40	感染による免疫不全症.....	107
間質性膀胱炎.....	93	癌性腹膜炎.....	87	感染の抗原・抗体.....	48
患者・家族の医療への参加.....	2	癌性リンパ管症.....	80	感染防御機構.....	36
患者・家族の心理.....	13	関節.....	7, 30	感染防止.....	63
患者・障害者の社会活動.....	2	関節液.....	48	感染様式と経路.....	36
患者・障害者の心理と態度.....	2	関節炎.....	100	感染予防.....	58
患者・障害者のもつ心理・社会的 問題.....	2	関節炎を主とする類縁疾患... ..	106	肝臓.....	33
患者医師関係.....	2	関節可動域訓練.....	61	肝臓の機能.....	28
患者医師関係の構築.....	4	関節強直.....	45	眼組織の異常.....	40, 75
患者会.....	62	関節腔.....	55	肝損傷.....	87
患者確認と検体の確認.....	8	関節拘縮.....	45, 102	がん対策.....	20
患者クラブ.....	62	関節弛緩.....	45	がん対策基本法.....	20
患者説明文書.....	3	関節腫脹.....	6, 45	含室素成分.....	48
患者中心型医療.....	2	関節症.....	100	眼痛.....	40
患者調査.....	22	関節造影.....	54	眼底鏡検査.....	7
患者の意向の尊重.....	2	関節痛.....	6, 45	眼底検査.....	51
患者の権利と義務.....	2	関節動揺性.....	45	眼底出血.....	40
患者の満足度.....	5	関節内出血.....	42	感度.....	9
患者の問題の定式化.....	9	関節軟骨.....	30	癌と遺伝的要因・外的要因.....	36
患者への声かけと例示.....	7	関節捻挫.....	101	冠動脈.....	60
患者への適用.....	9	関節の外傷.....	101	肝動脈化学塞栓療法<TACE>.....	60
患者への配慮.....	7	関節の障害.....	45	冠動脈疾患.....	95
患者本人であることの確認.....	4	関節不安定性.....	45	冠動脈バイパス術.....	83
患者満足度.....	3	関節変形.....	6	冠動脈瘤.....	83
感受性テスト.....	57	関節包.....	30		
		関節リウマチ ..	13, 92, 100, 106		

嵌頓ヘルニア	87
眼内炎	76
眼内腫瘍	76
肝内胆管癌	86
肝内胆汁うっ滞	86
眼内レンズ	59
眼内レンズ挿入術	75
肝の異常	88
間脳・下垂体、甲状腺、副腎その他の疾患	105
間脳・下垂体疾患	103
肝嚢胞	86
肝膿瘍	86
眼表面・涙器の異常	75
肝不全	12, 46
感冒	77, 79
眼房	26
顔貌	7
肝包虫症	86
顔貌の異常	39
ガンマカメラ	53
顔面・頸部外傷	63
顔面けいれん	77
顔面骨折	78
顔面神経	26
顔面神経麻痺	77
顔面の構造	26
顔面の骨折	78
肝門部空腸吻合術	88
癌抑制遺伝子	36
管理濃度	24
寒冷凝集素症	89
寒冷による障害	13
冠攣縮性狭心症	83
関連痛	42
緩和医療	64
緩和ケア	14
緩和ケアチーム	14, 64
緩和ケアの概念	14
緩和ケア病棟<PCU>	14, 64
緩和的外科治療	64
緩和的照射	60
緩和的放射線治療	64

き

気圧による障害	112
既往歴	4

既往歴・合併症の評価	46
記憶	29
記憶障害	6, 43
期外収縮	41
機械性	37
機械的合併症	56
機械的循環補助	62
機械弁	59
気管	7, 27, 55
気管・気管支・肺の形態・機能異常	79
気管・気管支腫瘍	80
気管・気管支損傷	79
気管・気管支の異常	40, 79
気管・気管支の狭窄・閉塞	79
器官形成期	32
器官形成と臓器の成熟	32
気管支	27, 53, 55
気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	80
気管支・肺の異常	79
気管支拡張症	79
気管支呼吸音	41
気管支喘息	11, 79, 106
気管支肺胞洗浄	55
気管食道瘻	81
偽関節	102
気管切開	62
気管挿管	58, 62
気管支肺胞呼吸音	41
気胸	81
奇形	78
義肢・装具	61
気質	29
器質性月経困難症	95
器質性精神障害	71
器質性精神病	71
気腫性嚢胞	79
記述疫学	22
技術革新と健康障害	35
基準値	8, 9
基準範囲の概念	9
基準病床数	20
機序	56
創の消毒	14
創の被覆	14
寄生虫	49
寄生虫感染症	79

寄生虫性肝疾患	86
基礎体温	29
偽痛風	100, 107
喫煙	15, 23
喫煙状況	15
喫煙による健康障害	111
喫煙による障害	111
喫煙の有害性	15
吃音{症}	72
基底細胞癌	74
基底膜	26
基底膜菲薄化症候群	92
気道	60
気導・骨導閾値検査	51
気道異物	79
気道確保	10, 14, 58, 62
気道感染症	79
気道熱傷の治療	63
気道閉塞	11
亀頭包皮灸	93
偽認知症	43
機能異常	37, 85, 87
機能肢位	45
機能障害	18
機能性月経困難症	95
機能性子宮出血	95
機能性疾患	99
機能性消化管障害	12
機能性ディスぺプシア<FD>	12, 85
機能性難聴	76
機能性卵巣嚢腫	94
キノコ	111
希発月経	95
気分	29
気分・意欲	46
気分<感情>障害	71
気分障害	71
基本概念	15
基本手技	55
基本的救急医薬品	10
基本の手技	13
基本的な救急処置	10
基本的な手術手技	57
基本的な治療薬	13
基本動作訓練	61
偽膜性腸炎	85
奇脈	41

客観的所見..... 2	急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS> .. 11, 58, 62, 80	救命救急センター..... 21
キャリア..... 36	急性呼吸不全 46, 62, 80	休養・心の健康..... 15
吸引分娩..... 63	急性骨髄性白血病 89	胸囲..... 33
嗅覚・味覚検査..... 51	急性細気管支炎 11, 79	教育..... 4
嗅覚系・味覚系の構造・機能.. 26	急性散在性脳脊髄炎 98	強オピオイド..... 64
嗅覚障害..... 40	急性糸球体腎炎 92	仰臥位..... 7
嗅覚路..... 30	急性糸球体腎炎症候群 12	境界性パーソナリティ障害.... 72
吸気の加温・加湿..... 27	急性縦隔炎 79	仰臥位低血圧症候群..... 68
救急医療..... 21	急性出血性結膜炎 108	胸郭..... 7, 27, 30
救急医療機関..... 21	急性消化管出血 10, 46	胸郭出口症候群..... 100
救急医療情報..... 21	急性小児片麻痺 102	胸郭の構造・機能..... 27
救急医療体制..... 21	急性小脳失調症 102	胸郭変形..... 81
救急医療用ヘリコプター..... 21	急性腎盂腎炎 12, 93	共感..... 4
救急患者の診察..... 9	急性心筋梗塞 11, 83	胸管..... 28
救急救命士..... 21	急性心不全 46, 62, 82	共感的態度..... 4
救急指定病院..... 21	急性腎不全 .. 12, 46, 62, 63, 93	狂牛病..... 110
救急車..... 21	急性心膜炎 83	胸腔..... 55
救急搬送方法..... 21	急性膀胱炎 12, 87	胸腔穿刺・ドレナージ..... 62
球形囊..... 26	急性ストレス障害 10, 71	胸腔内圧..... 27
休日夜間急患センター..... 21	急性声門下喉頭炎 77	凝固..... 61
吸収..... 56	急性大動脈解離 11	凝固・線溶・血小板機能検査.. 48
吸収線量Gy..... 53	急性中耳炎 11, 76	凝固・線溶異常..... 57
吸収不良症候群..... 85	急性虫垂炎 11	凝固・線溶系..... 28
嗅上皮..... 26	急性中毒 37, 46, 71, 112	凝固・線溶検査..... 8
丘疹..... 39	急性中毒の治療・処置 63	凝固因子の異常..... 90
求心路..... 30	急性動脈閉塞症 84	強剛..... 45
吸啜反射..... 33	急性尿細管壊死 92, 93	強剛母指..... 100
急性アルコール中毒..... 111	急性脳症 102	胸骨圧迫..... 62
急性胃炎..... 85	急性肺損傷<ALI> 58, 62, 80	頰骨骨折..... 78
急性胃腸炎..... 11	急性白血病 12	狭骨盤..... 68
急性一過性精神病性障害..... 71	急性反応<障害> 38, 60	狭心症..... 11, 83
急性胃粘膜病変..... 85	急性腹症 46, 87	胸水..... 41, 48
急性灰白髄炎..... 108	急性副腎不全 103	胸水・腹水・全身浮腫の治療とケア..... 64
急性合併症..... 104	急性副鼻腔炎 11	胸水・腹水の検査..... 8
急性化膿性限局性外耳炎..... 76	急性腹膜炎 87	胸髄損傷..... 101
急性肝炎..... 12, 86	急性閉塞性化膿性胆管炎 87	行政解剖..... 38
急性間質性腎炎..... 92	急性ヘルペス性口内炎 77	強制利尿..... 63
急性間質性肺炎<AIP>..... 79	急性扁桃炎 77	胸腺..... 27, 30
急性冠症候群..... 11, 46, 83	急性放射線障害 46, 63, 112	胸腺腫瘍..... 80
急性肝不全..... 63	急性リンパ性白血病 89	胸腺低形成..... 107
急性期..... 64	球脊髄性筋萎縮症 98	強調画像観察..... 55
急性気管支炎..... 11, 79	急速進行性糸球体腎炎症候群 .. 92	強直間代発作..... 99
急性期リハビリテーション.... 61	急速遂娩 63	強直性脊椎炎..... 99, 106
急性喉頭炎..... 77	急速導入・緩徐導入 58	胸痛..... 5, 10, 41
急性喉頭蓋炎..... 77	吸虫症 109	狭頭..... 45
急性硬膜外血腫..... 101	吸入 56	強度変調放射線治療<IMRT>.... 60
急性硬膜下血腫..... 101	吸入麻酔 58	強迫..... 6

強迫観念.....	44
強迫性障害.....	71
強皮症.....	92, 106
恐怖.....	6, 44
胸部.....	9
胸部圧迫感.....	5
胸部外傷.....	63
胸腹部大動脈瘤.....	83
胸部大動脈瘤.....	83
胸部の診察.....	7
胸壁.....	27
胸壁・横隔膜.....	81
強膜.....	26
胸膜.....	27, 81
胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態 ・機能異常.....	81
胸膜・縦隔の感染症.....	79
強膜炎.....	75
胸膜炎.....	11, 79
胸膜腫瘍.....	80
胸膜中皮腫.....	80
胸膜ブランク.....	80
胸膜摩擦音.....	41
業務上疾病の発生状況.....	24
寄与危険度(attributable risk).....	9, 22
局に関連性<焦点性、部分性> てんかん.....	99
局所解剖.....	26
局所浸潤.....	37
局所振動.....	25
局所麻酔.....	59
局所麻酔薬中毒.....	59
局所療法.....	63
局所療法剤.....	63
虚血.....	37
虚血性心筋症.....	83
虚血性心疾患.....	83, 111
虚血性大腸炎.....	85
巨細胞性動脈炎.....	106
居住・衣服環境と健康.....	25
拒食症.....	71, 94, 103
巨赤芽球性貧血.....	89
巨大児.....	69
巨大舌.....	42
巨大尿管.....	95
居宅介護支援事業所.....	19
居宅サービス.....	19

許容濃度.....	24
距離.....	54
魚鱗癬.....	74
起立・歩行障害.....	45
起立性調節障害.....	37
起立性低血圧.....	37, 83
筋萎縮.....	45
筋萎縮性側索硬化症(ALS).....	98
禁煙支援.....	15
禁忌.....	54, 55
緊急手術.....	58
緊急治療の要否・部位別優先順位 の判断.....	46
緊急治療の要否の判断.....	10
緊急ペーシング.....	62
筋強直性ジストロフィー.....	99
菌交代現象・菌交代症.....	36
筋骨格系の診察.....	7
筋弛緩薬とその拮抗薬.....	58
筋ジストロフィー.....	83
筋疾患.....	98, 99
菌状息肉症.....	74, 90
筋性防御.....	7, 42
金属代謝の異常.....	104
金属中毒.....	111
筋断裂.....	101
緊張<強直>性頸反射.....	33
緊張型頭痛.....	12, 99
緊張型統合失調症.....	71
緊張性気胸.....	11, 37, 62, 81
緊張病症候群.....	44
筋電図.....	9, 50
筋肉.....	14, 30
筋肉痛.....	6, 45
筋肉内出血.....	42
筋の障害.....	45
筋力増強訓練.....	61
筋力低下.....	6, 45

<

隅角.....	26
隅角検査.....	51
空間的線量分布.....	59
偶然性.....	22
腔内照射.....	60
偶発癌.....	37
偶発性低体温{症}.....	63, 112

区画<コンパートメント>症候群..	101
口および口腔内の異常.....	42
唇・口蓋の先天異常.....	78
屈折.....	26
屈折異常.....	75
屈折検査.....	51
国と地方公共団体.....	18
くも状血管腫.....	39
くも膜下出血.....	12, 44, 97
くも膜嚢胞.....	102
クラス・サブクラス.....	49
クラミジア.....	49, 108
クラミジア性尿道炎.....	94
クラミジア肺炎.....	108
グリーンケア.....	14, 64
クリオグロブリン血症.....	106
クリッピング.....	61
クリニカルインディケーター...	3
クリニカルパス.....	3, 14, 21
クリプトコックス症.....	79, 109
クリプトスポリジウム症.....	109
クループ症候群.....	77
グループホーム.....	19, 62
グルカゴノーマ.....	87
くる病.....	100, 103
車椅子.....	61
クレアチニンクリアランス...	50
クレチン症.....	105
クレブシエラ感染症.....	109
クロストリジウム・ディフィシル 腸炎.....	109
クロスマッチ.....	48, 57
グロムス腫瘍.....	73, 101
群発頭痛.....	99

け

ケアプラン.....	19
ケアマネジャー.....	19
計画.....	2
経管・経腸栄養.....	56
経管栄養.....	13
頸管開大度.....	47
頸管成熟度.....	47
頸管無力症.....	68
頸管裂傷.....	68
頸筋群.....	26

- 頸筋膜..... 26
頸肩腕障害..... 111
経口栄養..... 13, 56
蛍光眼底造影..... 51
経口グルコース負荷試験
 〈75g OGTT試験〉..... 50
蛍光増倍管..... 53
経口避妊薬..... 95
脛骨前粘液水腫..... 75
刑事裁判..... 3
憩室炎..... 85
形質細胞..... 31
憩室出血..... 85
芸術療法..... 65
頸静脈..... 26
経静脈栄養..... 13, 56
頸静脈孔症候群..... 77
頸髄損傷..... 101
痙性斜頸..... 98
痙性対麻痺..... 98
形態異常..... 85, 86, 87
経腸栄養..... 13
傾聴とチームアプローチ..... 64
傾聴の仕方..... 4
頸動脈..... 26, 60
頸動脈領域..... 30
茎捻転..... 94
珪肺症..... 80
経皮吸収..... 26
経皮経肝胆道造影(PTC)..... 54
経皮血管形成術(PTA)..... 60
経皮的胃瘻造設..... 60
経皮的冠動脈インターベンション
 83
経皮的局所療法..... 61
経皮的生検..... 49, 61
経皮的中心静脈(CV)ポート留置術
 60
経皮的ドレナージ..... 60
頸部血管..... 7
頸部子宮筋腫..... 68
頸部腫脹..... 40
頸部腫瘤..... 39
頸部の異常..... 39, 78
頸部膿瘍..... 78
頸部の構造..... 26
頸部リンパ節炎..... 78
頸部リンパ節結核..... 78
刑法..... 19
けいれん..... 5, 10, 39
けいれん重積状態..... 10, 99
けいれん性疾患..... 102
外科手技..... 14
外科的侵襲に対する反応..... 57
劇症型A群β溶連菌感染症..... 74
劇症肝炎..... 86
下血..... 6, 42
下水道法..... 20
血圧..... 7, 27
血圧異常..... 37, 41, 83
血圧の調整..... 29
血液..... 6, 28, 33, 34, 42
血液・血液製剤の安全性..... 3
血液・造血器疾患..... 12
血液・造血器の構造・機能..... 28
血液一般検査..... 52
血液学検査..... 8, 48
血液ガス分析..... 46, 53
血液型..... 8, 48, 52, 57
血液型不適合妊娠..... 68, 69
血液吸着..... 57
血液凝固因子製剤..... 57
血液検査..... 52
血液浄化..... 57
血液浄化法..... 62, 63
血液中のガス運搬..... 27
血液透析..... 57
血液の変化..... 36
血液濾過..... 57
結核..... 109
結核菌特異的全血インターフェロン
 γ遊離測定法(IGRA)..... 49
結核性..... 79
結核性関節炎..... 97
結核性骨関節炎..... 97
結核性髄膜炎..... 97
結核性脊椎炎..... 97
結果の解釈..... 8
血管..... 5, 40, 53, 55
血管・尿細管・間質病変..... 92
血管・リンパ管奇形と腫瘍..... 39
血管炎関連疾患..... 79
血管炎を主とする類縁疾患..... 106
血管外傷..... 83
血管芽腫..... 97
血管奇形..... 60
血管系..... 28
血管形成異常..... 85
血管系治療..... 60
血管撮影装置..... 53
血管雑音..... 7, 41
血管腫..... 73, 101
血管性浮腫..... 73, 106
血管造影..... 54
血管肉腫..... 74
血管の異常による出血傾向..... 90
血管病変..... 85, 86, 87
血球..... 48
血球検査..... 8
血球貪食症候群..... 90
血球の産生・崩壊とその調節..... 28
血胸..... 81
月経..... 29
月経異常..... 6, 43, 94
月経困難症..... 12, 95
月経周期と量の異常..... 43, 95
月経痛..... 43
月経前症候群..... 95
月経痙..... 96
血行障害..... 37
血行性転移..... 37
結合組織の代謝..... 26
結婚と離婚..... 22
結紮..... 61
結紮・縫合法..... 57
血色素〈ヘモグロビン〉尿..... 43
血漿交換..... 57
血漿とその成分..... 28
血小板..... 28
血小板形態..... 48
血小板の異常..... 90
血漿分画製剤..... 57
結晶誘発性関節炎..... 106
血清・血漿分離法..... 48
血精液症..... 43
血清蛋白の異常..... 104
血清病..... 106
結石症..... 93
結節..... 39
結節性硬化症..... 73, 102
結節性紅斑..... 73
結節性多発動脈炎..... 92, 106
血栓..... 37
血栓傾向..... 42

血栓性血小板減少性紫斑病<TTP> .	90
血栓性疾患.....	90
血栓性静脈炎.....	73
血栓性塞栓症.....	68
血栓溶解療法.....	60
血痰.....	5, 40
血中ホルモン測定.....	50
血中薬物・毒物と代謝産物....	48
結腸.....	55
結腸癌.....	85
血尿.....	6, 43
血便.....	6, 42
欠乏と過剰.....	37
結膜.....	26
結膜炎.....	11, 75
結膜下出血.....	75
結膜乳頭腫.....	108
結膜の発赤.....	5
血友病.....	90
血友病性関節症.....	100
血流測定.....	53
血流分布異常性ショック..	37, 62
解毒・拮抗薬.....	63
ケトン性低血糖症.....	105
解熱鎮痛薬依存・中毒.....	111
ケモカイン.....	31
ケラトアカントーマ.....	73
下痢.....	6, 42
ケロイド.....	35, 73
減圧症.....	63, 112
減圧法.....	57
原因と分類.....	35
検疫.....	24
検疫法.....	20
幻覚.....	6, 43
減感作療法.....	65
研究デザイン.....	9
健康・疾病・障害の概念と社会環境	18
健康管理.....	24
健康管理の概念・方法.....	22
健康教育・学習.....	22
健康寿命の延伸とQOL<生活の質、 quality of life>の向上....	15
健康食品.....	24
健康診断.....	8, 23, 24
健康診断・診査と健康管理....	22

健康診断・診査と事後指導	22, 25
健康増進とヘルスプロモーション	21
健康増進の概念	21
健康増進法	19
健康相談	22
健康づくり支援のための環境整備	15
肩甲難産.....	68
健康の概念	18
健康の概念の歴史的変遷	18
健康の定義	18
健康保険法	20
健康保持・増進	22
健康保持・増進の概念	22
健康保持増進対策	24
言語障害	44
言語聴覚療法	61
言語的コミュニケーション	4
言語発達	33
言語発達障害	44
言語発達遅滞	43
検索方法	9
検査後確率	9
検査所見記録	3
検査前確率	9
検査前全身状態の評価	55
検査値の加齢変化	34
検査の合併症	8
検査の基本	8
検査の倫理と安全	8
検査や治療に対する希望・好み ..	5
原始反射と姿勢反射	33
減弱	41
腱鞘炎	100
検体検査	48
検体の採取	8, 49
検体の採取と保存	48
検体の保存	8
検体保存法	48
腱断裂	101
建築物衛生	25
建築物における衛生的環境の確保に 関する法律<建築物衛生法> ..	20
原虫	49
減張切開	63

見当識.....	29
原発性.....	81, 104
原発性悪性骨腫瘍.....	100
原発性アルドステロン症.....	103
原発性硬化性胆管炎.....	87
原発性高脂血症.....	104
原発性骨髄線維症.....	89
原発性性腺機能低下症.....	103
原発性胆汁性肝硬変.....	86
原発性ネフローゼ症候群.....	92
原発性免疫不全症.....	107
原発性良性骨腫瘍.....	100
腱反射.....	8
腱板断裂.....	100
顕微鏡的多発血管炎.....	92, 106
顕微授精<ICSI>.....	65
現病歴.....	4
腱付着部炎.....	100
健忘.....	43
瞼裂.....	26
瞼裂狭小.....	40

こ

誤飲.....	10, 112
高・低エコー域.....	53
高圧酸素療法.....	65
広域災害医療.....	21
高エネルギー外傷.....	63
構音検査.....	52
構音障害.....	6, 44
構音障害訓練.....	61
硬化.....	39
口蓋.....	28
公害健康被害の補償等に関する 法律.....	20
公害健康被害補償制度.....	25
公害の概念.....	25
公害の健康被害と対策.....	25
口蓋扁桃肥大症.....	77
口蓋裂.....	78
光覚.....	26
口角.....	26
光覚<暗順応>検査.....	51
口角炎.....	77
硬化剤注入.....	61
硬化性血管腫.....	80
降下性縦隔炎.....	79

硬化療法.....	60, 61	合指症.....	100	交通事故.....	112
交感神経幹.....	26, 27	膠質液.....	58	交通性水頭症.....	102
睾丸痛.....	10	高次脳機能.....	29	肯定.....	4
交換輸血.....	57	高次脳機能障害.....	44, 101	公的扶助.....	18
抗凝固剤.....	48	口臭.....	42	後天性von Willebrand病.....	90
抗菌スペクトル.....	57	公衆衛生と医療.....	18	後天性血小板機能異常症.....	90
抗菌薬.....	57	公衆衛生の概念と機能.....	22	後天性血栓傾向.....	90
抗菌薬の適正使用.....	3	後縦隔.....	27	後天性血友病.....	90
口腔.....	7	後縦靱帯骨化症.....	99	後天性水疱症.....	74
口腔・咽頭の構造・機能.....	28	抗腫瘍薬.....	57	後天性鉄芽球形貧血.....	89
口腔・口唇の癌.....	77	甲状腺.....	7, 30, 105	後天性免疫不全症候群<AIDS>.....	36, 107, 108
口腔内カンジダ症.....	42	甲状腺機能亢進症.....	13, 68, 83, 103	喉頭.....	27, 55
口腔粘膜の異常.....	42	甲状腺機能障害.....	103	行動.....	18
口腔の異常.....	77	甲状腺機能低下症... 13, 68, 103		喉頭癌.....	77
合計特殊出生率.....	22	甲状腺クリーゼ.....	46	喉頭損傷.....	78
硬結.....	42	甲状腺疾患.....	103	喉頭乳頭腫.....	77
高血圧.....	5, 37, 41	甲状腺腫.....	39	喉頭の異常.....	77
高血圧緊急症.....	83	甲状腺の炎症.....	103	行動の変化.....	34
高血圧症.....	11	甲状腺の腫瘍.....	103	行動変容.....	2, 15
高血圧性脳出血.....	97	口唇.....	7, 26	行動療法.....	65
硬結性紅斑.....	73, 74	高身長.....	45	行動レベルと行動変容.....	15
高血糖高浸透圧症候群.....	104	後陣痛.....	32	高二酸化炭素<CO ₂ >血症.....	41
抗原提示細胞.....	31	硬性鏡.....	55	高尿酸血症.....	13, 104
膠原病.....	13, 106	向精神薬依存・中毒.....	111	更年期.....	4
膠原病と類縁疾患.....	106, 107	光線角化症.....	73	更年期・閉経後障害.....	95
膠原病に伴う間質性肺炎.....	80	光線過敏.....	39	更年期障害.....	12, 95
膠原病に伴う腎病変.....	92	光線過敏症.....	74	高濃度酸素療法.....	63
咬合.....	28	光線性眼障害.....	78	紅斑.....	39
口腔環境.....	28	光線損傷.....	36	紅斑症.....	73
口腔内感染.....	42	光線テスト.....	50	広汎性発達障害.....	72
虹彩.....	26	光線療法.....	65	広範な脳機能障害.....	44
虹彩炎.....	75	酵素.....	48	公費医療.....	18
高在縦定位.....	68	構造異常.....	35	紅皮症.....	73
虹彩毛様体炎.....	75	梗塞.....	37	高ビリルビン血症.....	69
虹彩ルベオーシス.....	40	拘束型心筋症.....	83	高頻度換気<HFV>.....	65
交叉伸展反射.....	33	酵素阻害.....	56	高フェニルアラニン血症.....	105
交差適合試験.....	48, 57	酵素組織染色.....	49	後腹膜腫瘍.....	87
後産期.....	32	酵素誘導.....	56	後腹膜臓器.....	28
好酸球.....	30	高体温.....	10	項部硬直.....	7
好酸球性胃腸炎.....	86	抗体検査法.....	49	後部ぶどう膜炎.....	75
好酸球性肺疾患.....	79, 106	抗体産生不全を主とする免疫不全症.....	107	高プロラクチン血症.....	95, 103
好酸球増多症候群<HES>.....	89	抗体療法.....	65	後方後頭位.....	68
抗酸菌.....	49, 109	高地肺水腫.....	80	硬膜外麻酔.....	59
抗酸菌症.....	79	好中球.....	30	硬膜動静脈瘻.....	97
抗酸菌<マイコバクテリア>による		好中球機能異常症.....	89	肛門.....	55
感染症.....	109	好中球性皮膚症.....	73	肛門癌.....	85
高山病.....	63, 112			肛門管癌.....	85
光視症.....	40				

肛門周囲膿瘍	85
肛門と直腸の診察	7
絞扼性イレウス	87
交絡因子	9, 22
抗リン脂質抗体症候群	90, 95, 107
高齢者	56
高齢者医療確保法	19
高齢者虐待の防止	20
高齢者総合機能評価<CGA>	4, 46
高齢者の医療の確保に関する法律 <高齢者医療確保法>	19
高齢者の栄養マネジメント	56
高齢者の健康保持・増進	23
高齢者の疾患の特徴と頻度の変化	34
高齢者の人口・死因・受療率・ 有訴率	23
高齢者の診察	46
高齢者の診察と評価	46
高齢者の心理的特徴	34
高齢者の生理的特徴	34
高齢者の養護者に対する支援等に 関する法律	20
高齢者保健	23
高齢者労働	24
後弯	45
後弯症	99
誤嚥	5, 10, 34, 42, 112
誤嚥性肺炎	97
語音聴力検査	51
股関節の疾患	100
呼吸延長	41
呼吸終末二酸化炭素濃度<ETCO ₂ >	58
呼吸	3, 7, 33
呼吸運動	27
呼吸音	7
呼吸音の減弱	41
呼吸音の消失	41
呼吸音の増強	41
呼吸音の変化	41
呼吸器	5, 27, 32, 34, 40, 62, 106
呼吸器・胸壁・縦隔疾患	11
呼吸器合併症	58
呼吸器作用薬	57
呼吸器疾患	111

呼吸機能	27
呼吸機能検査	9, 50
呼吸窮迫症候群<RDS>	69
呼吸筋	27
呼吸訓練	65
呼吸困難	5, 10, 41
呼吸細気管支炎を伴う間質性肺疾患 <RB-ILD>	80
呼吸循環管理	58
呼吸中枢	27
呼吸調節	27
呼吸調節異常	81
呼吸の異常	41
呼吸理学療法	65
呼吸リズムの異常	41
国際協力機構<JICA>	21
国際疾病分類<ICD>	22
国際生活機能分類<ICF>	22
国際標準化機構<ISO>	3
国際保健・医療協力	21
国際連合<UN>	21
国際労働機関<ILO>	21
コクサッキーウイルス感染症	108
黒色便	42
国勢調査	22
国民医療費	2, 18
国民栄養と食品保健	24
国民栄養の現状と対策	24
国民健康・栄養調査	24
国民健康づくり運動	15
国民健康保険法	20
国民生活基礎調査	22
国連合同エイズ計画<UNAIDS>	21
国連児童基金<UNICEF>	21
国連食糧農業機関<FAO>	21
国連ミレニアム開発目標<MDG>	21
こころの健康づくり	23
誤差	8
誤差と精度	9
鼓室形成術	76
個人情報保護	2
個人情報保護法	19
個体の構造	26
鼓腸	42
骨	9, 30
骨・関節感染症	97

骨・関節系統疾患	99
骨・関節疾患	61
骨・軟部腫瘍と類似疾患	100
骨Paget病	100
骨悪性線維性組織球腫	101
骨壊死	100, 102
骨格	30
骨巨細胞腫	100
骨形成不全症	99
骨系統疾患	99
骨産道	32
骨重積	32
骨腫瘍類似疾患	101
骨髄	28, 30, 48
骨髄異形成症候群<MDS>	89
骨髄系腫瘍	89
骨髄検査	48
骨髄腫腎	92
骨髄生検	48
骨髄穿刺	48
骨髄バンク	59
骨折	13, 101
骨折・捻挫・脱臼の治療・処置	63
骨折の固定法	10
骨組織球症	101
骨粗鬆症	13, 95, 100, 103
骨軟化症	100, 103
骨軟骨腫	100
骨肉腫	100
骨年齢	33
骨の成長と骨形成・吸収	30
骨盤	30
骨盤・四肢外傷	63
骨盤位	68
骨盤骨	29
骨盤骨折	101
骨盤底	29
骨盤内炎症性疾患<PID>	93
骨密度測定<DXA>	103
固定法	49
固定薬疹	73
誤認	3
コホート研究	22
鼓膜	26
鼓膜炎	76
鼓膜損傷	78
鼓膜の異常	76

コミュニティヘルス	22
誤薬	3
コラーゲン代謝の異常	105
コルボスコピー	55
コレステロール塞栓症	92
コレラ	109
根拠に基づいた医療	9
混合性結合組織病<MCTD>	107
混合性難聴	40
コンサルテーション	14
根治的照射	60
昆虫アレルギー	106
コントラクションストレステスト	
<CST>	53
コントラスト	54
コンピューテッドラジオグラフィ	54
コンプライアンス	5, 56

さ

サーカディアンリズム	29
サーベイランス	23
サーモグラフィー検査	51
坐位	7
災害	35
災害医療	10, 21
災害拠点病院	21
災害時保健医療	21
災害派遣医療チーム	21
細菌	49, 108
細菌感染症	74
細菌[抗酸菌<マイコバクテリア> を除く]による感染症	108
細菌性肝膿瘍	86
細菌性食中毒	111
細菌性髄膜炎	97
細菌性赤痢	109
細菌性膣症	68, 93
細菌性肺炎	79
細菌性腹膜炎	87
剤型	56
細隙灯顕微鏡検査	51
採血	8, 48
再現性	9
採光	25
サイコオンコロジー	64
採取法	8

再生医療	59
再生産率	22
再生不良性貧血	89
碎石位	7
臍帯	32, 53
臍帯下垂	68
臍帯過捻転	68
臍帯結節	68
臍帯巻絡	68
在胎週数	33
臍帯脱出	68
臍帯動脈血pH	47, 53
臍帯動脈血液ガス	69
臍帯の異常	68
臍帯ヘルニア	88
臍帯卵膜付着	68
在宅医療	18
在宅医療と介護	13
在宅栄養療法	13
在宅介護	18
在宅ケア	18
在宅酸素療法	13, 64
在宅での看取り	13
在宅当番医	21
在宅ホスピス・緩和ケア	64
在宅リハビリテーション	18
採痰	8
最適化	53
サイトカイン	28, 31
サイトメガロウイルス	79
サイトメガロウイルス感染症	108
採尿	8, 48
再発	37
再発性多発軟骨炎	107
臍ヘルニア	88
採便	8, 48
細胞	26
細胞・組織の加齢現象	34
細胞外液補充液	58
細胞間脂質	26
細胞間接着	26
細胞質遺伝	35
細胞周期	59
細胞障害型	86
細胞傷害性T細胞<CTL>	31
細胞診	8, 48, 49
細胞数の減少	34

細胞性免疫	49
再膨張性肺水腫	80
細胞の老化	34
細胞表面抗原	49
作業環境管理	24
作業管理	24
作業所	62
作業態様による障害	111
作業療法	61, 62
鎖肛	88
坐骨神経痛	99
匙状爪	39
左心系疾患に伴う肺高血圧症	80
左心不全	82
嗄声	5, 40, 81
させられ<作為>体験	44
痤瘡	74
撮影法	55
擦過	8, 55
錯覚	43
撮像法	54
砂漠化	25
挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>	63, 84, 101
左右短絡疾患	82
サラセミア	90
サルコイドーシス	76, 79, 107
サルモネラ感染症	109
酸塩基平衡	27, 29, 48, 58
酸塩基平衡の異常	93
産科DIC	68
産科ショック	63
参加制約	18
産科的救急治療・処置	63
産科麻酔	58
産休制度	23
産業医と労働安全衛生管理	24
産業医の資格と職務	24
産業構造	18
産業精神保健	23
産業中毒	111
産業中毒とその他の職業性疾患	111
産業廃棄物	25
産業保健	20, 24
産業保健の仕組み	24
サンゴ状結石	93
三叉神経	26

三叉神経痛	77, 99
三次元CT血管撮影<3D-CTA>	54
三次元再構成画像	54
産褥	3, 32
産褥期精神障害	68
産褥血栓症・肺塞栓	68
産褥熱	68
産褥の異常	6, 68
産褥の経過	32
産褥無月経	32
三次予防	22
酸性雨	25
三尖弁閉鎖症	82
三尖弁閉鎖不全症	82
酸素欠乏症	63, 112
酸素効果	59
酸素療法	10, 64
産徴	32
産道	32, 36
産道の異常	68
残尿感	43
残尿量測定	50
酸による損傷	35
三半規管	26
散布	55
産婦の診察	47
産瘤	32
霰粒腫	75

し

死	38
死因の究明	38
支援	4
自我	29
自家・同種・異種移植	59
耳介	26
耳介奇形	78
耳介血腫	78
紫外線	78, 112
自家感作性皮膚炎	73
痔核	12, 85
視覚系の構造・機能	26
視覚障害	61
視覚誘発電位<VEP>	51
視覚路	30
自我<自己>同一性形成	34
自我障害	44

子癇	68
時間	54
耳管	28
弛緩出血	68
時間的線量配分	60
閾<しきい>線量	38
視器一般検査	51
自記オーディオメトリ	51
色覚	26
色覚異常	40, 75
色覚検査	51
磁気共鳴画像<MRI>	9
磁気共鳴画像<MRI>検査の原理と 技術	54
磁気共鳴画像<MRI>装置	53
磁気共鳴血管撮影<MRA>	55
磁気共鳴胆管膵管撮影<MRCP>	54
色素異常	39
色素異常症	74
色素性乾皮症	74
色素性蕁麻疹	73
色素性母斑	73
色素尿	43
色素排泄試験	50
視機能	26
視機能異常・視神経疾患	75
視機能検査	51
視機能障害	40
子宮	29, 36
子宮外妊娠	10
子宮筋腫	12, 94
子宮腔癒着{症}	96
子宮頸癌	12, 94, 108
子宮頸管炎	93
子宮頸管長	52
子宮頸管粘液	48
子宮頸管ポリープ	94
子宮頸部上皮内腫瘍	94
子宮頸部の類腫瘍・腫瘍	94
子宮支持組織	29
子宮性無月経	95
子宮腺筋症	94
糸球体	28
子宮体癌	12, 94
糸球体腎炎	92
糸球体病変	92
子宮体部の類腫瘍・腫瘍	94
子宮脱	95

子宮内胎児死亡	69
子宮内反症	68
子宮内膜異型増殖症	94
子宮内膜炎・筋層炎	93
子宮内膜癌	94
子宮内膜症	12, 94
子宮内膜症性嚢胞	94
子宮内膜増殖症	94
子宮内膜の周期性変化	29
子宮内膜ポリープ	94
子宮肉腫	94
子宮の位置異常	95
子宮の奇形	95
子宮破裂	68
子宮復古	32
子宮復古不全	68
子宮卵管造影<HSG>	54
子宮留膿症・腫	93
耳鏡検査	7
死腔	27
止血	57, 61, 63
止血機能と血管壁	28
止血法	10, 57
事故	10
思考	29
嗜好	4
耳硬化症	76
刺咬症	63
思考障害	6, 43
事後確率	9
死後経過時間の推定	38
自己決定権	2
自己抗体	8, 49
自己紹介	4
自己責任と自分の限界	14
事故による障害	112
死後変化	38
自己免疫疾患	36
自己免疫疾患による免疫不全症	107
自己免疫性肝炎	86
自己免疫性視床下部下垂体炎	103
自己免疫性膵炎	87
視索	26
自殺	111
自殺企図	3
自殺対策	23

自殺対策基本法.....	20	システムレビュー<review of systems>.....	4	疾病・障害の概念と構造.....	2
自殺の予防.....	15	ジストニア.....	45, 98	疾病・障害の概念と社会.....	18
死産.....	22, 23	姿勢.....	7	疾病・障害の分類・統計.....	22
死産証書.....	3	歯性上顎洞炎.....	77	疾病構造.....	18
死産の届出に関する規定.....	19	耳性帯状疱疹.....	76	疾病と影響因子.....	35
四肢.....	7, 30	姿勢の異常.....	45	疾病の自然経過.....	35
支持.....	4	次世代育成支援対策推進法.....	18	疾病の自然史.....	22
四肢血管損傷.....	101	耳癬.....	76	質問の有無の確認.....	5
四肢骨折.....	101	事前確率.....	9	質問法.....	4
四肢切断.....	101	自然気胸.....	11	児頭回旋の診断・表現法.....	47
脂質異常症.....	13, 95, 104	自然災害.....	112	児童虐待の防止等に関する法律..	19
脂質および脂質代謝関連物質..	48	自然毒食中毒.....	111	児童虐待の予防.....	23
脂質代謝異常.....	104	脂腺母斑.....	73	児頭骨盤不均衡<CPD>.....	68
支持的態度.....	4	自然免疫.....	30	児童相談所.....	18
四肢軟部損傷.....	101	持続性身体表現性疼痛障害.....	71	自動体外式除細動器<AED>.....	62
四肢軟部病変.....	100	持続的気道陽圧法<CPAP>.....	65	児童の事故と対策.....	24
四肢の診察.....	8	持続的陽圧換気<CPPV>.....	65	児頭の浮動・下降・進入・固定・	32
思春期.....	4, 34	持続勃起症.....	96	嵌入.....	32
思春期危機.....	34	死体解剖保存法.....	19	児頭の変形.....	32
思春期早発症.....	105	死体検案.....	14	児童の慢性疾患と保健管理.....	24
思春期の健康問題.....	4	死体検案書.....	3	児童福祉法.....	20
思春期の児の診察.....	47	死胎検案書.....	3	死と終末期ケア.....	14
思春期の発来機序.....	34	自治体との連携.....	20	死に至る心の過程.....	14
思春期発現.....	4	市中感染症.....	36	歯肉の異常.....	42
視床.....	29	視中枢.....	26	死の判定と診断.....	14
視床下部.....	30	市中肺炎.....	79	児の娩出.....	32
視床下部・下垂体・精巣系.....	29	市町村保健センター.....	18	自発眼振.....	51
視床下部・下垂体・卵巣系.....	29	耳痛.....	40	紫斑.....	39, 42
視床下部機能障害.....	103	失外套症候群.....	44	紫斑病性腎炎.....	92
視床下部腫瘍.....	103	膝蓋軟骨軟化症.....	100	ジフテリア.....	109
視床下部性無月経.....	94	疾患関連遺伝子.....	35	自閉.....	44
耳小骨.....	26	膝関節の疾患.....	100	耳閉感.....	40
自傷他害.....	46	疾患に応じた薬物治療.....	56	自閉症.....	72
矢状断.....	54	疾患の特徴.....	34	司法解剖.....	38
自助具.....	61	失禁.....	34	脂肪肝.....	12, 86
異所性骨化.....	100	シックハウス症候群.....	112	脂肪腫.....	101
視診.....	7	シックビル症候群.....	112	死亡診断.....	14
地震.....	10	失見当識.....	43	死亡診断書.....	3
視神経.....	26	失語.....	44	視放線.....	26
視神経萎縮.....	75	失行.....	44	脂肪塞栓症.....	102
視神経炎・症.....	75	失語症訓練.....	61	脂肪肉腫.....	101
視神経管骨折.....	78	実質性・間質性肺障害.....	79	脂肪抑制像.....	54
視{神経}交叉.....	26	実施の説明.....	8	死亡率.....	22, 36
視神経疾患.....	75	失神.....	5, 10, 41	耳鳴.....	5, 40
視神経脊髄炎.....	98	湿疹.....	10, 73	視野.....	26
視神経損傷.....	78	膝靱帯損傷.....	102	斜位.....	68
シスチン尿症.....	92	失認.....	44	視野異常.....	5, 40

社会環境..... 4	周産期の保護..... 23	手掌紅斑..... 39
社会環境の変動と国民の健康.. 18	収縮期駆出性<収縮中期性>雑音 .. 41	樹状細胞..... 31
社会参加..... 2, 61	収縮性心膜炎..... 83	受精..... 32
社会性..... 33	収縮中期クリック..... 41	受精卵の分割と輸送..... 32
社会生活..... 14	周術期の管理..... 57	主訴..... 4
社会生活機能を重視した医療... 2	重症感染症..... 10, 46	腫脹..... 7
社会的苦痛..... 64	重症救急病態..... 62	出血..... 3, 5, 37, 55, 57, 62
社会と医療..... 2	重症急性膵炎..... 87	出血傾向..... 6, 42
社会福祉..... 18	重症筋無力症..... 80, 99	出血性..... 37
社会福祉・介護..... 20	重症度と緊急度..... 46	出血性疾患と血栓傾向..... 90
社会福祉関係施設..... 18	重症度判定..... 63	出血性腸炎..... 85
社会復帰..... 14	重症複合免疫不全症..... 107	出血性貧血..... 89
社会保険..... 18	修正大血管転位症..... 82	出血と産科ショック..... 68
社会保障制度..... 14	住宅改修..... 61	出血斑..... 39
社会保障制度と医療経済..... 18	集団予防と個人予防..... 24	術後合併症..... 57
社会保障の概念と制度..... 18	集団療法..... 65	術後管理と集中治療..... 58
社会歴..... 4	重度ストレス反応および適応障害 .. 71	術後性上顎嚢胞..... 77
視野狭窄..... 40	十二指腸..... 55	術後創部痛..... 59
弱オピオイド..... 64	十二指腸潰瘍..... 11	術後鎮痛..... 58
弱視..... 75	十二指腸乳頭部腫瘍..... 85	出生..... 23
若年性血管線維腫..... 78	重複腎盂尿管..... 95	出生時の身長・体重..... 33
若年性特発性関節炎<JIA>... 107	終末期患者とのコミュニケーション .. 14	出生証明書..... 3
斜頸..... 99	終末期ケア..... 14	出生前診断..... 35, 47
視野検査..... 51	終末期における意志決定の支援 .. 14	出生と死亡..... 22
社交不安障害..... 10, 71	終末期における水分・栄養管理 .. 14	術前・術中・術後<周術期>照射 .. 60
斜視..... 40, 75	羞明..... 40	術前処置..... 58
射精..... 29	絨毛癌..... 94	術前評価..... 58
射精障害..... 43	絨毛検査..... 53	術前麻酔管理..... 58
遮蔽..... 54	絨毛性疾患..... 94	術中麻酔管理..... 58
周囲臓器との位置関係..... 26	絨毛膜羊膜炎・頸管炎..... 68	受動喫煙..... 15, 111
縦隔..... 27, 55, 81	重要臓器機能の障害を招く病態・疾患 .. 9	授乳性無月経..... 32
縦隔気腫..... 81	主観的所見..... 2	寿命..... 34
縦隔腫瘍..... 80	宿主..... 18, 22	腫瘍... 36, 39, 85, 86, 87, 105
集学的治療..... 60	手根管症候群..... 98	腫瘍・母斑性皮膚疾患..... 73
習慣および衝動の障害..... 72	酒皰様皮膚炎..... 74	腫瘍細胞の異型性と多形性... 37
習慣性流産..... 68	授産所..... 62	主要疾患・症候群..... 10
周期性嘔吐症..... 105	手術..... 57	主要症候..... 5
周期性過眠症..... 99	手術介助..... 14	腫瘍性..... 42
周期性四肢麻痺..... 71, 99	手術記録..... 2	腫瘍の疫学..... 36
銃器による損傷..... 35	手術時期..... 57	腫瘍の定義..... 36
就業制限..... 23	手術創の処置..... 58	腫瘍の病理・病態..... 36
重金属..... 48	手術適応..... 57	腫瘍の放射線感受性..... 59
重金属類..... 25		腫瘍マーカー..... 48
充血..... 5, 37		主流煙..... 111
周産期..... 3		受療行動..... 5
周産期死亡..... 23		種類..... 13, 48, 54, 55, 56
周産期の異常..... 10		
周産期の異常を示す症状..... 6		

- 種類と性質..... 53
 種類と適応..... 13, 54, 55, 61
 純音聴力検査..... 51
 循環..... 3, 33
 循環器..... 33
 循環器作用薬..... 57
 循環器疾患..... 111
 循環血液量..... 27
 循環血液量減少性ショック.....
 37, 62
 循環抗凝固因子による出血傾向..
 90
 循環障害..... 37
 循環動態の調節..... 28
 春季カタル..... 75
 純型肺動脈閉鎖..... 82
 準言語的コミュニケーション... 4
 少<寡>分割照射..... 60
 上・中・下咽頭..... 28
 常位胎盤早期剥離..... 68
 上咽頭癌..... 78
 消化..... 28, 33
 障害..... 14, 38, 60
 障害者基本計画..... 18
 障害者基本法..... 20
 生涯設計..... 15
 消化管..... 60
 消化管Behçet..... 86
 消化管アミロイドーシス..... 86
 消化管アレルギー..... 86
 消化管異物..... 87
 消化管運動..... 28
 消化管運動機能検査..... 50
 消化管運動抑制薬..... 55
 消化管カルチノイド..... 86
 消化管機能検査..... 50
 消化管共通疾患..... 86
 消化管出血..... 42
 消化管神経内分泌腫瘍... 86, 103
 消化管生理活性物質..... 28
 消化管穿孔..... 87
 消化管造影..... 54
 消化管損傷..... 87
 消化管内圧減圧治療..... 62
 消化管の構造・機能..... 28
 消化管の消化・吸収..... 28
 消化管の免疫..... 28
 消化管壁の構造..... 28
 消化管ポリポーシス..... 86
 消化管ホルモン..... 28
 消化管ホルモン産生腫瘍..... 103
 消化器..... 5, 28, 33, 34, 42
 消化器・腹壁・腹膜疾患..... 11
 消化器作用薬..... 57
 上顎骨骨折..... 78
 上顎洞癌..... 77
 消化性潰瘍..... 11, 85
 小奇形..... 39
 上気道・下気道の構造・機能.. 27
 上気道炎..... 11
 使用記録保管義務..... 3
 症候..... 36
 症候性肥満..... 104
 上喉頭神経..... 27
 小細胞癌..... 80
 上肢・下肢の運動器疾患..... 100
 硝子圧法..... 51
 少子化社会・障害児<者>への対応
 18
 硝子体..... 26
 硝子体混濁..... 76
 硝子体出血..... 76
 硝子体の異常..... 76
 上室{性}頻脈性不整脈..... 82
 上室期外収縮..... 82
 照射..... 61
 照射の合併症..... 60
 上縦隔..... 27
 症状・傷病別の初期対応..... 10
 症状性精神病..... 71
 上水道と下水道..... 25
 浄水法と消毒..... 25
 掌蹠角化症..... 74
 掌蹠膿疱症..... 74
 掌蹠膿疱症性関節炎..... 106
 小線源治療..... 60
 常染色体..... 49
 上大静脈症候群..... 81
 状態特性不安検査..... 52
 承諾解剖..... 38
 小腸..... 55, 62
 小腸・結腸疾患..... 85
 小腸・結腸の異常..... 88
 小腸癌..... 85
 上腸間膜血管..... 28
 上腸間膜動脈症候群..... 85
 上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症..
 85
 小頭..... 45
 小頭症..... 102
 消毒と滅菌..... 57
 小児..... 56
 小児・高齢者麻酔..... 58
 小児・青年期の精神・心身医学的
 疾患..... 72
 小児栄養..... 33
 小児期..... 4, 33
 小児血液疾患..... 90
 小児欠伸てんかん..... 102
 小児喘息..... 11
 小児造血器腫瘍..... 91
 小児特有の全身症状..... 6
 小児の行動..... 4
 小児の診察..... 46
 小児の成長..... 33
 小児の特殊性..... 14
 小児の発達..... 33
 小児の保健・福祉..... 23
 小児リハビリテーション..... 61
 小脳機能..... 8
 小脳橋角部腫瘍..... 77
 小脳とその連絡路..... 30
 上皮小体..... 30
 上皮内癌..... 37, 94
 上部消化管逆流症状..... 42
 小舞蹈病..... 98
 上部尿路結石..... 93
 上部尿路閉塞性疾患..... 93
 情報開示..... 2
 情報収集法..... 9
 小脈..... 41
 静脈..... 8, 14
 静脈管..... 32
 静脈還流..... 28
 静脈血..... 48
 静脈血栓..... 42
 静脈採血..... 13
 静脈疾患..... 84
 静脈洞..... 30
 静脈洞感染症..... 97
 静脈洞血栓症..... 97
 静脈麻酔..... 58
 静脈瘤..... 60
 静脈路確保..... 10, 62

照明..... 25
証明書..... 3
常用薬..... 4
症例対照研究..... 22
上腕骨外側上顆炎..... 100
ショートステイ..... 19
初期・2次・3次救急医療..... 21
初期救急..... 9
食塊形成..... 28
職業癌..... 112
職業性アレルギー..... 106, 111
職業性ストレスによる障害..... 111
職業性喘息..... 111
職業性腰痛..... 111
職業役割..... 34
職業リハビリテーション..... 61
食菌能..... 49
食行動..... 15
食細胞機能不全症..... 107
食事・栄養療法..... 56
食事・栄養療法の基本..... 56
食事摂取基準..... 15, 24, 30
食事摂取基準量..... 56
食事調査..... 24
食事バランスガイド..... 24
職種と社会資源..... 2
職種連携..... 2
食思<欲>不振..... 5
食事療法..... 56
触診..... 7
食生活..... 15
食生活指針..... 24
褥瘡..... 3, 11, 34, 36, 39, 78
褥瘡の処置・治療..... 13
食中毒..... 13, 111
食道..... 55, 60
食道アカラシア..... 85
食道異物..... 87
食道炎..... 85
食道潰瘍..... 85
食道癌..... 11, 85
食道気管瘻..... 81
食道疾患..... 85
食道静脈瘤..... 11, 85
食道穿孔・破裂..... 85
食道内圧..... 28
食道内圧検査..... 50
食道の異常..... 88

食道裂孔ヘルニア..... 87
植皮..... 63
植皮術..... 57
食品衛生法..... 20
食品中の汚染物質..... 24
食品添加物..... 24
食品の安全性と機能性..... 24
食品保健..... 20
植物状態..... 44
褥婦の診察..... 47
食物・嗜好品との相互作用..... 56
食物アレルギー..... 106
食物依存性運動誘発アナフィラ
キシー..... 106
食欲異常..... 42, 44
食欲不振..... 42
書瘡..... 98
除細動..... 10, 62
初診時の評価..... 46
女性化乳房..... 45
女性性器..... 55
女性性器・膀胱の下垂・脱出.. 43
女性性器損傷..... 96
女性生殖器の異常..... 43
女性生殖器の炎症..... 93
女性生殖器の形態異常..... 95
女性生殖器の構造・機能..... 29
女性生殖器の類腫瘍・腫瘍..... 94
除石術..... 60
触覚..... 8, 27
ショック.....
..... 5, 10, 37, 39, 46, 58
ショックの治療..... 62
所得..... 14
初乳..... 32
処方箋..... 2
処方箋の書き方..... 13
処方内容..... 5
徐脈..... 5
徐脈性不整脈..... 82
自立..... 15
自律訓練法..... 65
自立支援医療..... 23
自律神経・内分泌機能の変化.. 35
自律神経系..... 30
自律神経系疾患..... 99
自律神経作用薬..... 56
自律神経障害..... 45

自立生活支援..... 61
視力..... 26, 33
視力検査..... 51
視力障害..... 5, 40
痔瘻..... 12, 85
耳漏..... 40
脂漏性角化症..... 73
脂漏性皮膚炎..... 73
思路障害..... 43
腎..... 6, 7, 28, 30, 33, 34, 42
腎・上部尿路腫瘍..... 94
腎・尿路・生殖器の炎症..... 93
腎・尿路・男性生殖器の腫瘍.. 94
腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患..
..... 93
腎・尿路損傷..... 96
腎・尿路の炎症..... 93
腎・尿路の形態異常..... 95
腎・泌尿器・生殖器疾患..... 12
心アミロイドーシス..... 83
腎盂..... 29
腎盂・尿管癌..... 94
心エコー..... 50
心音..... 7
人格..... 29
腎癌..... 12
心気症..... 10, 44
心気障害..... 71
心機能..... 27
心機能検査..... 50
腎機能検査..... 50
腎機能障害..... 56
腎機能の障害による異常..... 93
真菌..... 49
真菌・寄生虫・その他の病原体に
よる感染症..... 109
心筋・心膜疾患..... 83
心筋炎..... 83
心筋梗塞..... 62
心筋梗塞後合併症..... 83
心筋収縮性・拡張性..... 27
心筋症..... 11
心筋シンチグラフィ..... 50
真菌性髄膜炎..... 97
心筋保護液..... 59
シングルフォトンエミッションCT
<SPECT>..... 55
神経..... 6, 26, 29, 33, 44

- 神経・運動器疾患..... 12
神経・運動器の外傷..... 101
神経・運動器の感染・炎症性疾患
..... 97
神経・筋疾患..... 61
神経・皮膚症候群..... 101
神経因性膀胱..... 93
神経学的診察..... 47
神経芽腫..... 103
神経筋接合部..... 99
神経筋接合部疾患..... 98
神経系..... 28, 29
神経系の診察..... 7
神経原性..... 37, 62
神経原性腫瘍..... 80
神経原性肺水腫..... 80
神経膠腫..... 97
神経根..... 29
神経根症..... 99
神経根障害..... 45
神経支配..... 30
神経障害性疼痛..... 59
神経鞘腫..... 97, 101
神経症性障害..... 71
神経心理学的検査..... 52
神経心理学的症状..... 44
神経性食思<欲>不振症.....
..... 71, 94, 103
神経性大食症..... 71
神経線維腫症..... 102
神経線維腫症 1 型..... 73, 102
神経叢..... 59
神経痛..... 99
神経伝達物質..... 29
神経伝導検査..... 50
神経伝導速度..... 9, 50
神経皮膚症候群..... 102
神経病性関節症..... 100
神経ブロック..... 59, 61
神経変性疾患..... 98, 102
心血管CT..... 50
腎血管疾患..... 92
腎血管性高血圧症..... 83, 92
腎結石..... 60
心原性ショック..... 37, 62, 82
心原性脳塞栓症..... 97
心原性肺水腫..... 80
新興・再興感染症..... 36
人工栄養..... 34
進行癌..... 37
人工換気..... 65
人工関節・骨・腱・靱帯..... 59
人工血管..... 59
人口構造..... 18
人工呼吸..... 10, 58, 62
人工腎臓..... 59
人工心肺..... 59
進行性核上性麻痺..... 98
進行性筋ジストロフィー.....
..... 99, 102
人口静態統計..... 22
人工臓器..... 59
腎梗塞..... 92
人口統計と保健統計..... 22
人口動態統計..... 22
人工内耳..... 59
人工内耳埋込み術..... 76
人工妊娠中絶..... 23
人工弁..... 59
腎細胞癌..... 94
心雑音..... 7, 41
診察時の患者の体位..... 7
診察時の注意..... 46, 47
診察前後の標準予防策..... 7
診察のあり方..... 7
診察の基本手技..... 7
心サルコイドーシス..... 83
心室期外収縮..... 82
心室細動..... 82
腎実質性高血圧症..... 83
心室{性}頻脈性不整脈..... 82
心室中隔欠損症..... 82
心室頻拍..... 82
心室瘤..... 83
心周期と時相..... 27
人獣共通感染症..... 36, 109
人獣共通感染症対策..... 24
真珠腫性中耳炎..... 76
滲出性中耳炎..... 76
浸潤麻酔・表面麻酔..... 59
尋常性痤瘡..... 74
尋常性疣贅..... 108
尋常性狼瘡..... 74
腎静脈血栓症..... 92
心身症..... 10, 72, 111
心腎相関..... 93
心神喪失等の状態で重大な他害行為
を行った者の医療及び観察等に
関する法律<医療観察法>..... 20
真性・仮性半陰陽..... 70
腎性骨異常栄養症<ROD>..... 93
新生児..... 33, 56
新生児・乳児死亡..... 23
新生児・乳幼児の採血と穿刺法..
..... 48
新生児胃穿孔・破裂..... 88
新生児壊死性腸炎..... 88
新生児黄疸..... 69
新生児黄疸に対する治療..... 65
新生児仮死..... 69
新生児肝炎..... 88
新生児クレチン症..... 69
新生児集中治療室..... 64
新生児出血性疾患..... 91
新生児蘇生法..... 64
新生児低血糖症..... 105
新生児の感染症..... 69
新生児の救急治療・処置..... 64
新生児のけいれん..... 69
新生児の検査..... 53
新生児の呼吸障害..... 69
新生児の診察..... 47
新生児の生理..... 33
新生児の分類と異常..... 69
新生児マススクリーニング.....
..... 23, 53
新生児慢性肺疾患..... 69
新生児溶血性疾患..... 69
真性赤血球増加症..... 89
腎性尿崩症..... 92
腎性貧血..... 89, 93
振戦..... 45
腎前性腎不全..... 93
新鮮凍結血漿..... 57
心臓..... 5, 27, 34, 40, 62
腎臓..... 33, 62
心臓・血管の構造・機能..... 27
心臓・脈管疾患..... 11
心臓移植..... 83
心臓外傷..... 83
心臓カテーテル検査..... 50
心臓死..... 14
心臓疾患・内分泌代謝疾患・肺疾患
・頭蓋内疾患の麻酔..... 58

心臓腫瘍..... 83
 心臓{性}突然死..... 83
 心臓{性}突然死をきたす症候群..
 82
 心臓電気生理学的検査<EPS>... 50
 心臓の興奮と伝導..... 27
 迅速診断の適応..... 49
 靱帯..... 30
 身体化障害..... 71
 身体活動..... 15
 身体活動とエネルギー消費... 15
 身体障害児実態調査..... 22
 身体障害者実態調査..... 22
 身体障害者福祉法..... 20
 身体障害のリハビリテーション..
 61
 身体正常値..... 4
 靱帯損傷..... 101
 身体的苦痛..... 64
 身体的苦痛の緩和..... 14, 64
 身体的素因..... 56
 身体的特徴..... 33
 身体的要因に関連した障害... 71
 人体の構造と機能..... 3
 身体の成長・発達..... 34
 身体発育..... 33
 身体表現性障害..... 10, 71
 身体表現性自律神経機能不全.. 71
 診断..... 8
 診断限界..... 49
 診断書..... 3
 診断操作による医原病..... 38
 診断に伴う医原病..... 38
 心タンポナーデ..... 37, 62, 83
 シンチグラフィ..... 55
 人中..... 26
 身長..... 7
 身長・体重・頭囲・胸囲..... 33
 身長の異常..... 45
 陣痛..... 32
 陣痛曲線..... 52
 陣痛の異常..... 68
 陣痛の観察..... 47
 人的支援..... 14
 心電図..... 9, 50
 振動障害..... 112
 腎動脈..... 60
 心内膜床欠損症..... 82

腎乳頭壊死..... 93
 心嚢液貯留..... 83
 心嚢穿刺・ドレナージ..... 62
 腎膿瘍..... 93
 腎の構造・機能..... 28
 腎の内分泌機能..... 29
 じん肺..... 112
 じん肺症..... 80
 じん肺法..... 20
 腎杯..... 29
 心肺{機能}停止..... 10
 心肺蘇生..... 62
 心肺蘇生法<CPR>..... 46
 心拍出量..... 27
 真皮..... 26
 腎皮質壊死..... 92
 深部感覚..... 8, 27
 深部静脈血栓症..... 11, 84, 97
 心不全..... 58, 82
 腎不全..... 57
 深部線量百分率..... 59
 心弁膜症..... 106
 心房細動..... 41, 82
 心房粗動..... 82
 心房中隔欠損症..... 82
 心膜疾患..... 83
 心膜ノック音..... 41
 心膜摩擦音..... 41
 蕁麻疹..... 11, 39, 73, 106
 信賴区間..... 9, 22
 心理..... 6, 29, 43
 心理・社会的状況..... 5
 心理・社会的情報..... 5
 心理・社会的要因..... 35
 心理・精神機能..... 29
 心理・精神機能検査..... 52
 心理学的検査..... 52
 心理教育<psychoeducation>.....
 2, 65
 心理的評価..... 47
 診療ガイドライン..... 9
 診療関連死..... 38
 診療所..... 19
 診療情報と諸証明書..... 2
 診療情報の開示..... 2
 診療に関する諸記録..... 2
 診療に必要な一般的な医学英語..
 15

診療録..... 2
 診療録・医療記録の管理と保存.. 2
 診療録の内容..... 2
 唇裂..... 78

す

膵・胆管合流異常症..... 86
 髄液の分泌・循環・吸収..... 29
 髄液漏..... 101
 膵外腫瘍..... 104
 髄外造血..... 28
 膵管..... 53, 55
 膵癌..... 12, 87
 膵管内乳頭粘液性腫瘍<IPMN>..
 87
 膵機能検査..... 50
 水糸感染症..... 25
 遂行機能障害..... 44
 水質汚濁..... 25
 膵疾患..... 87
 水質基準..... 25
 水腫..... 37
 水晶体..... 26
 水晶体混濁..... 40
 水晶体偏位・脱臼..... 75
 膵神経内分泌腫瘍..... 87, 104
 水腎症..... 93
 膵損傷..... 87
 錐体外路症候..... 45
 錐体路症候..... 45
 垂直感染..... 36
 推定胎児体重<EFBW>..... 52
 水痘..... 11, 108
 膵島..... 30
 水頭症..... 102
 水道法..... 20
 膵内外分泌..... 28
 膵嚢胞性腫瘍..... 87
 水疱..... 39
 水疱性類天疱瘡..... 74
 髄膜..... 29
 髄膜炎..... 12, 44, 69, 97
 髄膜炎菌感染症..... 109
 髄膜癌腫症..... 97
 髄膜刺激症候..... 7, 44
 髄膜腫..... 97
 髄膜瘤..... 69, 102
 睡眠..... 29

睡眠覚醒スケジュール障害	71
睡眠時無呼吸症候群	11, 71, 81, 83
睡眠時無呼吸症候群検査	50
睡眠障害	6, 44, 71
睡眠の質	15
睡眠薬依存・中毒	111
数的異常	35
頭蓋・頭蓋腔の構造	26
頭蓋骨骨折	101
頭蓋骨腫瘍	97
頭蓋内出血	69
頭蓋内血腫	12
スクリーニング	8
スクリーニング法	33, 52
健やか親子21	18
筋緊張異常	45
頭重感	6, 44
頭痛	6, 10, 44
ステントグラフト内挿術	60
ステント留置	60, 61
ステント留置術	60
ストレス	35
ストレス関連疾患の誘発と症状増悪	35
ストレス関連障害	10, 71
ストレス対策	15
スパイロメトリー	50
スピリチュアルペイン	64
スペキュラーマイクロスコープ	51
スポーツ外傷	101
スポロトリコーシス	74, 109
座り方	4

せ

精液	48
精液検査	95
精液の性状	43
声音振盪	41
生化学検査	8, 48
性格	29
正確度	9
生活・職業・社会環境と疾病	35
生活環境	4, 46
生活環境因子・職業性因子による疾患	13

生活環境の評価	47
生活技能訓練	62
生活指導・療育	62
生活習慣	4, 33, 35
生活習慣と疾病	4
生活習慣とリスク	15
生活習慣病と保健対策	23
生活習慣病の罹患と死亡	23
生活習慣病のリスクファクター	15, 23
生活の質	2, 15, 18, 23, 64
生活保護法	20
生活様式	18
精管	29
性感染症<STD、STI>	36, 94
性器外周期	29
性器クラミジア感染症	108
正規雇用	24
性器出血	6, 43
性機能不全	71
性器の復古	47
性器の変化	32
性器ヘルペス	94
制御性T細胞<T reg>	31
清潔操作	14
生検	8, 48, 55
生検・手術切除検体取扱法	49
生検検体採取法	49
性差	9
性索間質性腫瘍	94
精索静脈瘤	95
生歯	33
性嗜好障害	72
性周期	29
成熟B細胞性腫瘍	89
成熟T細胞・NK細胞腫瘍	90
成熟徴候	33
成熟乳	32
正常圧水頭症	97
正常画像	26
星状神経節	26, 59
正常組織耐容線量／腫瘍致死線量	59
正常組織の放射線感受性	59
正常妊娠	10
精上皮腫	94
生殖器	6, 28, 33, 34, 42
生殖機能	4

生殖器の診察	7
生殖腺線量	38
生殖毒性	38
生殖補助技術<ART>	65, 95
成人・高齢者保健	19
精神・心身医学的疾患	10
精神・知的・発達障害のリハビリテーション	62
成人Still病	106
成人T細胞白血病	90
精神運動興奮	44, 46
精神運動発達	4
精神科救急	10, 46
精神科コンサルテーション	65
精神機能	6, 43
精神機能と身体	29
精神作用物質関連障害	71
精神作用物質使用による精神および行動の障害	71
精神障害者	23
精神障害者社会復帰施設	23
精神状態の評価	7
精神的苦痛	64
精神的苦痛の緩和	14, 64
精神的健康の保持・増進	23
成人の人格・行動障害	72
精神発達	34
精神発達障害	43
精神分析療法	65
精神保健	20
成人保健	23
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>	20
精神保健福祉	23
精神保健福祉センター	23
精神保健福祉相談	23
精神療法	65
性腺	30
性腺機能障害	103
性染色体	50
精巣	29
精巣・精索水腫	95
精巣炎	93
性早熟症	105
精巣上体	29
精巣上体炎	93
精巣水腫	88

精巢性女性化症候群	70
精巢損傷	96
精巢捻転症	95
生存分析	22
生存率	36
生体	59
声帯	27
生体機能検査	9, 50
生態系と生物濃縮	25
声帯結節	77
生体色素	48
生体弁	59
声帯ポリープ	77
正中頸嚢胞	78
成長・発達の障害	70
成長・発達の評価	46, 47
成長曲線	33
成長スパート	34
成長速度曲線	33
成長軟骨	30
成長の評価	32, 33
成長ホルモン分泌不全性低身長	105
性同一性障害	72
正当化	53
成乳	32
青年期	4, 34
成年後見制度	20
精嚢	29
性発達の異常	7
政府開発援助<ODA>	21
生物学的製剤	65
生物学的モニタリング	24
性分化・性器の異常	70
性分化・染色体異常	69
成分輸血	57
精密度	9
生命関数表	22
性役割	34
性欲異常	44
生理的黄疸	33
生理的障害	71
生理的体重減少	33
生理的変動	8, 9
世界の人口	22
世界の保健・医療問題	21
世界保健機関<WHO>	21
セカンドオピニオン	2

赤外線	78, 112
赤芽球癆	89
脊索腫	101
脊髄	29
脊髄・神経根障害	45
脊髄空洞症	102
脊髄くも膜下麻酔	59
脊髄血管障害	99
脊髄腔造影	54
脊髄腫瘍	99
脊髄症	99
脊髄障害	45
脊髄小脳変性症	98
脊髄性筋萎縮症	98, 102
脊髄損傷	12, 61, 101
脊髄動脈系	30
脊髄の機能局在と主な伝導路	30
脊柱	7, 29, 30
脊柱管狭窄症	12, 99
脊柱靱帯骨化症	99
脊柱の異常	45
脊柱変形	45
赤沈	48
脊椎	29
脊椎・脊髄外傷	63
脊椎・脊髄疾患	99
脊椎運動制限	45
脊椎カリエス	97
脊椎骨折	101
脊椎骨端異形成症	99
脊椎腫瘍	99
脊椎症性神経根症	45
脊椎すべり症	99
脊椎脱臼骨折	101
脊椎分離症	99
石綿	25
石綿症	80
セキュリティ	2
癰	74
舌	28
舌咽神経痛	77
舌咽神経麻痺	77
舌炎	77
舌下	56
切開	61
切開法	57
舌下神経	26
舌下神経麻痺	77

舌癌	77
赤血球凝集抑制試験<HI>	49
赤血球系疾患	89
赤血球形態	48
赤血球酵素異常症	90
赤血球濃厚液	57
赤血球の形態・機能	28
赤血球破碎症候群	89
切除	61
摂食・嚥下訓練	61
摂食機能	28
摂食障害	71
接触皮膚炎	10, 73
舌神経	26
節足動物による疾患	111
舌苔	42
絶対禁忌と相対禁忌	54
絶対的不整脈	41
切斷	61
舌の異常	42
切迫早産	68
説明義務	19
説明同意書	3
セデーション	64
セミノーマ	94
セラチア感染症	109
線維筋痛症	71, 107
線維性骨異形成	101
鮮鋭度	54
線エネルギー付与<LET>	59
遷延分娩	68
腺癌	80
全眼球炎	76
前期破水	68
前駆陣痛	32
尖圭コンジローマ	94, 108
潜血	48
穿孔	55
穿孔性眼外傷	78
潜在癌	37
穿刺	8, 14, 48
穿刺液	48
線質	53
前縦隔	27
腺腫様甲状腺腫	103
洗浄	63
洗浄赤血球	57
線条体黒質変性症	98

染色体.....	3
染色体・遺伝子異常.....	69
染色体異常.....	35
染色体異常の原因.....	35
染色体異常の種類.....	35
染色体検査.....	49
染色法.....	8, 49
前処置とその合併症.....	55
全身倦怠感.....	5, 39
全身倦怠感・食欲不振・呼吸困難の 治療とケア.....	64
全身疾患に伴う腎疾患.....	92
全身症候.....	5, 39
全身振動.....	25
全身性.....	106
全身性アミロイドーシス.....	104
全身性エリテマトーデス<SLE>...	92, 106
全身性炎症{性}反応症候群<SIRS>	36
全身性硬化症.....	92, 106
全人的苦痛.....	14
全人的苦痛<トータルペイン>の種類 と原因.....	64
全人的苦痛の緩和.....	64
全身の外観.....	7
全身の診察.....	7
全身の復古.....	32, 47
全身の変化.....	32
全身麻酔.....	58
全身療法.....	63
選択緘黙.....	72
選択的IgA欠乏症.....	107
先端巨大症.....	83, 103
前置血管.....	68
前置胎盤.....	68
前徴.....	32
前庭神経炎.....	77
前庭の異常.....	76
前庭反射.....	26
前庭平衡系の構造・機能.....	26
前庭窓.....	26
先天異常.....	35
先天異常および成長・発達の障害	69
先天異常の検査.....	53
先天奇形.....	102
先天性アミノ酸代謝異常症... 105	

先天性横隔膜ヘルニア	69
先天性下腿偽関節	100
先天性巨大結腸症	88
先天性筋強直性ジストロフィー	102
先天性筋疾患	102
先天性頸嚢胞・瘻	78
先天性血小板機能異常症	91
先天性血栓傾向	90
先天性肩甲骨高位症	100
先天性股関節脱臼	100
先天性十二指腸閉鎖・狭窄症	88
先天性小腸狭窄・閉鎖症	88
先天性食道閉鎖症	88
先天性耳瘻孔	78
先天性心疾患	11, 82
先天性真珠腫	76
先天性多発性関節拘縮症	99
先天性男性ホルモン生成障害	70
先天性胆道拡張症	86
先天性ネフローゼ症候群	92
先天性表皮水疱症	74
先天性副腎皮質過形成	70, 105
先天代謝異常	105
前頭骨骨折	78
前頭側頭型認知症	71, 98
前頭葉てんかん	99
全般性不安障害	71
全般てんかん	99
前部ぶどう膜炎	75
喘鳴	5, 10, 41
せん妄	44, 71
前立腺	29
前立腺炎	93
前立腺癌	12, 94
前立腺肥大症	12, 94
線量限度	54
線量当量Sv	53
線量分布図	60
線量率効果	59
前臨床期	35
前弯	45

そ

躁うつ病.....	10, 71
造影CT.....	54
造影MRI.....	55

造影効果.....	54, 55
造影剤.....	54
造影剤腎症.....	54
造影剤と副作用.....	55
造影磁気共鳴画像<造影MRI>...	55
造影超音波診断法.....	53
騒音・振動の健康影響と対策..	25
騒音障害.....	112
騒音性難聴.....	25, 76, 112
騒音の生理的・心理的影響....	25
騒音の聴器・聴覚への影響....	25
臓器・組織移植.....	59
早期癌.....	37
早期産児.....	69
早期死体現象.....	38
臓器腫大.....	42
臓器障害の状態把握.....	46
早期焼痂切除.....	63
早期相.....	55
臓器の移植に関する法律.....	19
早期破水.....	68
臓器不全.....	37
双極性障害<躁うつ病>....	10, 71
造血.....	34
造血因子.....	28
造血幹細胞.....	28
造血器.....	6, 28, 33, 42
造血不全症.....	89
相互参加型医療.....	2
早産.....	68
創傷.....	10, 112
躁状態.....	6, 44
創傷治癒に影響する因子.....	35
創傷の種類.....	35
創傷の治癒過程.....	35
創傷の治療・処置.....	63
巣状分節性糸球体硬化症.....	92
増殖因子.....	28
造精機能.....	29
双胎間輸血症候群.....	69
相対危険度<relative risk>....	9, 22
総動脈幹症.....	82
壮年期.....	4
総肺静脈還流異常症.....	82
早発閉経.....	95
創閉鎖.....	63
僧帽弁逸脱症候群.....	82

僧帽弁狭窄症	82
僧帽弁疾患	82
僧帽弁閉鎖不全症	82
僧帽弁膜症	11
痒痒	5, 39
側臥位	7
足関節捻挫	102
側頭嚢胞	78
塞栓	37
塞栓術	62
促通訓練	61
側頭骨骨折	78
側頭動脈炎	106
側頭葉てんかん	99
続発性アミロイドーシス	89
続発性パーキンソニズム	98
続発性免疫不全症	107
速脈	41
側弯	45
側弯症	99
鼠径ヘルニア	12, 87, 88
阻血	37
素行障害	72
組織診	8
組織適合(性)抗原<HLA>	31, 49
組織内照射	60
組織の萎縮	34
組織の機能低下	34
組織バンク	59
組織反応	36
咀嚼しゃく	28
咀嚼しゃく障害	42
疎通性障害	44
その他	45, 79, 82, 99, 101, 102
その他の異常	93
その他の機能障害	104
その他の偶発合併症妊娠	68
その他の血管性障害	97
その他の月経異常	95
その他の結石症	93
その他の重要な小児領域の疾患	88, 90, 102, 105, 107
その他の職業性疾患	112
その他の神経の異常	77
その他の新生児疾患	69
その他の染色体異常	69
その他の造影検査	54

その他の代謝異常	104
その他の治療法	64
その他の糖尿病	104
その他の内分泌疾患	103
その他の難産	68
その他の尿路・生殖器異常	95
その他の皮膚疾患	74
その他の複雑心奇形	82
その他の婦人科腫瘍	94
その他の類縁疾患	107
尊厳死	14
損傷	35, 78, 87
損傷・外傷	85, 87
存続絨毛症	94
尊重	4

た

ダーモスコピー試験	51
第1～4回旋	32
第I・II・III・IV相試験	2
第1期<開口期>	32
第2期<娩出期>	32
第3期<後産期>	32
胎位	32, 47
胎位・胎向の診断	47
胎位の異常	68
退院時要約	3
体液	33
体液喪失	37, 62
体液の量と組成	28
大横径<BPD>	52
ダイオキシン類	25
体温	7, 33, 58
胎芽	32
体外受精-胚移植<IVF-ET>	65
体外循環	59
体外衝撃波結石破碎術<ESWL>	65
体格	24
体格の評価	7
大気汚染	25
大規模災害	10
帯下	43
体型	7
大血管	27
大血管障害	104
胎向	32, 47
体細胞遺伝子検査	49

大細胞癌	80
対策	56
胎児	32
胎児・新生児期	3
胎児・新生児の異常	6, 69
胎児・新生児の診察と評価	47
胎児・胎盤系	32
胎児・胎盤循環	32
胎児異常	69
胎児下降度の診断・表現法	47
胎児機能不全	64, 69
胎児形態異常	69
胎児血液検査	53
胎児心拍数陣痛図<CTG>	47, 52, 53, 69
胎児心拍数の測定	47
胎児水腫	69
胎児水頭症	69
胎児性アルコール症候群	111
胎児成熟度検査	53
体質性黄疸	88, 104
胎児の位置の診断	47
胎児の形態	32
胎児の健全性<健全性、fetal well-being>の検査	53
胎児の診察	47
胎児の發育	3, 32
胎児肺低形成	69
胎児發育・成熟の検査	52
胎児發育不全	69
胎児貧血	69
胎児付属物	32
胎児付属物の診察	47
胎児ヘモグロビン	33
胎児母体間輸血症候群	69
代謝	6, 27, 30, 33, 34, 45, 56
代謝機能検査	50
代謝経路	30
代謝性合併症	56
代謝性骨疾患	100
代謝性疾患	86, 87, 98
代謝性反応	36
代謝調節	30
代謝と栄養	30
代謝と内分泌	30
体重	7
体重減少・増加	5, 39

- 体重増加不良..... 6
他医受診..... 5
体循環..... 27
帯状疱疹..... 108
対処行動..... 5
胎勢..... 32, 47
体性感覚系の構造・機能..... 27
体性痛..... 42
大泉門..... 33
大腿骨近位部骨折..... 101
大腿骨長<FL>..... 52
大腿骨頭すべり症..... 100
大腿ヘルニア..... 87
大腸癌..... 12
大腸菌感染症..... 109
大腸憩室性疾患..... 85
大腸腺腫..... 85
大腸ポリープ..... 85
胎動..... 47, 53
大頭..... 44
耐糖能異常..... 68
大動脈炎症候群..... 83, 106
大動脈解離..... 83
大動脈疾患..... 83
大動脈縮窄症..... 82
大動脈弁狭窄症..... 82
大動脈弁疾患..... 82
大動脈弁閉鎖不全症..... 82
大動脈弁膜症..... 11
大動脈弁輪拡張症..... 83
大動脈離断症..... 82
大動脈瘤破裂..... 11
タイトレーション..... 64
ダイナミックCT..... 54
ダイナミックMRI..... 55
大脳基底核とその連絡路..... 29
大脳皮質基底核変性症..... 98
大脳皮質と機能局在..... 29
胎盤..... 32, 53
胎盤・臍帯・羊水の診断..... 47
胎盤・臍帯の性状..... 53
胎盤嵌頓..... 68
胎盤機能不全..... 68
胎盤形態異常..... 68
胎盤の異常..... 68
胎盤の位置..... 47
胎盤の娩出..... 32
胎盤剥離徴候..... 47
代表値..... 22
代表値とばらつき..... 22
胎便..... 33
胎便吸引症候群<MAS>..... 69
胎便性腹膜炎..... 88
大麻精神病..... 71
大脈..... 41
体毛の異常..... 45
大理石骨病..... 99
体力..... 24
多因子遺伝..... 35
唾液..... 28
唾液腺..... 7, 28
唾液腺炎..... 78
唾液腺癌..... 78
唾液腺造影..... 54
唾液腺の異常..... 78
唾液腺良性腫瘍..... 78
唾液分泌異常..... 42
唾液分泌検査..... 50
多<過>分割照射..... 60
高安動脈炎..... 83, 106
多汗症..... 74
多形滲出性紅斑..... 73
多形腺腫..... 78
多系統萎縮症..... 98
多国間協力..... 21
多指症..... 100
多疾患合併..... 34
打診..... 7
唾石症..... 78
多臓器機能障害<MODF>..... 37
多臓器機能障害症候群<MODS>..... 58
多臓器不全<MOF>..... 37, 58, 63
多胎..... 69
墮胎..... 19
多胎妊娠..... 68
多胎分娩..... 68
立ち直り反射..... 33
脱臼..... 101
脱水..... 5, 39
脱髄疾患..... 98
脱水と浮腫..... 93
脱毛..... 45
脱毛症..... 75
妥当性..... 22
多動性障害..... 72
田中・Binet式知能検査..... 52
ダニ..... 111
多尿..... 6, 42
多嚢胞性卵巣症候群<PCOS>..... 95, 103
他の気管支・肺腫瘍..... 80
他のよく定義された免疫不全症..... 107
たばこ煙..... 111
多発外傷..... 63
多発神経炎..... 98
多発〔性〕筋炎..... 99
多発性筋炎..... 106
多発性硬化症..... 98
多発性骨髄腫..... 89
多発性内分泌腫瘍症..... 103
多発性軟骨性外骨腫..... 100
多発〔性〕ニューロパチー..... 98
多発単神経炎..... 98
多発単ニューロパチー..... 98
多脾..... 82
ダブルバルーン内視鏡..... 55
多毛..... 45
多門照射..... 60
単位..... 53
単一遺伝子病..... 35
胆管..... 53
胆管炎..... 12, 87
胆管癌..... 87
単球..... 30
探索..... 4
探索反射..... 33
胆汁うっ滞型..... 86
胆汁および胆汁分泌..... 28
胆汁酸..... 28
単純性イレウス..... 87
単純性血管腫..... 73
単純性甲状腺腫..... 103
単純性紫斑..... 90
単純性腎嚢胞..... 95
単純性肥満..... 104
単純部分発作..... 99
単純ヘルペスウイルス感染症..... 108
単純ヘルペス脳炎..... 97
単神経炎..... 98
単心室..... 82
単心房..... 82
男性型脱毛症..... 75

男性化徴候.....	45
男性性機能の異常.....	43
男性生殖器腫瘍.....	94
男性生殖器の炎症.....	93
男性生殖器の形態異常.....	95
男性生殖器の構造・機能.....	29
弾性線維性偽性黄色腫.....	105
男性不妊症.....	95
男性ホルモン不応症.....	70
胆石.....	60
胆石症.....	12, 87
単染色.....	49
胆道.....	55, 60
胆道疾患.....	86
胆道損傷.....	87
胆道<胆嚢・胆管>造影.....	54
胆道の異常.....	88
胆道閉鎖症.....	88
丹毒.....	74
単ニューロパチー.....	98
胆嚢炎.....	12, 86
胆嚢癌.....	87
胆嚢収縮の調整.....	28
胆嚢腺筋腫症.....	87
胆嚢ポリープ.....	87
蛋白・アミノ酸代謝異常.....	104
蛋白・蛋白分画.....	48
蛋白尿.....	6, 43
蛋白分画.....	8, 28
蛋白漏出試験.....	50
単発性骨嚢腫.....	101
ダンピング症候群.....	85

ち

チアノーゼ.....	5, 41
地域医療.....	20
地域医療支援病院.....	19
地域医療支援病院の整備.....	20
地域医療でのチームワーク.....	14
地域産業保健センター.....	25
地域社会構造.....	18
地域社会と公衆衛生.....	22
地域生活支援センター.....	62
地域精神保健福祉活動.....	23
地域包括支援センター.....	19
地域保健.....	19, 20

地域保健・地域医療と医師の役割.....	20
地域保健福祉活動.....	18
地域保健法.....	19
地域リハビリテーション.....	61
チーム医療.....	13, 14
遅延相.....	55
知覚.....	29
知覚障害.....	43
地球温暖化.....	25
地球環境の変化と健康影響.....	25
蓄尿.....	29
治験審査委員会・倫理審査委員会 <IRB>.....	2
恥骨結合離開.....	68
知識レベル.....	15
致死的な病態・疾患・外傷の鑑別.....	9
致死的不整脈の治療.....	62
致死量.....	37
膣.....	29
膣・会陰裂傷.....	68
膣分泌物.....	48
膣炎.....	93
膣癌.....	94
チック.....	45
チック障害.....	72
膣欠損症.....	70
窒息.....	63
膣脱.....	95
知的障害<精神遅滞>.....	43, 72
知的障害者福祉法.....	20
知能.....	29
知能検査.....	52
知能指数.....	33
知能障害.....	43
地方衛生研究所.....	18
遅脈.....	41
着床.....	32
注意義務.....	19
注意欠陥・多動.....	44
注意欠陥多動性障害<ADHD>.....	72
注意障害.....	44
中咽頭癌.....	78
中間痛<排卵期痛>.....	43
中耳.....	26, 55
中耳奇形.....	78
中耳の異常.....	76

注射.....	14, 56
中縦隔.....	27
中心・側頭部に棘波をもつ 良性小児てんかん.....	102
中心静脈栄養.....	56
中心性漿液性脈絡網膜症.....	76
虫垂炎.....	85
中枢神経.....	34
中枢神経・末梢神経の構造・機能.....	29
中枢神経作用薬.....	56
中枢性性早熟症.....	103
中枢性摂食異常症.....	103
中枢性尿崩症.....	103
中枢性免疫系臓器.....	30
中腸軸捻転.....	88
中毒.....	37, 98
中毒疹.....	73
中毒性疾患.....	98
中毒性腎障害.....	92
中毒精神病.....	71
中毒性難聴.....	76
中毒性表皮壊死症.....	73
中毒性平衡障害.....	77
中毒の発生要因.....	37
中毒の病態生理.....	37
中毒量.....	37
肘内障.....	100
肘部管症候群.....	98
昼盲.....	40
虫卵.....	48
中和試験<NT>.....	49
腸炎ビブリオ感染症.....	109
超音波下治療.....	60
超音波検査.....	9, 52, 53
超音波所見.....	53
超音波ドプラ法.....	53
超音波内視鏡.....	55
腸回転異常症.....	88
聴覚・前庭路.....	30
聴覚・平衡機能検査.....	51
聴覚系の構造・機能.....	26
聴覚検査.....	7
聴覚生理.....	26
聴覚の電気現象.....	26
腸管軸捻転症.....	87
腸管出血性大腸菌感染症.....	109
腸肝循環.....	28

腸管洗浄	55
腸間膜静脈血栓症	87
腸間膜動脈閉塞症	87
腸管無神経節症	88
聴器	26
長期透析患者の合併症	93
腸球菌感染症	108
腸結核	85
腸雑音	7
調査的態度	4
腸重積症	12, 88
聴診	7
聴神経腫瘍	77
調整	4
腸性肢端皮膚炎	104
聴性脳幹反応<ABR>	50, 51
調節異常	75
調節検査	51
腸チフス	109
腸内細菌叢	28
重複癌	37
腸閉塞	12
聴力	26, 33
聴力障害	5
腸リンパ管拡張症	85
直線加速器	60
直腸	55, 56
直腸・肛門疾患	85
直腸・肛門の異常	88
直腸癌	85
直腸肛門反射	28
直腸脱	85
直腸腔瘻	96
直腸粘膜脱症候群	85
直腸瘤	95
治療関連白血病	89
治療計画	60
治療効果判定	8
治療に伴う医原病	38
治療の基本	13
治療への動機付け	5
治療薬物モニタリング<TDM>	56
陳旧性心筋梗塞	83
沈渣	48
鎮静	64
鎮痛補助薬	64
鎮痛薬	55
鎮痛薬使用法の5原則	64

つ

椎間板	30
椎間板炎	97
椎間板造影	54
椎間板ヘルニア	12, 99
椎骨・脳底動脈領域	30
椎体炎	97
痛覚	8, 27
通過障害	42
通常分割照射	60
通所介護	18
通所リハビリテーション	18
痛風	13, 100, 104, 106
痛風腎	92
突き指	101
槌指変形	101
つつが虫病	108
津波	10
ツベルクリン反応	49
爪・毛髪異常	39
津守・稲毛式発達検査	52
ツルゴール	39

て

手足口病	108
定位放射線照	60
低栄養	37
帝王切開	63
帝王切開後分娩	68
低温・高温環境による疾患	112
低カルシウム血症	69
啼泣異常	6
提供者<ドナー>と被移植者 <レシピエント>	59
デイケア	18
デイケア・ナイトケア	62
低血圧	37, 41
低血糖	69
低血糖昏睡	46
低血糖症	104
抵抗	27
低ゴナドトロピン性性腺機能低下症	103
	103
デイサービス	18
低在横定位	68

低酸素<O ₂ >血症	41
低酸素脳症	98
デジタルラジオグラフィ	54
低周波空気振動	25
低出生体重児	69
低身長	45
定性	48
低体温	10, 69
低体温法	58
低蛋白血症	104
低二酸化炭素<CO ₂ >血症	41
停留精巣	95
定量	48
適応	54, 55, 56, 60, 64, 65
適応・禁忌	59
適応障害	71, 111
適応と一般的注意	57
適応と合併症	13
適応と禁忌	54, 55, 56
適応と採血法	8
溺水	63
適正使用	57
鉄・造血ビタミンの代謝	28
鉄過剰症	89
鉄欠乏性貧血	12, 68, 89
徹照法	51
鉄染色	48
鉄代謝障害	89
手の疾患	100
デブリドマン	63
デルマトーム	30
デルマドローム	39
転移癌	37
転移性肝癌	86
転移性骨腫瘍	101
転移性腫瘍	83
転移性脳腫瘍	97
転移性肺腫瘍	80
伝音機構	26
伝音難聴	40
てんかん	12, 102
転換	44
点眼	56
電気けいれん療法	65
電気治療	65
電気味覚検査	52
デング熱	108
電撃	3

電撃傷.....	36, 78
転座.....	35
電子カルテ.....	2
電子顕微鏡による病理検査.....	49
電子スコープ.....	55
点状出血.....	42
点推定と区間推定.....	22
伝染性紅斑.....	68, 108
伝染性単核{球}症.....	86, 90
伝染性軟属腫.....	108
伝染性膿痂疹.....	74
伝達麻酔法.....	59
転倒.....	3, 34
点頭てんかん.....	102
点鼻.....	56
癩風.....	74, 109
天疱瘡.....	74
電離放射線.....	53, 78
電離放射線障害.....	112
電離放射線の健康影響.....	25

と

頭囲.....	33
頭位・頭位変換眼振.....	51
頭囲の異常.....	44
同意の条件.....	59
頭蓋.....	29, 30
頭蓋咽頭腫.....	97, 103
頭蓋骨早期癒合症.....	102
頭蓋骨転移.....	97
頭蓋内圧亢進.....	45
頭蓋破裂.....	102
透過性亢進型肺水腫.....	80
動眼神経麻痺.....	75
動悸.....	5
動機付け.....	4
統計解析.....	22
頭頸部.....	5, 26, 39
頭頸部の診察.....	7
頭頸部の生理的間隙.....	26
頭血腫.....	69
洞結節.....	27
凍結切片.....	49
凍結療法.....	65
糖原病.....	105
瞳孔.....	26
瞳孔異常.....	44

統合失調感情障害.....	71
統合失調症.....	10, 71
統合失調症と類縁疾患.....	71
透視装置.....	53
糖{質}・脂質・蛋白{質}代謝 (核酸代謝を含む)の異常 ..	37
糖質および糖代謝関連物質 ..	48
糖{質}代謝異常.....	104, 105
同種生体弁.....	59
同種輸血と自己輸血.....	57
凍傷.....	35, 63, 78, 112
透析アミロイドーシス.....	93
動態検査.....	55
糖代謝異常.....	104
動注化学療法.....	60
動注リザーバーポート.....	60
疼痛.....	7, 42
疼痛緩和の薬物療法.....	64
疼痛性障害.....	10
疼痛のアセスメント.....	64
疼痛の管理.....	59
頭殿長<CRL>.....	52
糖尿.....	43, 45
糖尿病.....	13, 68, 104
糖尿病・高血圧・動脈硬化による 眼底変化 ..	11
糖尿病足病変.....	104
糖尿病ケトアシドーシス<DKA> ..	104
糖尿病神経障害.....	104
糖尿病腎症.....	12, 92, 104
糖尿病性昏睡.....	46
糖尿病性浮腫性硬化症.....	75
糖尿病の高血糖緊急症.....	104
糖尿病の慢性合併症.....	104
糖尿病網膜症.....	76, 104
逃避的態度.....	4
頭部.....	7
頭部外傷.....	12, 61, 63, 101
洞不全症候群.....	82
動物性皮膚疾患.....	74
動脈管.....	32
動脈管開存症.....	82
動脈血.....	48
動脈血ガス分析.....	8, 50
動脈血栓.....	42
動脈硬化.....	95
動脈硬化症.....	11
動脈採血.....	13

動脈塞栓術.....	60
動脈優位相.....	54
動脈瘤様骨嚢腫.....	101
動揺病.....	77, 112
投与経路と種類の特徴.....	56
トータルペイン.....	14
トータルヘルスプロモーション プラン<THP>.....	24
兎眼.....	75
トキシプラズマ症.....	109
特異的IgE検査.....	49
特異的発達障害.....	72
特異度.....	9
毒劇物中毒.....	111
特殊疾患の麻酔.....	58
ドクターカー.....	21
ドクターヘリ.....	21
特定機能病院.....	19
特定健康診査.....	23
特定行為.....	21
特定保健指導.....	23
特発性間質性肺炎<IIPs>.....	79
特発性器質性肺炎<COP>.....	80
特発性血小板減少性紫斑病<ITP>..	68, 90
特発性細菌性腹膜炎.....	86
特発性心筋症.....	83
特発性正常圧水頭症.....	102
特発性大腿骨頭壊死症.....	100
特発性尿細管性蛋白尿<Dent病>..	93
特発性肺線維症<IPF>.....	79
特発性門脈圧亢進症.....	86
毒物及び劇物取締法.....	19
毒物の吸収・分布・代謝・排泄..	37
特別養護老人ホーム.....	19
特別用途食品.....	24
毒ヘビによる咬傷.....	111
吐血.....	6, 42
閉じ込め症候群.....	44
閉じこもり.....	23
徒手筋力テスト.....	7
土壌汚染.....	25
突然死.....	38
突発性難聴.....	76
突発性発疹.....	108

都道府県産業保健推進センター ..	25
都道府県労働局 ..	25
届出 ..	23
ドナーの種類 ..	59
ドプラ<Doppler>法 ..	50, 53
トラコーマ ..	108
トリアージ ..	9, 10, 21
取扱法 ..	49
トリコモナス症 ..	109
トリコモナス膣炎 ..	93
トレーサー原理 ..	55
ドレナージ ..	57
トロンプボエチン ..	28
呑酸 ..	42
鈍的外力による損傷 ..	35
鈍的眼外傷 ..	78

な

ナイアシン<ニコチン酸>欠乏 ..	104
内因性急死 ..	38
内因と外因 ..	35
内頸動脈海綿静脈洞瘻 ..	97
内喉頭筋 ..	27
内耳 ..	26
内耳・神経疾患 ..	76
内耳炎 ..	76
内耳奇形 ..	78
内視鏡下手術 ..	61
内視鏡検査 ..	9, 55
内視鏡検査の基本手技と合併症 ..	55
内視鏡検査の適用部位 ..	55
内視鏡治療 ..	61
内視鏡的鉗子生検 ..	49
内視鏡的逆行性胆管膵管造影<ERCP> ..	54
内視鏡的止血術 ..	62
内視鏡的粘膜切除 ..	49
内視鏡の種類と原理 ..	55
内耳の異常 ..	76
内臓心房錯位 ..	82
内臓痛 ..	42
内的妥当性 ..	9
ナイトホスピタル ..	62
内軟骨腫 ..	100

内反膝 ..	100
内反足 ..	100
内反肘 ..	100
内部障害 ..	62
内{部}照射療法 ..	60
内分泌 ..	4, 6, 30, 33, 34, 45
内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患 ..	13
内分泌・代謝・栄養の異常 ..	37
内分泌・代謝機能検査 ..	9, 50
内分泌・代謝疾患 ..	46
内分泌・代謝性ミオパチー ..	99
内分泌異常による低血糖 ..	104
内分泌異常による貧血 ..	89
内分泌かく乱化学物質 ..	25
内分泌器官の構造・機能 ..	30
内分泌機能 ..	32
内分泌機能検査 ..	50
内分泌系と免疫系・精神神経系 ..	30
内分泌腫瘍 ..	103
内分泌性高血圧症 ..	83
内分泌の異常 ..	70
泣き入りひきつけ ..	102
ナトリウム代謝異常 ..	93
生ワクチンと不活化ワクチン ..	24
ナルコレプシー ..	71, 99
軟口蓋麻痺 ..	77
軟骨 ..	30
軟骨肉腫 ..	100
軟骨無形成症 ..	99
軟産道 ..	32
軟性下疳 ..	109
難聴 ..	5, 40

に

肉芽腫症 ..	75
肉芽組織 ..	35
肉離れ ..	101
二国間協力 ..	21
ニコチン ..	111
ニコチン依存症 ..	111
ニコチン代替療法 ..	111
二次感染 ..	36
二次救命処置<ALS> ..	10
二次情報 ..	9
二次性血小板減少症 ..	90

二次性高血圧 ..	83
二次性高脂血症 ..	104
二次性心筋疾患 ..	83
二次性頭痛 ..	44
二次性赤血球増加症 ..	89
二次性徴 ..	34
二次性徴の評価 ..	47
二次性<転移性>腫瘍 ..	94
二次性糖尿病 ..	104
二次性白血病 ..	89
二次性貧血 ..	12, 89
二次性膜性腎症 ..	92
二次治癒 ..	35
二重盲検法 ..	22
二次予防 ..	22
日常生活障害 ..	34
日常生活動作<ADL> ..	23, 46
日常生活動作<ADL>訓練 ..	61
日常生活動作<ADL>の評価 ..	13
日内<概日>リズム ..	29
二分脊椎 ..	102
日本住血吸虫症 ..	86
日本臓器移植ネットワーク ..	59
日本脳炎 ..	108
日本の人口 ..	22
日本版 Denver式 ..	52
入院 ..	23
入院診療計画書 ..	3
乳癌 ..	13, 105
乳酸アシドーシス ..	104
乳児化膿性股関節炎 ..	97
乳児期 ..	33
乳児下痢症 ..	11, 88
乳児健康診査 ..	23
乳児の救急治療・処置 ..	64
乳汁分泌 ..	32, 47
乳汁分泌の機序 ..	32
乳汁分泌不全 ..	68
乳汁漏出 ..	45
乳汁漏出症 ..	95
乳腺 ..	27
乳腺・乳房疾患 ..	105
乳腺炎 ..	68, 105
乳腺管内乳頭腫 ..	105
乳腺疾患 ..	6
乳腺症 ..	105
乳腺線維腺腫 ..	105
乳腺の異常 ..	45

乳腺葉状腫瘍..... 105
乳糖不耐症..... 104
乳糖分解酵素障害症..... 104
乳突洞..... 26
乳突洞削開術..... 76
乳び胸..... 81
乳び尿..... 43
乳房..... 7, 27
乳房Paget病..... 105
乳房外Paget病..... 74
乳房のしこり・左右差..... 6
ニューモシスチス肺炎... 79, 109
乳幼児突然死症候群<SIDS>... 38
乳幼児の栄養マネジメント... 56
乳幼児の救急時の状態把握... 47
乳幼児の診察..... 46
乳幼児の難聴..... 76
尿..... 48
尿意切迫感..... 43
尿管..... 29, 55
尿管腔瘻..... 96
尿管瘤..... 95
尿検査..... 8
尿細管..... 28
尿細管間質疾患..... 92
尿細管機能異常..... 92
尿細管性アシドーシス..... 92
尿酸腎症..... 92
尿失禁..... 43
尿素呼気試験..... 49
尿素サイクル異常症..... 105
尿中抗原..... 49
尿低分子蛋白・酵素..... 50
尿道..... 29, 55
尿道炎..... 93
尿道カルンクル..... 94
尿道下裂..... 95
尿道癌..... 94
尿道ドレーンの挿入..... 14
尿毒症..... 46
尿の性状の異常..... 43
尿の生成..... 28
尿の濃縮と希釈..... 28
尿の量と回数の異常..... 42
尿閉..... 10, 43
尿管遺残..... 88
尿管癌..... 94
尿流量測定..... 50

尿路..... 60
尿路・性器異物..... 96
尿路・生殖器の機能異常..... 96
尿路・生殖器の損傷..... 96
尿瘻..... 43
尿路感染症..... 12
尿路結石..... 12
尿路造影..... 54
尿路の構造・機能..... 29
尿路閉塞性疾患..... 93
妊・産・褥婦と胎児の診察... 47
妊・産婦の栄養マネジメント.. 56
妊産婦健康診査..... 23
妊産婦死亡..... 23
妊娠..... 3, 10, 32
妊娠・出産・育児と労働..... 35
妊娠・分娩・胎児・新生児の検査
..... 52
妊娠維持の機構..... 32
妊娠悪阻..... 10, 43, 68
妊娠期間..... 32
妊娠高血圧症候群..... 68
妊娠時期と放射線感受性..... 38
妊娠時期の診断..... 47
妊娠持続期間..... 32
妊娠時の異常..... 43
妊娠初期の異常..... 68
妊娠中・後期の異常..... 68
妊娠中の検査..... 52
妊娠徴候..... 32
妊娠糖尿病..... 68, 104
妊娠による母体変化..... 32
妊娠の異常..... 6, 68
妊娠の検査..... 52
妊娠の診断..... 47
妊娠の成立・維持..... 32
妊娠反応..... 52
妊娠貧血..... 68
認知機能..... 46
認知機能の低下..... 34
認知行動療法..... 65
認知症..... 12, 43, 71, 98
認知リハビリテーション..... 61
妊婦..... 7, 56
妊婦・胎児への影響..... 111
妊婦健康診査..... 47
妊婦の栄養..... 32
妊婦の診察..... 47

妊卵..... 32

ね

猫鳴き症候群<5p-症候群>.... 69
猫ひっかき病..... 108
熱傷..... 10, 35, 46, 78, 112
熱傷の治療・処置..... 63
熱性けいれん..... 12, 102
熱中症..... 13, 63, 112
ネフローゼ症候群..... 12
粘液腫..... 83
粘液性囊胞腫瘍<MCN>..... 87
(粘)血便..... 6
捻転ジストニア..... 98
粘膜..... 5, 56
粘膜関連リンパ組織<MALT>... 30
粘膜関連リンパ組織<MALT>リンパ腫
..... 86, 89
粘膜疹..... 5, 39
粘膜波動..... 27
年齢差..... 9
年齢調整率..... 22
年齢に応じた麻酔法..... 58

の

脳..... 29
膿..... 48
脳・脊髄血管系とその支配領域..
..... 30
脳・脊髄の奇形..... 101, 102
脳圧管理..... 58
脳炎..... 12, 97
脳幹..... 30
脳器質精神症候群..... 44
膿胸..... 79
脳局所症状..... 44
脳血管疾患..... 111
脳血管障害..... 42, 46, 61, 97
脳血管性認知症..... 71
脳血管攣縮..... 97
濃厚血小板..... 57
脳梗塞..... 12, 97
脳挫傷..... 101
脳死..... 14
脳死以外の死体..... 59
脳死体..... 59

脳室	29
脳実質外腫瘍	97
脳実質内腫瘍	97
脳死判定基準	14
囊腫	39
脳出血	12, 97
脳腫瘍	97
脳症	12
脳静脈系	30
脳神経	30
脳神経系	7
脳神経障害	44
脳振盪	101
脳性麻痺	12, 61, 102
脳脊髄液	48
脳脊髄液検査	8
脳槽	29
脳卒中後遺症	97
脳卒中後の急性期・回復期・ 維持期リハビリテーション	97
脳動静脈奇形	97
脳動脈解離	97
脳動脈狭窄・閉塞	97
脳動脈瘤	97
脳内血腫	101
膿尿	43
脳膿瘍	97
脳波	9
脳波検査	50
脳分離体外循環	59
膿疱	39
膿疱症	74
囊胞腎	95
膿疱性乾癬	74
囊胞性腫瘍	80
囊胞穿刺	60
囊胞貯留液	48
農薬	25
農薬中毒	111
膿瘍	60
脳瘤	102
ノーマライゼーション	2, 18
ノロウイルス感染症	108
ノンストレステスト<NST>	53, 69
ノンレム睡眠	29

は

歯	28, 42
把握反射	33
パーソナリティ	29
パーソナリティ障害	72
胚	32
肺悪性腫瘍	80
バイアス	9, 22
肺炎	11
肺炎球菌感染症	108
バイオテロ	46, 109
バイオテロ対策	24
バイオテロに関連する伝染性疾患	36
肺拡散能力	50
肺化膿症	79
肺癌	11, 80
肺気腫	79
廃棄物処理	25
廃棄物の処理及び清掃に関する 法律<廃棄物処理法>	20
肺吸虫症	79
肺気量分画	27, 50
配偶者からの暴力の防止及び被害者 の保護に関する法律<DV法>	20
肺形成不全	79
肺結核	11
肺結核症	79
肺血管系	27
敗血症	13, 36, 63, 69
肺血栓塞栓症	11, 80, 84
肺高血圧症	80, 82
肺コンプライアンス	27
肺サーファクタント	53
胚{細胞}腫	97, 103
胚細胞腫瘍	80, 94, 97
肺疾患あるいは低酸素血症に続発 する肺高血圧症	80
肺実質感染症	79
排出規制	25
肺腫瘍	61
肺循環	28
肺循環異常	80
賠償	3
肺真菌症	79
肺水腫	11, 80
肺性心	80

排泄	56
肺塞栓症	37, 62
肺損傷	79
バイタルサイン	7, 46
バイタルサインの把握	9
排痰法	65
肺動静脈瘻	80
肺動脈性高血圧症	80
肺動脈閉鎖症	82
梅毒	109
梅毒トレポネーマ	49
排尿	29
排尿機能	46
排尿機能検査	50
排尿困難	43
排尿障害	6
排尿痛	43
排尿の異常	43
肺の異常	79
肺の構造・機能	27
肺のリンパ管とリンパ節	27
背反射	33
肺表面活性物質	27
背部痛	10
背部の叩打痛	7
肺分画症	79
排便機能	28
肺胞	27
肺胞気-動脈血酸素分圧較差 <A-aDO ₂ >	27
肺胞蛋白症	79
肺胞低換気症候群	81
培養検査	8
廃用症候群	23, 42, 62
廃用性萎縮	97
排卵	29
排卵痛	43
ハイリスク妊娠	68
排臨	32
肺リンパ脈管筋腫症<LAM>	80
白質変性症	98
爆傷	63
白色瞳孔	40
白色便	42
白癬	74, 109
バクテロイデス感染症	109
白内障	11, 75
白斑	74

白斑〈板〉症..... 77
剝離性間質性肺炎〈DIP〉..... 80
麦粒腫..... 75
波形診断..... 50
ハサップ手法..... 24
麻疹..... 11
橋本病..... 103
播種性血管内凝固〈DIC〉.....
..... 12, 63, 68, 90
破傷風..... 109
破傷風とガス壊疽の予防..... 63
破水..... 32, 43
ばち指..... 41
発育・成熟の診断..... 47
発育区分..... 33
発育指数..... 33
発育性股関節形成不全..... 100
発汗..... 26, 39
発汗異常症..... 74
発癌因子..... 36
発癌性..... 37
白血球系疾患..... 89
白血球形態..... 48
白血球の形態・機能..... 28
白血病..... 91
発声..... 7
発声・発語検査..... 52
発声器..... 26
発声機能検査..... 52
発声器の構造・機能..... 27
発生装置..... 53
発生病理..... 35
発達区分..... 34
発達指数..... 33
発達テスト..... 52
発達の遅れ..... 6
発達理論..... 34
パッチテスト..... 50
発熱..... 5, 39
抜毛症..... 72, 75
発露..... 32
馬蹄腎..... 95
鼻・副鼻腔の異常..... 77
鼻アレルギー..... 106, 111
話の伝え方..... 5
鼻の異常..... 40
パニック障害..... 10, 71
パニック値と緊急対応..... 8

パニック発作..... 44
ばね指..... 100
パラシュート反射..... 33
パラチフス..... 109
バリアフリー..... 18
針筋電図..... 50
針刺し事故..... 3
針反応..... 50
バルーン閉塞下経静脈的静脈瘤
閉塞〈BRT0〉..... 60
パルスオキシメトリ..... 50
パルスドプラ法..... 53
パルトグラム..... 47
パルボウイルスB19..... 68
パワードプラ法..... 53
汎〈全〉収縮期雑音..... 41
反回神経..... 26, 27
反回神経麻痺..... 77, 81
晩期死体現象..... 38
晩期反応〈障害〉..... 38, 60
半月板..... 30
半月板障害..... 100
半月板損傷..... 102
バンコク憲章..... 21
瘢痕組織..... 35
半坐位..... 7
反射..... 30, 33
反射異常..... 45
汎自律神経失調症..... 99
反張膝..... 100
反跳痛..... 42
反跳痛〈Blumberg徴候〉..... 7
反応性..... 42
反応性関節炎..... 106
反応性低血糖..... 104
汎発性腹膜炎..... 12
反復投与..... 56
汎ぶどう膜炎..... 76
半盲..... 40

ひ

脾..... 7, 28, 30
非Mendel遺伝様式..... 35
非アルコール性脂肪性肝炎〈NASH〉
..... 86
非アルコール性脂肪性肝疾患
〈NAFLD〉..... 86

ピークフロー..... 50
鼻炎..... 77
非開放性損傷..... 35
皮下気腫..... 81
皮下組織..... 26
光干渉断層計〈OCT〉..... 51
光パッチテスト..... 50
非感染性疾患〈NCD〉..... 21
非感染性骨・関節・四肢軟部疾患
..... 100
脾機能亢進症..... 90
被虐待児症候群..... 72
鼻腔..... 27, 55
鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患..... 77
非結核性〈非定型〉抗酸菌症.....
..... 79, 109
非血管系治療..... 60
非言語的コミュニケーション... 4
非行..... 72
肥厚性瘢痕..... 35
肥厚性幽門狭窄症..... 88
鼻骨折折..... 78
鼻根..... 26
皮脂..... 26, 39
肘関節の疾患..... 100
皮脂欠乏性湿疹..... 73
皮脂測定法..... 51
微弱陣痛..... 68
脾腫..... 42
鼻出血..... 5, 40
非小細胞癌..... 80
非上皮性..... 36
微小変化群..... 92
皮疹..... 5, 39
非侵襲的人工換気..... 65
非ステロイド性抗炎症薬〈NSAIDs〉
による粘膜障害..... 86
ヒステロスコピー..... 55
非正規雇用..... 24
非政府機関〈NGO〉..... 21
微生物学検査..... 8, 49
鼻瘤..... 77
非セミノーマ..... 94
脾損傷..... 87
肥大型心筋症..... 83
ビタミン..... 37, 48
ビタミンB₁₂..... 28
ビタミンB₁₂欠乏性貧血..... 89

ビタミンB ₁ 欠乏症	104	皮膚線維腫	73	標準予防策<standard precautions>	3
ビタミンD	29	皮膚腺病	74	病状説明	4
ビタミンK欠乏症	69, 90, 91	皮膚癢痒症	73	病診連携	14
ビタミンの過剰症	104	皮膚の異常	42	療疽	74
ビタミンの欠乏症	56, 104	皮膚の陥凹	6	表層上皮性・間質性腫瘍	94
ビタミン類の代謝異常	104	皮膚の緊張度	39	病態	36, 56
悲嘆のケア	64	皮膚の構造・機能	26	費用対効果	9
非チフス性サルモネラ症	109	皮膚描記法	51	病態に応じた診察	46
必須<微量>元素	37	皮膚分泌異常	39	病的窃盗	72
必須<微量>栄養素	37	皮膚良性腫瘍	73	標的体積	60
非定型精神病	71	飛蚊症	40	病的賭博	72
非定型的症状	34	鼻閉	40	病的反射	8
非定型肺炎	79	肥満	6, 37, 45, 81	病的放火	72
非電離放射線障害	112	肥満症	104	表皮	26
非電離放射線の健康影響	25	びまん性軸索損傷	101	表皮母斑	73
ヒトT細胞白血病ウイルス<HTLV-I>		びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	89	病病連携	14
感染症	108	びまん性汎細気管支炎	79	標本作製法	49
ヒト遺伝学的検査	8	肥満度	33	標本の抽出	22
非特異性間質性肺炎<NSIP>	79	秘密の漏示	19	標本の取扱法	49
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に		百日咳	109	表面筋電図	50
関する倫理指針	2	ヒヤリハット	3	病理解剖	38
ヒトパピローマウイルス<HPV>		病因	18, 22	病理学的組織検体の染色法	49
感染症	108	病院	19	病理組織学検査	8, 49
ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症	108	病院・診療所・薬局の連携	20	病歴情報	4
皮内テスト	50	病院機能評価	3	日和見感染症	36
泌尿器	6, 28, 33, 34, 42, 55	病院前救護	21	びらん	39
泌尿器・生殖器外傷	63	評価	2, 13, 33	微量アルブミン	50
避妊	95	病害動物および鼠族・昆虫による		微量元素	48
被曝	3	疾患	111	微量元素欠乏	56
被ばく低減3原則	54	病害動物による疾患	111	ビリルビン	48
批判的吟味	9	評価的態度	4	ビリルビン代謝	33
皮膚	5, 7, 26, 32, 34, 39, 56	評価と対策	25	ビリルビン代謝異常	86
皮膚・感覚器・発声機能検査	50	病期	35	ビリルビン代謝の異常	104
皮膚・頭頸部疾患	10	病型	35	ビリルビン尿	43
皮膚・粘膜	106	病原体	36	非淋菌性尿道炎	94
皮膚悪性腫瘍	73	病原体遺伝子<核酸>検査	8	鼻漏	40
皮膚悪性リンパ腫	74	病原体抗原の迅速検査	8	貧血	6, 42
皮膚温測定法	51	病原体別検査	49	頻度と分布	22
皮膚炎	10, 73	病原微生物の同定・検鏡	49	頻尿	43
皮膚潰瘍	11	病原微生物の培養・分離・同定	49	頻脈	5
皮膚感作試験	50	表在癌	37		
皮膚筋炎	106	病識欠如	44	ふ	
皮膚結核	74	標準化死亡比<SMR>	22	ファイバースコープ	55
皮膚欠損の処置	63	標準型失語症検査<SLTA>	52	不安	6, 44
皮膚血流障害	73	標準誤差	22	不安障害	10, 71
皮膚検査	50	標準偏差	22	不安定狭心症	83
皮膚真菌症	74				

不育..... 43, 94, 95
不育症..... 68, 95
部位別治療優先順位の判断.....
..... 10, 63
フィルム..... 53
風疹..... 11, 108
フェニルケトン尿症..... 105
負荷試験..... 50
不規則抗体..... 52
吹き抜け骨折..... 78
フグ..... 111
腹圧..... 32
腹圧性尿失禁..... 96
腹囲<AC>..... 52
副咽頭間隙..... 26
腹臥位..... 7
腹腔..... 55
腹腔穿刺・ドレナージ..... 62
腹腔内臓器..... 28
複合型免疫不全症..... 107
副甲状腺<上皮小体>..... 30
副甲状腺<上皮小体>機能亢進症..
..... 103
副甲状腺<上皮小体>機能低下症..
..... 103
副甲状腺<上皮小体>疾患と
カルシウム代謝異常..... 103
複合性局所疼痛症候群<CRPS>....
..... 102
副雑音..... 7, 41
複雑部分発作..... 99
副作用..... 54, 56
副作用と薬物相互作用..... 13
副作用への対応..... 3
複視..... 5, 40
福祉工場..... 62
福祉施設..... 18
福祉ホーム..... 62
福祉用具..... 15, 61
副腎偶発腫..... 103
副神経..... 26
副腎髄質機能障害..... 103
副腎その他の疾患..... 105
副腎白質ジストロフィー..... 98
副腎皮質・髄質..... 30
副腎皮質・髄質疾患..... 103
副腎{皮質}癌..... 103
副腎皮質機能障害..... 103

副腎皮質ステロイド及び非ステロ
イド性抗炎症薬<NSAIDs> 57
副腎不全..... 46
腹水..... 7, 42, 48
複数菌感染..... 36
輻湊..... 26
腹痛..... 6, 10, 42
副鼻腔..... 27, 55
副鼻腔炎..... 77
副鼻腔癌..... 77
副鼻腔真菌症..... 77
腹部..... 9
腹部外傷..... 63, 87
腹部腫瘍..... 42
腹部大動脈瘤..... 83
腹部の診察..... 7
腹部膨隆..... 42
腹部膨隆・膨満..... 6
腹壁..... 28
腹壁・腹膜の構造・機能..... 28
腹壁血管怒張..... 42
腹壁の筋肉・筋膜..... 28
腹壁破裂..... 88
腹壁癒痕ヘルニア..... 87
腹膜..... 28
腹膜偽粘液腫..... 87, 94
腹膜刺激症状..... 42
腹膜中皮腫..... 87
腹膜透析..... 57
服薬アドヒアランス..... 13
服薬計画..... 56
服薬指導..... 56
副流煙..... 111
浮腫..... 5, 8, 39
不随意運動..... 6, 45
不正軸侵入..... 68
不整脈... 5, 11, 37, 41, 62, 82
付属器..... 26
物的支援..... 15
物理・化学的外傷..... 78
物理的原因・生活環境因子による
障害..... 112
物理的損傷..... 35
物理療法..... 61, 65
不定愁訴..... 44
舞踏運動..... 98
ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群..
..... 74

不登校..... 72
ぶどう膜..... 26
ぶどう膜・網膜・硝子体疾患..
..... 75
ぶどう膜炎..... 75
不妊..... 23, 43, 94, 95
不妊症..... 95
部分肺静脈還流異常症..... 82
不眠..... 15, 44
不眠症..... 71
ブラ..... 79
プライバシー・羞恥心・苦痛への
配慮..... 7
プライバシー・体調・環境への配慮
..... 4
プライバシー保護..... 2
プライマリヘルスケア..... 21
プラセボ..... 22
プラセボ効果..... 56
ブラッグピーク..... 60
プリオン病..... 97, 110
プリックテスト..... 50
プリン(尿酸)代謝の異常..... 104
振舞い..... 4
フレアセルフオメトリ..... 51
ブレブ..... 79
フロッピーインファント..... 47
プロテインC欠乏症..... 90
プロテインS欠乏症..... 90
プロトン密度強調像..... 54
プロブレムリスト..... 5
プロポーシオン..... 33
プロラクチノーマ..... 103
文書偽造..... 19
分染法..... 49
憤怒けいれん..... 102
分泌物検査..... 52
分布..... 56
糞便..... 48
分娩..... 3, 32, 52
分娩・産褥の異常..... 68
分娩外傷..... 69
糞便検査..... 8
分娩時期..... 32
分娩時期の診断..... 47
分娩時裂傷..... 68
分娩停止..... 68
分娩の3要素..... 32
分娩の異常..... 6

分娩の開始..... 32
分娩の経過..... 32
粉瘤..... 73

へ

平滑筋肉腫..... 101
平均寿命..... 22
平均余命..... 22
閉経..... 4
閉経後障害..... 95
閉瞼..... 26
平衡・感覚・自律神経系の障害..
..... 45
平衡機能検査..... 51
平衡障害..... 45
平衡相..... 54
閉鎖孔ヘルニア..... 87
閉塞性..... 81
閉塞性細気管支炎..... 79
閉塞性ショック..... 37, 62
閉塞性水頭症..... 102
閉塞性動脈硬化症..... 84
平背..... 45, 99
平面検出器..... 53
併用禁忌..... 56
併用薬..... 56
ペインクリニック..... 59
ペースメーカ..... 59, 82
へき地医療・救急医療の確保.. 21
へき地医療拠点病院..... 21
へき地医療支援機構..... 21
へき地診療所..... 21
へき地保健医療計画..... 21
ベック<Beck>のうつ病自己評価尺度
..... 52
ヘプシジン..... 28
ヘモクロマトーシス.. 86, 89, 104
ヘモジデローシス..... 89
ヘモフィルス感染症..... 109
ペラグラ..... 74, 104
ヘリカルCT..... 54
ヘリコバクター・ピロリ感染症..
..... 85, 90
ペルオキシダーゼ染色..... 48
ヘルシンキ宣言..... 2
ヘルスプロモーションの概念.. 21
ヘルパーT細胞..... 31

ヘルパンギーナ..... 77, 108
ヘルペス..... 11
辺縁系..... 30
変形性関節症..... 13, 100
変形性股関節症..... 100
変形性膝関節症..... 100
変形性脊椎症..... 12, 99
変形治癒..... 102
変視症..... 40
娩出期..... 32
娩出物..... 32
娩出力..... 32
片頭痛..... 12, 99
変性疾患..... 105
便秘異常..... 42
扁桃..... 7, 28, 30
扁桃炎..... 11
扁桃周囲炎・膿瘍..... 77
扁桃体..... 30
便秘..... 6, 42
便秘症..... 11
扁平上皮癌..... 80
扁平苔癬..... 74
弁膜症..... 11, 82

ほ

法医学的試料の採取..... 48
蜂窩織炎..... 74
防御機能..... 27
包茎..... 95
縫合..... 14, 63
膀胱..... 29, 55
膀胱・直腸..... 62
膀胱炎..... 93
膀胱癌..... 12, 94
膀胱憩室..... 95
膀胱穿刺・ドレナージ..... 62
膀胱腔瘍..... 96
膀胱腸瘍..... 96
膀胱内圧測定..... 50
膀胱尿管逆流症..... 93
膀胱瘤..... 95
報告義務..... 3
報告様式..... 49
房室結節..... 27
房室中隔欠損..... 82
房室ブロック..... 82

放射性医薬品..... 55
放射性同位元素..... 53
放射性同位元素<RI>内用療法.. 60
放射性廃棄物..... 25
放射線..... 23
放射線感受性..... 59
放射線管理..... 25
放射線効果の修飾..... 59
放射線障害..... 36, 37
放射線性腸炎..... 85
放射線治療..... 13, 59
放射線治療可能比..... 59
放射線治療の適応..... 60
放射線等検査用機器・器材.... 53
放射線による発がん..... 38, 112
放射線の確率的影響・確定的影響
..... 38
放射線の健康影響と管理..... 25
放射線の身体的影響..... 38
放射線の単位と測定..... 53
放射線肺炎..... 80
放射線防護..... 38
放射能..... 53
放射能Bq..... 53
胞状奇胎..... 68, 94
帽状腱膜下出血..... 69
膨疹..... 39
疱疹状皮膚炎..... 74
房水セル..... 40
房水フレア..... 40
蜂巣炎..... 74
包帯法..... 57
乏尿..... 6, 42
包埋法..... 49
訪問介護..... 18
訪問看護..... 18
訪問看護ステーション..... 19
訪問診療..... 18
訪問リハビリテーション..... 18
保菌者..... 36
墨汁染色..... 49
保健・医療・福祉・介護・教育の
制度と連携..... 2
保健・医療・福祉・介護・教育の
連携..... 14
保健・医療・福祉・介護関係法規
..... 19

保健・医療・福祉・介護従事者 ..	19
保健・医療・福祉・介護の仕組み ..	18
保健・医療・福祉・介護の資源 ..	19
保健・医療・福祉・介護の施設と機能 ..	19
保健・医療・福祉・介護の組織と連携 ..	18
保健・医療・福祉介護従事者の現状と役割 ..	19
保険医 ..	18
保険医療機関 ..	18
保険医療機関及び保険医療養担当規則 ..	18
保健機能食品 ..	24
保健指導 ..	22
保健所 ..	18
保険薬局 ..	19
保護・防御機能 ..	27
歩行 ..	7
歩行器 ..	61
歩行訓練 ..	61
歩行障害 ..	6
母子感染 ..	23, 36, 68
母子健康手帳 ..	23
ポジトロンエミッション断層撮影<PET> ..	55
ポジトロン核種 ..	55
母子の健康状況 ..	21
母子保健 ..	19, 23
母子保健法 ..	19
母集団と標本 ..	22
補助呼吸 ..	65
補助循環 ..	59
ホスピス ..	14
ホスピス・緩和ケア ..	64
ホスピスケアの基準 ..	64
母性保健 ..	23
保存期間 ..	8, 48
保存方法 ..	8
補体 ..	31, 49
母体・新生児搬送 ..	63
補体結合反応<CF> ..	49
補体欠損症 ..	107
母体保護法 ..	19
勃起 ..	29

勃起障害 ..	43, 96
発作性異常波 ..	50
発作性寒冷色素尿症 ..	89
発作性疾患 ..	99
発作性上室頻拍 ..	82
発作性夜間ヘモグロビン尿症 ..	89
ボツリヌス症 ..	109
母乳 ..	36
母乳栄養 ..	33
哺乳力低下 ..	6
母斑 ..	39, 73
母斑症 ..	73, 102
ホメオスタシス ..	29, 30
ホモシスチン尿症 ..	105
ポリープ切除 ..	49
ポリオ ..	108
ポリソムノグラフィ ..	50
ポルフィリン症 ..	104
ポルフィリン代謝の異常 ..	104
ホルモン ..	48
ホルモン受容体異常症 ..	104
ホルモンの合成・分泌とその調節 ..	30
ホルモンの合成・分泌の異常 ..	37
ホルモンの作用機序 ..	30
ホルモンの種類 ..	30
ホルモン補充療法 ..	95
本態性血小板血症 ..	89
本態性高血圧 ..	83
本態性振戦 ..	98
奔馬調律 ..	41

ま

マイクロ波凝固 ..	61
マイクロバブルテスト ..	53
マイコバクテリア ..	108, 109
マイコプラズマ ..	49, 108
マイコプラズマ肺炎 ..	108
前陣痛 ..	32
膜性腎症 ..	92
膜性増殖性糸球体腎炎 ..	92
マグネシウム代謝異常 ..	93
マクログロブリン血症 ..	90
マクロファージ ..	31
麻疹 ..	108
麻酔 ..	57
麻酔合併症 ..	58

麻酔事故 ..	58
麻酔前投薬 ..	58
麻酔導入 ..	58
麻酔の維持 ..	58
末梢T細胞性リンパ腫 ..	90
末梢血管 ..	27
末梢血管抵抗 ..	28
末梢受容体 ..	27
末梢静脈栄養 ..	56
末梢静脈の血管確保 ..	13
末梢神経 ..	30, 34, 59
末梢神経疾患 ..	98
末梢神経障害 ..	45
末梢神経損傷 ..	101
末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患 ..	98
末梢神経の絞扼性疾患 ..	98
末梢性動脈疾患 ..	11
末梢性免疫系臓器 ..	30
末梢前庭器官 ..	26
末梢動脈 ..	60
末梢動脈疾患 ..	84
マナー ..	4
麻痺性イレウス ..	87
麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理 ..	3
麻薬依存・中毒 ..	111
麻薬及び向精神薬取締法 ..	19
麻薬性鎮痛薬・鎮静薬 ..	57
マラリア ..	109
慢性アルコール性臓器障害 ..	111
慢性胃炎 ..	85
慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 ..	98
慢性肝炎 ..	12, 86
慢性間質性腎炎 ..	92
慢性気管支炎 ..	79
慢性好酸球性白血病 ..	89
慢性甲状腺炎<橋本病> ..	103
慢性光線性皮膚炎 ..	74
慢性喉頭炎 ..	77
慢性硬膜下血腫 ..	101
慢性骨髓性白血病 ..	89
慢性糸球体腎炎 ..	92
慢性糸球体腎炎症候群 ..	12
慢性疾患に伴う貧血<ACD> ..	89
慢性腎盂腎炎 ..	93
慢性腎臓病<CKD> ..	93

慢性心不全	82
慢性腎不全	12, 93
慢性心不全の急性増悪	82
慢性膵炎	12
慢性膵炎・膵石症	87
慢性頭痛	99
慢性穿孔性〈化膿性〉中耳炎	76
慢性中毒	37
慢性肉芽腫症	89, 107
慢性肺血栓塞栓症	80
慢性白血病	12
慢性疲労症候群	107
慢性副腎不全	103
慢性副鼻腔炎	11
慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉	11, 79, 111
慢性扁桃炎	78
慢性リンパ性白血病	89

み

ミエログラフィ	54
ミオクロースス	45
ミオグロビン尿	43
味覚異常	42
味覚障害	40
右左短絡疾患	82
未熟(児)網膜症	69, 76
未熟児貧血	69
未熟児無呼吸発作	69
水・電解質	48
水・電解質の異常	93
水・電解質の代謝	29
未成年者の喫煙	111
身だしなみ	4
密封小線源治療	60
ミトコンドリア遺伝病	35
ミトコンドリア脳筋症	98
ミネラル	37
ミネラル骨代謝異常〈CKD-MBD〉	93
耳	7
耳の異常	40
耳の先天異常	78
耳の損傷	78
脈波	9
脈拍	7
脈拍異常	41

脈拍の欠損	41
脈絡膜	26
脈絡膜炎	75
脈絡膜腫瘍	76
脈管	26, 27, 34
脈管異常	39
脈管系	28, 29
脈管疾患	83
味蕾	26
民事裁判	3
民族的要因	56
民法	19
民法(成年後見制度)	20

む

無為	44
無医地区	21
無害性雑音	41
無顆粒球症	89
無ガンマグロブリン血症	107
無機質	37
無気肺	79
無機粉じんによるじん肺	80
無菌性膿尿	43
無月経	6, 94
無呼吸反射	27
ムコ多糖症	105
無作為比較対照試験	22
無症候性血尿・蛋白尿症候群	92
無症候性脳梗塞	97
むずむず脚症候群	71
無断離院	3
夢中遊行症	71
ムチン沈着症	75
無痛性虚血性心疾患	83
無痛性甲状腺炎	103
無動無言症	44
無尿	6, 42
胸やけ	6, 42
無排卵	95
無脾	82
ムンプス	108

め

眼	7
迷走神経	26, 27

メープルシロップ尿症	105
メタアナリシス	9
メタボリックシンドローム	13, 23, 104
メタ分析	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 〈MRSA〉感染症	108
メトヘモグロビン血症	89
眼の外傷	78
眼の乾燥感	40
眼の充血	40
めまい	5, 10, 39
メラニン生成	26
メレナ	69
免疫	4, 6, 30, 33, 34, 42
免疫異常	36
免疫異常疾患	36
免疫応答とその調節	31
免疫学的機序が考えられる肺疾患	79
免疫学的検査による迅速診断	49
免疫寛容	31
免疫機能	26
免疫グロブリン	31, 49
免疫グロブリン製剤	57
免疫系臓器	30
免疫系の調節	31
免疫血清学検査	8, 48
免疫組織化学染色	49
免疫調節不全症	107
免疫電気泳動	8
免疫病	13
免疫不全	36
免疫抑制薬と拒絶反応	13
免疫療法	65
面接者の態度	4
メンタルヘルス対策	24

も

毛細血管血	48
毛細血管拡張	39
毛細血管拡張性失調症	107
毛細血管拡張性肉芽腫	73
毛周期	26
網状皮斑	73
網赤血球	48
妄想	6, 43

妄想型統合失調症	71
妄想性障害	71
網膜	26
網膜芽細胞腫	76
網膜色素変性	76
網膜上膜	76
網膜静脈閉塞症	76
網膜前膜	76
網膜電図<ERG>	51
網膜動脈閉塞症	76
網膜の異常	76
網膜剥離	76
網脈絡膜炎	75
毛様体	26
もうろう状態	44
モニタリング	58
もやもや病	97
モラキセラ・カタラリス感染症	109
森田療法	65
問題解決への援助的態度	4
問題志向型医療記録<POMR>	2
門脈圧亢進症	86
門脈系	28
門脈相	54

や

夜間遺尿症	96
夜間多尿	43
夜間頻尿	43
薬剤感受性試験	8, 49
薬剤性	90, 92
薬剤性過敏症症候群	73
薬剤性肺炎	80
薬剤性無顆粒球症	89
薬剤性溶血性貧血	89
薬剤耐性菌	3, 36
薬剤による低血糖	104
薬事法	19
薬疹	11, 73
薬物	23
薬物アレルギー	13, 106
薬物依存・中毒	111
薬物依存症	13
薬物性肝障害	86
薬物性腸炎	85
薬物中毒	10

薬物動態	56
薬物の選択	56
薬物の相互作用	56
薬物療法	13, 56
やせ	6, 45
薬効	56
薬効の評価	56
薬効を左右する因子	56
夜尿	43
夜尿症	96
夜盲	40

ゆ

有意確率	22
有意差検定と推定	22
有害事象と副作用	3
有害物質の吸収・排泄	25
有機塩素剤	111
有機酸代謝異常症	105
有機塵肺	80
遊戯聴力検査	51
有機溶剤依存・中毒	111
有機溶剤中毒	111
有棘細胞癌	74
遊戯療法	65
有機リン剤	111
有効性と効率性	9
尤度比	9
誘発筋電図	50
有病率	22
有毛細胞	26
輸液	57, 58, 62
輸液管理	58
輸液の公式	63
輸液の種類と用法	57
輸液療法	10, 13
輸血	10, 13, 57, 58, 62
輸血関連急性肺障害	57
輸血関連検査	8, 48
輸血後GVHD	57
輸血時の副作用	57
輸血による感染症	57
癒着性中耳炎	76
癒着胎盤	68
ユニバーサルデザイン	18
輸入感染症	36, 109

よ

癰	74
養育医療	23
要因分析	2
要介護認定	19
要介護の原因	23
溶血性疾患	69
溶血性尿毒症症候群<HUS>	90, 93
溶血性貧血	89
溶血に関する検査	48
養護教諭	24
葉酸	28
葉酸欠乏性貧血	89
幼児・学童の栄養	34
幼児期	33
幼児聴力検査	51
痒疹	73
羊水	32, 48
羊水過少症	68
羊水過多症	68
羊水検査	53
羊水指数<AFI>	53, 68
羊水塞栓症	68
腰髄損傷	101
羊水の検査	53
羊水の性状	47
羊水ポケット	53, 68
羊水量	47, 53
腰痛	10
腰痛症	99
腰背部痛	6, 45
腰部痛	45
用法・用量	56
容量血管と抵抗血管	28
用量反応曲線	37
ヨードアレルギー	54
抑うつ	6
翼状片	75
予見性	19
予備力・適応能力の低下	34
予防	13, 36
予防医学	22
予防医学と健康保持増進	22
予防医学の概念	22
予防接種	24
予防接種と検疫	24

予防接種法.....	20
予防対策とその評価.....	23
予防的照射.....	60
余命への配慮.....	34

ら

来院時<院外>心肺(機能)停止<CPA>	10, 46
ライフスタイル.....	35
落屑.....	39
ラクナ梗塞.....	97
ラジオ波焼灼.....	61
ラセン器.....	26
ラリンジアルマスク.....	58
卵管.....	29
卵管癌.....	94
卵管留膿症・腫.....	93
卵形嚢.....	26
卵巣.....	29
卵巣過剰刺激症候群.....	95
卵巣癌.....	12
卵巣腫瘍.....	94
卵巣性無月経.....	95
卵巣チョコレート嚢胞.....	94
ランダム化比較試験.....	22
ランブル鞭毛虫症.....	109
卵膜.....	32
乱用.....	71

り

リウマチ性心炎.....	82
リウマチ性多発筋痛症.....	107
リウマチ熱.....	106
リエゾン精神医学.....	65
理解的態度.....	4
理解の確認.....	5
理学療法.....	61
罹患<発生>率.....	36
罹患率.....	22
リケッチア.....	49, 108
リケッチアによる感染症.....	108
リサイクル.....	25
離床.....	59
離人症.....	44
リスク差.....	9
リスク臓器.....	60

リスク比.....	9, 22
リスクファクター.....	18, 22
リステリア感染症.....	109
リスボン宣言.....	2
離脱症状.....	71
離断性骨軟骨炎.....	101
立位.....	7
離島・へき地医療.....	21
離乳.....	34
利尿薬.....	57
理念.....	61
リバーミード行動記憶検査<RBMT>	52
リハビリテーション.....	13, 61
リハビリテーション・チーム ..	61
リハビリテーション工学.....	61
リハビリテーション処方.....	13
リハビリテーションの概念 ..	61
リハビリテーションの技術 ..	61
リハビリテーションの理念 ..	2
リピドーシス.....	105
リビングウィル.....	14
リフト.....	61
リベド.....	73
流行性角結膜炎.....	108
流行性耳下腺炎.....	108
流産.....	68
粒子線治療.....	60
流涙.....	40
両価性.....	44
両眼視.....	26
両眼視機能検査.....	51
良好なコミュニケーション ..	4
良肢位.....	45
良性家族性血尿.....	92
良性腎硬化症.....	92
良性軟部腫瘍.....	101
良性肺腫瘍.....	80
良性発作性頭位眩暈症 ..	11, 77
両大血管右室起始症.....	82
療養病床.....	19
緑内障.....	11, 75
緑膿菌感染症.....	109
旅行者下痢症.....	111
旅行者疾患.....	111
淋菌感染症.....	109
淋菌性尿道炎.....	94
臨床疫学的指標.....	9

臨床期.....	35
臨床機能評価指標.....	3
臨床研究に関する倫理指針.....	2
輪状甲状靱帯切開.....	62
輪状甲状軟骨間膜切開.....	62
臨床試験.....	22
臨床試験・治験と倫理性.....	2
臨床判断の基本.....	9
臨床病期分類.....	37
臨床病理検討会<CPC>.....	38
鱗屑.....	39
隣接遺伝子症候群.....	35
リン代謝異常.....	93
リンパ管疾患.....	84
リンパ管腫.....	73, 78
リンパ管とリンパ節.....	28
リンパ管の構造と機能.....	28
リンパ球性下垂体炎.....	103
リンパ系疾患.....	89
リンパ行性転移.....	37
リンパ節.....	30
リンパ節腫脹.....	6, 39, 42
リンパ節転移.....	78
リンパ節の触診.....	7
リンパ組織.....	28
リンパ浮腫.....	84
リンパ流障害.....	37
リンパ漏.....	37
リンパ濾胞.....	31
リンパ球性間質性肺炎<LIP>...	80
倫理的・文化的配慮.....	59

る

涙液分泌検査.....	51
涙液分泌障害.....	75
類乾癬.....	74
涙器.....	26
類腱腫.....	101
類骨骨腫.....	100
涙道狭窄・閉塞.....	75
涙嚢炎.....	75
類白血病反応.....	89

れ

礼儀.....	4
冷式抗体による溶血性貧血.....	89

レーザー.....	61, 112
レーザー光線.....	78
レーザー療法.....	65
レクリエーション療法.....	62
レジオネラ症.....	109
レシビエント.....	59
レスキュードーズ.....	64
レスパイトケア.....	64
裂肛.....	85
レニン.....	29
レプトスピラ.....	49
レム<REM>睡眠.....	29
レム<REM>睡眠行動障害.....	71
連携とチーム医療.....	19
連合弁膜症.....	82
連鎖球菌感染症.....	108
連続性雑音.....	41

ろ

老化.....	34
労作性狭心症.....	83
老人性角化症.....	73
老人性紫斑.....	90
老人性難聴.....	76
老人福祉法.....	20
労働安全衛生法.....	20
労働安全衛生マネジメントシステム.....	24
労働衛生管理体制.....	24
労働基準監督署.....	25
労働基準法.....	20
労働災害.....	24
労働災害の補償.....	24
労働者災害補償保険法.....	20
労働者の医療保険.....	24
労働者の健康増進.....	24

労働適応.....	35
労働力の動向.....	24
漏斗胸.....	81
老年期.....	4
老年症候群.....	34
ロービジョン.....	61
濾紙ディスク検査.....	52
ロタウイルス感染症.....	108
肋間神経.....	27
肋間神経痛.....	99
肋骨骨折.....	81
濾胞性リンパ腫.....	89

わ

割付け重視の分析<ITT>.....	22
悪い知らせの伝え方.....	5
彎曲.....	7
腕神経叢.....	26

医師国家試験改善検討部会 報告書

平成 23 年 6 月 9 日

目 次

1. はじめに	1
2. 改善に係る基本的な考え方	1
(1) 医師国家試験について	1
(2) 医師国家試験受験資格認定について	1
3. 医師国家試験問題について	2
(1) 出題内容について	2
① 医師国家試験出題基準について	2
② 個々の問題内容について	3
③ 出題数について	3
④ 問題形式について	4
(2) 合格基準について	4
(3) 受験回数制限について	5
(4) プール制について	5
① 公募問題の活用について	6
② 既出問題の活用について	7
4. 医師国家試験受験資格認定について	7
(1) 「本試験認定」について	7
(2) 「予備試験認定」について	8
5. OSCE（客観的臨床能力試験）について	9
6. その他	10
7. 結語	10

1. はじめに

医師国家試験は、昭和21年に第1回が実施され、以後、医療を取り巻く状況及び医療の進歩に合わせ、その都度改善が行われてきた。

平成22年12月に設置された医道審議会医師分科会医師国家試験改善検討部会において、現行の医師国家試験に関する評価と改善事項の検討を開始し、以後ワーキンググループでの議論も含めて10回にわたり検討を重ねてきた。今般、医師国家試験の改善に関する基本的な方向性等についての意見を取りまとめたので、ここに報告する。

なお、本報告書で示している改善事項のうち、速やかに着手可能な事項については、早急に対応することが求められる。また、出題基準に関する事項については、今後の改定を経て平成25年（第107回）の試験から適用することが望ましい。

2. 改善に係る基本的な考え方

（1）医師国家試験について

現在の医師国家試験は、平成19年3月に取りまとめられた医師国家試験改善検討部会報告書を踏まえて実施されている。同報告書では「医師養成における各段階の到達目標が一連の整合性を持つように検討すべきであり、卒前教育におけるモデル・コア・カリキュラム、共用試験や卒後臨床研修の到達目標等との連携をさらに意識して、医師国家試験の果たすべき役割を十分に発揮できるものとなるようにするべきである」とされた。この視点の重要性は、今なお失われていない。

こうした視点で近年の医師国家試験をみると、臨床実地問題の充実等、知識を問う試験問題は一定程度改善がみられるものの未だ課題が多く、一方で技能や態度の評価が充分に行われていない等の課題も残っている。

そこで、本改善検討部会では、医師国家試験を卒前教育・卒後臨床研修を含めた一連の医師養成過程の中に位置付けた上で、近年の医学教育を巡る動向^{※1}を踏まえつつ、医師の資質の向上のため各方面の関係者が取り組むべき具体的な改善策を示すこととした。

（2）医師国家試験受験資格認定について

外国の医学校を卒業し、我が国で医業を行うことを希望する者（以下、「外国医師等」という。）については、一定の要件を満たす場合に医師国家試験の受験資格を認定している。近年、医療のグローバル化を反映して、受験資格

¹ 〔別添1〕を参照。

認定希望者が増加傾向にあり、制度の在り方を検討する必要性が生じている。なお、この中には日本人も少なくない。

国内で医師免許を取得した外国人には在留資格が付与されるなど、医師の移動に関する我が国の規制が諸外国に比して緩やかであることを考慮すると、唯一の関門に相当する医師国家試験の受験資格認定の際には、患者にとって安心・安全な医療を確保するという観点が必要である。一方で、我が国の医療に貢献しようとする外国医師等に対し、適切に受験機会を付与する必要がある。本改善検討部会では、新しい制度の方向性を提言するにあたり、この2点の均衡に配慮することを重視した。

3. 医師国家試験問題について

(1) 出題内容について

①医師国家試験出題基準について

現行の医師国家試験は、医師国家試験出題基準^{※2}（平成21年版）に準拠して出題されている。この出題基準は、「必修の基本的事項」、「医学総論」及び「医学各論」から構成され、概ね4年に1度改定が行われている^{※3}。

一連の医師養成過程における医師国家試験の在り方を考えると、医師国家試験では、臨床実習での学習成果を中心とした臨床研修開始前の到達度を確認することに主眼を置くべきである。したがって、出題基準の改定に際しては、医学教育モデル・コア・カリキュラム^{※4}で明示されている到達目標との整合を図ることが望ましい。

また、医師国家試験出題基準にはブループリント^{※5}が設けられ、毎年の出題に大幅な偏りが生じないようにされている。社会的に要請の高い分野を含めた幅広い領域から出題すること自体は、医療のニーズが拡大している昨今において重要であるが、試験委員の裁量で頻度や緊急性の高い疾患を優先的に出題できるよう、可能な限り細かな出題割合の指定を廃した上で、項目毎の出題割合については卒後臨床研修で対応を求められる頻度の高い疾患に重点を置く方向で見直すことが望ましい。

² 医師国家試験出題基準は、医師国家試験の「妥当な範囲」と「適切なレベル」とを項目によって整理したもので、試験委員が出題に際して準拠する。

³ 〔別添2〕を参照。

⁴ 医学教育モデル・コア・カリキュラムは、医学生が卒業までに最低限履修すべき学習内容を定めたもの。平成13年3月に策定され、平成19年度・22年度に改訂された。

⁵ ブループリント（医師国家試験設計表）は、出題基準の各項目・評価領域ごとに試験割合を規定したもの。

②個々の問題内容について

医師国家試験については、問題作成から最終確定に至るまで、医師試験委員会がその重責を担っている。試験委員は、診療・教育・研究に係る多忙な日常業務に加えて、物理的・心理的な負担の大きな責務を全うしており、称賛に値する。しかし、近年の医師国家試験では、卒前教育の到達目標を超え、高度な専門的事項を問う出題もみられる。医師国家試験問題は、医療に第一歩を踏み出し、指導医の下でその任務を果たすのに必要な水準とすべきであり、個々の問題作成に際してなお一層の工夫を求める必要がある。

まず、問題作成時には、医学生が臨床実習に主体的に取り組んだ場合に経験可能な事項や卒後臨床研修で実際に対応が求められる状況について、具体的に想定することが重要である。

また、列挙された特徴的なキーワードから疾患名を想起させるのではなく、症候から優先順位を考慮しつつ鑑別診断を進めていくという臨床医の思考過程に沿った問題を作成するよう努めることが望ましい。

③出題数について

医師国家試験で問う内容を見直すべきであることは前述のとおりであるが、その具体的な方向性としては、「臨床実地問題」の出題を軸としつつ基本的臨床能力を問う出題に重点化していくことが望ましい。こうした観点から、現在 250 題が出題されている「一般問題」の出題数を再考する余地がある。特に、「一般問題」の一部は臨床実習前の共用試験^{※6}で評価できるとの見方があることから、共用試験で評価がなされた受験者に課す試験として医師国家試験の位置付けを明確化し、その上で「一般問題」の出題数を減じることが現実的と考えられる。ただし、そのためには、各大学医学部・医科大学において現在統一されていない共用試験に基づく成績評価が、一定程度標準化されることが必要となる。

一方で、重要な事項は繰り返し問うべきであるという意見、結果的に問題数が減少することにより学習到達度の高い受験者を識別するという意味での試験の信頼性が低下することを危惧する意見等もある。したがって、当面は現行の 500 題を維持した上で、卒前教育の動向をみながら出題数の在り方について引き続き議論していく必要がある。

⁶ 共用試験は、臨床実習開始前の学生の態度、技能、知識を評価するための試験。コンピュータを活用した試験による知識の評価（CBT）と、実技試験による診察技能や態度の評価（OSCE）により行われている。平成 17 年度から本格導入された。

④問題形式について

従来、選択肢数を5肢とするAタイプ^{※7}とX2タイプ^{※8}が出題されてきたが、平成21年(第103回)試験以降、新たな問題形式(X3タイプ^{※9}・LAタイプ^{※10}・計算問題)が一部の問題に適用されている。

テスト理論に基づいてテスト設計を行う際、1つの試験の中では問題形式を統一するのが好ましいと考えられるが、新たな問題形式を用いることがその問題の出題趣旨に沿うのであれば、形式毎の問題数を一定程度固定した上で活用することは実用上問題ない。また、新たな問題形式と出題内容の適合性については、現時点では導入実績が少なく評価が困難であるため、今後の課題とする必要がある。特にLAタイプは、鑑別診断を問う出題等、同形式がより適切と判断される問題であるかどうかを吟味した上で出題されることが望ましい。また、これまで未出題のXXタイプ^{※11}については、受験者が本質的でない部分にも過剰な注意を払い、必要以上に負担が大きくなる恐れがあること等から、今後も採用しない。

応用力を問うタクソノミー^{※12}Ⅱ型・Ⅲ型の出題については、引き続き出題を奨励すべきである。特にタクソノミーⅢ型については、主要症候の鑑別診断に係る検査計画や初期救急で必要な治療法等、卒後臨床研修で自ら判断して問題解決にあたるべき状況について用いることが望ましい。

(2) 合格基準について

現行の医師国家試験では、「必修問題」、「一般問題」及び「臨床実地問題」の各々の得点と、禁忌肢の選択状況をもとに合否が決定されている。その際、「必修問題」の合格基準は絶対基準を用いて最低の合格レベルを80%とし、「一般問題」及び「臨床実地問題」の合格基準は各々平均点と標準偏差とを用いた相対基準を用いて設定されている。その結果、合格率は概ね90%前後で推移している^{※13}。

⁷ A type は、5つの選択肢から1つの正解肢を選ぶ形式の問題として使用。

⁸ X2 type は、5つの選択肢から2つの正解肢を選ぶ形式の問題として使用。

⁹ X3 type は、5つの選択肢から3つの正解肢を選ぶ形式の問題として使用。

¹⁰ LA type は、6以上の選択肢から1つの正解肢を選ぶ形式の問題として使用。

¹¹ XX type は、選ぶべき正解肢の個数を受験者に明示しない形式の問題。

例：「正しいのはどれか。すべて選べ。」

¹² タクソノミー (taxonomy、評価領域分類) は、教育目標毎に問題の解答に要する知的能力のレベルを分類したもので、一般に認知領域ではⅠ・Ⅱ・Ⅲ型に分類される。Ⅰ型は単純な知識の想起によって解答できる問題であり、Ⅱ型は与えられた情報を理解・解釈してその結果に基づいて解答する問題であり、Ⅲ型は設問文の状況を理解・解釈した上で、各選択肢の持つ意味を解釈して具体的な問題解決を求める問題である。

¹³ 「別添3」を参照。

こうした合格基準の考え方については、高い水準で絶対基準が適用される「必修問題」の存在が受験者の負担感を増しているという意見がある一方で、相対基準に対し、受験者への心理的負担が過重であるとの意見や資格試験の在り方としてふさわしくないとの意見もある。両者を併用する手法には一定の合理性があり、現実には大きな混乱を認めていないことから、合格基準は現行の考え方を引き続き採用することが望ましい。

医師国家試験においては、生命や臓器機能の廃絶に関わるような解答や倫理的に誤った解答をする受験者の合格を避ける目的で、禁忌肢が設定されている。

この禁忌肢の存在が受験者に必要以上の緊張を与えており、優秀な受験者が偶発的に禁忌肢を選択し不合格となっているのではないかと、との指摘がある。しかしながら、実際に禁忌肢に関する事項のみで不合格となった者は少数であり^{※14}、上記の指摘を一般化することはできない一方、医療安全が様々な観点で国民の重大な関心事項となっている昨今、医師が知識不足や判断の単純な誤りによって患者に深刻な損害を及ぼすことは許されないことから、禁忌肢の取扱いとは従来どおりとすることが望ましい。

（３）受験回数制限について

医師国家試験における受験回数制限の導入の是非については、長年議論が続けられ、平成19年3月の改善検討部会報告書においても引き続き検討することとされたところである。

しかしながら、多数回不合格者^{※15}の個々の現況を把握する現実的な手段はなく、多数回の不合格を経て合格した者を排除する必要性を明確に示すことはできない上、多数回受験後に合格した者が医師として適格か否かを判断する基準を設定することも極めて困難である。

したがって、今後も受験回数制限を導入しないこととする。

（４）プール制について

平成10年度の改善検討部会の提言により、医師国家試験においてプール制^{※16}の導入を目指すこととなった。これにより、平成12年度から試験問

¹⁴ 〔別添4〕を参照。

¹⁵ 〔別添5〕を参照。

¹⁶ 「プール制」は、試験問題を予め作成・蓄積しておき、その中から出題することを意味して用いている。特に、問題を試行的に出題し、事前に正解率等を評価した上で、良質な問題を採点対象として出題することが重視される。

題の公募、試行問題の出題及び問題冊子の回収が行われることとなった。将来的には、公募問題と既出問題を合わせて数万題規模のプールの整備が目指されていた。

しかし、試験問題と正解肢の開示請求に係る情報公開・個人情報審査会の答申^{※17}を受けて、平成 19 年（第 101 回）以降、問題冊子の持ち帰りを認め、試行問題の出題も中止された。それ以降も、公募問題と既出問題の利用が続けられているが、事実上プール制への移行は困難となり、試験委員会が作成する新規問題が現在もなお医師国家試験の主体をなしているのが現状である。その理由として、医療の進歩が早いために過去に作成された問題の妥当性が後になって損なわれる可能性があること、公募問題のうち実際の出題に適するものの数が限られること、公募問題の選定や推敲に要する負担が大きい場合が多いこと、既出問題の多用はいわゆる受験勉強を促進する側面をもつこと等が挙げられる。

上述した背景や我が国の実情を踏まえると、問題開示が義務化された今日、プール制への完全移行のためではなく、試験委員会の負担を緩和しつつ時宜に適った問題を継続的に出題するための方策として、公募問題と既出問題の活用方法を整理し直すべきであるとの認識に至った。

①公募問題の活用について

問題公募システムは、出題依頼に応じた大学医学部・医科大学、臨床研修指定病院及び社団法人日本医師会によって問題が登録される仕組みとなっている。

多様な観点からの出題を推進するため、試験委員会において公募問題を積極的に活用することが望ましい。こうした取組により、試験委員は問題の選定や吟味により一層注力できると考えられる。

また、本改善検討部会においては、各団体から更なる協力を得る策として、団体毎の応募数や採択率を公表してはどうかという提案や、良問の作成者を試験委員として選任し、その経験が各団体で評価されるような仕組みとなれば医学教育に熱意ある若手医師が活躍できるとの意見もあった。このような問題公募システムの二次的な利活用についても、今後検討することが望まれる。

¹⁷ 「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、平成 17 年に出されたもの。「プール制を導入することにより本件試験問題を公にできないという必然性があるとは言えない」とされた。

②既出問題の活用について

既出問題については、過去に出題された際のデータを踏まえた活用が可能である一方、医療の進歩により出題当時と現在で正解が異なっていることも想定される。特に、「臨床実地問題」は医療の進歩に伴う変化が大きく、大幅な修正を要する場合が多い。したがって、実際に既出問題を活用する際には、主として原理・原則等を問う「一般問題」について利用することが望ましい。また、受験者に対して過去の出題例を多数勉強することが有利との印象を与えないよう、量的には従来の水準にとどめることが適切である。

4. 医師国家試験受験資格認定について

現行制度上、外国医師等が受験資格の認定申請を行うと、基準に基づく書類審査によって「本試験認定見込み」、「予備試験認定」又は「不認定」のいずれかとなる^{※18}。本試験認定者と予備試験認定者とは、それぞれ新規に毎年数十人程度おり、いずれも増加傾向にある^{※19}。この中には、外国の医学校を卒業した日本人が少なくない。また、我が国の医師免許取得を目的として、我が国の大学医学部・医科大学ではなく外国の医学校に進学する者が見受けられ、近年のこの傾向について懸念する意見もある。

(1) 「本試験認定」について

「本試験認定見込み」とされた者は、日本語診療能力調査^{※20}で一定水準に達していることが確認された上で「本試験認定」となり、医師国家試験の受験資格を得る。

近年の国際的な動向を踏まえると、卒業した医学校が5年制であることや国家試験制度がないことをもって申請者が受けた医学教育を不十分とするには根拠が乏しいこと、専門教育の修業時間については欧州における基準として「5,500 時間以上」^{※21}が提唱されていること等から、現行の認定基準を合理的な観点から見直す必要性は高いと考えられる。

一方で、一定の要件を満たす者に対して自国民への医療行為を認める仕組

¹⁸ [別添6]、[別添7]を参照。

¹⁹ [別添8]、[別添9]、[別添10]、[別添11]を参照。

²⁰ 日本語を用いて診療を行うために十分な能力を有しているか否かの調査。具体的には、適切な質問をして医療面接を行うことができるか、診療に関する事項を患者に分かりやすく説明できるか、基本的な医療記録を日本語で作成できるか等について調査される。

²¹ WFME (World Federation for Medical Education) と AMEE (Association for Medical Education in Europe) が 5,500 時間以上の専門教育の必要性を提唱している。

出典：STATEMENT ON THE BOLOGNA PROCESS AND MEDICAL EDUCATION (2005)
http://www.aic.lv/bologna/Bologna/contrib/Statem_oth/WFME-AMEE.pdf#search=WFME%20&%20AMEE%202005

み自体が整備されていない国の場合は、当該国での医学教育に対しても質的担保を得ることは困難と考えられる。そのため、公的な医師免許制度がある国で医学教育を受けた申請者が当該国の医師免許を現に有していることは、認定基準として重要である。

また、医学教育の内容は文化や医療制度等を如実に反映するため国毎に一定程度異なるものであるが、我が国で医業を行うからには、日本語による診療が可能な水準の高度なコミュニケーション能力が必要である。

以上を踏まえ、新たな「本試験認定」の基準については、次の3点を主な必要条件とする方向で見直すことが望ましい。

- a) 6年制の医学校（専門教育4,500時間以上）を卒業していること。ただし、5年制であっても5,500時間以上の一貫した専門教育を受けている場合は、これに相当するとみなす。
- b) 卒業した医学校が所在する国の医師免許を取得していること。
- c) 日本語診療能力調査の結果が一定水準以上であること。

従来、申請者に対し、卒業した医学校における教育体制の詳細を示す書類の提出を求めてきたが、申請者の負担が大きい一方で、これらのみで教育水準の全てを適切に評価することは困難であるため、個別審査の根拠として用いることに限界がある。認定基準の見直しに合わせ、こうした提出書類の簡素化を図ることが望ましい。

一方で、申請者数の増加に伴い、外国医師等の教育水準の差異が拡大すると予想される。そのため、今後の受験資格認定については、申請者の受けた教育体制だけではなく個々人の能力を問うことに重点化した審査としていく必要がある。したがって、我が国の患者にとって安心・安全な医療を確保する観点から、日本語診療能力調査が重要であり、その評価方法の確立と体制の強化が必要と考えられる。その際には、日本人の申請者についても厳正にその診療能力を評価できるものとすることが望まれる。

（２）「予備試験認定」について

現行制度の趣旨については、申請者の受けた医学教育が我が国の医学教育と同等以上であると判断できない場合でも、ただちに不認定とはせず予備試験の受験機会を与える、いわば救済措置の側面をもっている。これは、国際的にみると異例の制度であり、受験資格制度の複雑さの一因となっているが、我が国の医療に貢献しようとする外国医師等に対して適切な機会を与えると考える方に沿うものである。したがって、従来の予備試験に係る認定基準の必要条件を大幅に変更する必要性はないと考えられる。

予備試験認定とされた者は、基礎医学と臨床医学に関する予備試験を受験し、合格後に実地修練を修了することで医師国家試験の受験資格を得る。予備試験や実地修練についても、受験者に求める水準や受験過程を含めて、我が国の医学教育課程との整合性の観点から合理的に見直すことが望ましい。

5. OSCE（客観的臨床能力試験）について

医師国家試験における OSCE (Objective Structured Clinical Examination) の導入は、長年議論がなされてきた論点の一つである。卒前教育の状況を見ると、共用試験を通じて全ての大学医学部・医科大学において臨床実習前 OSCE が実施されている。また、全国医学部長病院長会議発行の「わが国の大学医学部（医科大学）白書 2010」によると、約 5 割の大学医学部・医科大学では卒前 OSCE を実施しており、さらにその結果を卒業認定に用いているのは約 3 割である^{※22}。ただし、臨床実習前 OSCE も卒前 OSCE も、評価が全国的に標準化されていないという点で共通している。

本改善検討部会においては、卒後臨床研修を開始する前に OSCE による評価が必要であるという認識で一致した。特に、何らかの形でコミュニケーション能力をチェックすることは必要であり、いずれは全国同水準で評価できるようにすべきという意見や、入学定員増が既に始まっているからこそ質の担保を図ることは急務であり、OSCE を制度化する方向性を打ち出すことで臨床実習の不足に対する警鐘とすべきとの意見が出された。一方で、OSCE を実施する場として、医師国家試験よりも大学医学部・医科大学における取組を推進することが医学教育の観点からより重要であるという指摘もあった。このように、合否判定を伴う医師国家試験として OSCE を実施することが最適かどうかについては、大学医学部・医科大学における卒前 OSCE の実施状況をみながら引き続き議論していくべきである。

また、OSCE の推進には、臨床実習の充実と同様、標準模擬患者（SP：Standardized Patient）への参加を含めた一般市民の協力が不可欠である。そのため、「市民が医師を育てる」という意識が浸透するよう、地域社会に対して医学教育に対する理解を求めていくことも重要と考えられる。

なお、平成 21 年から韓国が医師国家試験に OSCE を導入している。韓国は、学生数に対する専任教員数の割合が比較的多いことや導入の背景等、我が国とは異なる状況がある点には留意を要するが、今後の動向について注目される。

いずれにしても、我が国において標準化が可能な OSCE の手法の確立に向けた段階的な検証が必要である。そのためには、受験資格認定制度における日本

²² 〔別添 1 2〕を参照。

語診療能力調査をパイロットとして明確に位置付け、実践的な検討を行うべきである。このパイロットにおいては、a) 信頼性と妥当性を備えつつも OSCE 対策のためにベッドサイドから医学生を遠ざけることにならない手法の確立と b) 評価者に係るコストを含めたロジスティクスの確立の 2 点が重要であることを強調しておきたい。

6. その他

現在採用している MCQ^{※23}（多肢選択式問題）方式については、幅広い分野からの出題が可能であること、多人数に対して客観的で均質な採点が可能であること等、医師国家試験に適した点が多い。これに対して論述式試験は、臨床現場の思考に近い能力を問うことができ、論述力を重視する教育的観点からも重要とする意見があった。しかし、論述式試験には問題作成や評価手法等における課題が多い。また、医学教育上重要な事項をすべて国家試験で網羅することは現実的でないことから、卒前・卒後教育における涵養が望まれる。

また、コンピュータを用いた試験手法は、様々な分野で既に活用されており、技術的に確立されつつあるため、医師国家試験への導入を検討すべきではないかとの意見があった。コンピュータによる試験は、プール制の達成を前提としたものであり、全国一斉の試験とは異なる合格基準の設定等も要することから、実現の可能性について今後も検討が必要である。

さらに、医師国家試験の重要性に鑑み、恒常的に改善に取り組む必要があることから、国家試験の在り方等について研究を行う体制を整えるべきとの指摘があった。

7. 結語

本改善検討部会においては一貫して、卒前教育・卒後臨床研修を含めた一連の医師養成過程における医師国家試験の在り方について検討してきた。

卒前教育は現在、大きく変わりつつある。特に、臨床実習の充実を目指す動きに加えて、臨床実習における評価の在り方について再検討すべきとの機運が高まっていることが注目される。我が国における医学教育の充実と医師国家試験の改善とは深く関わっており、今後の改善検討部会においても、卒前教育の動向を注視しながら引き続き連携に努めるべきである。

²³ MCQ は、Multiple Choice Question の略。1 つの設問に対して、正・誤の答えからなる選択肢を示し、受験者に最も適切と考える肢又は肢の組合せを選ばせる試験方式を指す。

医道審議会医師分科会 医師国家試験改善検討部会委員

井廻 道夫 昭和大学医学部教授

○兼松 隆之 長崎大学名誉教授

金万 和志 市立堺病院副院長

末松 誠 慶應義塾大学医学部長

高杉 敬久 社団法人日本医師会常任理事

土田 友章 早稲田大学人間科学学術院教授

奈良 信雄 東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター長

野上 康子 教育測定研究所研究開発部研究員

伴 信太郎 名古屋大学医学部附属病院総合診療科教授

福田康一郎 社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構副理事長

別所 正美 埼玉医科大学医学部長

山口 徹 国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長

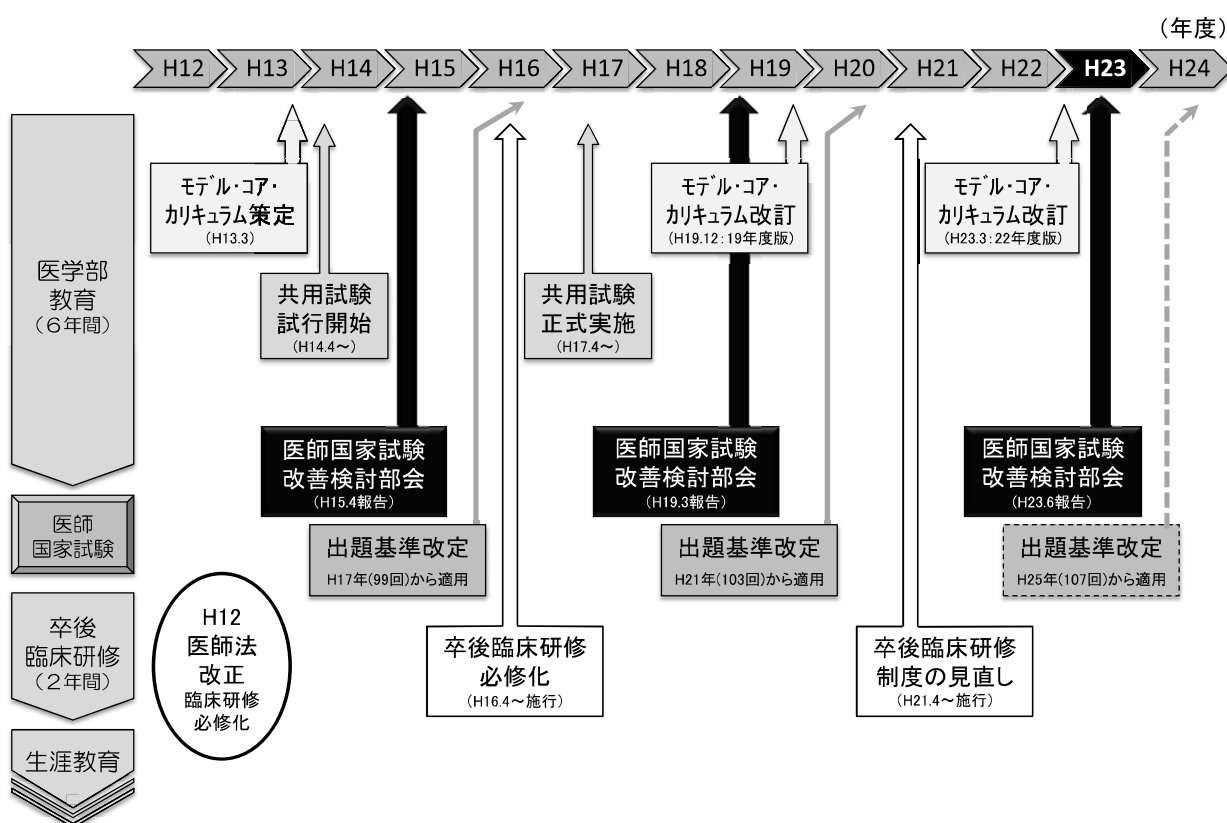
(オブザーバー)

新木 一弘 文部科学省高等教育局医学教育課長

○は部会長（五十音順、敬称略）

〔別添1〕

卒前・卒後医学教育を巡る近年の動き



〔別添2〕

近年の医師国家試験の変遷

回	第87～90回	第91～94回	第95～98回	第99～102回	第103回～
年	H5～8年	H9～12年	H13～16年	H17～20年	H21年～
一般問題	内容	必修 医学総論 医学各論	必修 医学総論 医学各論		
	数	200問	250問		
臨床 実地 問題	内容	必修 医学総論 医学各論	必修 医学総論 医学各論		
	数	120問	250問		
設問数	計320問		計500問		
試験日数	2日間		3日間		

出題基準: S53年～
ブループリント(設計表): H13年～

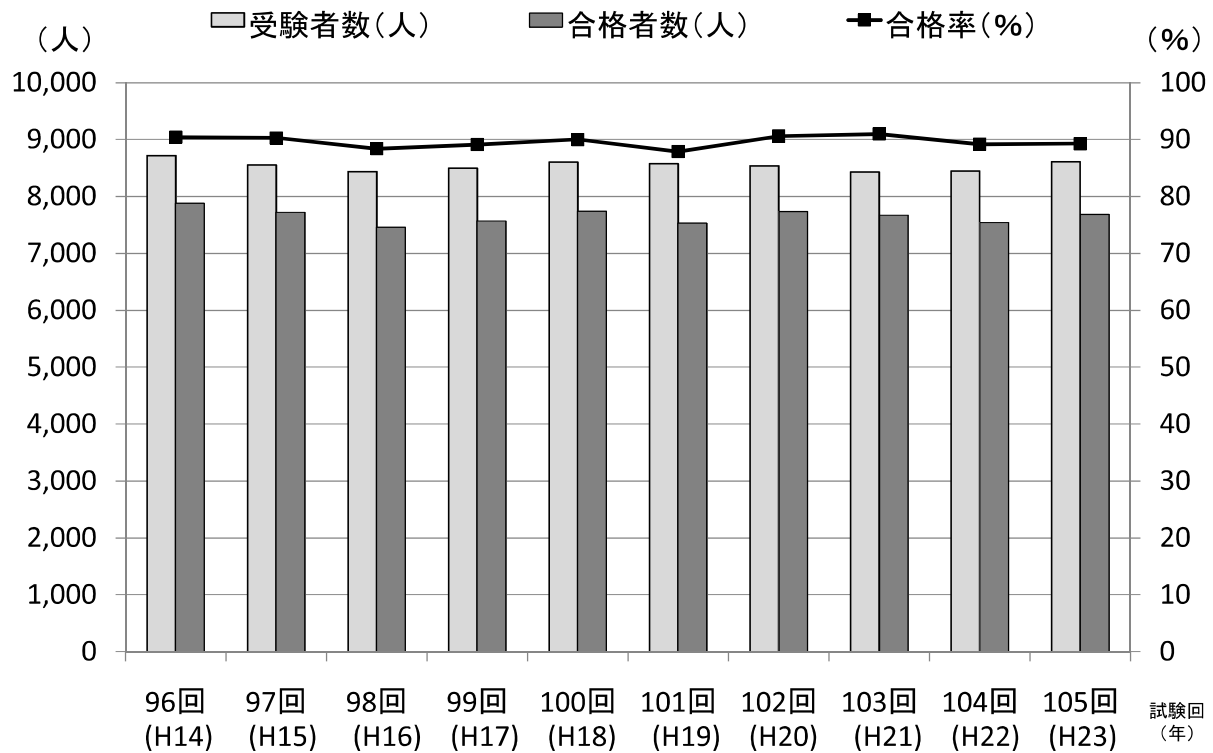
H13～ 問題の公募

H13～ 問題回収 → H18～ 問題の持ち帰り可

H18～ 正答肢の公表

〔別添3〕

医師国家試験の合格率等の推移



〔別添4〕

禁忌肢のみによる不合格者数

試験回 (実施年)	第101回 (H19年)	第102回 (H20年)	第103回 (H21年)	第104回 (H22年)	第105回 (H23年)
受験者数	8,573 人	8,535 人	8,428 人	8,447 人	8,611 人
合格率	87.9 %	91.0 %	91.0 %	89.2 %	89.3 %
不合格者数	1,038 人	802 人	760 人	909 人	925 人
禁忌肢のみによる不合格者数	1 人	3 人	6 人	0 人	0 人

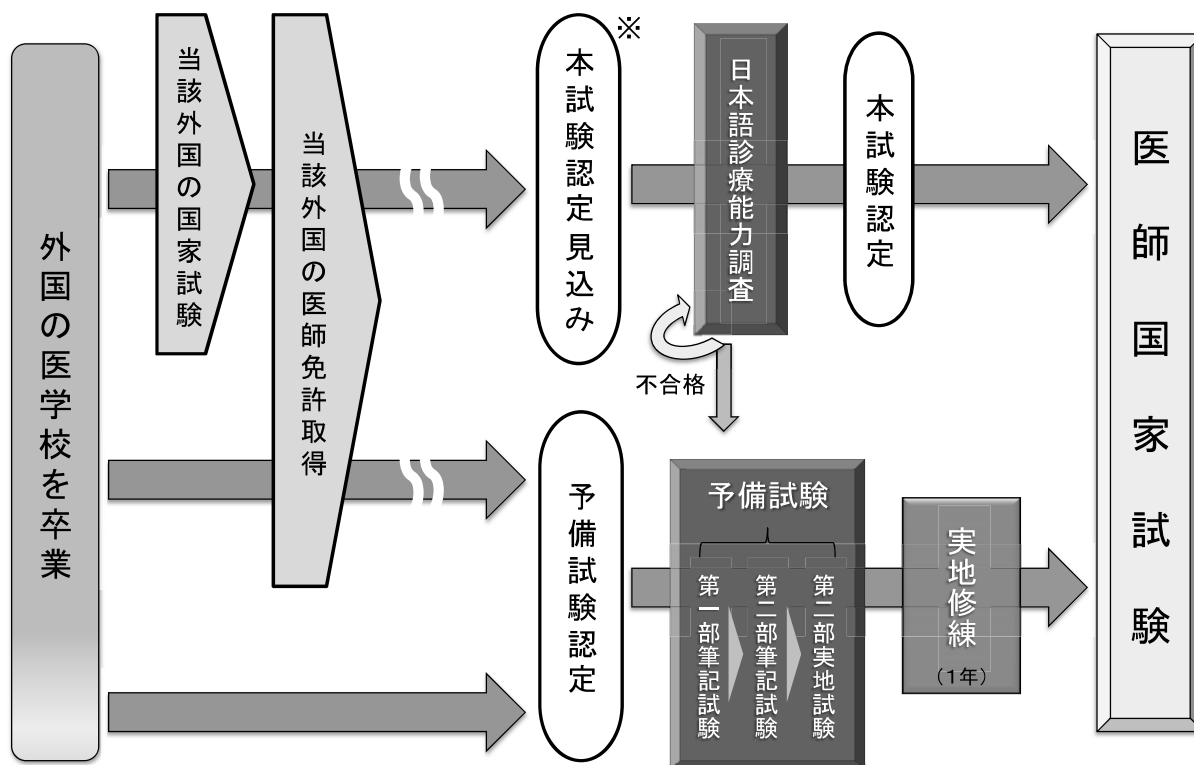
〔別添5〕

第105回医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次		受験可能回数	受験者数	構成比	合格者数	合格率
新卒	H22年4月～ H23年3月	1 回	7,723 人	89.7 %	7,151人	92.6 %
既卒	H21年4月～ H22年3月	2 回	556人	6.5%	437人	78.6 %
	H20年4月～ H21年3月	3 回	113人	1.3 %	62人	54.9 %
	H19年4月～ H20年3月	4 回	39人	0.5 %	15人	38.5 %
	H18年4月～ H19年3月	5 回	26人	0.3 %	6人	23.1 %
	H17年4月～ H18年3月	6 回	28人	0.3 %	7人	25.0 %
	H16年4月～ H17年3月	7 回	18人	0.2 %	3人	16.7 %
	H15年4月～ H16年3月	8 回	11人	0.1 %	1人	9.1 %
	H14年4月～ H15年3月	9 回	15人	0.2 %	1人	6.7 %
	H14年3月以前	10回以上	82人	1.0 %	3人	3.7 %
	既卒 計			888人	10.3 %	535人
総 計			8,611人	100%	7,686 人	89.3 %

〔別添6〕

現行の受験資格認定プロセスの概要



※書類審査により「本試験認定見込み」とされた者は、日本語診療能力調査で一定水準に達していることが確認された上で最終的な「本試験認定」となり、医師国家試験の受験資格を得る。

〔別添7〕

現行の医師国家試験受験資格認定基準（書類審査）

		「本試験認定」(見込み)	「予備試験認定」
修業年数	医学校の入学資格	高等学校卒業以上(修業年数12年以上)	
	医学校の教育年限※1	6年以上 進学課程 2年以上 専門課程 4年以上 (インターン期間については教育年数に算入しない)	5年以上 専門課程 4年以上 (インターン期間については教育年数に配慮する)
	医学校卒業までの修業年限	18年以上	17年以上
専門科目の授業時間		4,500時間以上で、かつ一貫した教育を受けていること	3,500時間以上で、かつ一貫した教育を受けていること
医学校卒業からの年数		10年以内 (但し、医学教育又は医業に従事している期間は除く)	
専門科目の成績		良好であること	
教育環境		大学付属病院の状況、教員数等が日本の大学とほぼ等しいと認められること	大学付属病院の状況、教員数等が日本の大学より劣っているものではないこと
当該国の政府の判断		WHOのWorld Directory of Medical Schoolsに原則報告されていること※2	
医学校卒業後、当該国の医師免許取得の有無		取得していること	取得していなくてもよい
当該国の医師免許を取得する場合の国家試験制度		制度が確立されていること	制度が確立していなくてもよい
日本語能力		日本の中学校及び高等学校を卒業していない者については、日本語能力試験N1の認定を受けていること	

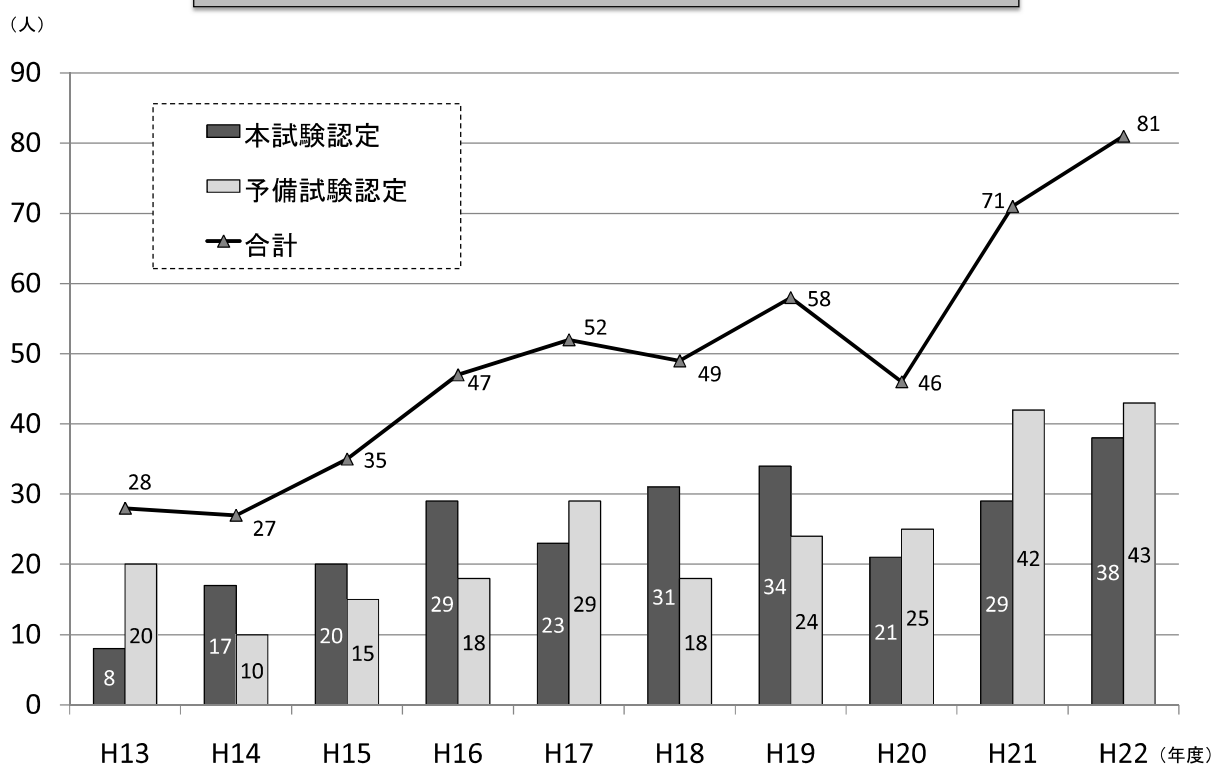
※1: 大学院の修士課程、博士課程等は算入しない。

※2: 2007年以降、更新されていない。

(医政局長通知)

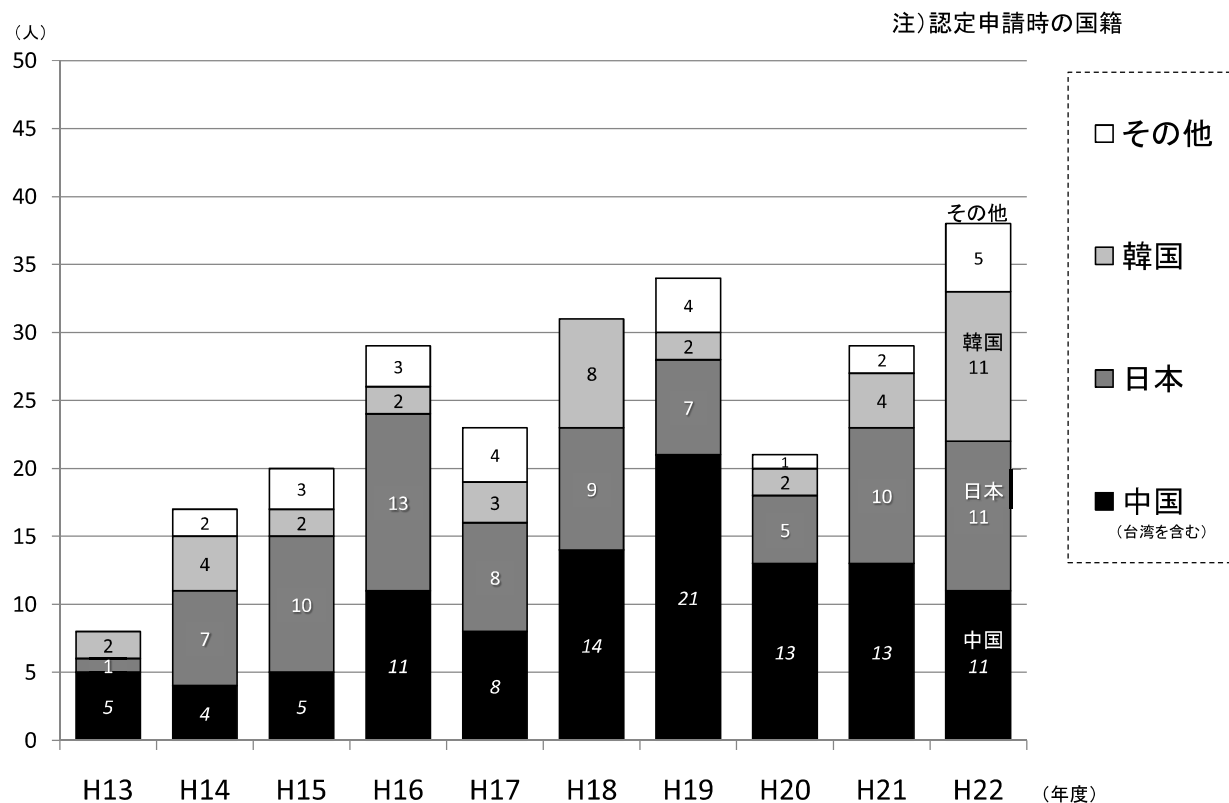
〔別添8〕

受験資格認定者数の推移



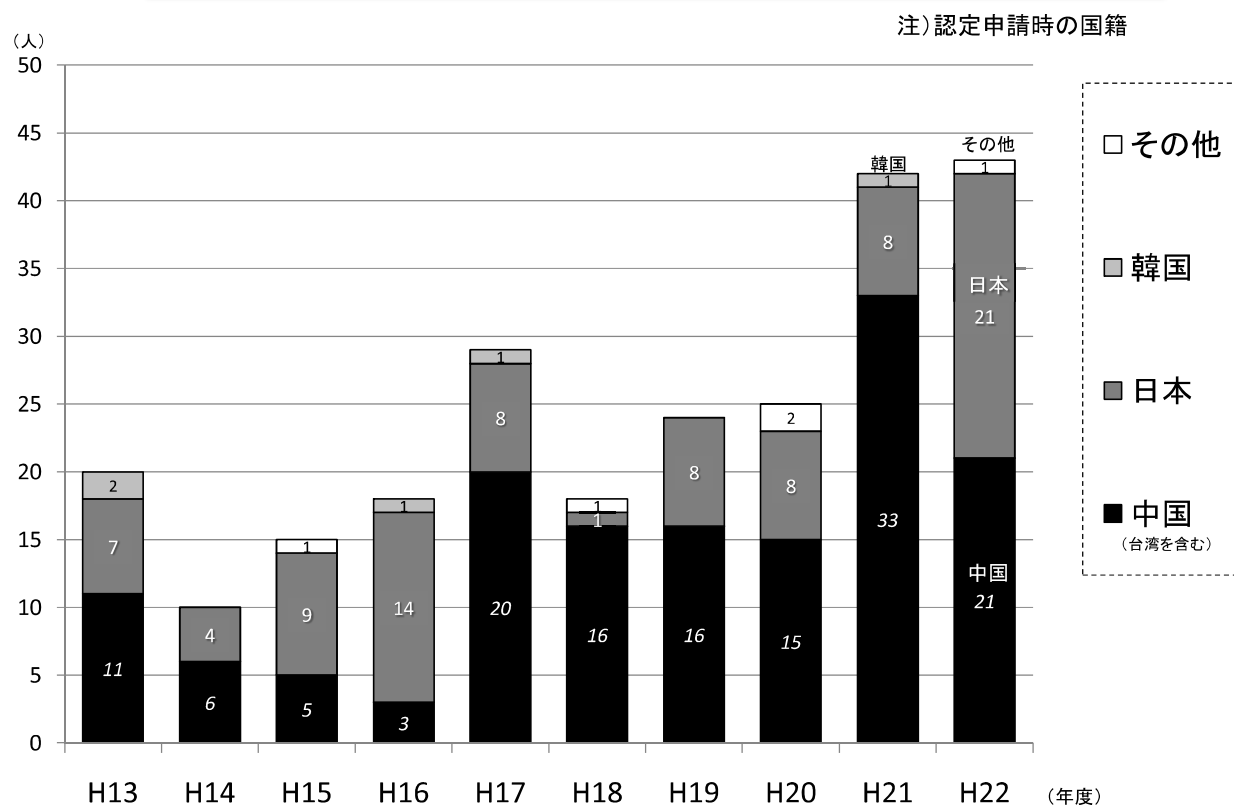
〔別添9〕

本試験認定者数の推移(国籍別)



〔別添10〕

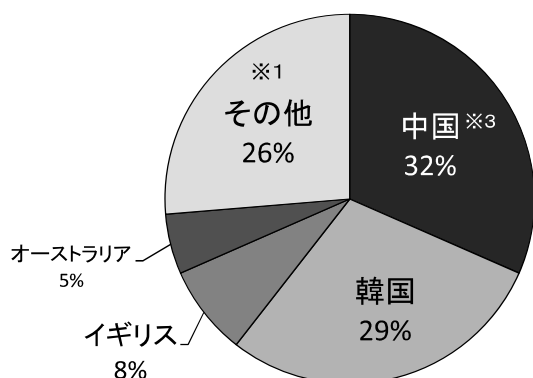
予備試験認定者数の推移(国籍別)



〔別添11〕

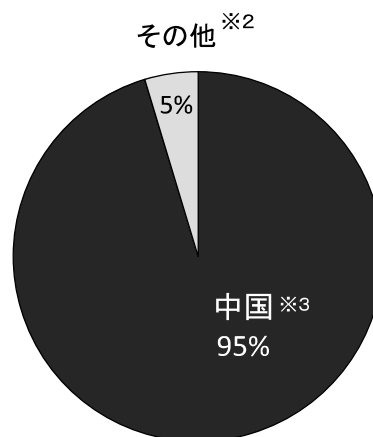
平成22年度医師国家試験受験資格認定者の内訳 (卒業医学校の所在国別)

本試験認定者(計38名)



※1 「その他」の内訳(順不同)
イラン・インド・インドネシア・スイス・ドイツ
ペルー・ボリビア・メキシコ・リビア・ロシア

予備試験認定者(計43名)



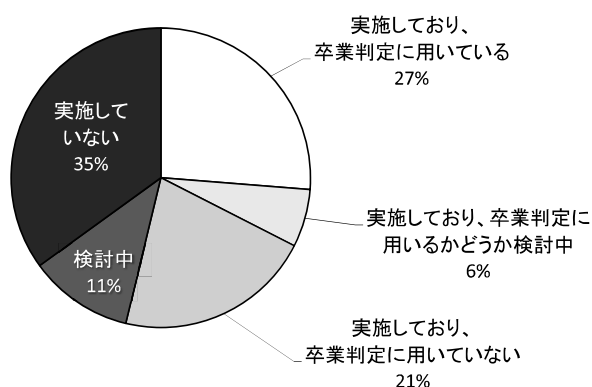
※2 「その他」の内訳(順不同)
セネガル・ミャンマー

※3 台湾を含む。

【注】卒業医学校の所在国と認定者の国籍とは、必ずしも一致しない。

〔別添12〕

大学医学部・医科大学における卒前OSCEの実施状況



出典:「わが国の大学医学部(医科大学)白書2010」
(全国医学部長病院長会議 発行)

(単位:校)

		国立	公立	私立	全国	
実施 している	卒業認定に用いている	10	1	10	21	43
	卒業認定に用いるかどうか検討中	4	0	1	5	
	卒業認定に用いていない	6	1	10	17	
実施について検討中		7	1	1	9	
実施していない		16	5	7	28	
計		43	8	29	80	